

## 〈資料紹介〉

## アイヌ文献目録 2000～2009（その1）〈単行本編〉

## アイヌ文献目録編集会

目次	1	はしがき
	2	凡例
	3	謝辞
	4	文献目録

## 1 はしがき

この目録は、2000年1月から2009年12月までの10年間に日本国内で公開された文献（単行本、雑誌等）を対象として、当会が調査した範囲で確認できた、アイヌ民族に関連する主題・内容の文献（単行本、論文、記事等）を一覧表形式にまとめたものである。直接には『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』11～15号に掲載してきた「アイヌ文献目録2003」～「同 2007」をもとに、補充調査を行ってまとめなおしたものであり、対象となる期間を2000年以降としたのは、財団法人アイヌ無形文化伝承保存会による『アイヌ年誌』が1999年までをカバーしていることを踏まえ、そこに接続させることを意図したものである。

全体の分量が膨大である（文献の件数は、ゆうに10,000件を超える）ため、今回は「その1」として、単行本及び単行本中の論文、記事等を掲載した。掲載した件数はほぼ4,000件に及ぶ。

次回に「その2」として雑誌掲載論文、記事等を掲載する。分割して掲載するため検索の利便性を低下させることになるので申し訳なく思う。また、今回の目録は、現在もおデータの収集・整理中の状態でまとめたため、遺漏が多いことは免れない。例えば、明らかに継続的に刊行されているであろう図書について、一部のものしか収録していない等の問題を多く含んでいる。深くお詫びするとともに、次回に補遺を掲載し、さらに追って包括版を作成したいと考えているので、ご容赦いただきたい。

目録編纂に当たっての編者らの意図、アイヌ文化研究に関する文献目録やインターネット上で提供されている文献データベース類の現状と課題、本文献目録の当面の計画などについては、既に本目録「2003」～「2007」の「はしがき」で述べてきているので、それらを参照されたい。

嘗て「2007」の「はしがき」（2009年3月）で筆者は、「2009年ないし2010年には、2000年以降の

累積版を公開できるようにしたいと考えている」と述べたが、実際にデータの集積・整理にとりかかれたのはようやく2011年になってからであり、作業が膨大であったため、目録の公刊まで更に一年を要した。

作業が遅滞したことをお詫びせねばならない。ただ、それとともに、この目録の情報の大半は、当会の黒井茂が様々な図書館・資料館に幾度も足を運んで調査し実見したものであって、その作業の労苦は、ここで強調して過ぎることはないと思う。多くの遺漏や不十分さを抱えている目録ではあるが、このような作業なしには本目録はその体を為し得ないことを、改めて述べておきたい。

アイヌ文化の継承や復興、アイヌ民族の権利の回復、アイヌの歴史と文化に対する社会的な認識のあり方等々、アイヌ民族とその歴史・文化に関わる様々な議論が交わされ情報が飛び交う中、本目録のような基礎的作業の重要性はいつそう大きくなっている筈だ。しかしながら、近年、様々な事業が各地で営まれている一方で、こうした継続的な基礎作業は、依然としてその必要性についてすら公的な認知を得ているとは言い難い。本目録が、不十分ながらも、かかる現状の打開にも繋がればと祈念している。

(小川正人)

## 2 凡 例

### (収録の範囲)

- ・目録の本文には、2000年1月から2009年12月までの10年間に公刊された図書（単行本。事典を含む）またはそれらに収録された論文・記事等であって、アイヌ民族に関わる内容の日本語・アイヌ語文献を収録した。
- ・日本語を主体とする単行本の中に含まれている外国語文献についても、一部収録したものがあ
- る。
- ・目録に掲載しておくことが文献検索上便宜的であると考えた場合は、アイヌを直接の主題とするものではない文献についても、やや広い範囲で収録している。例えば埋蔵文化財の発掘調査報告書、文献目録・書誌の類がその例である。逆に、例えば本文中に登場する地名や単語若干についてアイヌ語訳などを示している程度の場合は、本目録への掲載を割愛したことが多い。

### (配列)

- ・おおよそ発行月日順に配列し、通覧の便宜を考え年・月ごとに区切りを設けた。
- ・発行日は奥付の記載に準拠している。日付の記載がないもの、日付を確認できなかったものは、日のみが不明な場合は当該月の末尾に、月日も不明の場合はその年の最後（12月の後）に記載した。

### (記載事項と書式)

- ・単行本の一冊全体ないし主要部分がアイヌを主題としているものについては、編著者名、表題、

発行者、判型、ページ数の各項目を掲載した。

- ・単行本中にあるアイヌに関わる内容の論文・記事等については、最初に所収書の編著者名、表題等を掲載し、その下の行に、論文・記事の編著者名、表題、掲載ページを記載している。論文・記事の編著者名及び表題は、行頭を一字下げにしている。
- ・編著者名、表題などの記載は奥付または表紙・背等の記載に従った。ただし、副題は原則として「:」で区切って表わし、漢字の旧字体は原則として常用のものに改める等の手を加えた部分がある。
- ・記事・論文の表題に関わる情報のうち、コーナータイトルに相当すると思われるものは〔 〕で括って示した。
- ・初出に関する情報、単行本・雑誌の構成に関する情報などは「目次／備考」欄に記載した。ただし、目次の記載には精粗の差がある。
- ・〔 〕内は編者による注記・補足である。

### 3 謝 辞

本年度の目録の作成に当たって、下記の機関・個人から教示または協力を受け、あるいは多くの文献の閲覧をさせていただいた。参照させていただいた様々な目録・データベースを作成し、また継続し運営している機関とその担当の方々にも、改めて謝意を述べたい。

北海道立図書館、札幌市中央図書館、帯広市図書館、北広島市立図書館  
財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、アイヌ文化交流センター、  
北海道立アイヌ総合センター、財団法人アイヌ民族博物館、  
帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター、北海道立北方民族博物館  
北海道大学附属図書館、東京都立中央図書館、同日比谷図書館、人権ライブラリー、  
明治大学博物館、宮城県図書館、部落解放・人権図書館、東京都人権プラザ  
石原誠、高橋規、(故) 秋野茂樹

### 4 目録

(次ページより)

編者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2000年1月】</b>					
北海道開拓記念館 (編)	豆本25 北海道開拓記念館 第125回テーマ展 北海道開拓記念館所蔵 アイヌ衣服展	北海道開拓記念館	A7	27	開催にあたって/アイヌ民族の衣服について/アイヌの衣服(写真図版)/開拓記念館民族資料一保存と展示一
梅原猛	自然と人間 思うままにⅡ 縄文と東北	文藝春秋	B6	254 226~ 240	
学習院考古学会『考古学へのアクセス』編集会 (編) 荒木陽一郎	考古学へのアクセス : ひと・世界・未来 「●」字篋(墨)書研究の現状と課題	学習院考古学会『考古学へのアクセス』編集会	B5	169  76~85	
今野宗雄	我が北方領土の航跡を辿る 松前藩の成立と原住民支配	鳥影社	B6	279  60~68	
知里幸恵(著)、北道邦彦(編)	ノート版 アイヌ神謡集 [改訂版]	弘南堂書店	A5	162	初版は1999年。
盛岡市立中央公民館 (編)	新春特別展 「南部家の稀覯本 蝦夷地史料」展 展示資料目録	盛岡市中央公民館	A4	6	1月21日から2月29日までの会期(のち年度末まで延長)で盛岡市中央公民館にて開催された史料展の目録。各史料に3行程度の「概要」を記す。
余市町教育委員会(編)	大川遺跡における考古学的調査Ⅰ	余市町教育委員会	B5	468	
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会編)	帯広叢書第43巻 吉田巖資料集 9	帯広市教育委員会	B5	262	1 アイヌ調査書 2 記述 吉田 巖/2 日記3-8 記述 吉田 巖/3 日記4-3 記述 江賀 寅三/4 誌集4-いまは集 記述 吉田 巖/5 出現語彙一覧
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会編)	帯広叢書第43巻 吉田巖資料集 9 (原資料編)	帯広市教育委員会	B5	48	日記4-3 記述 江賀 寅三
阿寒観光協会 (編)	まりも祭り五十周年記念写真集		B5	40	
町田宗鳳	縄文からアイヌへ	せりか書房			
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2000 [1] あ~お	日外アソシエーツ	A4	807	掲載人名に、「秋辺得平」「秋辺福太郎」「荒井和子」「荒井源次郎」「荒井シヤヌレ」「新谷幸吉」「伊賀美恵子」「石井由治」「伊藤裕満」「遠星北斗」「上西晴治」「魚井一由」「宇梶静江」「浦川太八」「浦川タレ」「浦川治造」「江口カナメ」「大塚一美」「岡田路明」「小川佐助」「小川早苗」「小川正人」「小川隆吉」「奥田統己」「長見義三」「小田イト」「織田ステ」などあり。
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2000 [2] か~と	日外アソシエーツ	A4	764	掲載人名に、「貝沢和明」「貝沢耕一」「貝沢正」「貝沢善広」「金成フサ」「加納沖」「萱野茂」「萱野志朗」「萱野れい子」「川上勇治」「川村カト」「川村シリッ・エオリバック・アイヌ」「金成マツ」「岸正治」「北樽保男」「北川しま子」「北原きよ子」「木村清人」「切替英雄」「草薙実」「久保寺逸彦」「計良智子」「計良光範」「小坂洋右」「兒玉作左衛門」「古原敏弘」「コボアヌ」「佐々木利和」「笹村二郎」「佐藤タツエ」「更科源蔵」「更科光」「沢井アキ」「沢井春美」「四宅ヤエ」「白井柳次郎」「白沢ナベ」「杉村キナラブック」などあり。
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2000 [3] な~わ	日外アソシエーツ	A4	833	掲載人名に、「中本ムツ子」「成田ウタリアン」「成田得平」「貫塩喜蔵」「野村義一」「野本正博」「野本リヨ」「ハウレット・ピーター」「萩中美枝」「バチエラー八重子」「平山裕人」「藤村久和」「ボン・オタストーン」「増田又喜」「間見谷嘉昭」「三上マリ子」「宮島利光」「三好文夫」「村木美幸」「森竹竹市」「森本信雄」「門別薫」「山川力」「山本多助」「結城庄司」「由良勇」「和気シクルシイ」「鷺谷サト」「和田完」などあり。
<b>【2000年2月】</b>					
札幌裕康	散りぬるを -アイヌモシリの世界	文芸社	B6	81	
鈴木健	縄文語の発掘	新読書社	B6	331	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
深井人詩(編) 小熊杏子 畑野蘭子	文献探索 1999 アイヌ文化史(4) ー二風谷ダム訴訟ー 「北海道旧土人保護法」成立関連文献 ー保護成立過程とその背景についてー	文献探索研究会	B5	495 199 367～ 372	
川村湊	作文のなかの日本帝国 日本の「帝国意識」と言語政策	岩波書店	B6	261 1～32	初出は「近代日本における帝国意識」(『帝国意識の解剖学』世界思想社、1999)。
百瀬信夫	信州のアイヌコタン 第四巻 古代語復元	[私家版]	B5	128	
札幌市教育委員会(編)	新札幌市史 第8巻I 統計編 アイヌ民族人口(市町村別)	札幌市	B5	637 148～ 149	1882、1909～1939年を掲載。
伊藤テル子	岡本ユミフチの口承文芸				
尾崎功	天塩川アイヌ語地名考	尾崎功(私家版)			
<b>【2000年3月】</b>					
小野慶郎	真実の探求 上巻 ～ここに こんな世界があった～ 文化財とのかかわり	真実の探求奉仕社(苫小牧市)	B6	300 160～ 178	
つぼいこう	まんが 人物・日本の歴史(7) 明治時代 北海道の開拓とアイヌ	朝日新聞社	B6	254 91～ 126	
	第2回カナダの先住民族と交流する旅報告書	とかちエテケカンパの会	A4	53	
頌寿記念会(編) 岡田淳子	大塚初重先生頌寿記念考古学論集 近世アイヌの墓の検証	東京堂出版	A5	1164 925～ 942	
	目で見える日本人物百科 8 学問・マスコミ人物事典 金田一京助	日本図書センター	A4	12～13	
	目指せ!子ども学芸員 Do Museum テキスト集 博物館で調べよう ～アイヌのくびとのむかしの服装～ 親子でめぐる旭川のアイヌ伝説	旭川市博物館	A4	85 13～20 43～57	
余市町教育委員会(編)	大川遺跡発掘調査概報 大川橋線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概要	余市町教育委員会	A4	38	
余市町教育委員会(編)	大川遺跡発掘調査概報 大川橋線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	余市町教育委員会	A4	119	
余市町教育委員会(編)	入船遺跡発掘調査報告書(1998、1999年度) 余市川改修事業および余市橋線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	余市町教育委員会	A4	116	
河野信子(編) 青木愛子・語り、松岡悦子・文	女と男の時空 ー日本女性史再考② ヒメとヒコの時代ー原始・古代⑤ 魂を見守る人 ーアイヌのシャーマンは語る	藤原書店	B6	389～ 437	
	人権を考える 人権問題と日蓮宗 アイヌ民族と差別 アイヌ民族へ理解を	日蓮宗宗務院	B5	291 35～53 179～ 190 228～ 229	
斉藤米太郎(著)、後藤秀彦(校注)	大津村史 十勝先史時代人種考 トコムロ先史行 十勝国名考察 場所請負制度の発声 アイヌ戸数と其の介抱 場所請負制の廃止と十勝漁業組合 大津川溺死事件 アイヌの窮状と共有財産の処分 史料篇	大津の歴史を調べる会	A4	279 17～20 22～26 27～30 55～61 68～71 80～83 84～85 93～95 157～ 267	斉藤米太郎執筆『大津村史』を再編集し校注を付けたもの。
東京都青年の家(編)	99国際理解推進事業報告書 アイヌ民族の現在(いま) '99	東京都青年の家	A4	24 18～19	
部落解放・人権研究所(編) 竹内渉	部落解放・人権年鑑 ー1999年度版ー アイヌ民族	部落解放・人権研究所(発行)、解放出版社(発売)	A5	65～67	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
北海道開拓記念館 (編)	北海道開拓記念館 常設展示解説書4 近代のはじまり	北海道開拓記念館	A4	51	主要関係目次 IV 領土画定: 樺太・千島の交換(笹木義友) / V 明治維新とアイヌ民族(山田伸一)
北海道開拓記念館 (編)	北海道開拓記念館 常設展示解説書5 開けゆく大地	北海道開拓記念館	A4	51	主要関係目次 V1 アイヌ民族と「北海道旧土人保護法」(山田伸一)
北海道開拓記念館 (編)	北海道開拓記念館 常設展示解説書6 不況から戦争へ	北海道開拓記念館	A4	51	主要関係目次 IV3 アイヌの主 張(山田伸一)
北海道立北方民族博物館 (編)	北方諸民族文化のなかのアイヌ文化 ― 生業をめぐる ―	北方文化振興協会	A4	48	
出利葉浩司	アイヌの狩猟具 ―とくに罾をめぐる―			2	
	オホーツク開拓 100年の夢	北海道開発局網走開発建設部	A4	22	
	イヤトムタの里			3~4	
帯広市企画部企画主幹(編)	第五期帯広市総合計画(基本構想・基本計画)	帯広市	A4	158	
	アイヌの人たちの福祉			53~54	
入間田信夫・研究代表者	奥羽における北方交流史の調査・研究	東北大学東北アジア研究センター	A4		
<b>【2000年4月】</b>					
日本考古学協会(編) 工藤雅樹	日本考古学を見直す 北日本の考古学 ―古代の蝦夷とアイヌ	学生社	B5	250 199~ 224	
樋口男、小市和雄、鈴木哲雄、錦昭江、増田正弘(編)	東アジア交流史辞典	新人物往来社	A5	279	
坂井登	蝦夷(エミシ)と蝦夷(エゾ)はちがうのか			94~95	
木島泰幸	アイヌ文化とはいっ成立したか			95~97	
坂井登	アイヌ民族も「元寇」と戦ったというのはほんとうか			117~ 118	
木島泰幸	北方世界との交流はどのようにおこなわれたのか			153~ 154	
木島泰幸	蝦夷地の十二館はなぜおかれたのか			156~ 157	
木島泰幸	コシャマイはなぜ蜂起したのか			158~ 159	
坂井登	エゾ錦っていつのものなのか			233~ 234	
錦昭江	なぜシャクシャインの乱は起きたのか			235~ 236	
佐伯英志	菅江真澄はどのようにしてアイヌに関する詳細な記録を残したのか			251~ 252	
福田アツオ、新谷尚紀、湯川洋司、ほか三名(編)	日本民俗大辞典 下	古川弘文館	B5	61~62	
児玉マリ	タマサイ			61~62	
畑井朝子	タラ			66	
渡辺裕	チュックリ			78	
藤村久和	チェプル			78	
藤村久和	チシナオツ			84	
大島稔	チセ			84	
大島稔	チセココカムイ			84	
藤村久和	チッ			89	
宇田川洋	チャシ			93	
遠藤匡俊	チャランケ			95	
佐藤知己	知里真志保			114	
児玉マリ	テクンベ			150	
藤村久和	デシマ			151	
佐藤知己	トウイタツ			176	
藤村久和	トゥッキ			176	
藤村久和	トゥスクル			183	
藤村久和	トゥナ			188	
藤村久和	トゥレンカムイ			195~196	
谷本一之	トンコリ			238	
藤村久和	ニス			276	
児玉マリ	ニンカリ			292	
藤村久和	ヌササン			296	
藤村久和	パウチカムイ			340	
藤村久和	バセオンカミ			361	
佐藤知己	パチエラー			366	
笹倉いる美	パッカイタラ			371	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
藤村久和 藤村久和 畑井朝子 藤村久和  藤村久和  藤村久和 渡辺裕 大島稔 藤村久和 萩中美枝 児玉マリ 桑原真人 渡辺裕 渡辺裕 谷本一之 藤村久和 笹倉いる美 谷本一之 萩中美枝 藤村久和 畑井朝子 藤村久和 谷本一之 藤村久和 畑井朝子 笹倉いる美 藤村久和 谷本一之 藤村久和 藤村久和	ハヨクペ ピウチオツ ピバ ピヤバ  プー  ブクサ ブシクスリ ペウタンケ ヘベレアイ ポイヤウンベ ホシ 北海道旧土人保護法 マキリ マレフ ムックリ ムンスイエツ モウル ヤイサマ ユークツ ラウクツ ラタシケツ ラマツタイコロ リムセ ルイ ルイベ レタルベ レバオツ レプニ レブンカムイ レブンクル 和人			393～394 412 435～436 441～ 442 462～ 463  466 508 514 521 538 543 563 591 669 682～683 691 711～712 756 792 793 794 798 807 807 811～812 812 812 812 812 830	
スチュアートヘンリ（研究代表者） 佐々木亨 齋藤玲子 児島恭子 木名瀬高嗣 スチュアートヘンリ（協力：上野華香、井上久美子）	アイヌをめぐる社会政治的状况に関する人類学的研究 博物館民族学とアイヌ民族文化展示の評価に関する考え方 北海道観光の要素としてのアイヌ文化の変遷：明治～昭和期までの旅行案内記事の考察をとおして 現代のアイヌ観：ジェンダーと「自然」 戦時期日本における「北方」イデオロギー 小中高等学校社会科教科書におけるアイヌ民族に関する記述について	〔昭和女子大学文学部〕	A4	106  1～14  15～26  27～38  39～49  50～ 126	平成10～11年度科学研究費補助金研究成果報告書。
坪井清足	東と西の考古学 アイヌの文様	草風館	B6	391 281～ 282	初出は『朝日新聞』1972年執筆記事。
「古代北方世界に生きた人びと ―交流と交易―」実行委員会（編）	「古代北方世界に生きた人びと ―交流と交易―」展示図録	「古代北方世界に生きた人びと ―交流と交易―」実行委員会（東北歴史博物館、北海道開拓記念館、新潟県立歴史博物館）	A4	71	
地家光二	居串佳一 ―オホーツクへ還る 未完のままに	北海道新聞社	新書	156 110～ 115	
<b>【2000年5月】</b>					
アイヌ民族共有財産裁判を支援する全国連絡会（編）	アイヌ民族共有財産関係資料集 第2集	アイヌ民族共有財産裁判を支援する全国連絡会	B5	156	
慶応義塾大学経済学部（編） 花崎翠平	マイノリティからの展望 現代日本における異文化共生 ―アイヌ民族問題を中心に	弘文堂	A5	252 137～ 156	
山内昌之	文明の衝突から対話へ 日本におけるの民族とは ―アイヌ新法考―	岩波書店	A6	317 217～ 241	
太田一男、鳥居紀代和（編）	北海道と憲法 ―地域から地球へ―	法律文化社	A5	246	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
大場崇代	日本の先住民族:アイヌ			88~98	
加藤健司	日本祭礼民俗誌 義経神社初午祭 北海道沙流郡平取	おうふう	A5	7~13	
小川英文(編) 山浦清	現代の考古学 5 交流の考古学 続縄文から擦文文化成立期にかけての北海道・本州間の交流:その交易システムの展開	朝倉書店	A5	309 73~94	
北海道開発庁(編)	北海道の開発 2000 アイヌ関連施策	北海道開発協会	A4	86 66~67	
北海道開発庁(編)	北海道開発レポート 2000 アイヌ関連施策の推進	大蔵省印刷局	A5	358 235~ 242	
<b>【2000年6月】</b>					
田中優子	江戸百夢 演出されたアイヌの「威厳」 - 民族支配の世紀 2	朝日新聞社	A5	167 72~75	
榎輪真山	日本人と日本語の起源①アイヌ語の万葉集	アダプト技術研究所	B6	206	
北海道合同教研事務局(編) 中井伸雄、田中了	北海道の教育 [2000年度版] 「人権・民族・平和」21世紀への展望	合同教育研究全道集會実行委員会	A5	332 278~ 284	
さっぽろ文庫編集室(編)	北の本三〇〇 知里真志保著 知里真志保著作集(全4巻別巻2) 山田秀三著 アイヌ語地名の研究(全4巻) 榎森進 日本民衆の歴史 地域編8 アイヌの歴史 北海道のふびと(2) 上田満男 わたしの北海道アイヌ・開拓史 宇田川洋 アイヌ伝承と砦 萱野茂 アイヌの民具 新谷行 アイヌ民族抵抗史 谷川健一 近代民衆の記録5 アイヌ 埴原和郎、藤本英夫ほか著 シンポジウム・アイヌ その起源と文化形成 権太アイヌ史研究会編 対雁の碑 権太アイヌ強制移住の歴史 日本放送協会編 アイヌ伝統音楽	札幌市・札幌市教育委員会	B6	321 26 33 83 118 120 121 122 130 141 142 283	
徳永一末	<創作>コタンのお嫁	健友館	B6	137	
村尾元長	明治後期産業発達史資料 第540巻 あいぬ風俗略史	龍溪書舎	A5	206	
<b>【2000年7月】</b>					
かやのしげる(文)、いしくらきんじ(絵)	火の雨 氷の雨 カムイユカウ・アイヌの神さまが話したこと	小峰書店	A4	31	
下宮忠雄(編著)	世界の言語と国のハンドブック アイヌ語	大学書林	新書	274 1~2	
小野慶郎	真実の探求 下巻 ~ここに こんな世界があった~ 論考 アイヌ民族とその文化考~関わってきた経過と見解~	真実の探求奉仕社(苫小牧市)	B6	332 239~ 254	
綾部恒雄(監) 大塚和義 佐々木高明 佐々木高明	世界民族事典 アイヌ 日本 日本	弘文堂	B5	1232 4~5 481~ 482 809~ 813	「民族篇」の項目。 「民族篇」の項目。 「地域・国家篇」の項目。「国家統一と異域」「単一民族国家」指向の変換」の見出しあり。
	小樽聖公会 宣教百二十年の歩み アイヌの父と呼ばれたジョン・バチラー アイヌ伝道に生涯を捧げたミス・ブライアント	日本聖公会北海道教区小樽聖公会	B5	257 8~9 11	
<b>【2000年8月】</b>					
続々・なよろ百話取材執筆班(編)	続々・なよろ百話 アイヌ史飾る磯吉翁 丸木船で天塩川下り	名寄新聞社	A5	449 16~18 277~ 280	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
田中幸子	しあわせをつかんだみなしの子の女の子	文芸社	B5		
	週刊ビジュアル日本の歴史 No. 25 幕藩体制の確立 5 アイヌ起つ！ 民族の誇りと栄光のために イヨマンテ [熊送り] のすべて アイヌの魂と山の神が交流する神聖なる儀式	デアゴスティーニ・ジャパン	A4変型	170～179 180～181	
山本雅代 山本雅代 小松和弘	日本のバイリンガル教育 日本の学校におけるバイリンガル教育の展開 様似アイヌ語教室の現状と課題 アイヌ語学習運動と学校教育を展望したうえで	明石書店	B6	294 11～46 47～84	
中生勝美(編) 百瀬響	植民地人類学の展望 北進と民俗学 一河野広道の軌跡を通じて	風響社	B6	274 71～121	
学術文献刊行会(編) 及川将基 中村和之	日本史学年次別論文集『近世(一)』1998(平成10)年版 「撫育」の論理と松前藩 一非分禁止を理由に一 蝦夷錦と北方の交易	朋文出版	B5	224～233 321～325	
<b>【2000年9月】</b>					
松本美江	英語で紹介する日本と日本人 アイヌとはどのような人たちですか？	ノヴァ（発売：ノヴァ・エンタープライズ）	B6	271 196	
東京書籍出版編集部(編)	「テーマ・内容」で探す本のガイド アイヌ人	東京書籍	B6	447 251	
佐々木高明 佐々木高明	多文化の時代を生きる : 日本文化の可能性 アイヌ民族とその文化を考える	小学館	B6	238	第四章。第一節は『世界民族事典』（弘文堂、2000年）の「日本」を、第二節は『アイヌ語が国会に響く』（草風館、1997年）の「アイヌ文化を考える視点 : 歴史的展望にたって」を、第三節は『学会会報』第823号（1999年）の「アイヌ新法の誕生とその意義を考える」を、それぞれ加筆・補訂したもの。
斎藤忠	郷土の好事家・考古学者たち 一東日本編一 北海道	雄山閣出版	A5	16～25	
西信博	山のあなたの空遠く II 北海道のクマの木彫り これからのアイヌ問題 アイヌの木彫り 北海道地名考	クライ・アント	A5	472 87～91 112～113 208～209 330～331	
吉川元、加藤普章(編) 上村英明	マイノリティの国際政治学 日本の先住民族問題と国際政治 アイヌ・琉球民族の「脱植民地化」と「集団的権利」の獲得	有信堂高文社	A5	258 209～224	
歴史教育者議会(編) 鬼頭明成 佐藤信行	世界史から見た日本の歴史38話 本州の北端「十三湊」が大繁栄を遂げたのはどうしてか 津軽安藤氏と日本海貿易 北海道旧土人保護法は日本人が思っていたのものか アイヌとインディアン	文英堂	A5	303 86～93 186～192	
神谷忠孝	北大文学部五十年の歩み 創立五十周年記念誌 晩年の知里真志保先生	北海道大学大学院文学研究科・文学部	A4	182 47	
<b>【2000年10月】</b>					
日本考古学協会2000年度鹿児島大会実行委員会(編) 青野友哉	日本考古学協会2000年度鹿児島大会資料集 第1集 はたけの考古学 北海道における近世烟跡と地域的提起	日本考古学協会2000年度鹿児島大会実行委員会	A4	491	
福田晃、常光徹、斎藤寿始子(編) 三浦佑之	日本の民話を学ぶ人のために 日本の民話とアイヌ	世界思想社	B6	348 178～189	
国立歴史民俗博物館(編) 西本豊弘	歴博万華鏡 精霊への祈り：アイヌの儀礼用具	朝倉書店	B4	208 10～11	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
西本豊弘	アイヌの衣生活 : アツツシ			88~89	
岡村功(著)、北網圏北見文化センター協力会(編)	北見(くねっぶ原野)を拓いた~土佐異骨相たち~ 先住者、エレコーク	北網圏文化センター協力会	A5	68 61~63	
埴原和郎	人類の進化 試練と淘汰の道のり ー未来へつなぐ五〇〇年の歴史 アイヌ白人論 アイヌの起源は北か南か	講談社	B6	321 247~250 250~253	
菊田英世	〔創作〕森都に風が吹く ~ある民族の伝承~	自由現代社	B6	191	
今西一	国民国家とマイノリティ 「アイヌ史」の終焉	日本経済評論社	B6	267 139~164	
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	アイヌ文化紹介小冊子 ポン カンピソシ 6 ウエネウサラ 口頭文芸	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A5	32	
<b>【2000年11月】</b>					
藤田覚 鶴田啓	十七世紀の日本と東アジア 十七世紀の松前藩と蝦夷地	山川出版社	A5	223 157~185	
文部省(編)	我が国の文教施策(平成12年度) アイヌ文化の振興のために	大蔵省印刷局	A4	370 284	
和田はつ子	狼神〔創作〕	角川春樹事務所	A6	260	
宮本百合子	宮本百合子全集 第1巻 〔創作〕風に乗って来るコロポックル	新日本出版社	A5	494 341~367	初出は『宮本百合子全集 第1巻』(河出書房、1951年6月)、底本は『宮本百合子全集 第1巻』(1979年4月)。
福田光子(編) 海保洋子	女と男の時空 ー日本女性史再考⑧ 爛熟する女と男 アイヌ女性の心理	藤原書店	B6	487~522	
北海道開発庁50年史編纂委員会(編)	北海道開発庁50年史 アイヌ関連施策の推進	北海道開発庁50年史編纂委員会	B5	513 273~280	
<b>【2000年12月】</b>					
忠類村史編さん委員会(編) 相神達夫 相神達夫 相神達夫	忠類村史 地名に残るアイヌ語 アイヌの蜂起と金堀り 「寛政蝦夷の乱」と「とうふい」	忠類村	B5	1151	本編 第二章 当縁のあけぼの 第一章 森と川の記憶 本編 第二章 第二節 黄金伝説の足跡 本編 第二章 第三節 トーブイから当縁へ
かやのしげる(文)、いしくらきんじ(絵)	バヨカカムイ ユカウで村をすくったアイヌのはなし	小峰書店	A4		
津田暹子(編) 津島佑子 和田謙吾 かなまるよしあき 金子きみ 久間十義	「北の話」選集 北海道という特別な場所 わが白老 イタンキ異聞 ジャワの日高の鼻 日高の子守唄	北海道新聞社	A5	333 8~11 253~256 267~270 286~290 299~302	
李恢成文芸講演会・その後の会(編) 足立妙子、林炳澤、草野ゆき子、佐藤梅子、藤本尚子、盛美代活、山下和章、坂井悦子(司会) 佐藤(記) 草野ゆき子 足立妙子 藤本尚子	追悼・小笠原克 小笠原克追悼座談会 ー近代<<北海道>>を磁場としてー 『北方文芸』アイヌ問題に関する記事 小笠原克編集時 長見義三『アイヌの学校』を読む さようなら先生 <感受>した主体	李恢成文芸講演会・その後の会	B5	143 52~71 72 106~117 117~125 125~138	
大谷恭子	共生の法律学 アイヌ民族とともに	有斐閣	B6	308 85~112	

アイヌ文献目録 2000～2009（その1）〈単行本編〉

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
柴村羊五	北海の豪商 高田屋嘉兵衛 アイヌ収奪の実態 抉捉アイヌの生活	亜紀書房	B6	348 64～66 84～87	
木村礎、林英夫（編） 榎森進 田島佳也 榎森進	地方史研究の新方法 アイヌ民族の集落 アイヌ：暮らしの中の漁業と境界  北海道の暮らし：アイヌ民族	八木書店	A5	310 70～71 180～ 181 232～ 233	
鈴木昶	江戸の医療風俗事典 熊胆 口に苦い鎮痛薬	東京堂出版	B5	334 181～ 183	
21世紀研究会（編著）	地名の世界地図 第5章 モンゴルが駆けぬけたユーラ シアの大地	文芸春秋	新書	306 108～ 110	
赤坂憲雄	海の精神史―柳田国男の発生 北の異族  花とイナウ	小学館	B6	582 207～ 260 409～ 472	
帯広市図書館（帯広叢書編 集委員会編）	帯広叢書第44巻 吉田巖資料集 10（原 資料編）	帯広市教育委員会	B5	324	1 アイヌ調査書3-1 記述 吉田 巖 /2 日記3-9(昭和9年7月～12月) 記述 吉田 巖/3 児童作品1-国の 宝 記述 江賀 寅三/4 壽集5-万 国人名辞書-1 記述 吉田 巖/5 出現語彙一覧
	共なる世界を願って アイヌ民族復権運 動・文化伝承の取り組みに学ぶ	真宗大谷派	A4	10	
アイヌ文化振興・研究推進 機構（編）	アイヌ口承文芸伝承者（語り部）育成事業 実施報告書 平成11年度	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	85	
三上久雄、片山幹雄、木下 梅雄	『アイヌの暮らしと薬草』報告書	三上久雄	B5	101	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2001年1月】</b>					
(社) 部落解放・人権研究所 (編)	部落問題・人権事典	(社) 部落解放・人権研究所	B5	1365	
上村英明	アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律			36(右)	
竹内渉	アイヌ民族の人権			37(左)	
竹内渉	アイヌ民族の人権 人権をめぐる現状			37(左～右)	
竹内渉	アイヌ民族の人権 歴史			38(左～右)	
計良光範	アイヌ民族の人権 解放運動			38～40(右～左)	
竹ヶ原幸朗	アイヌ民族の人権 教育			40～41(左～右)	
秋野茂樹	アイヌ民族の人権 文化			41～42(左～右)	
井上満郎	蝦夷			94	
竹内渉	萱野茂			188(右)	
乾武俊	喜田貞吉			210	
竹内渉	野村義一			820(左)	
竹内渉	北海道			984(左～右)	
竹内渉	北海道ウタリ協会 アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律 アイヌ民族に関する法律案			984 1169～1171 1216～1217	
下斗米伸夫	北方領土Q&A 80 「北方領土」でアイヌの先住権は認められるの?	小学館	B6	253 232～233	
石狩川の人々の暮らしを見つめる会(編)	石狩川物語 石狩の地名伝説 石狩市 神居古潭の神々 旭川市・上川町 天の川と北国の七夕 滝川市 江別の意地悪爺 江別市 石狩川河口の神木 石狩市 サケとわかもの 全流域 三百年前の石狩川 一探検船「快風丸」とアイヌー石狩市 札内川の不思議 中札内村 札内川 上土幌のくしゃみ警 上土幌町 音更川 シブチャリ川の津波と金山 静内町 静内川	河川環境管理財団	B6	357 13～15 16～19 20～24 37～39 40～42 46～50 60～67 319～321 322～325 326～329	
工藤雅樹	蝦夷の古代史 蝦夷はアイヌか日本人か	平凡社	新書判	254 205～246	
<b>【2001年2月】</b>					
青木正美・解説	近代作家自筆原稿集 子母沢寛「厚田日記」	東京堂出版	B5	210 80～81	
黒田信一郎 井上欽一 黒田信一郎	ギリヤーク族の社会構造 ICRAPと黒田さん ピルストツキさんの蓄音器	黒田矢須子	B5	408 v～vii 333～335	
	KAMUY-I-PIRKA-RE 神が美しく創らせた	『ヤイヌーカラの森』	A4変	47	
関口明 太田和幸	歴史研究と社会化教育 一坂口勉教授退職記念誌一 日本の古代社会とクマ皮 地名の由来から地域の成り立ちを考える 歴史学習～中学校社会科・歴史的分野での実践～	北海道歴史教育研究会	B5	100 16～22 51～57	
<b>【2001年3月】</b>					

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
吉岡嶺二   吉岡嶺二	ピリカモシリカヌー藤栗毛   再び静内、アイヌエカシ緑の郷	(私家版)	B6	251 53～59	
西尾秀和	差別表現の検証 — マスメディアの現場から   少数民族差別に関連した表現	講談社	B6	212 157～ 168	
帯広市図書館（帯広叢書編集委員会編）	帯広叢書第45巻 吉田巖資料集 11	帯広市教育委員会	B5	256	1 日記3-10(昭和10年1月～3月) 記述 吉田 巖/2 調べ書き1-1 政府保管米払下該当者選定資料(昭和7年12月～8年4月) 記述 吉田 巖/3 抜き書き1-6 万国人名辞書-2 記述 吉田 巖/4 出現語彙一覧
余市町教育委員会(編)	大川遺跡発掘調査報告書(1999年度)大川橋線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	余市町教育委員会	A4	289	
大塚和義(編)   大塚和義	日本文化のなかのアイヌ文化 — 木彫品、錦絵などの史料から—   日本文化のなかのアイヌ文化	国際日本文化研究センター 千田研究室	A4	48 1～8	
旭川市記念事業推進事務局(編)	ふるさと・旭川2000年の記録  アイヌの祭典 第43回こたんまつり  アイヌの人たちと2000年を共に迎えて アイヌ伝統文化事業 チセのささふきを通してアイヌの人々の文化を学ぶ  高校生、市長と語る 市長と高校生 21世紀にむけて  嵐山でチセの立て替え 5月17日(水) アイヌ民族と和人 旭川の未来を語る 7月8日(土)	旭川市	A4	223  116～ 117 146～ 147 158～ 159 182～ 186  206 208	
宮本百合子	宮本百合子全集 第9巻   親しく見聞したアイヌの生活	新日本出版社	A5	456 20～23	初出は『女学世界』1918年10月号。
大口勇次郎(編)   山田志乃布	女の社会史 17—20世紀 — 「家」とジェンダーを考える   幕末蝦夷地におけるアイヌ女性 — 松浦武四郎の『近世蝦夷人物史』を素材として	山川出版社	A5	350  224～ 241	
門田秀夫・植田都(編)	人権問題の歴史と教育 — 同和教育運動に学ぶ  沖縄・アイヌ民族、定住外国人、在日韓国・朝鮮人問題に関する論考 アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律	明石書店	B6	286  142～ 156 231～ 236	
奥武則、大島透   奥武則	につぼん—千年紀の物語   エミシ・エゾ・アイヌ 「侵略」「統治」「同化」を経て	毎日新聞社	A5	254 114～ 119	
近現代日本女性人名事典編集委員会(編)	近現代日本女性人名事典  金成まつ  知里ナミ 知里幸恵 バチエラー八重	ドメス出版	A5	428  107～ 108 217 217 271	
北海道北方民族博物館(編)   谷本一之	北方諸民族文化のなかのアイヌ文化 — 儀礼、信仰、芸能をめぐって—   アイヌとコリヤクに共通する芸能の要素	北方文化振興協会	A4	38  7	
えりも町役場(編)   神子島清八   神子島清八	先住民族国際交流INとかち2000報告書 増補えりも町史   ウタリ福祉対策    ウタリ対策事業で建設した施設	とかちエテケカンパの会 えりも町役場	A4 A5	31 1143 863～ 865 866～ 867	
江別市教育委員会(編)   野口久男	史跡が語る江別の歩み   乗仏本願生彼国   權太移住旧土人先祖之墓   江別チャシ アイヌ文化期の砦跡   アイヌ文化期のツイシカリ	江別市教育委員会	A5変	133 25 25 68 69	
佐々木學(編)	松浦武四郎と「常呂」2	常呂町郷土研究同好会	新書判	102	
三浦正人、稲村繁、塩谷修(編)	日本考古学の基礎研究 : 茨城大学考古学研究室20周年記念論文集	茨城大学人文学部考古学研究室	B5	442	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
三浦正人	北海道で出土する「コイル状鉄製品」について			130～144	
西村絢子、藤村久美子、牧原憲夫(編) 牧原憲夫	わたしとわたしたち : 人権と民権を考える 「日本国民」にさせられた人びと	町田市教育委員会	B5	194  118～120	「アイヌ・琉球の人びと」(118～119ページ)あり。
青森県史編さん近世部会(編) 青森県史編さん近世部会(編)	青森県史 資料編 近世1 近世北奥史料にみるアイヌ民族関係史料集成	青森県	A4	705  403～705	長谷川成一、浅倉有子、菊池勇夫「解説」(405～419頁)
北海道考古学情報交換会20周年社会論集作成実行委員会(編) 高杉博章 豊原熙司	渡島地方の考古学 北海道考古学情報支援会20周年社会論文集 擦文時代の祭りとその系譜 一道西南部と道東部の様相の比較からー 塘路湖におけるエゾシカ猟 ー北海道東部・標茶町塘路ー	北海道考古学情報交換会20周年社会論集作成実行委員会	A4	  126～135 192～204	
日本聞き書き学会(編) 大須賀るえ子(語り)、 桑田智子(聞き書き)	北海道聞き書き隊選集 第一回日本聞き書き学会応募作品 ニカシ、フツチ、イヤイライケレ	日本聞き書き学会	A5	224  95～142	
別海町郷土資料館(編)	加賀家文書 現代語訳 第一巻	別海町郷土資料館	A5	150	
別海町郷土資料館(編)	別海町郷土資料館付属施設 加賀家文書館展示解説	別海町郷土資料館	B5	55	
北海道総務部人事課(編) 萱野れい子 中道善光 本田優子 萱野志朗 中道善光	北海道功労賞 受賞に輝く人々(平成十二年) ベレー帽にわらじ履き 視線の流れの中で 居候の思い出 父・萱野茂の先見の明年譜 萱野茂さんをたたえて	北海道	A5	223  5～27 28～30 31～33 34～36 37～38 189～190	萱野茂年譜。
茂内義雄 井上二美	札幌のむかしばなし 小学校地域資料集 八垂別の由来 松浦武四郎とアイヌの人たち 知里真志保先生と石狩街道	茂内義雄	A4	346 13～22 210～211 307～311	
	銀の海峡 魚の城下町らうす物語 海峡争乱 クナシリ・メナシの戦い ロシアの影	羅臼町	新書	159 96～99	
太田道夫	平成12年度教育実践研究論文集 アイヌ民族についての学習 ～歴史と文化を中心とした取り組み～	十勝教育研究所、帯広市教育研究所	A4	65  16～20	
田島達也 加藤克 白石絵里	北海道大学農学部博物館の絵画 ー博物館・風景画・アイヌ絵・洋画ー 北海道大学農学部博物館所蔵の絵画 北海道大学農学部博物館所蔵絵画資料の歴史的検討 開拓使の絵師・船越長善とその作品について 作品目録 図版(カラー)	北海道大学文学研究科	A4	77  2～9 10～20  21～23  24～37 1～40	CD-ROM付き。
静内町総務部	第4次静内町総合計画 みんなでつくるまち 輝く新世紀	静内町	A4	100	
柘植元一(研究者代表) 甲地利恵	民族音楽アーカイヴズにおけるマルチメディア・データベースに関する研究 ー音響を主体とするメディア統合をめざしてー 小泉文夫記念資料室所蔵のアイヌ音楽録音資料	東京藝術大学音楽学部	A4	90  45～90	
<b>【2001年4月】</b>					
水上千之 今井直	国際法判例百選 北方領土周辺海域の漁業活動に対する国内法令の適用：クタリ共同事件 先住少数民族の権利：二風谷ダム事件	有斐閣	B5	232 48～49  98～99	別冊ジュリスト156号
大阪人権博物館(編) 文公輝	描かれた「異国」「異域」 ー朝鮮・琉球・アイヌモシリの人びと 絵画資料と現代日本の民族問題 なぜ本展を企画したか	大阪人権博物館	A4	123  17～22	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
黒田日出男 大塚和義・チュプチセ コル	絵画資料に「異国」・「異人」を読む アイヌ民族を描いた絵画を読み解く			22～30 91～ 103	
中松秀行	日本民族の形成過程 一隼人・蝦夷・琉 球・アイヌ 蝦夷 アイヌ	生活ジャーナル	B6	319  204～ 232 288～ 311	
梅原猛	梅原猛著作集 14 思うままに 縄文文化と東北	小学館	B6	669 415～ 462	
志茂田景樹(作)、早瀬賢 (絵)	あご伯父の川[創作]	KIBA BOOK、志茂田景樹 事務所	A5	218	
小熊秀雄(文・絵)	小熊秀雄童話集 [創作]親不孝なイソクソキ [創作]マナイタの化けた話	創風社	B6	207 111～ 115 117～ 125	
数学のいずみ編集委員会 (編) つばたにたかまる	数学のいずみ 数を数えるってどういうこと?—アイ ヌの人々の教え方— アイヌの人たちに対する今後の総合的な 施策のあり方について	ダイヤ書房  ウタリ福祉対策検討会	B5  A4	224  82～87 15	
<b>【2001年5月】</b>					
塩谷順耳 富樫泰時、熊田 亮介、渡辺英夫、古内龍夫 熊田亮介	秋田県の歴史 蝦夷と肅慎	山川出版社	B6	390	
羅臼町百年史編集委員会 (編)	羅臼町百年史	羅臼町	B5	1395	
渡部仁	縄文土偶と女神信仰	同成社	B5	394	関係記述あり(事項索引「アイヌ」 で22ページ分あり)。
小林淳	日本映画音楽の巨星たちⅡ 伊福部昭/ 芥川也寸志/黨敏郎 伊福部昭—『日本誕生』の音楽を中 心に	ワイズ出版	A5	231  9～85	
川淵和彦	東南アジアに見るアイヌ文化の伏流	新読書社	B6	165	
古田陽久・古田真美(監)、 シンクタンクせとうち総合研 究機構(編)	誇れる郷土ガイド—北海道・東北編— アイヌ文化	シンクタンクせとうち総 合研究機構(広島市)	A5	126  27	
北海道開発庁(編)	北海道の開発 2001 アイヌ関連施策	北海道開発協会	A4	86 64～65	
<b>【2001年6月】</b>					
狩俣恵一	たきかわ文化生涯学習ガイド No. 5 「金田一文庫」への誘い 国学院短 期大学図書館	国学院短期大学、(財)滝 川市生涯学習振興会、滝 川市教育委員会	A5	22  11～12	
子安宣邦(監) 長志珠絵	日本思想史辞典 金田一京助	ベリかん社	A5	662 135～ 136	
大平整爾	雪原に描くシュプール 一北国の外科医 の独り言 ぼこい/ははこい(母恋)	日本メディカルセンター	B6	315  137～ 139	
山田安彦 遠藤匡俊	方位読み解き事典 アイヌ —自然と共存した方位のあ り方	柏書房	B6	430 219～ 224	
エゾウコギ効用研究会(編)	北の大地の恵み 一蝦夷五加の秘密 アイヌは昔から民間薬として重用	健康開発情報センター	A5	174 60～61	
岩淵宏子、北田幸恵、沼澤 和子(編) 格清久美子	宮本百合子の時空 未発表作品「風に乗って来るコロポッ クル」 一宮本百合子とアイヌ民族—	翰林書房	B6	362  123～ 139	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
桑原真人、我部政男(編)   海保洋子	幕末維新論集9 蝦夷地と琉球   「異域」の内国化と統合 一 蝦夷地から北海道へ	吉川弘文館	A5	355 120～ 151	
谷川健一	柳田国男の民俗学   東北地方のアイヌ語地名   開かれた国学	岩波書店	新書判	252 42～45 230～ 235	
日外アソシエーツ(編)	図書雑誌文献目録 民族紛争・民族融和   アイヌ人	日外アソシエーツ(発行)、 紀伊國屋書店(発売)	A5	54～63	
<b>【2001年7月】</b>					
三浦朱門(編著)	「歴史・公民」全教科書を検証する 教科書改善白書   琉球とアイヌ	小学館	A6	348	小学館文庫 I 歴史教科書編 近世3
大島建彦、蘭田稔、圭室文雄、山本節(編)	日本の神仏の辞典   青嶋   赤啄木鳥(あかづら)   赤翡翠(あかしょうびん)   赤ん坊の育成を見守る神々   明けの明星   海豹(あざらし)   アシリチエツノミ   アフナルパッ   信天翁(あほうどり)   雨鱒   アユニカムイ   イウオロ   家の神   イオマンテ   イカッカムイ   イクパスイ   イケマ   イサバキヤニ   イシネレツ   いたやかえで   イトツパ   イナウ    犬   犬槐(いぬえんじゅ)   イウエトゥンナイ   ウエボタラ   白    鰻   馬   海鷗(うみう)   海亀   海鳥   エカエカ   蝦夷うごぎ   蝦夷の上溝桜(えぞのうわみずざくら)   蝦夷鳥(えぞふくろう)   蝦夷山萩   蝦夷雷鳥   蝦夷栗鼠(えぞりす)   狼	大修館書店	B5	1373 6 8 8～9 11 14 19 23 36 38 58 59 73 75 76～77 79 83 84～85 90 94 113 125 126～ 127  135 135 139 146 160～ 161  171 177 182 184 184 184 195 196 196 196 196 196 196	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
志賀雪湖	大地鶴(おおじしぎ)			231	
志賀雪湖	大白鳥			240	
中川裕	オキナ			265	
中川裕	オコジョ			270	
志賀雪湖	鴛鴦			272～ 273	
中川裕	オハチスイエ			285	
志賀雪湖	おひょう			286	
児島恭子	オッタテッケ			286	
志賀雪湖	御守り			288	
中川裕	オヤウ			290	
中川裕	オヤシ			291	
児島恭子	カイカイウント			298～ 299	
児島恭子	鯀(かじか)			314	
児島恭子	梶木鱈(かじきまぐろ)			314	
志賀雪湖	柏			318	
児島恭子	風の神			326～ 327	
中川裕	語らいの神			330	
志賀雪湖	郭公(かっこう)			330～ 331	
志賀雪湖	桂			333	
志賀雪湖	鎌			343	
中川裕	カムイ			356～ 357	
児島恭子	カムイエロキ			357	
中川裕	カムイノミ			357～ 358	
児島恭子	カムイミンクラ			358	
児島恭子	カムイモシ			358	
志賀雪湖	鷗			368	
志賀雪湖	鳥			371	
中川裕	獺(かわうそ)			374	
児島恭子	川蟹			374	
志賀雪湖	川鳥			375	
志賀雪湖	翡翠(かわせみ)			376	
児島恭子	川の神			378	
児島恭子	飢餓魔			396	
中川裕	キケウッバスイ			397	
志賀雪湖	雉鳩			399	
中川裕	狐			405～ 406	
中川裕	キムンアイヌ			411	
志賀雪湖	行者大蒜			417	
児島恭子	蝨(きりぎりす)			422	
中川裕	草人形(くさひとかた)			436	
児島恭子	鯨			439	
志賀雪湖	クッコカムイ			443	
中川裕	熊			449	
志賀雪湖	熊啄木鳥(くまげら)			450	
児島恭子	蜘蛛(くも)			461	
志賀雪湖	栗			463	
中川裕	クリムセ			464	
志賀雪湖	胡桃(くるみ)			464～ 465	
中川裕	ケウエホムス			471	
志賀雪湖	ケソラ			472	
中川裕	ケツウナラベ			474	
児島恭子	毛虫			475	
中川裕	小熊の守護神			507	
中川裕	コシンブ			514	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
中川裕	コタネチッチャ モレシチッチャ			516	
志賀雪湖	木の葉木菟(このはずく)			521	
志賀雪湖	小木菟(こみみずく)			526	
中川裕	コロボックル			541~ 532	
中川裕	サイモン			545	
中川裕	サッソモアイエブ			554	
児島恭子	鮭			556	
志賀雪湖	サパンベ			564	
児島恭子	鮫			566	
志賀雪湖	猿麻杵(さるおがせ)			567	
志賀雪湖	しうり			580	
志賀雪湖	下紐			597	
志賀雪湖	島島(しまふくろう)			609~ 610	
児島恭子	鯨			614	
中川裕	守護神			624~ 625	
児島恭子	狩猟神			628	
志賀雪湖	彌織桃蔓(しらくちずる)			650	
志賀雪湖	シラッキカムイ			651	
中川裕	人文神			678	
中川裕	神話			686	
志賀雪湖	雀			704	
児島恭子	ススランベツ			705	
中川裕	ストウイナウカムイ			706	
中川裕	聖伝			729	
志賀雪湖	鶴鶴(せきれい)			734	
志賀雪湖	セツバ			735	
中川裕	セニシテヘ			736	
中川裕	先祖供養			748~ 749	
中川裕	葬儀			756	
中川裕	祖先神			765	
志賀雪湖	タクサ			802	
志賀雪湖	岳樺(だけかんばん)			804	
児島恭子	蛸			809	
中川裕	狸			820	
中川裕	魂入れ			824	
志賀雪湖	榎の木(たらのき)			829	
志賀雪湖	丹頂鶴			833	
中川裕	チセオマンテ			836	
中川裕	チセノミ			836	
中川裕	チチケウ			836	
中川裕	チッサンケ			838	
児島恭子	チャンコツ			839	
児島恭子	蝶鮫(ちょうざめ)			842	
志賀雪湖	筒鳥			854	
志賀雪湖	蔓梅擬(つるうめもどき)			859	
児島恭子	天の神			880	
志賀雪湖	トッキ			888	
中川裕	トゥス			900	
中川裕	トゥムンチカムイ			904	
中川裕	戸口の神			910	
児島恭子	天の神			880	
志賀雪湖	トッキ			888	
中川裕	トゥス			900	
中川裕	トゥムンチカムイ			904	
中川裕	戸口の神			910	
児島恭子	海鳥(とど)			916	
志賀雪湖	鶉(とび)			917	
志賀雪湖	鳥兜(とりかぶと)			925	
志賀雪湖	泥の木			926	
志賀雪湖	長葉柳(ながばやなぎ)			933	
志賀雪湖	七籠(ななかまど)			940	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
中川裕	ニウエンアッガシ			950	
児島恭子	鯨			957	
児島恭子	日月神			958	
志賀雪湖	接骨木(にわとこ)			976～ 977	
中川裕	ヌサ			979～ 980	
志賀雪湖	這杜松(はいねず)			995	
中川裕	パウチ			995～ 996	
志賀雪湖	はしどい			1007	
中川裕	バセオンカミ			1009	
児島恭子	蜂			1011	
大江満	バチェラー			1011	
児島恭子	ハヨピラ			1059	
児島恭子	針千本			1060	
中川裕	ハルエカムイノミ			1061	
志賀雪湖	春楡			1061～ 1062	
志賀雪湖	榛の木(はんのき)			1063～ 1064	
志賀雪湖	稗			1064	
中川裕	火の神			1987～ 1088	
中川裕	舟			1135	
中川裕	フリ			1136	
中川裕	幣柵の神(へいさくのかみ)			1138	
中川裕	ベカンベ祭り			1139	
中川裕	蛇			1141	
中川裕	便所の神			1143	
志賀雪湖	ホイスサバ			1143	
中川裕	ポイヤウンベ			1143～ 1144	
児島恭子	疱瘡神			1149	
児島恭子	ポッナモシリ			1155	
児島恭子	蛍			1161	
中川裕	ポニタッ			1164	
志賀雪湖	墓標			1165	
児島恭子	ポロシリ			1167	
志賀雪湖	ポレイカヨッ			1167	
志賀雪湖	ホニイコロ			1167	
志賀雪湖	水櫃(みずなら)			1205	
児島恭子	水の神			1205	
志賀雪湖	鷓鴣(みそさざい)			1207	
志賀雪湖	深山懸巢(みやまかけす)			1226	
中川裕	ミントウチ			1236	
中川裕	村を防護する神			1243	
中川裕	モンシシナイサム			1250	
志賀雪湖	山翡翠(やませみ)			1289	
中川裕	ユカッ			1302	
志賀雪湖	夜鷹			1317	
志賀雪湖	蓬			1321	
児島恭子	雷神			1323	
中川裕	ラマッタカムイ			1325	
中川裕	霊送り			1337～ 1338	
中川裕	炉			1343	
志賀雪湖	鷲			1359	
大山元	知ってびっくり! 古代日本史と縄文語の謎に迫る	きこ書房	B6	244	
稲田浩二、稲田和子(編)	日本語ハンドブック	三省堂	A5	270	
鶴野祐介	アイヌ民族の口承文芸			241	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2001年8月】</b>					
草野茂	アエラムック72 日本神話がわかる アイヌの神話 : 生活に役立つ神、失敗してアイヌに叱られる神	朝日新聞社	B5	176 38～44	
合田一道、友成純一 合田一道	北の幽霊、南の怨霊 アイヌの怨霊、赤土の呪い	同朋舎(発行)、角川書店(発売)	A5	204 8～9	
反差別国際運動日本委員会(編)	国連から見た日本の人種差別 人種差別撤廃委員会第1.2回日本政府報告書 審査の全記録とNGOの取り組み 人種差別撤廃条約第1・2回日本政府報告書	反差別国際運動日本委員会	A5	318 22～79	
間瀬鉄一	古代語で探る古代と地名 情報はテレビ・新聞から、たプロブについて 本州にアイヌはいたか 和人の姓となったアイヌ語地名 養老伝説 蛭子と蝦について 淡島について クッ・クジラ地名 クシュ・コシ地名 とみつかについて 事麻知神社について 象地名について イカリ地名について 白須賀について	間瀬鉄一(発行)、静岡新聞社(発売)	A5	309 109～120 152～164 165～178 142～151 152～164 165～178 169～178 179～192 193～204 205～214 215～241 269～277 278～288	
財団法人北海道文学館(編) 青柳文吉	一〇〇年目の小熊秀雄 ～20世紀詩のヴァンギャルド～ アイヌ口承文芸と小熊秀雄	北海道立文学館	B5	75 43～46	
十勝毎日新聞社	十勝20世紀 アイヌ民族(伏根弘三、中村要吉、吉田兼太郎)	十勝毎日新聞社	A5	347 335	
<b>【2001年9月】</b>					
斎藤孝	声に出して読みたい日本語 島の神の自ら語った語『銀の滴降る降るまわりに』アイヌ神話集	草思社	B6	189～191	
留寿都村史編纂委員会(編) 伊藤せいら 関秀志 松本繁	留寿都村百年史 留寿都村アイヌ語地名 江戸後期～明治初期の留寿都地方 三ノ原のあかだも	留寿都村	B5	932 28～39 54～82 829～830	
梶谷まり(文)、武藤昭(撮影)	週刊日本百名山 35号 後方羊蹄山 幌尻岳 平取町二風谷アイヌ民族博物館	朝日新聞社	A4変型	34 32	
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会編)	帯広叢書第46巻 吉田巖資料集 12	帯広市教育委員会	B5	281	1 日記3-11(昭和10年4月～6月) 記述 吉田 巖/2 調べ書き1-2 昭和7年度町税特別税等・昭和会等資料(昭和7年～8年) 記述 吉田 巖/3 抜き書き1-7 万国人名辞書-3 記述 吉田 巖/4 出現語彙一覧
四宅豊次郎	『アイヌ・オマン(aynuがゆく)』 =文化使節団沖縄へ=(上)	私家版	A5	312	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
佐藤信行 佐藤有紹	「ロシア人との共生による望ましい地域社会の形成に向けて」－根釧地域と北方四島との一体的な地域政策のあり方についての共同研究－ 研究報告書 共生型地域社会と北方四島～地方分権の視点からする北方四島と根釧地方の一体的発展に関する若干の法的考察 千島開発論の系譜～共生概念形成前史としての千島開発論	釧路公立大学地域経済研究センター	A4	180 39～58 59～73	
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	アイヌ文化紹介小冊子 ポン カンピソシ 7 芸能	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A5	32	
<b>【2001年10月】</b>					
高田宏	北国名作探訪(下) 民族の誇りと悲しみ : 知里幸恵『アイヌ神話集』	日本放送出版協会	A5	159 117～128	
長沢武	植物民俗 アイヌの民間薬と民間療法 アイヌ社会に見る自然崇拜思想	法政大学出版局	B6	346 191～19 261～262	
野澤信義(述)	蝸牛のあゆみ 北海道出版企画センター創業30年を振り返って 知里先生の『地名アイヌ語小辞典』他 北海道ウタリ協会の『アイヌ史』	北海道出版企画センター	B6	142 46～47 61	
林英夫、青木美智男(編集代表) 菊池勇夫	事典 しらべる江戸時代 内と外、そして境界	柏書房	B5	859 573～596	
山内昌之	歴史の想像力 トルコで考えたアイヌ民族問題	岩波書店	A6	371 296～303	
梅原猛	梅原猛著作集 13 現代を生きる 縄文時代から続くあの世観とは何か 魂は鳥の形をしている 火の神が死者をあの世へ連れていく 退治埋葬に込められた願い	小学館	B6	557 339～341 362～364 368～370 408～412	
天理参考館	天理参考館 常設展示目録 北の大地がはぐくむ手技 -アイヌ-	天理参考館	A4	103 10～11	
オホーツク歴史の会(編) 戸部千春	オホーツクの戦争史 史実を訪ねて オホーツクの歴史の歩み 一、明治以前の北海道(アイヌモシリと中世、近世蝦夷地)	網走四地区学校生活協同組合	A4	137 6～7	
川村正一(編)	アイヌ語の魚名考	古書文泉堂	B6	29	
<b>【2001年11月】</b>					
日本民俗建築学会(編) 小林法道	図説 民俗建築大事典 アイヌの民家	柏書房	B5	459 286～289	
部落解放基本法制定要求国民運動中央実行委員会(編)	全国のあいつぐ差別事件 2001年版 浄土真宗本願寺派北海道教区差別ハガキ事件	部落解放基本法制定要求国民運動中央実行委員会(発行)、解放出版社(発売)	A5	180 108～109	
川躰定明	虻田・有珠のアイヌ物語	私家版	B5	199	
円谷真護	日本史101人のことば 佐藤玄六郎と民族差別	柘植書房新社	B6	219 52～53	
向井由紀子、橋本慶子	箸 アイヌの箸(バスイ)	法政大学出版局	B6	338 225～232	
<b>【2001年12月】</b>					
長岡巖	蛙鳴蟬噪 懐旧七十有余年	旭図書館センター	A5	521	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	吉良平治郎のこと			249～ 254	
桂島宣弘	岩波講座 近代日本の文化史 2 コスモロジーの「近世」 華夷思想の解体と自我認識の変容－ 十八世紀末期－十九世紀初頭を中心 に	岩波書店	A5	320  235～ 272	
久保義三、米田俊彦、駒込武、児美川孝一郎（編著） 竹ヶ原幸朗	現代教育史事典  アイヌ教育	東京書籍	A5	611  394～ 397	
佐藤愛子、江原啓之	あの世の話 私の北海道の超体験	文芸春秋	B7	172  144～ 149	
佐藤律子	風をとどけて 知里真志保の碑と墓	私家版	B6	549  287～ 289	
梅原猛	梅原猛著作集 17 人類哲学の創造 哲学と私 歴史から学ぶこと  日本の神道  縄文時代のあの世観(1)  縄文時代のあの世観(2)	小学館	B6	574  23～47 216～ 223  258～ 289  384～ 403  404～ 418	
法務省・文部科学省(編)	人権教育・啓発に関する基本計画（中間 取りまとめ） アイヌの人々	法務省、文部科学省	A4	33  21～22	
篠島栄紀	古代日本と北方社会 松前かわら版	吉川弘文館 松前町史に親しむ会	A5 A4	363 175	
道民活動文化振興センター (編)	かでの2・7 10年のあゆみ  ウタリ総合センター ウタリ総合センター	道民活動文化振興センター	A4	68  15 20～21	
	アイヌ口承文芸伝承者(語り部)育成事業 実施報告書 平成12年度	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	92	
	第14回アイヌ民族文化祭	北海道ウタリ協会	A5	22	
松村博文 松村博文	日本人はるかな旅展 アイヌ・本土人・琉球人へ 日本人の成り立ち : これまでの 論争	NHK、NHKプロモーション	A4	117  95～97 97	
吉川新一	『夷酋列像』をめぐって	私家版	A4	117	発行年月日記載なし。「後記」の 日付は2001年6月25日。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2002年1月】</b>					
	アイヌ口承文芸伝承者(語り部)育成事業 実施報告書 平成13年度	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	38	
立花隆+東京大学教養学部 立花隆ゼミ	二十歳のころ I 1937～1958 立花ゼ ミ『調べて書く』共同制作 萱野茂にさく	新潮社	A6	633 146～ 152	
吉川誠次 大堀恭良 吉川誠次	日本・食の歴史地図 アイヌ チボシトロ[北海道] アイヌの文化とチボシトロ	日本放送出版協会	新書	221 191～ 195 196～ 198	
	カナダ先住民族と交流の旅報告書	日本キリスト教団北海道 教区道北クリスチャンセ ンター	B5	76	
文部科学省	文部科学白書(平成13年) アイヌ文化の振興	財務省印刷局	A4	469 391	
上田正昭(編) 計良光範	ハンドブック 国際化のなかの人権問題 第3版 アイヌ	明石書店	A5	366 93～ 111	
堀内興一	北海道の寒地農作に挑んだ人 一北広島 市島松の中山久蔵一 久蔵とコロホックル	北海道科学文化協会	B6	102 2～18	
石井進	日本の中世1 中世のかたち 「日本国」境界のなびと 上之国館から見るエゾが島状況	中央公論新書	B6	326 23～49 84～ 130	
関場不二彦	明治後期産業発達史資料 第625巻 あ いぬ医事談・改置府県概説 あいぬ医事談	龍溪書舎	A5	246 1～227	
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2002 [1] あ～お	日外アソシエーツ	A4		掲載人名に、「秋田春蔵」「秋辺得 平」「秋辺福太郎」「荒井和子」 「荒井源次郎」「荒井シャヌレ」 「新谷幸吉」「居壁リセ子」「石井 由治」「邊星北斗」「上西晴治」 「宇梶静江」「浦川タレ」「浦川治 蔵」「小川佐助」「小川早苗」「小 川隆吉」「小田イト」「織田ステノ」 などあり。
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2002 [2] か～と	日外アソシエーツ	A4		掲載人名に、「貝沢耕一」「貝沢正 」「海馬沢博」「金谷フサ」「萱野茂」 「萱野志朗」「萱野れい子」「川上 勇治」「川村カ子ト」「川村シンリ ツ・エオリバック・アイヌ」「金 成マツ」「北原きよ子」「熊野末太 郎」「計良智子」「計良光範」「コ ボアス」「酒井衛」「笹村二郎」 「佐藤タツエ」「沢井アキ」「沢井 春美」「白沢ナベ」「杉村キラブック」 「杉村京子」「砂沢クラ」「砂 沢ビッキ」「多原香里」「チカupp 美恵子」「知里高央」「知里ナミ」 「知里真志保」「知里むつみ」「知 里幸恵」「弟子豊治」「床ヌプリ」 などあり。
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2002 [3] な～わ	日外アソシエーツ	A4	779	掲載人名に、「中本ムツ子」「貫塩 喜蔵」「野村義一」「野本正博」 「野本リヨ」「ハウレット・ピーター」 「萩中美枝」「バチエラー八重子」 「平山裕人」「藤村久和」「ボン・ オクストン」「増田又喜」「間見谷 嘉昭」「三上マリ子」「宮島利光」 「三好丈夫」「村木美幸」「森竹竹 市」「森本信雄」「門別薫」「八重 九郎」「山川力」「山田秀三」「山 丸武雄」「山本多助」「結城庄司」 「由良勇」「吉根正治郎」「和氣シ クルンイ」「和田亮」などあり。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2002年2月】</b>					
石井進	日本の中世1 中世のかたち 「日本国」境界の人びと	中央公論新社	B6	326 23~49	
成田龍一、吉見俊哉(編) 川村湊	思想読本[5] 20世紀日本の思想 アイヌ	作品社	A5	205 162~ 167	
長谷川成一、村越潔、小口雅史、斎藤利夫、小岩信竹 小口雅史 小口雅史 小口雅史	青森県の歴史  古代蝦夷の世界 北の激動の時代 ー古代から中世へ 鎌倉・建武政権と「北の中世」 文永・元ノ反乱と津軽大乱 藩政の展開と北奥民衆の生活 安藤氏・南部氏・波岡御所とアイヌ民族 北の世界の動乱と変貌  北奥のアイヌの人々  下北半島のアイヌ語地名	山川出版社	B6	366  29~60 61~91 108~ 110  118~ 133 133~ 152  216~ 218, 220~ 221 218~ 219	
福永法弘	北海道 2 1 2 俳句の旅 アイヌの子にアイヌの大地語の薫 鈴蘭やアイヌ聖地はダムの底 風死すや天を仰げるシャクシャイン 渦巻いて昇る火の粉やイオマンテ	北海道新聞社	B6	231  11 55 73 192	
高橋秀雄(総監修・著)	日本の楽器 日本の音 5 歴史 沖縄・アイヌ民族の音楽	小峰書店	A4	47  39~41	CD付き(「ウボボ」「ユカラ」平取町)
STVラジオ(編)	ほっかいどう百年物語 知里幸恵 吉良平治郎	中西出版	B6	343 213~ 222 223~ 231	
煎本孝(編著) ロレーナ・スタンダール ディ	東北アジア諸民族の文化動態 観光活動による少数民族の文化の保存と伝承 北海道白老の例	北海道大学図書刊行会	A5	576 215~ 251	
<b>【2002年3月】</b>					
水田宗子、北田幸恵(編) チカupp美恵子	山姥たちの物語 ー女性の原型と語りなおし アイヌ女性の誇りつむぐ ー創世神話と精神世界	学芸書林	B6	299  99~ 119	
谷川彰英	地名の魅力 富良野(北海道)「北の国から」の舞台は	白水社	B6	227 140~ 143	
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会編)	帯広叢書第47巻 吉田巖資料集 13	帯広市教育委員会	B5	278	1 アイヌ調査書3-2[宗教、道徳] / 2 日記 3-12[1935年7-9月] / 3 抜き書き1-8 万国人名辞書4
花崎卓平	<共生>への触発 脱植民地・多文化・倫理をめぐって 現代日本における多文化共生 アイヌ民族問題を中心に	みすず書房	B6	285  125~ 161	
部落解放・人権研究所(編) 竹内渉	日本における差別と人権 第4版 アイヌ民族	部落解放・人権研究所(発行)、解放出版社(発表)	A5	269  127~ 146	
寺谷弘壬、宋連王、夏目博明、九頭見一士 寺谷弘壬	辺境のマイノリティー ー少数グループの生き方 少数民族と精霊文化 ーアイヌ、サーミ、イヌイットの場合ー	英宝社	A5	234  3~30	
	岩波講座 近代日本の文化史5 編制されるナショナリズム	岩波書店	A5	319	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
坪井秀人	表像としての植民地			271～309	
神宮輝夫、野上暁(監) 上原里佳	暗くなるまで夢中で読んで [魔人の海]前川康夫 波打ち寄せられた、ひとつの問い	原書房		230 210～213	
北海道北方民族博物館(編) 大島稔 中村和之 ヤンプネン、ユハ A. 津田命子 谷本一之	北方諸民族文化のなかのアイヌ文化ー文化交流の諸相をめぐってー 儀礼と新興におけるアイヌとカムチャッカ先住民の関係 アイヌの沈黙交易について アイヌ民族文化の編年について アイヌ衣服の文様構成と製作、発達、展開を探るー特に伊達、虻田、有珠地方の資料をみるー トコリ(アイヌ)とナルスコウ(ハンティ)ー北の五弦琴の形成ー	北方文化振興協会	A4	36  5  13～18 19～22 25～32  33～36	
余市町教育委員会(編)	大川遺跡発掘調査報告書(2000, 2001年度) 大川橋線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	余市町教育委員会	A4	280	
郷土読本編集委員会(編)	あかん アイヌ民族のくらし	阿寒町教育委員会	B5	136 103～104	
中見立夫(編) 荻原真子	アジア理解講座1 境界を越えて : 東アジアの周辺から 東北アジアと東アジアの境界 : サント・ペテルブルグのサハリンアイヌ資料に寄せて	山川出版社	B6	215  34～68	
天羽利夫	2001年の自画像 アイヌ文化を訪ねて	吞鯨■	B6	126 22～23	
田中實・前田薫徳(編) 田中實 田中實	石狩川漁業協同組合史 江戸時代のいしかりの漁業 石狩アイヌと樺太アイヌの鮭漁場	石狩漁業協同組合	B5	339 3～42 72～73	
別海町郷土資料館(編)	加賀家文書 現代語訳 第二巻	別海町郷土資料館	A5	184	
北海道開拓記念館30周年記念誌編集委員会(編)	北海道開拓記念館30周年記念誌 わたし・あなた・みんなの人権ー共生社会の実現をめざしてー アイヌの人々	北海道開拓記念館 京都府教育委員会	A4 A4	302 76 64	I 設立までの経過 / II 開館 / III 館活動30年 / IV 資料
アイヌ文化研究会(編)	民族政策の先進地事例から : アイヌ文化の総合的振興の調査研究	アイヌ文化研究会(音更町)	A4	120	
法務省・文部科学省(編)	人権教育・啓発に関する基本計画 アイヌの人々	法務省、文部科学省	A4	43 30～31	
北海道総合企画部政策室 政策推進評価課(編)	確かな未来へー。21世紀の私たちのふるさと 第3次北海道長期総合計画第2回推進状況報告書 アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会の実現	北海道	A4	320  43～44	
<b>【2002年4月】</b>					
高澤光雄	三角山文化通信 合本 三角山の名称の変遷	山の散歩道実行委員会	A4	■ [1]	
平和・国際教育研究会(編)	北海道研修旅行ハンドブックー学び・調べ・考えよう 「アイヌモシリ」を大切に 先住民アイヌと和人 アイヌの土地取り上げと「北海道旧土人保護法」 アイヌの抵抗 知里幸恵と『アイヌ神謡集』 先住民の権利ー国際法の発展をふまえて 白老・二風谷でアイヌについて学ぼう 先住民・アイヌについて学ぼう	平和文化	A5	64  5 8 10～11 11～12 43 44 25～26 37～42	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
野村純一、藤島秀隆、三浦佑之、高木史人(編)   三浦佑之	日本説話小辞典   アイヌの説話	大修館書店	B6	339  1~2	
田中伸尚	ドキュメント 憲法を獲得する人びと 揺れる心で「アイヌ宣言」 多原良子さん	岩波書店	B6	284 113~ 133	
マヌエラ・トメイ、リー・スウェプトン(著)、苑原俊明、青西靖夫、狐崎知己(訳)   苑原俊明	先住民族の権利 - IL0第169条約の手引き   IL0、先住民族およびアイヌ民族	論創社	A5	105  91~ 102	
<b>【2002年5月】</b>					
好井裕明、山田富秋(編)   東村岳史	実践のフィールドワーク 現代における「アイヌ文化」表象 - 「文化振興」と「共生」の陰	せりか書房	A5	257 228~ 250	
田中 琢・佐原 真(代表)   藤本強   藤本強   藤本強    春成秀爾    藤本強    佐川正敏	日本考古学事典 アイヌ 蝦夷 クマ送り<熊送り>  石器時代人論争  チャシ  日本人	三省堂	A5	982 1~2 77~78 239~ 240 495~ 497 568~ 569 676~ 683	
赤坂憲雄	書評はまったくむずかしい 『アイヌ民族 近代の記録』小川正人・山田伸一著(草風館) 『蝦夷の古代史』工藤雅樹(平凡社新書) 柳田国男とアイヌ語地名  『日本の深層 縄文・蝦夷文化を探る』梅原猛著(集英社文庫) 『日本冒険』梅原猛著作集 7・8(小学館)	五柳書院	B6	342 46~47  128~ 129 278~ 282 211~ 219 220~ 226	
木部与巴仁	伊福部昭 音楽家の誕生 アイヌ音楽	ボイジャー	B6	374 57~68	
高澤光雄(編)   水野勉    渡辺隆(編著)、高澤光雄(監)   松田義章	北の山の夜明け ジョン・ミルンの千島列島および北海道旅行 蝦夷地名辞書稿 - 松浦武四郎文献を中心に - 神保小虎にみる明治期における北海道の地質調査とアイヌ語地名	日本山書の会	A5	326 3~30 (縦組) 1~166 (横組) 167~ 203 (横組)	
星川京児	知っているようで知らない民族音楽おもしろ雑学事典 アイヌの音楽を聴こう	ヤマハミュージックメディア	B6	260  101~ 103	
上村英明	解放新聞 縮刷版 第34巻 2001(2001号-2050号) あいつぐレイシズム発言に迫られる第4条C項の履行 アイヌ問題の現場学ぶ 民俗舞踊など文化にもふれ 無念に思ひはせ アイヌの供養祭に参加	解放新聞社	A4	493  270~ 271 407 415	
北海道開発庁(編)	北海道の開発 2002 アイヌ関連施策	北海道開発協会	A4	86 64~65	
<b>【2002年6月】</b>					
黒田弘子・長野ひろ子(編)   児島恭子	エスニシティ・ジェンダーからみる日本の歴史   エスニシティの針 - 十八・十九世紀のアイヌ民族 -	吉川弘文館	B6	353  68~88	
西秋良宏、宇田川洋(編)	北の異界 古代オホーツクと氷民文化	東京大学総合研究博物館(発行)、東京大学出版会(発行)	B5	189	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
宇田川洋 大貫静夫 宇田川洋 武田修	オホーツク「クマ祀り」の世界 スグ ユク アトフミ 北海道常呂町 と東京大学文学部考古学研究室 ところの民族考古 トンコリと常呂 トコロにひろがる先住民の集落	東京大学総合研究博物館 (発行)、東京大学出版会 (発行)	B5	106～ 120 134～ 142 143～ 147 148～ 158	
坂坂耀子(編) 福居芳磨 谷元旦 遠山景晋 阿部樸斎	近世紀行文集 第一巻 蝦夷篇 蝦夷の嶋踏 蝦夷蓋開日記 未曾有後記 蝦夷行程記	葦書房	B6	526	
大山元	古代資料に見る縄文伝承	きこ書房	B6	244	
大貫隆、名取四郎、宮本久 雄、百瀬文晃(編) 鈴江英一	岩波キリスト教辞典 アイヌ	岩波書店	A5	1430 5	
スチュアート・ヘンリ	民族幻想論 あいまいな民族 つくられ た民族 日本の民族観	解放出版社	A5	202 54～83	
花崎翠平	くじやなかしゃばの哲学 ジェンダー・ エスニシティ・エコロジー 現代日本におけるエスニシティ、ジェ ンダー、アイデンティティをめぐる 状況と課題 アイヌモシリとヤポネシア 現代日 本におけるアイヌと沖縄神のアイデ ンティティ 『辺境から眺める アイヌが経験す る近代』(テッサ・モーリス＝スズキ)	インパクト出版会	B6	190 5～37 99～ 123 181～ 184	初出は『図書新聞』2000年9月23 日号。
谷口研語	歴史が語るエコライフ 3風土編 狩猟・漁撈・採集の生活にマッチし ていたアイヌのコタンとチセ	省エネルギーセンター	B6	195 59～60	
日外アソシエーツ(編)	文化人類学の本 全情報 1994～2001 北海道地方 北海道地方・アイヌ 北海道地方・アイヌ	日外アソシエーツ	A5	687 111～ 118 591 641～ 645	
赤坂憲雄	一国民俗学を越えて 山人とアイヌ文化	吾柳書院	B6	278 97～ 130	
井上輝子、上野千鶴子、江 原由美子、大沢真理、加納 実紀代(編) 児島恭子 児島恭子 児島恭子	岩波 女性学事典 アイヌ女性 知里幸恵 パチラー八重子	岩波書店	B6	549 7～8 341～ 342 378～ 379	
山田一孝、藪中剛司、斉藤 大朋、山根千穂子(編)	静内町歴史小事典 アイヌ口承文芸 アイヌ古式舞踊 シャクシャイン チャン	静内町郷土史研究会	B6変 型	77 4 5 26～27 30～31	
<b>【2002年7月】</b>					
久慈力	大和朝廷を震撼させた蝦夷・アテルイの 戦い エミシとは何か	批判社	B6	221	
嶋田忠(写真) 菊池悦子 柴田哲孝(文)、渡辺ト モコ(イラスト)	週刊日本の天然記念物 動物編 5号 エゾシマフクロウ 月光を浴びて、シマフクロウは神と 同化する。 神になったフクロウ 髪獣奇譚 第三回 コタンコロ・カ ムイの声	朝日新聞社	A4変 型	35 4～9 10～11 26～27	
柳田国男	柳田国男全集 第二十九巻	筑摩書房	A5	618	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	能登西雄談話聞書	筑摩書房	A5		
宮岡伯人、崎山理(編)、渡辺己、笠間史子(監訳) 上村幸雄	消滅の危機に瀕した世界の言語 ーことばと文化の多様性を守るために 日本における危機言語と関連する諸問題	明石書店	B6	423 318～337	
宮本百合子	宮本百合子全集 第20巻 アイヌに就て シャムシャインー揆のこと 無題(二) 「遙かなる彼方」創作メモ 〔創作〕遙かなる彼方	新日本出版社	A5	773 37～46 47～49 49～56 56～59 59～199	
小森哲郎	Q&A 同和問題の基礎知識 第4版 アイヌ民族の状況は?	明石書店	B6	244 210～211	
<b>【2002年8月】</b>					
轡輪眞山 箕島榮紀	日本人と日本語の起源③ アエラムック 古代史がわかる 蝦夷とアイヌ	アダプト技術研究所 朝日新聞社	B6 B5	196 176 139～141	
入間田宣夫、豊見山和行 入間田宣夫	日本の中世5 北の平泉、南の琉球 北方海域の覇権をめざして	中央公論新社	B6	334 129～162	
女性史辞典編集委員会(編) 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子 児島恭子	日本女性史事典 コンパクト版 アイヌ神話集 アイヌの着物 アイヌの刺繍 アベマチカムイ 入墨(アイヌ) ウツノロクツ オニピシの姉 金成マツ 砂沢クラ タナサカシの娘 チキリアシカイ チクアシの母 知里幸恵 パチエラー八重子 フチイキリ メノコ モウル ユウカラ	新人物往来社	B6	9 10 10 14 27 33 50 69 123 140 144 144 146 174 192 214 215 226	
日本民話の会、外国民話研究会(編訳) 志賀雪湖	世界の運命と予言の民話 四つ屋根の家に住んだ若夫婦の話 アイヌ(日本)	三弥井書店	B6	297 201～212	
I・L・バード(著)、楠家重敏、橋本かほる、宮崎路子(訳) 楠家重敏	バード 日本紀行 新興国叢書第Ⅲ輯 3 蝦夷に関する覚書 バード『日本紀行』解説	雄松堂出版	A5	402 91～102 333～376	
朝松健	旋風(レラ=シウ)伝 〔創作〕	朝日ソノラマ	B6	647	
日本児童文学協会(編)	作家が語る わたしの児童文学15人 『宿題ひきうけ会社』の吉田足日さん(談)	につけん教育出版社(発行)、星雲社(発売)	A5	246 215～230	
菊池勇夫	岩波講座 天皇と王権を考える 第七巻 ジェンダーと差別 固有文化と馴到する権力 ーアイヌ	岩波書店	A5	319 171～193	
STVラジオ(編)	続・ほっかいどう百年物語 砂澤ビッキ	中西出版	B6	406 87～96	
佐藤信(編) 酒寄雅志	日本の時代史 4 律令と古代国家 古代日本と蝦夷・隼人、東アジア諸国	吉川弘文館	A5	348 270～307	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
本間祐 知里幸恵(訳)	超短編アンソロジー 小オキキリムイが自らうたった謡 「クツニサ クトクトン」	筑摩書房	A6	238 94～96	
北海道開拓記念館(編) 菊池徹夫 天野哲也	第55回特別展 洞窟壁画を残した続縄文 の人びと 洞窟遺跡に見る続縄文以降の語文化 ： アイヌ文化形成論の視点から 北大キャンパスにみる自然と人間の歴史 札幌の発展とアイヌ民族	北海道開拓記念館 北海道大学総合博物館	A4 A4	66 16～17 78～84 78～84	
<b>【2002年9月】</b>					
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会編)	帯広叢書第48巻 吉田巖資料集 14	帯広市教育委員会	B5	314	1 日記3-13(昭和10年10月～11年3月) / 2 調べ書き2 昭和10年全日本方面委員大会・参加出納簿他 / 3 調べ書き3 昭和10年全日本方面委員大会・旅中メモ他
山田幸一	札幌地裁の事件簿(付録 裁判所アラカルト) 二風谷ダム訴訟事件(アイヌ民族の先住性) アイヌ民族共有財産訴訟	私家版	A5	276 87～90 131～133	
紙屋敦之、木村直哉(編) 鶴田啓 海保嶺夫 菊池勇夫	展望日本歴史 14 海禁と鎖国 近世日本の四つの「口」 『北蝦夷地御引渡目録』について 嘉永六年(一八五三)の山丹貿易 外庄と「蝦夷地」支配	東京堂出版	A5	464 138～152 172～187	
	第3回カナダの先住民族と交流する旅報告書	とかちエテケカンパの会	A4	63	
農山漁村文化協会(編)	江戸時代にもみる 日本型環境保全の源流 すべての生物と共に生きるアイヌの暮らし	農山漁村文化協会	B6	282 170～176	
	IWORの創造的再生と発展にむけた提案 ～アイヌ文化の里 二風谷を中心とした 沙流川流域の伝統的生活空間整備構想	アイヌ民族文化公園構想 平取町推進委員会	A4	36	
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	アイヌ文化紹介小冊子 ポン カンピソ ン 8 民具	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A5	32	
<b>【2002年10月】</b>					
柴田作治郎	迷い出た羊Ⅲ 楯円の展開 再び、「単一民族」発言	れんが書房新社	B6	230	初出は『望羊台週報』No. 721 (2001年7月22日)。
赤坂憲雄、中村生雄、原田信男、三浦佑之(編) 埴原恒彦 工藤雅樹	いくつもの日本 I 日本を問いなおす 日本列島の人類史 蝦夷とアイヌ	岩波書店	B6	305 13～61 125～154	
ましこ ひでのり	日本人という自家像 イデオロギーとしての「日本」再考 日本人構築のための学術的研究 — 戦後日本のオリエンタリスト点描	三元社	A5	196 63～120	
合田道人	歌になった「につぼん昔話・伝説」の謎 マリモ伝説(歌/毬藻の唄)	幻冬舎	B6	269 229～252	
田中つとむ	地名の読み方に強くなる本 アイヌ語の当て字音訓地名	データハウス	B6	220 74～77	
谷代久恵	真駒内物語 アイヌ民族の時代が続いていた	北海道新聞社	B6	215 34～37	
岡村直樹(監)	川の名前で読み解く日本史 アイヌ語地名に秘められた川の由来	青春出版社	新書判	189 153～189	
関谷敏孝(作)	やまとゆきはら 白瀬南極探検隊	福音館書店	B5変型	71	
佐藤久夫(編) 佐藤久夫 佐藤久夫	枝幸今昔三〇話 第一集 地名「枝幸」の由来 枝幸から米国に渡ったアイヌコレクション	枝幸郷土談話会	A5	240 7～15 67～71	
新川寛	梨の花Ⅱ — 評論と随筆 — 中原清 — 評論 — 小説『未だ王化に染はず』を中心に —	新川寛	A5	145 113～128	
高田宏 高田宏	北国のこころ 民族の誇りと悲しみ : 知里幸恵 『アイヌ神話集』	日本放送出版協会	B6	241 87～95	初出は『北国名作探訪(上)』(日本放送出版協会、2001年10月)
佐藤愛子	私の遺言	新潮社	B6	267	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	心霊世界の扉が開く 宿命を負わされし者	新潮社	B6	29～78 79～ 171	
齊藤博 齊藤博、花崎早平	齊藤博史学研究集成 I わが精神の歩み ＜往復書簡＞地域の精神と歴史の再生をめぐって	藤原書店	A5	623 112～ 133	
<b>【2002年11月】</b>					
工藤雅樹	古代蝦夷の英雄時代	新日本出版社	新書判	206	
小林廣(著)、小林定典(編)	いなりの坂 朝里郷土史 神威古潭の巻 朝里村とアイヌ 明治以前の「銭函」とその地名の起源	小樽・朝里のまちづくりの会	A5	215  111～ 114 115～ 124	
原田詠志斗	アイヌの治造 ふたりの男が出会わなければ、生まれなかった物語。	「アイヌの治造」刊行会	B6	287	
福井勝義、新谷尚紀 藤尾慎一郎 松崎水穂	人類にとって戦いとは 5 イデオロギーの文化装置 弥生文化と日鮮同祖論 境界の地・「和人地」の人びと 縄文時代の植物採集活動 ―野生根茎類食料化の民俗考古学的研究― その他根茎類食料化に関する民俗調査	東洋書林  淡水社	A5  B5	364  35～76 207～ 242 258 177～ 189	
萩原重夫	法と少数者の権利 アイヌ民族と沖縄人 「アイヌ民族ならびに関する法律(案)」(アイヌ新法)(1984年) 「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」(1997年)	明石書店	B6	178 103～ 123 169～ 172 168	
市川健夫	日本地図&地理をもっと楽しむ本 登別、女満別……北海道の地名に「別」が多いのはなぜ? 東北地方に残る「蝦夷」と「倭人」の言語文化の境界線とは?	三笠書房	B6	152 153	
岩崎奈緒子	岩波講座 近代日本の文化史 月報8 同化政策とアイヌ民族	岩波書店	A5	8 6～8	
	明治後期産業発達史資料 第643巻 開拓指鍼 北海道通覧(下) 旧土人	龍溪書舎	A5		
	明治後期産業発達史資料 第646巻 再版 北海道蝦夷語地名解(上)	龍溪書舎	A5	287	
	明治後期産業発達史資料 第647巻 再版 北海道蝦夷語地名解(下)	龍溪書舎	A5		
	明治後期産業発達史資料 第649巻 北海道植民状況報文(日高国・北見国) 北海道植民状況報文 日高国 北海道植民状況報文 北見国	龍溪書舎	A5		
	明治後期産業発達史資料 第650巻 北海道植民状況報文(釧路国・十勝国) 北海道植民状況報文 十勝国 北海道植民状況報文 釧路国	龍溪書舎	A5		
<b>【2002年12月】</b>					
山田幸一郎	私の書齋 アイヌと植物	一幸書房(白老町)	B6	295 113～ 114	
宮本常一	イザベラ・バードの『日本奥地紀行』を読む 私はシーボルト氏に、これからもてなしを受けるアイヌ人に対して親切に優しくすることがいかに大切かを伊藤に日本語で話してほしい、と頼んだ いつか遠い昔において彼らは偉大な国民であったという考えにしがみついている。彼らには、互に殺し合う激しい争いの伝統がない	平凡社	新書	207～ 234  235～ 264	
田中彰	北海道と明治維新 一辺境からの視座 幕末維新とアイヌ民族	北海道大学図書刊行会	B6	249 29	
東京国立博物館	東京国立博物館ガイド[本館編]改訂版 一歩近づいて見る日本の美術 アイヌ・琉球関係資料 独自の二つの文化にふれる	東京美術	B5	103  88～89	
佐江衆一 山田孝子	北海道人 松浦武四郎(創作) 解説	講談社	文庫	369 361～ 369	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2003年1月】</b>					
梅原猛 梅原猛	梅原猛の授業 道徳 アイヌ思想の根底にある共生と循環	朝日新聞社	B6	262 124～ 130	
北海道ウタリ協会札幌支部 (編)	アイヌ文様刺繍作品集	北海道ウタリ協会札幌支部	B5	26	
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	平成14年度 アイヌ語ラジオ講座テキ スト Vol.2(Part2) [2003年1月～3月]	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	34	
関口明	古代東北の蝦夷と北海道	吉川弘文館	A5	280	第I部 蝦夷の反乱と移配の蝦夷 第1章 蝦夷の反乱とその歴史 的意義/第2章 8、9世紀にお ける移配蝦夷の支配/第3章 古 代東北における建部と城柵/第4 章 文室綿麻呂と蝦夷問題/第II部 渡嶋蝦夷と北海道 第1章 北 海道式古墳と渡嶋蝦夷/第2章 渡嶋蝦夷と毛皮交易/第3章 渡 嶋蝦夷と肅慎、渤海/第4章 古 代蝦夷の毒矢使用/第5章 日本 の古代社会とクマ皮/第III部 九 世紀の国分寺と郡制の再編 第1 章 九世紀における国分寺の展開 /第2章 律令郡制再編の意義
杉山四郎	武四郎碑に刻まれたアイヌ民族 : 民 族の復権をめざして	杉山四郎	B6	224	
大阪人権博物館(編) 長谷川由希 村木美幸 鹿田川見 川上竜也 芳野直子 酒井美直  平澤真奈美 平澤隆二 郷右近好古 郷右近富貴子 貝澤真紀 志富康裕 貝澤守 貝澤美雪 結城幸司 床州生 sakai sattek 秋辺日出男 青木悦子 四宅智子 川村 シンリッ・エオ リバック・アイヌ Oripak Esaman 太田ルク オツカイ 満 星野夏奈 星野美希 宇梶良子	アイヌ民族の青春群像  私の主張 自分探し 見果てぬ夢 アイヌに関連した仕事に就いて思うこと 私のもう一つの居場所 アイヌを意識することで私の世界は 広がった 私が思う事・出来る事 思う事/詩(うた) 現代 アイヌ として 私の事 アイヌとしての自分をみつけて 進化し続けるアイヌ模様 二風谷のアイヌ工芸と私 アイヌ文化に触れてきて ウコ・チャランケ(話し合い しよう) 俺はアイヌか ジャパニーズか 押啓 アイヌ解放同盟 結城庄司様 青年と呼ばれて!? チロツコタンを離れたわけ 生きるということ アイヌ民族の未来  ainusani kewtum yaosikep akpe hotuipa 一人のアイヌはこう考える アイヌ文化交流 アイヌ文化を学んで アイヌ文様刺繍に出会って	大阪人権博物館	B5	24 6 6 7 7 8 8  9 9 10 10 11 11 12 12 13 14 15 16 17 18～19 20  20～21 22～23 23 23 24	
津島佑子 津島佑子	快樂の本棚  もうひとつの世界 : 『ギルガメ シュ』からどこへ	中央公論新社(中公新書1 678)	新書	240  207～ 229	
北海道開拓記念館(編)	アイヌの生活文化 豆本35	北海道開拓記念館	A7	28	
<b>【2003年2月】</b>					
八木柳雀	オキクルミ物語	黎明社	B6	195	
文部科学省	文部科学白書(平成14年) アイヌ文化の振興	財務省印刷局	A4	399 305	
方法論懇話会(編) 池田敏宏	日本史の脱領域 -多様性へのアプロ ーチ  日本人起源論の背景 アイヌ・コロ ボックル論争	森語社	B6	274  240～ 241	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
池田敏宏	「日本人=単一民族論」という装置	森語社	B6	266～267	
西村三郎	毛皮と人間の歴史 エミシとの接触・交易を通じて ラッコ皮の輸出	紀伊國屋書店	A5	388 308～310 348～350	
	ウエネウサラ：チセ・チッ復元の記録	たきかわチセ・ア・アカラの会	A5	38	
平石清隆（編）	沙流地方のウウエケレ	平石清隆	A4		
[谷澤夫（編）]	アイヌを知る・考える	私家版	A4	179	
榎森進（編）	アイヌの歴史と文化 I	『アイヌの歴史と文化』刊行促進協議会（創童舎内）	B5	254	同日付創童舎発行の版もあり。巻末に収録論考の初出からの変更一覧あり。
富樫泰時	続縄文時代			4～13	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』497号(1998年1月)
熊谷公男	古代蝦夷の文化			14～23	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』498号(1998年2月)
児島恭子	アイヌ語地名の世界			24～33	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』499号(1998年3月)
中村和之	蝦夷錦と北方の交易			34～43	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』500号(1998年4月)
菊池俊彦	オホーツク文化			44～53	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』501号(1998年5月)
菊池俊彦	環オホーツク海の民族			54～63	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』502号(1998年6月)
田才雅彦	擦文文化			64～73	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』503号(1998年7月)
入間田宣夫	平泉藤原氏の北方交易			74～83	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』504号(1998年8月)
宇田川洋	アイヌ文化の形成			84～93	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』505号(1998年9月)
宇田川洋	チャン			94～103	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』506号(1998年10月)
越田賢一郎	北国の鉄鍋			104～113	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』507号(1998年11月)
遠藤巖	日の本將軍			114～123	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』508号(1998年12月)
小口雅史	中世の奥羽と北海道			124～133	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』509号(1999年1月)
大石直正	外が浜と夷島			134～143	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』510号(1999年2月)
海保嶺夫	日の本、唐子、渡党			144～153	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』511号(1999年3月)
榎森進	北奥のアイヌの人々			154～163	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』512号(1999年4月)
工藤雅樹	エミシ、エゾ、アイヌの呼称			164～173	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』513
菊池勇夫	松前藩とアイヌ			174～183	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』514号(1999年6月)
榎森進	シャクシャインの戦い			184～193	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』515号(1999年7月)
佐々木史郎	山丹交易			194～203	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』516号(1999年8月)
児島恭子	北方交易とラッコ			204～213	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』517号(1999年9月)
川上淳	クナシリ・メナシアイヌの戦い			214～223	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』518号(1999年10月)
田端宏	近世アイヌの生活			224～233	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』519号(1999年11月)
佐藤宏一	エトロフ島大変			234～243	初出は東北電力広報誌『白い国の詩』520号(1999年12月)
榎森進	『アイヌの歴史と文化』の刊行について			244～246	
遠別町史編纂委員会（編） 〔遠別町史編纂委員会〕 事務局	遠別町史 第2巻 遠別の地名	遠別町	B5	1113 40～57	
河野本道（編）	新奥尻町史 下巻 奥尻島の古地名	奥尻町役場	B5変型	523 141～148	
金倉義慧（編）	『小熊秀雄全集』未収録資料集：大正十二・三年の『旭川新聞』を中心に 愛奴伝説 ソレンブの精 解題	旭川市中央図書館	A5	175 130～133 134～143	初出は『旭川新聞』1924年4月14日、16日付。



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
森下雅代	近世日本における皮革製品とその流通	思文閣出版	A4	41～45	
藤田明良	「皮革手鑑」から見えるアジアと近世日本			46～47	
宇仁義和	オホーツク海沿岸の海獣狩猟：近代を中心に			48～52	
井上洋一	歴史的にみた日本におけるガラス玉の製作と流通			53～58	
田口尚	低湿地遺跡から出土したアイヌのガラス玉			59～66	
松崎水穂	上ノ国町・勝山館跡発掘のアイヌ資料			67～72	
中川裕	言語からみた北方の交易			73～77	
秋道智彌	ナマコ交易とチャイナ・コネクション			78～82	
佐々木史郎	樺太アイヌの大陸交易			84～89	
タチャナ・P・ローン	サハリンの先住民：過ぎ去りし文化の伝統芸術			90～94	
越田賢一郎	鉄鍋と山丹交易			95～102	
小杉康	アムール川下流域の漆器			103～106	
小林幸雄	アムール川下流域の漆器の調査			107～110	
大塚和義	ウリチの帯・クイウマリ：存在の確認とその意味			111～113	
大塚和義	アムール川流域先住民の魚皮衣			128～133	
菊池俊彦	環オホーツク海のセイウチの牙交易			134～138	
Ch. M. タクサミ	北太平洋を行く交易品			139～141	
手塚薫	ウルップ島のラッコ猟			144～149	
富沢嘉平(監修)	目で見る 渡島東沿岸の100年   弁開胤次郎の生い立ちと業績	郷土出版社	B4	146 15	
北海道大百二十五年史編集室(編)	北百二十五年史 論文・資料編	北海道大学	A5		
井上勝生	札幌農学校と植民学：佐藤昌介を中心に			111～162	
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市キウス遺跡(9)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第180集	北海道埋蔵文化財センター	A4	1238	2冊分(第1冊文614ページ、第2冊文624ページ)
北海道埋蔵文化財センター(編)	八雲町落部1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第181集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
北海道埋蔵文化財センター(編)	森町本内川右岸遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第182集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
鈴木隆一(作)	ちいさなくまのカムイのおはなし	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	28	
<b>【2003年3月】</b>					
高橋富雄	高橋富雄東北学論集 地方からの日本学 第1部 東北論 東北学 第1集 地方から東北から   地方からの日本史   辺境 もう一つの日本史	歴史春秋出版	A5	422 7～199 200～	
啓発図書編集委員会(編)	思い出のわが故郷 北方領土[歴史編]   北方領土とアイヌの人びと	千島歯舞諸島居住者連盟	A5	60～63	
清水三雄	未来に残すあつた百話   義経の涙岩 ー厚田の義経伝説ー	厚田村教育委員会	B5	244 3～4	
法務省・文部科学省(編)	平成14年版 人権教育・啓発白書   アイヌの人々	財務省印刷局	A4	181 62～65	
浅川秀明	英語教師のつれづれ草   アイヌ民族とアメリカ・インディアン	響文社	B6	195 126～127	
(社)部落解放・人権研究所(編)	人権年鑑 2002   アイヌ民族	(社)部落解放・人権研究所(発行)、解放出版社(発売)	A5	353 89～91	
釧路市地域史料室(編)	写真絵葉書に見る 遠い日のくしろ 釧路叢書第35巻   官立春採尋常小学校   モシリヤチャシ   ウライケチャシ	釧路市 釧路市	A5 A5	232 56 72～73 74～75	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
水島敏博、鳥澤雅(監)、上田吉幸、前田圭司、嶋田宏、鷹見達也(編)	新北のさかなたち アイヌ語名索引	北海道新聞社	A5	673 624～626	
早稲田大学語学教育研究所 北方言語・文化研究会(編著)	早稲田大学各図書館所蔵の北方言語・文化に関する文献リスト アイヌ/蝦夷 inu/Aino/Ainou/Yezo	早稲田大学語学教育研究所	A4	595 3～82	
柳瀬尚紀 柳瀬尚紀	辞書を読む愉楽 ニヤッボキヒ	角川書店	B6	261 26～28 236	角川選書350 初出は『本の旅人』1996年8月号
葎田光三	自然と文化の人類学 アイヌの生態学	八千代出版	A5	213 176～183	
アイヌ文化振興・研究推進機構	アイヌの人たちとともに：その歴史と文化	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	33	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 収蔵品目録 3 2000.4-2003.3	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	87	
アイヌ民族博物館(編)	イヨマンテ：日川善次郎翁の伝承による 伝承事業報告書2	アイヌ民族博物館	B5	289	『イヨマンテ 熊の霊送り 報告書』及び『イヨマンテ 熊の霊送り 報告書II』の復刻・合本。復刻・合本に当り、レイアウトの統一、誤字等の訂正、用語の統一、アイヌ語表記の訂正等を行い、新たにアイヌ語索引を付す。
アイヌ民族博物館(編)	まんがでウエペケレ(昔話) カンナ・カムイ・トウレシ(雷神の妹)	アイヌ民族博物館	B5	50	『北海道の文化』7号(1964年)掲載の上野ムイテケン口述、森竹イタクノト口訳「アイヌ伝承 ウエペケレ」を白老町の「楽しくやさしいアイヌ語教室」がアイヌ語教材として編集。これらをもとにアイヌ民族博物館が監修し再編集したもの。
シラリカコタン編集委員会 旭川市博物館(編)	シラリカ コタン：白糠アイヌ文化の継承 旭川市博物館所蔵品目録XⅢ：民族資料 ／飲食関係	時田岩吉 旭川市博物館	B5 A4	324 53	再版もあり。
井上鉦一(編)	社会人類学からみた北方ユーラシア社会	北海道大学スラブ研究センター	A4	121	
アルフレット F.マイエ ヴィッチ 出利葉浩司 百瀬響	ヴァーツワフ・シュロフスキとプロ ニスワフ・ピウスツキが見た1930年 の白老 -黒田先生を偲ぶ- もうひとつの「強制された狩猟」： ヨイチ場所の事例 -19世紀におけ るアイヌ民族の狩猟の特質- 開拓使期における狩猟行政-「北海 道鹿猟規則」制定過程と狩猟制限の 論理-			1～8 91～99 101～121	
井上鉦一・研究代表者	ピウスツキによる極東先住民族研究の全 体像を求めて	北海道大学スラブ研究センター	A4	188	
アルフレッド・F・マ イエビッチ 井上鉦一 百瀬響 澤田和彦	W・シュロシェフスキとB・ピウスツ キが見た1930年の白老 -黒田先生 を偲ぶ- B・ピウスツキと北海道 1903年のア イヌ調査を追跡する 日本のアイヌ政策からみる「樺太ア イヌ統治法案」近代化政策の評価 をめぐって プロニスワフ・ピウスツキ日本暦			1～10 11～31 33～47 155～172	
井筒勝信(編)	アイヌ語旭川方言コーパスに基づく文法 書編纂のための基礎研究	北海道教育大学教育学部 旭川校	A5	349	コーパス中に著作権未処理部分を 含むため、該当箇所は非公開
井筒勝信 井筒勝信、山口和彦 井筒勝信 手塚順孝 山口和彦 太田満 北原英法、中山由紀恵	アイヌ語旭川方言文法の概要 アイヌ語品詞論：旭川方言を中心に アイヌ語旭川方言の人称接辞 アイヌ語動詞における語彙化：日本 語・英語との比較から アイヌ語旭川方言の補文 旭川方言から見た名詞における「場 所」の概念：位置名詞・場所名詞 アイヌ語旭川方言の疑問文：文末詞 を中心に			9～19 21～29 31～39 41～46 47～53 55～62 63～68	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
井筒勝信	アイヌ語旭川方言の「証拠性(evidentiality)」			69～74	
井筒勝信、山口和彦(編)	アイヌ語旭川方言のコーパス・テキスト			75～144	
山口和彦、井筒勝信(編)	アイヌ語旭川方言コーパス・コンコーダンス			145～332	
山口和彦	アイヌ語研究と著作権			333～336	
手塚順孝	アイヌ文化継承に本当に必要な言語政策			337～340	
井筒勝信	アイヌ語旭川方言文法研究のもう一つの将来像			341～344	
井筒勝信(編)	アイヌ語旭川方言辞典草案	北海道教育大学教育学部旭川校	A5	322	
奥田統己、林誠、田村すず子(編)	アイヌ語静内方言の音声資料：織田ステノさんと虎尾ハルさんの口頭文芸と会話	大阪学院大学情報学部	B5	154	「環太平洋の「危機に瀕した言語」にかんする緊急調査研究」成果報告書 A2-032。CD添付。
経済産業省中小企業庁(監修)	築きましよう あなたの会社に 人と人とのいい関係 アイヌの人々の人権	人権教育啓発推進センター	A4	24	
厚岸町史編集委員会(編)	新厚岸町史 資料編1 日記記上	厚岸町	A5	926	
合田一造+番組取材班	人間登場：北の歴史を彩る 第1巻	北海道出版企画センター	B6	253	
合田一造、橋本登代子	シャクシャイン：民族の誇りをかけた戦争			165～174	
国学院短期大学コミュニティカレッジセンター(編)	アイヌ語の文法	国学院短期大学コミュニティカレッジセンター	B5	167	
札幌学院大学人文学部(編)	北海道と沖縄 公開講座北海道文化論16	札幌学院大学人文学部	B6	264	
永井秀夫	近代化の中のアイヌと沖縄：差別と同化をめぐる			1～49	
オキ〔加納沖〕	アイヌ ラックル カムイ エカシと北海道			149～169	
秋葉実、旭川市中央図書館(編)	松浦武四郎上川紀行 旭川叢書第28巻 旭川のアイヌの人びととの出会い	旭川振興公社		163～182	
小石川武美	穂別町アイヌ民族文化史 穂別のアイヌ民族文化	穂別町アイヌ民族文化保存会	A5	149	
松浦武四郎(著)、松浦孫次(解説)、佐藤貞夫(編)	松浦武四郎大台紀行集	松浦武四郎記念館	A5	134	
上ノ国教育委員会	町内遺跡発掘調査事業報告書 VI	上ノ国教育委員会	B5	48	
上ノ国町教育委員会	史跡 上之国勝山館跡 XXIV	上ノ国教育委員会	B5	35	
上武やす子、川上美緒、津田命子	アイヌの衣服文化を探る：オモンベとその縫製技術の研究	カリアの会	A4	22	
菅原進	増補改訂版 随想アイヌ語地名考<岩手県内市町村別>	菅原進	B5	560	初版2002年1月
石狩川中流域文化研究会	パニウクルの生活文化誌	石狩川中流域文化研究会	A5		
扇谷昌康	穂別町アイヌ民族文化史 穂別のアイヌ語地名	穂別町アイヌ民族文化保存会	A5	207	
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会編)	帯広叢書第49巻 吉田巖資料集 15	帯広市教育委員会	B5	299	1 アイヌ調査書3-3/2 日記〔吉田巖日記〕3-14/3 児童作品2国の宝2/4 著作原稿1 観菊御会御招宴拝戴に対する祝辞類/5 著作原稿2 吉田巖履歴他(北海道旧土人保護施設改善案、行幸行啓、日触について)/6 抜き書き 1-9 三代集/7 出現語彙一覧/8 原資料
大塚和義、吉田憲司(編)	「再生する先住民文化－先住民と博物館」報告書 [基調報告]アイヌ文化振興法制定5周年記念にあたって [報告]「アイヌ文化振興法の5年」をふりかえる [公演]カムイユカラ [パネル・ディスカッション]先住民と博物館	国立民族学博物館	A4	77	
佐々木高明				5～11	
菅野茂、笹村二郎、秋辺得平、知里むつみ、佐々木高明(司会：大塚和義)				13～28	
中本ムツ子(語り)				31～40	
山丸郁夫、吉原秀喜、グロリア・グランマー・ウェブスター、ジョン・マンディーン(司会：吉田憲司)				41～74	
知里幸恵(原著)、横山孝雄(絵)	知里幸恵のユカウの絵本 おおかみピイトントン!	知里森舎	B5	40	

編者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
知里真志保書誌刊行会(編)	知里真志保書誌	サッポロ堂書店	B5	48	I 知里真志保著作目録(1 知里真志保著作目録(生前)・附(座談会・対談、序、監修、校閲等)/2 知里真志保著作目録(没後)/資料1 知里真志保指導監修 アイヌ関係音声資料目録/資料2 知里真志保ノートマイクロフィルム目録)/II 知里真志保関係参考文献目録(A 単行本及び単行本所収/B 逐次刊行物掲載/C 新聞掲載記事/D その他)/III 知里真志保関係参考資料/IV 北海道大学附属図書館所蔵知里真志保文庫目録/V 知里真志保略年譜及び没後以降関係資料)
津田命子	フチの仕事を学ぶ I : アイヌの組み紐 アイヌの民具にみられる組紐の組成と種類について	津田命子	A4	32	
田村すず子(編)	アイヌ語沙流方言の音声資料3: 近藤鏡二郎の録音テープに遺されたワテケさんの神謡Ⅲ	大阪学院大学情報学部	B5	229	「環太平洋の「危機に瀕した言語」にかんする緊急調査研究」成果報告書 A2-034
東京音楽大学民族音楽研究所(編)	東京音楽大学民族音楽研究所研究紀要 伝統と創造 2002年度 広尾正(講師) 東京音楽大学民族音楽研究所 東京音楽大学民族音楽研究所	東京音楽大学民族音楽研究所	B5	133~157 160~161 164~165	
等澗院文書編さん委員会(編)	等澗院文書 第10集	様似町教育委員会	B5		
等澗院文書編さん委員会(編)	等澗院文書 第11集	様似町教育委員会	B5	302	
泊村教育委員会	滝ノ淵遺跡	泊村教育委員会	A4	145	
平取町二風谷アイヌ文化博物館	北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町教育委員会	A4	199	
別海町郷土資料館	加賀家文書 現代語版第三巻	別海町郷土資料館	A5横	240	
法務省・文部科学省(編)	人権教育及び人権啓発に関する施策についての年次報告(概要) 平成13年度 アイヌの人々	法務省、文部科学省	A4	30 19	
北海道開拓記念館(編)	「北方文化共同研究事業」2000-2002年度調査報告 山田伸一 池田貴夫、水島未記	北海道開拓記念館	A4	196 81~97 167~182	
北海道開拓記念館(編)	旧拓殖館所蔵民族資料コレクション資料目録: 北海道開拓記念館一括資料目録第37集 出利葉浩司 北原次郎太	北海道開拓記念館	B5	128 115~117 118~126	
北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課	THING TOGETHER わたしたちの人権BOOK アイヌの人々に対する理解を深めよう	北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課	A5	16 8	
北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課(編)	企業のための人権ハンドブック: 共生の社会へ アイヌの人びと	北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課	A4	24 16	
北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課(編)	人権について考える アイヌの人々	北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課	A4	24 15	
北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課(編)	北海道人権施策推進方針 アイヌの人々	北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課	A4	114 12~13	
北海道教育庁生涯学習部生涯学習課(編)	人権教育を進めるために アイヌの人々 アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律(抄)	北海道教育庁紹介学習部生涯学習課	A4	105 6~7 44~46	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	知里真志保フィールドノート(2)	北海道教育委員会	B5	126	
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成14年度 アイヌ民俗文化財調査報告書(アイヌ生活技術伝承実態調査IV)	北海道教育委員会	B5	192	
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成14年度 アイヌ民俗文化財調査報告書(ユークラスシリーズ25)わが甥我を争わず	北海道教育委員会	B5	142	
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成14年度 アイヌ無形民俗文化財記録観光シリーズ16 アイヌのくらしと言葉8	北海道教育委員会	B5	184	
日川善次郎、弟子豊治、日川キヨ(語り)、藤村久和(訳注) 村辺ミナ(語り)、加藤陽一郎(訳注) 金成アシリロ(語り)、蓮池悦子(訳注) 蓮池悦子	弟子屈町でのくらし			11～62	
	三石町でのくらし			63～86	
	登別市でのくらし			87～170	
	語り手別慣用語表現索引			171～182	
北海道総合企画部政策室政策推進評価課(編)	第3次北海道長期総合計画後期実施計画(平成15～19年度)		A4	363	
	アイヌの人たちが民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会の実現		A4	55～58	
北海道埋蔵文化センター(編)	八雲町野田生1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第183集	北海道埋蔵文化財センター	A4	729	
北海道埋蔵文化財センター(編)	厚真町浜厚真3遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第186集	北海道埋蔵文化財センター	A4	186	
北海道埋蔵文化財センター(編)	江別市対雁2遺跡(4) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第193集	北海道埋蔵文化財センター	A4	314	
北海道埋蔵文化財センター(編)	根室市穂香堅穴群(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第184集	北海道埋蔵文化財センター	A4	269	
北海道埋蔵文化財センター(編)	森町濁川左岸遺跡 B地区 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第190集	北海道埋蔵文化財センター	A4	190	
北海道埋蔵文化財センター(編)	森町本茅部1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第191集	北海道埋蔵文化財センター	A4	72	
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市オルイカ1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第188集	北海道埋蔵文化財センター	A4	202	
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市オルイカ2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第189集	北海道埋蔵文化財センター	A4	261	
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市キウス4遺跡(10) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第187集	北海道埋蔵文化財センター	A4	133	
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市ユカポンシC15遺跡(6) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第192集	北海道埋蔵文化財センター	A4	192	
北海道埋蔵文化財センター(編)	鶴川町米原4遺跡(2)・宮戸4遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第185集	北海道埋蔵文化財センター	A4	186	
北海道立図書館北方資料室(編)	北の資料 第110号 北海道立図書館北方資料児童書目録	北海道立図書館	A4	178	
北海道立文書館(編)	北海道立文書館所蔵公文書件名目録18 札幌県治類典(7)	北海道立文書館(編)	A4	94	
北海道立文書館(編)	北海道立文書館所蔵資料目録18 大蔵省開拓使会計残務整理委員文書(1)	北海道立文書館	A4	45	大蔵省開拓使会計残務整理委員文書／補遺(幕府文書／函館府(県)文書／開拓使文書)／正誤表(資料目録10～17所収分)
北海道立北方民族博物館(編)	北海道立北方民族博物館資料目録 7: 民族資料目録4 平成12・13・14年度、網走市寄贈資料	北海道立北方民族博物館	A4	94	平成12～14年度に購入により収集した資料および網走市から寄贈を受けた資料の目録。「サハリニアイス」16～17頁、「北海道アイヌ」18～19頁。
北原次郎太、田村雅史、田村将人、丹菊逸治、田村すず子(編)	アイヌ語 樺太・名寄・釧路方言の資料: 田村すず子採録 藤山ハルさん・山田ハヨさん・北風機吉さん・徹辺重次郎さんの口頭文芸・語彙・民族誌	大阪学院大学情報学部	B5	332	「環太平洋の「危機に瀕した言語」にかんする緊急調査研究」成果報告書 A2-039
満岡伸一	アイヌの足跡 第9版増補	アイヌ民族博物館	B6		
名寄市北国博物館	民族資料目録: 佐藤上州氏・柴田時雄氏寄贈資料 名寄市北国博物館所蔵資料目録1	名寄市北国博物館	A4	34	
大河上州(採録)、長谷川巧(訳注)	ナヨロの伝説			28～34	初出は『ナヨロの伝説 郷土資料集第4集』(名寄市立図書館、1964年)。
余市町教育委員会、北海道開拓記念館	国指定史跡 フゴッペ洞窟	余市町教育委員会	A4	20	
留萌市(編)	新留萌市史	留萌市	B5	1129	
小林真人	ルルモッペとアイヌの人々			129～134	通史編第3章「近世の蝦夷地」。以下同じ。
田端宏	クナシリ・メナシの闘いと寛政二年の漁民一揆			138～140	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
藤慎一 砂田明	留萌地域とアイヌの人々 アイヌ民族の暮らし			176～181 1089	部門編第15章「人々の暮らし」。
日本放送協会・日本放送出版協会(編)	NHK高校講座 教育セミナー 歴史でみる日本 クナシリ・メナシの蜂起 アイヌ民族への圧迫	日本放送出版協会	B5	44	
伊達興治	樹木と文化、そして宗教 アイヌ民族と沖縄の人々の信仰の世界	日本図書刊行会	B6	272 199～216	
日外アソシエーツ(編)	民話・昔話集内容総覧 北海道	日本アソシエーツ(発行)、 紀伊國屋書店(発売)	A5	1318 72～84	
楠原佑介	こんな市名はもういらない! 歴史的・ 伝統的地名保存マニュアル 植民地・北海道ではアイヌ語地名復活を図るべし	東京堂出版	B6	319 121～123	
「日本映像の20世紀」プロジェクト(監) 梅澤庄亮 梅澤庄亮	NHK 日本映像の20世紀1 北海道・東北地方 開拓の陰で失われていったアイヌの生活と文化 民族の誇りを持って アイヌの人たちの新しい出発	ポプラ社	A4	7 15	
五十嵐聡美	アイヌ絵巻探訪	北海道新聞社	新書	0	
<b>【2003年5月】</b>					
前田良一	縄文人 はるかなる旅の謎 一失われた世界大移動線を探る フン帝国末裔のアイヌ民族探訪 南太平洋のアイヌ語と南米の縄文土器	毎日新聞社	B6	362 221～226 320～323	
金野静一、七宮洋三、駒井健 及川和哉 駒井健	岩手県の不思議事典 えぞとアイヌは同じ? 岩手県のアイヌ語地名は?	新人物往来社	A5	234 18～19 136～137	
大塚初重先生喜寿記念論文 集刊行会(編) 佐々木竜二 坂本和也	新世紀の考古学 : 大塚初重先生喜寿 記念論文集 ロシアの対日政策とラッコ交易 坪井正五郎と山中共古 : 東京人類学会雑誌の初期様相	大塚初重先生喜寿記念論文 集刊行会	B5	1142 791～804 805～815	「(2) コロボックル論争をめぐる論者」(807～811ページ) などあり。
難波紘二	アルカ研究論集 ゴードン・マンローを探して	アルカ(小諸市)	B5	81 20～35	
テッサ・モーリス・スズキ(塩原良和;訳)	アジア新世紀 7 パワー 辺境・先住民社会・権力	岩波書店	A5	278 211～227	
山口昌男 山口昌男、井出彰、米田綱路	山口昌男ラビリンス 知の風景を一変させた山口ワールド フォスコとアイヌ文化再考	国書刊行会	A4	798 66～77 313～314	
片山龍峯	「アイヌ神謡集」を読みとく	片山言語文化研究所			
切替英雄(編著)	アイヌ神謡集辞典	大学書林	A5		
<b>【2003年6月】</b>					
山梨ももじろう	日本人の起源 北から来た森の民 アイヌと日本人の起源	文芸社	B6	213 127～137	
河合敦 河合敦	目からウロコの日本史 定説くつがえる! 極寒地のアイヌも農耕民族だった	PHP研究所	A6	350 265～267	原本は1999年8月発行。
金両基 金両基	キム先生の人権のおはなし : 感性にひびく48章 他民族国家への産声	明石書店	A5	111 28～29	
梅原猛 梅原猛 梅原猛	梅原猛著作集12 人間の発見 松浦武四郎 塩原和郎氏のこと	小学館	B6	734 112～113 551～559	初出は『朝日新聞』1991年6月3日付、その後梅原猛『百人一語』(朝日新聞社、1993年、のち新潮文庫、1996年)に収録。 初出は『日本研究』8集(国際日本文化研究センター、1993年)。
	週刊日本遺産 34号 知床 釧路湿原	朝日新聞社	A5変型	35	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
萱野茂	自然とともに生きたアイヌ 屈斜路コタンアイヌ民俗資料館 丸木舟 屈斜路湖 ギョウジャンニン ニクの「コタン井」			26～27  33	
斎藤朋久 斎藤文承	石仏庵記 Ⅲ ウタリの神と石	石乃美社	B5		初出は『愛石の友』1997年8月号。
日外アソシエーツ株式会社 (編)	「日本語」の本全情報 1997～2002  アイヌ語	日外アソシエーツ株式会社 (発行)、紀伊國屋書店(発売)	B5	812  456～ 459	
佐藤方彦 池田次郎	日本人の事典 日本人の起源	朝倉書店	B5	732 1～17	
津田芳夫	北海道開拓秘話 酷寒の荒野に挑み理想 郷建設に挺身した人達  アイヌ学校教師の献身 永久保秀二 郎 津田四郎平	津田芳夫(発行人)	B5	207  119	
<b>【2003年7月】</b>					
松園万亀雄(監)、国立民族 学博物館(編) 大塚和義 堀田貢得	国立民族学博物館展示ガイド  アイヌの文化  民族問題に関わる差別表現	国立民族学博物館	B5変 型	93～ 100 116～ 166	
堀田貢得	実例・差別表現 差別表現関連資料	大村書店	B6	269 229～ 264	
中館寛隆  松木新	必読北海道 アイヌ民族を知るため必読39冊210～ 251 疾風に立つ 希望をつなげて ～私もひ ととりたい アイヌ民族と真の共生をめざして	北海道新聞社  平和・民主・革新の日本 をめぐす北海道の会	B6  B6	399  194  108～ 109	
太田龍	縄文日本文明一万五千年史序論 八切説の誤謬・坂上田村麿が征伐し た蝦夷はアイヌであり、日本原住民 アイヌは最古の日本民族・縄文人な のか否か 日本史の修正 ―日本における「タ タールの領域」を考える	成甲書房	B6  B6  B6	346 266～ 269 279～ 282 263～ 295	
乳井昌史	スローで行こう～「自然環境」を考える44冊 『クマにあったらどうするか』『分際 を忘れた日本人 語り手・姉崎等、 聞き書き・片山龍峯	日本放送出版協会	B6	239 83～88	
高橋富雄	高橋富雄東北学 地方からの日本学 第1部 東北論 東北学 第2集 みちのく未知の奥	歴史春秋出版	A5	413	
北海道教職員組合、北海道 私立学校教職員組合(編)	北海道の教育 第37集 : 第52次合同 教育研究全道集会(小樽)報告 平和・人権教育	北海道教職員組合、北海 道私立学校教職員組合	A5	605  303～ 325	第14分科会報告。
橋本清	アイヌ語で解く「魏志倭人伝」	小学館スクウェア			
<b>【2003年8月】</b>					
笠谷寛真	新高野山亮昌寺百十年誌 亮昌寺とアイヌ資料 アイヌ民具と亮昌寺資料目録 亮昌寺に残るアイヌユーカラ	亮昌寺	A4	387 9～10 69～71 311～ 324	
ハンス・モーリッシュ(著)、 瀬野文教(訳)	植物学者モーリッシュの大正ニッポン観 察記 北のさいはて、北海道とサハリンにて	草思社	A5	421  226～ 281	
阿部宣之 『月刊みんぱく』編集部(編) 大塚和義	知られざる北海道犬の驚異のエゾシカ狩り 世界民族博物誌 ヒグマ	新風舎 八坂書房	B6  B6	323  147～ 149	
深井人詩(編)	主題書誌索引 1992～2000 アイヌ	日外アソシエーツ	B5	842 6～7	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
埴原和郎   田名部雄一	史話日本の古代 第一巻 日本人はどこから来たか 日本文化の深層 南で生まれた北海道犬	作品社	B6	254  122	
法務省人権擁護局(編)	人権の擁護 アイヌの人々	法務省人権擁護局	A5	40 30~31	
萱野茂	五つの心臓を持った神	小峰書店	A5		
<b>【2003年9月】</b>					
佐賀郁朗   佐賀郁朗	受難の昭和農民文学：伊藤永之介と丸山義三、和田伝 著れる人びとに残した鶴田知也の「遣偶」	日本経済評論社	B6	●  205~210	『コシャマイン記』に言及あり。
小泉文夫   小泉文夫	小泉文夫著作選集3 民族音楽紀行 エスキモーの歌 消えていく楽器 トンコリ	学習研究社	B6	336  327~330	出典は『エスキモーの歌』(青土社、1978年)、初出は『ヤマハニュース』●●号
宮野恭子(執筆)、北海道新聞社(編)	北の匠：息づく伝統技術 アツシ織り 遠山サキ(浦河)	北海道新聞社	B5	161  40~45	
[谷澤夫(編)]	アイヌを知る・考える 改定版	私家版	A4	170	
財団法人北海道文学館(編)	知里幸恵「アイヌ神謡集」への道	『知里幸恵『アイヌ神謡集』への道』刊行委員会	A5		
テカップ美恵子	月のしずくが輝く夜に	現代書館	A5		
<b>【2003年10月】</b>					
服部一景(文)、本田哲也(絵)	[創作]とかち千年の森伝説 カムイの森	森の出版社(発売：十勝千年の森)			
小池明	北方領土をめぐる 憂憤の群像 アイヌ救済の快男子	歴史春秋出版	A5	282 85~89	
えりも町郷土資料館(編)	えりも町ふるさと再発見シリーズ3 えりも・猿留山道	猿留山道復元ボランティア実行委員会	A4	58	
IMADR-JC マイノリティ女性に対する複合差別プロジェクトチーム(編)   多原良子	マイノリティ女性の視点を 政策に！社会に！：女性差別撤廃委員会審査を通して アイヌ女性のエンパワメント：審査に参加して	反差別国際運動日本委員会(発売：解放出版社)	A5	279  112~119	
松藤和人(編)   千代肇   鈴木信	考古学に学ぶ(Ⅱ)：考古学研究室開設五十周年記念 神恵内観音洞窟とアイヌ文化 擦文～アイヌ文化期の準構造船と渡海交易	同志社大学考古学シリーズ刊行会	A5 A5 A5	930 699~708 709~720	同志社大学考古学シリーズⅧ
石巻文化センター(編)	特別展 毛利コレクション アイヌ資料展	石巻文化センター	A4	16	石巻市市制70周年記念事業。
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会編)	帯広叢書第50巻 吉田巖資料集 16	帯広市教育委員会	B5	286	1 アイヌ調査書4-1/2 日記〔吉田巖日記〕3-15(昭和11年7月~9月)/3 著作原稿3 奏上案原稿/4 著作原稿4 奏上文/5 著作原稿5『北海道社会事業』原稿/6 著作原稿6 御聖徳をたたふる歌/7 著作原稿7 全日本方面委員連盟への報告/8 出現語集一覧/9 注釈用参考文献一覧
山本博文(監修)	面白いほどよくわかる江戸時代 幕府の北方での間接外交：松前藩のアイヌ支配	日本文芸社		98~97	
<b>【2003年11月】</b>					
鈴木理生	川を知る事典 日本の川・世界の川 北海道の川と名前 東北地方の川と名前	日本実業出版社	B6	307 16~32 32~46	
秋元美世、大島巖ほか4名(編)	現代社会福祉辞典 アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓蒙に関する法律	有斐閣	A5	549  1	
春成秀   コロボックル説の敗退 一坪井正五郎	考古学者はどう生きたか 一考古学と社会一	学生社	A5	383  8~18	
鈴木範久(監)   ジョン・バチラー	近代日本キリスト教名著選集 第三期 キリスト教受容史篇 20 基督新教縦断面 一名明治思想小史 日本伝道 めぐみのあと アイヌ民族の福音	日本図書センター	A5	313  <133~150>	
北川大	アイヌが生きる河	樹花舎(発行)、星雲社(発売)	B6変型	292	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	「テーマ・内容」で探す本のガイド人權 って、なんだろう？ アイヌの人々	広島県人権施策室	A4	34  20	
<b>【2003年12月】</b>					
赤松良子、山下泰子（監修）、 日本女性差別撤廃条約NGO ネットワーク（編）	女性差別撤廃条約とNGO : 「日本レ ポート審議」を活かすネットワー ク 北海道ウタリ協会札幌支部	明石書店	A5	226  77～79	
渡辺邦雄	<自分史>八十五年の回想 先住民族への配慮	旭図書刊行センター	B6	239 96～97	
飛鳥昭雄、三神たける	失われた異星人グレイ「河童」の謎 ミンツチ=シリシヤマイスとコロポッ クル	学習研究社	新書	526 94～96	
黒田日出男、加藤友康、保 谷徹、加藤陽子（編）	日本史文献事典	弘文堂	A5	1683	
岩崎奈緒子	岩崎奈緒子『日本近世のアイヌ社会』 校倉書房、1998			192	
榎森進	海保嶺夫『日本北方史の論理』雄山 閣、1974			312～ 313	
榎森進	海保嶺夫『近世蝦夷地成立史の研究』 三一書房、1984			313～ 314	
榎森進	海保嶺夫『中世の蝦夷地』吉川弘文、 1987			314	
菊池勇夫	菊池勇夫『幕藩体制と蝦夷地』雄山 閣出版、1984			381～ 382	
菊池勇夫	菊池勇夫『北方史のなかの近世日本』 校倉書房、1991			382	
工藤雅樹	工藤雅樹『蝦夷と東北の古代史』吉 川弘文館、1998			424～ 425	
工藤雅樹	工藤雅樹『古代蝦夷の考古学』吉川 弘文館、1998			425	
菊池勇夫	高倉新一郎『アイヌ政策史』日本評 論社、1942（新版：三一書房、1972）			672～ 673	
高橋富雄	高橋富雄『蝦夷』吉川弘文館、1963			682～ 683	
浪川健治	浪川健治『近世日本と北方社会』三 省堂、1992			901	
猿島栄紀	猿島栄紀『古代国家と北方社会』吉 川弘文館、2001			1192～ 1193	
解放出版社（編）	人権でめぐる博物館ガイド	解放出版社	A5	174	『部落解放』2003年4増刊号に新 たに16館を加え単行本化したもの。
野本正博	アイヌ民族博物館			6～7	
萱野志朗	帯広百年記念館 萱野茂二風谷アイヌ資料館			8～9 10～11	
吉原秀喜	川村カトアイヌ記念館 平取町立二風谷アイヌ文化博物館			12～13 16～17	
女鹿潤哉（編・執筆）	古代「えみし」社会の成立とその系統的 位置付け	岩手県文化振興事業団	B5	120	岩手県立博物館調査研究報告書第 18冊
アレキサンダー・ホビン、 長田俊樹（編）	日本語系統論の現在 日文研叢書31	国際日本文化研究センター	B5	572	
中川裕	日本語とアイヌ語の史的関係			209～ 220	
千田稔、渡辺史生（編）	吉田東伍 前期論考・随筆選	国際日本文化研究センター	B5	432	日文研叢書32
落後生	アイヌ博士の演説			173～ 175	巻末に解題あり。初出は『読売新 聞』附録（1892年3月13、15、16日 付）。
落後生	史海 久米氏 第十八巻			189～ 195	初出は『読売新聞』附録（1892年1 2月22、25、27、28日付）。
落後生	史海 柏木氏の弁駁（第二十一巻）			203～ 205	初出は『読売新聞』附録（1933年4 月20、21日付）。
	〔北海道大学〕学位論文内容及び審査の 要旨 関口明 古代東北の蝦夷と北海道	〔北海道大学〕	B5	73～75	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2004 [3] な～わ	日外アソシエーツ	A4	839	掲載人名に、「中本ムツ子」「鍋沢ワカルバ」「西山史真子」「二谷一太郎」「貫塩喜蔵」「野村義一」「野本正博」「野本リヨ」「萩中美枝」「バチェラー八重子」「平山裕人」「藤村久和」「藤本英夫」「弁開颯次郎」「ボン・オタストーン」「増田又喜」「間見谷嘉昭」「三上マリ子」「宮島利光」「向井山雄」「村本美幸」「森竹竹市」「八重九郎」「山田秀三」「山丸武雄」「山本多助」「結城庄司」「吉田菊太郎」「吉根正治郎」「和気シクルシイ」「和田完」などあり。
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2004 [1] あ～お	日外アソシエーツ	A4	781	掲載人名に、「秋田春蔵」「秋辺得平」「秋辺福太郎」「姉崎等」「荒井和子」「荒井源次郎」「荒井シャスレ」「新谷幸吉」「飯島俊一」「伊賀久幸」「伊賀ふで」「居壁リセ子」「石井由治」「造星北斗」「上西晴治」「魚井一由」「宇梶静江」「蒲川タレ」「蒲川治蔵」「江賀寅三」「江口カナメ」「小川佐助」「小川早苗」「小川正人」「小川隆吉」「奥田統己」「長見義三」「織田ステノ」などあり。
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2004 [2] か～と	日外アソシエーツ	A4	973	掲載人名に、「貝沢耕一」「貝沢正」「貝沢珠美」「海馬沢博」「金谷フサ」「萱野茂」「萱野志朗」「萱野れい子」「川上勇治」「川村カト子」「川村シンリツ・エオリバック・アイヌ」「金成マツ」「北原きよ子」「切替英雄」「葛野辰次郎」「久保寺逸彦」「計良智子」「計良光範」「河野本道」「小坂洋右」「児玉作左衛門」「古原敏弘」「コボアス」「小松哲郎」「佐々木利和」「笹村二郎」「佐藤タツエ」「更科源蔵」「更科光」「沢井アク」「四宅ヤエ」「白井柳治郎」「白沢ナベ」「杉村キナラブック」「杉村京子」「杉村満」「砂沢クラ」などあり。
	第16回アイヌ民族文化祭	北海道ウタリ協会	A4	22	
三村実可子	平成14年度東北北海道人権作品集 明るい未来へと結げるために	釧路地方法務局、釧路人権擁護委員連合会	B5	63 23～24	
アイヌ文化振興・研究推進機構	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 助成事業案内 平成15年度版	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	210	
菊池勇夫 (編)	日本の時代史 19 蝦夷島と北方世界	吉川弘文館			1 北方社会の物質文化一鉄からみた北海道島の歴史 / 2 北東アジアから見たアイヌ / 3 アイヌ女性の生活 / 4 アイヌの「自分線」 / 5 蝦夷島の開発と環境 / 6 日露関係のなかのアイヌ

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2004年1月】</b>					
浅野敏昭	余市町の文化財	北海信金地域振興基金	B5	38	町内の指定文化財を紹介。「旧下ヨイチ運上家」「アイヌ絵(武者のぼり下絵)」「ヨイチ御場所上下運上家関係古文書」などあり。
堀内光一	アイヌモシリ奪回 検証・アイヌ共有財産訴訟	社会評論社	B6	348	はじめに アイヌ史の空白部分[旧土人共有財産]の真相解明にむけて／第Ⅰ部 日本近代の幕開けと蝦夷地併合／第Ⅱ部 アイヌ保護地制度の誕生と黄昏／第Ⅲ部 われらの大地が奪われていく：厚岸町アイヌ共有財産の場合／第Ⅳ部 裁かれるアイヌ共有財産／主な参考文献／参考資料／『アイヌモシリ奪回』刊行によせて／後記
小川隆吉	『アイヌモシリ奪回』刊行に寄せて			341～344	
久保寺逸彦 (編訳)	アイヌの神謡	アイヌ文化良書刊行会	A5	484	I 神謡/II 聖伝/アイヌ民族の歌謡：解説に代えて 備考)アイヌの神謡と聖伝の現代語訳版。久保寺逸彦『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』(1977年、岩波書店)の「説話編」として構想されながら刊行時に割愛されていたもの。刊行に当たって解説として久保寺逸彦「アイヌ民族の歌謡」を付す。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。市販版は草風館より2月10日発行。 初出は『フィルハーモニー』23巻4-6号、1951年。初出時の表題は「アイヌ民族の歌謡」。
久保寺逸彦	アイヌ民族の歌謡：解説に代えて			439～484	
チャールズ・アップルトン・ロングフェロー (著)、山下久美子 (訳)	ロングフェロー日本滞在記：明治初年、アメリカ青年の見たニッポン	平凡社	A5	404	
チャールズ・アップルトン・ロングフェロー (著)、山下久美子 (訳)	アイヌの土地へ			67～96	所収書第3章。この章の前後や他の箇所にも関連記述若干あり。
チャールズ・アップルトン・ロングフェロー (著)、山下久美子 (訳)	蝦夷画写真集			257～272	所収書付録五。
トーマス・ゴールド・アップルトン (著)、山下久美子 (訳)	解説 チャールズ・ロングフェローの「蝦夷画」写真集			273～288	所収書付録五。
山路勝彦	台湾の植民地統治：〈無主の野蛮人〉という言説の展開	日本図書センター			
山路勝彦	アイヌと台湾			54～62	
知里真志保を語る会	アイヌ神謡集 超入門	知里真志保を語る会	A4	154	I 「アイヌ神謡集」って、どんな本？/II アイヌ神謡集超入門/III 『アイヌ神謡集超入門』用単語集
山崎朋子、上笠一郎 (編)	アジア女性交流史研究	港の人	B5	710	
岡本頼子	底辺女性の証言1 アイヌ女性として			460～464	初出は『アジア女性交流史研究』第12号(1972年11月)
山崎朋子	岡本さんのこと			464	
山崎朋子	葛野さんの仕事			690	葛野辰次郎を紹介。初出は『アジア女性交流史研究』第18号(1977年2月)
岡本頼子	葛野辰次郎さんのこと			691	初出は『アジア女性交流史研究』第18号(1977年2月)
葛野辰次郎	生長語り			692～693	初出は『アジア女性交流史研究』第18号(1977年2月)
葛野辰次郎 (伝承、筆録、訳)	アイヌ・ユウカラ その1 天界の神様と人間祖先の伝説語り			693～703	初出は『アジア女性交流史研究』第18号(1977年2月)
中川裕、中本ムツ子	CDエクスプレス アイヌ語		A5	135	『エクスプレス アイヌ語』(1997年)にCDを付したもの。CD吹込みは中本ムツ子、住山頼子による。
萱野茂(文)、飯島俊一(絵)	The Ainu: A Story of Japan's Original People	チャールズ・イー・タトル商会	B5		『アイヌ ネノアン アイヌ』の英訳版。
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成15年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 4	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	32	講師萱野茂
小笠原信之	アイヌ差別問題読本	緑風出版	A5		
<b>【2004年2月】</b>					
	「北方領土の日」反対！アイヌ連帯第10回札幌全国集会の記録	「北方領土の日」反対！「アイヌ新法」実現！全国実行委員会	B5	41	
赤井川村教育委員会(編)	赤井川村史	赤井川村	A5	1221	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
岡田義明	赤井川の地名			357～366	
久保寺逸彦 (編訳)	アイヌの神謡	草風館	A5	484	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。アイヌ文化良書刊行会1月20日発行の増刷。
榊原正文	データベースアイヌ語地名4 日高1 静内町	北海道出版企画センター	A5	308	緒言/例言/A 静内町海岸線/B 静内町内の中小河川/C 静内川水系/D 静内町内の山岳名等/E 静内町内・アイヌ語地名地図/F SUMMARY/G 各地点の現況(筆者撮影写真)/H 川と谷を表すアイヌ語地名について/欧字索引/現行地名索引/参考文献備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。
殿平善彦	若者たちの東アジア宣言 : 朱鞠内に集う日・韓・在日・アイヌ	かもがわ出版	A5	127	序 「笹の墓標」展示館で/第1部 国境を越えて出会う若者たち : 東アジア共同ワークショップの歩み/第2部 朱鞠内から山形へ : ある在日韓国人の思い
戸部千春	大地と物への刻紋に惹かれて 1983-2003	研究会いたやかえで	B5		
高野啓子	エムシアットの文様の調査研究 : アイヌ女性の手仕事1	高野啓子	A4	32	はじめに/1 エムシアットについて/2 エムシアットの文様/3 エムシプサ(垂飾部)の文様/4 エムシアットの素材と編み方で作ってみました/5 エムシアットに関するアイヌ語/おわりに/参考文献備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成報告書。
米村衛	北辺の海の民・モヨロ貝塚	新泉社	A5	92	シリーズ「遺跡を学ぶ」001
木呂子敏彦(著)、木呂子敏彦著作集刊行会(編)	木呂子敏彦著作集 鳥の眼・みみずの目	木呂子敏彦著作集刊行会	A4	880	
木呂子敏彦	北斗を憶う			36～39	初出は『遠星北斗遺稿集』(1957年)。
木呂子敏彦	光を掲げた人(遠星北斗について)			40～41	NHKラジオ放送台本(1955年)。
木呂子敏彦	昭和初期の帯広			135～139	初出は『想い出の像・友ちゃん』記念誌(1966年)。
木呂子敏彦	青少年の師父[下村湖人について]			171～174	初出は『下村湖人全集』序文(1975年)。遠星北斗歌碑建設に関する記述あり。
木呂子敏彦	十勝から北海道を考える			220～232	初出は『地域研究年報』1号(旭川大学地域研究所、1978年)。 備考)穂別村横山正明村長に関する回想中に関係記述あり。
木呂子敏彦	柳田国男・北海道の旅を追って(上)(中)(下)			442～501	初出は『地域研究年報』7、10、11号(旭川大学地域研究所、1985～88年)。
木呂子敏彦	流転人生 : 私のなかの歴史			643～665	初出は『北海道新聞』連載「私のなかの歴史」、1992年。
木呂子敏彦	永六輔の返事と江政敏			778～779	
久保寺逸彦(著)、佐々木利和(編)	アイヌ民族の文学と生活	アイヌ文化良書刊行会	A5	311	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。市販版は草風館より『久保寺逸彦2』として4月12日発行。
久保寺逸彦	アイヌの音楽と歌謡			11～40	初出は『民族学研究』5巻5・6号、1940年。
久保寺逸彦	アイヌ文学序説			41～147	初出は『東京学芸大学研究報告』7集(別冊)、1956年。
久保寺逸彦	アイヌの一生			149～200	結婚/妊娠と出産/子守歌/命名/教育/成年・成女/挨拶・儀礼・作法備考)初出は『アイヌ民族誌 下』、1969年。初出掲載のうち一部未収録部分あり。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
久保寺逸彦  北海道立アイヌ民族文化研究センター(提供)  金田一京助、久保寺逸彦(談)、益田勝美(司会)  佐々木利和	アイヌ文化掌文集  久保寺逸彦著作目録  〔対談〕アイヌ文学の伝承  編集にあたり			201～287  288～293  309～294 (縦組) 311	虎杖の道を通る/アイヌ民族の正月の今昔/イヌーの話/アイヌの民謡詩人：鹿田シムニカのことども/原住民としてのアイヌ/アイヌの川漁/一昔前のアイヌの子ども/沙流川のアイヌ/アイヌの遊戯とスポーツに就いて/アイヌ民族の植物の利用/エテナア婆さんの想い出/アイヌの子守歌  『久保寺逸彦文庫図書資料目録』(北海道立アイヌ民族文化研究センター、1999年)所収の著作目録をもとにしたもの。  初出は『国語通信』114号、1969年。
佐々木利和	アイヌ絵誌の研究	草風館	B5	365	序にかえて：あるアイヌ絵の解釈/序論 アイヌ絵という概念/第1編 蝦夷のイメージ/第2編 描かれたアイヌの世界/図版編/結語/参考文献/あとがき
文部科学省(編)	文部科学白書(平成15年度) アイヌ文化の振興	国立印刷局	A4	475 363～364	
森竹竹市研究会(編)	森竹竹市遺稿集 ウェベケレ	森竹竹市研究会	A4	106	
アイザック・ビジャラ、マーセリン・ノートン、ロジャー・スカーヴィック、小野有五(編)	先住民族のガバナンス ―自治権と自然環境の管理をめぐる―  北海道と先住民族	北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育センター	A5	49	
森浩一	山海河海の列島史 蝦夷私考	朝日新聞社	B6	213 69～116	
井出靖夫、前川要(編)  宇田川洋 中村和之、小田博貴、熊崎農夫博 天野哲也(訳)	北東アジア国際シンポジウム：サハリンから北東日本海域における古代・中世交流史の考古学的研究 予稿集 第1分冊 北海道のチャシの様相 蝦夷錦の■年代測定が明らかにしたこと 『人間と熊』より「第10章 熊祭」	〔中央大学文学部日本史学研究室〕	A4	203	41～48 181～182 189～203
井出靖夫、前川要(編)  玉井哲夫 巖島栄紀	北東アジア国際シンポジウム：サハリンから北東日本海域における古代・中世交流史の考古学的研究 予稿集 第2分冊 擦文の竪穴住居からアイヌ住居(チセ)へ：建築史学の立場から 平安期における「肅慎」について：10世紀北方認識への試論	〔中央大学文学部日本史学研究室〕	A4	285	200～207 235～244
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市オルイカ1遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第206集	北海道埋蔵文化財センター	A4	69	
〔札幌アイヌ文化協会〕	アシリチェップノミの記録	札幌アイヌ文化協会	B5	209	札幌市で1982年から毎年9月に開催されている「アシリチェップノミ」について、これまでのポスター、リーフレット、プログラム等をまとめたもの。 備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版
アイヌ語釧路方言語彙編集委員会(編)  切替英雄 〔山本多助〕	アイヌ語釧路方言語彙集 附・「アイヌ・モシリ」山本多助作品集  監修の辞 「アイヌモシリ」山本多助作品集	釧路アイヌ語の会	A5	429	発刊の辞/監修の辞/凡例/アイヌ語→日本語/日本語→アイヌ語/人称接辞/よく使われる疑問副詞・格助詞など/数詞/附・アイヌモシリ 備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。3月15日再版(市販版)。  雑誌『アイヌ・モシリ』掲載の山本多助執筆になる作品・書簡及び山本多助あて書簡に日本語訳を付けて再録したもの。出典は釧路アイヌ文化懇話会による翻刻版(1998年)。冒頭に浦田遊による解説を付す。
アイヌ民族博物館(編)	アイヌと植物(薬用編) アイヌと自然シリーズ第4集		21×20	31	アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
伊藤務 (編著) 戸部千春	民具図録 続 アイヌの工芸世界 彫工 シタエホリ 序・伊藤務氏の民具研究を讃える	マキリミュージアム	B5	105 3	
井筒勝信 (編)	アイヌ語旭川方言資料集1	北海道教育大学教育学部 旭川校	A5	486	まえがき/第1部 アイヌ語旭川方言コーパス・テキスト訳/第2部 アイヌ語旭川方言資料2003/第3部 アイヌ語旭川方言辞典草案：愛和編 第2版/参考文献/あとがき備考)第3部は『アイヌ語旭川方言辞書草案』(井筒勝信編、2003年)をもとに全面改定を行ったもの。
青柳真智子 (編) 青柳真智子 佐々木史郎	国勢調査の文化人類学：人種・民族分類 の比較研究 日本：民籍の復活は可能か ロシア：アムール・サハリン地方の 民族分類の変遷と民族意識の形成	古今書院	A5	422 101～ 118 119～ 142	所収書第7章。 所収書第8章。
先住民族の権利宣言研究グループ (編)	一目でわかる 先住民族の権利宣言 : 国連案の内容と争点	ウハノッカの会	A5	104	はじめに/先住民族の権利に関する国際連合宣言(案)/用語解説備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版
竹内渉 野村義一、藤本英夫、 加藤忠、野村美子、竹 内渉	野村義一研究報告書 対談	竹内渉 (編著)	A4	159 18～50	はじめに/思い出の写真/Ⅰ私論野村義一(竹内渉)/Ⅱ『対談』(野村義一、藤本英夫ほか)/Ⅲ野村義一伝 1)『野村義一伝(藤本英夫、野村義一)『アイヌ民族を生きる』草風館、1996年掲載のものを一部加筆、初出は『北海道開発功労賞 受賞に輝く人々』1994年) 2)『アイヌ民族として 野村義一さん』(『苫小牧民報』1998年9月14日付～10月5日付連載) 3)『ゆうゆうインタビュー 105』(『ゆうゆう』1996年9月号)/Ⅳ 論文・対談 1)国連での演説(1992年12月国連総会開幕記念演説) 2)『日本は備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成報告書。のち加筆集成、再編集し『野村義一と北海道ウタリ協会』(草風館、2004年10月)として刊行。
白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室	金成マツ筆録ノート文字解読辞典	白老 楽しく・やさしいアイヌ語教室	B5	18	はじめに/1 金成マツ筆録ノート/2 金成マツ筆録ノート文字解読辞典(五十音順)/3 金成マツ筆録ノート解説・整理の試み/4 巻末付録(索引)備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版
富樫利一	伏流 金成太郎伝	彩流社	A5	398	一 冬の虹/二 赤い星/三 湯の滝/四 支配地罷免/五 札幌本道/六 改名される/七 室蘭常盤学校入学/八 向学/九 請願/十 アフンバル(入る・口)/十一 天ニノボラン/十二 アイヌ教育会社/十三 風波/十四 愛隣学校/十五 悪魔(ウエンカムイ)/十六 別離/十七 残された者たち/十八 流星/十九 不帰の旅路/参考文献備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版
佐々木馨	北海道仏教史の研究	北海道大学図書刊行会	A5	665	「中世のアイヌ社会」(第1部第3章第2節)「コシャマインの蜂起」(同第4節)「幕府の蝦夷地直轄と蝦夷三官寺」(第2部第3章)「近代天皇制とアイヌ民族」(第3部第4章第5節)など関係項目あり。
太田幸夫	北海道の駅 878ものがたり いい町いい川 豊平川百話	富士コンテム 国土交通省北海道開発局 石狩開発建設部札幌河川 事務所	B5 A4	259 213	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	原子修さん 市民にとり“生命の源” ／アイヌの神々宿る川  藤村久和さん 古地図にはサッポロ川 ／神介在させ自然と共存  石井ボンベさん 農耕でなく狩猟民族 だった父／「ピリカコタン」を楽 しんで	国土交通省北海道開発局 石狩開発建設部札幌河川 事務所	A4	4～5  A4 42～43  A4 206～ 208	
	戦争と改憲に抗するアイヌ民族連帯運動 の前進を！	「北方領土の日」反対！ 「アイヌ新法」実現！全国 実行委員会	B5		
	アイヌ民族を理解するために	北海道環境生活部総務課 アイヌ施策推進グループ	A5	36	1990年初版発行の改訂版。
神崎雅好	シネ イソクニル イソイタッ：アイヌ狩 人の技	神崎雅好	A4	46	浦河の細川重二(1925～2001) から の聞き取りをまとめたもの。目 次：はしがき・細川氏略歴/Ⅰ 狩猟/Ⅱ 漁労/Ⅲ 採集/Ⅳ 送 りの儀式 備考)財団法人アイヌ文化振興・ 研究推進機構研究助成成果報告書。
<b>【2004年3月】</b>					
北海道立アイヌ民族文化研 究センター(編)	アイヌ文化紹介小冊子 ポン カンピン シ 9 地名	北海道立アイヌ民族文化 研究センター	A5	32	
長谷川成一	弘前藩	吉川弘文館	B6	298	日本歴史叢書
中尾健次、黒川みどり 黒川みどり 中尾健次	人物でつづる被差別民の歴史 アイヌを誇り叙事詩(ユーカラ)を 記録 知里幸恵 [コラム] 北海道旧土人保護法 [コラム] シャクシャイン	部落解放・人権研究所	A5	165 93～98  95 98	発行：解放出版社
小林利延 小林利延	評伝 川上澄生：かぜと なりたや 北海道に生きる	下野新聞社	A5	584 325～ 350	他にも関係記述箇所あり。
菊池俊彦	環オホーツク海古代文化の研究 北海道 大学大学院文学研究科叢書	北海道大学図書刊行会	A5	284	序文/凡例/第Ⅰ部 環オホーツク 海の古代文化/第Ⅱ部 環オホー ツク海の交易/第Ⅲ部 環オホー ツク海古代文化研究の展開/引用 文献一覧/収録図版出典一覧/初出 一覧/あとがき/索引
知里幸恵(著訳)、北道邦 彦(編註)	知里幸恵のウエベケレ(昔話)	北海道出版企画センター	A5	129	
東京文化財研究所 佐々木利和	うごくモノ：「美術品」の価値形成とは 何か とこしえに地上から消えた千島アイ ヌとその文化：日本人が自ら葬り去っ た異文化	平凡社	A5	410  353～ 360	第3セッション「モノと人の力学」 の一部。391～410ページ「討議三」 にも関係部分あり。
法務省・文部科学省(編)	平成15年版 人権教育・啓発白書 アイヌの人々	国立印刷局	A4	214 87～89	
三好勲、横平弘	アイヌ語地名の魅力(Ⅰ) タッコツ地名 研究：達古武、多峯古峯山、達布山	アイヌ語地名魅力を探る 会	A4	71	
新豊浦町史編纂委員会(編)	新 豊浦町史 文化財	豊浦町	B5	541 439～ 447	町指定文化財アイヌ祭具一式(佐 茂家)、町指定文化財カムイチャ ン遺跡など。
原田信男(編著) 原田信男	日本の食文化 北海道の食文化	放送大学教育振興会	A5	182 86～96	「アイヌ民族の食生活」「アイヌ 民族の食文化」などあり。
千石涼太郎	やっぱり北海道だべさ!! スペシャル版 地名の由来と楽しい地名	双葉社	A6	230 90～93	
卜部信臣(責任編集) 河野敏昭	空知を知る：空知地方史文獻目録とその 手引き アイヌ文献資料	空知地方史研究協議会	A4	182  129～ 130	
反差別国際運動日本委員会 (編) 長谷川由希 上村英明 上村英明、岡本雅亨ほか	マイノリティの権利とは：日本における 多文化共生社会の実現にむけて IMADR- JCブックレット9 文化を実践できるアイヌとできない アイヌの格差が広がっています 先住民族の権利保障運動とマイノリ ティの視点 座談会 マイノリティが変える社会	反差別国際運動日本委員 会(発売：解放出版社)	A5	136  12～15 34～35 73～ 100	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
石沢小枝子	ちりめん本のすべて：明治の欧文挿絵本 B. H. チェンバレンのAino Fairy Tales	三弥井書店	A5	344 85～99	第2章「Japanese Fairy Tale Series」六
熊谷公男	蝦夷の地と古代国家	山川出版社	A5	106	
中尾健次、黒川みどり	人物でつづる被差別民俗の歴史	部落解放・人権研究所(発行)、解放出版社(発売)	A5	165	
黒川みどり	アイヌを誇り叙事詩(ニューカラ)を記録 知里幸恵			93～98	
黒川みどり 中尾健次	北海道旧土人保護法 シヤクシヤイン			95 99	
榎森進(編)	アイヌの歴史と文化 II	「アイヌの歴史と文化」 刊行促進協議会	B5	233	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。市販版もあり(創章舎発行)。
中村和之	北からの蒙古襲来			4～13	初出は『白い国の詩』2000年4月号。
村崎恭子	樺太アイヌの人々			14～23	初出は『白い国の詩』2000年1月号
川上淳	蝦夷地のアイヌ乙名			24～33	初出は『白い国の詩』2000年2月号
井上研一郎	夷酋列像：痛恨の肖像			34～43	初出は『白い国の詩』2000年3月号
榎森進	江戸時代の北方史：「鎖国」の中の北方地域			44～53	初出は『白い国の詩』2000年5月号
遠藤匡俊	近世アイヌの集落と家族構成			54～63	初出は『白い国の詩』2000年6月号
新明英仁	アイヌの風俗を描いた絵師たち			64～73	初出は『白い国の詩』2000年7月号
榎森進	開拓とアイヌ民族			74～83	初出は『白い国の詩』2000年8月号
秋野茂樹	アイヌの送り儀礼			84～93	初出は『白い国の詩』2000年9月号
安田千夏	アイヌの一生			94～103	初出は『白い国の詩』2000年10月号
児玉マリ	アイヌの衣服			104～113	初出は『白い国の詩』2000年12月号
内田祐一	アイヌの伝統家屋チセ			114～123	初出は『白い国の詩』2001年1月号
出利葉浩司	博物館が語るアイヌの生活用具			124～133	初出は『白い国の詩』2001年2月号
内田祐一	アイヌの狩猟			134～143	初出は『白い国の詩』2001年3月号
福岡イト子	アイヌと植物			144～151	初出は『白い国の詩』2001年4月号
秋野茂樹	アイヌの食事			152～159	初出は『白い国の詩』2001年5月号
中川裕	アイヌの口承文芸			160～167	初出は『白い国の詩』2001年6月号
谷本一之	アイヌの芸能：和風化のプロセス			168～175	初出は『白い国の詩』2001年7月号
青柳信克	外国人のみたアイヌ			176～183	初出は『白い国の詩』2001年8月号
児島恭子	金田一京助とアイヌ語			184～191	初出は『白い国の詩』2001年9月号
萩原眞子	ロシアのアイヌ資料：サンクトペテルブルグ編			192～199	初出は『白い国の詩』2001年10月号
萩中美枝	知里真志保とその家族			200～207	初出は『白い国の詩』2001年11月号
尾本恵市	日本人とアイヌ民族の起源			208～215	初出は『白い国の詩』2001年12月号
萱野茂、赤坂憲雄(対談)	アイヌ文化と東北の文化			216～223	初出は『白い国の詩』2001年1月号
榎森進	現在のアイヌ民族が叫ぶ諸問題：『アイヌの歴史と文化II』の刊行にあたって			224～228	
余市町教育委員会(編)	大川遺跡(2003年度)余市川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	余市町教育委員会	A4	305	
横山廣子(編)	少数民族の文化と社会の動態－東アジアからの視点－	国立民族学博物館	B5	377	
大塚和義	現代におけるアイヌ民族自立運動に関する諸問題 近代の同化政策から現代の新法制定議論まで			137～145	
帯広百年記念館(編)	アイヌ語で自然かんさつ図鑑	帯広百年記念館友の会	A5	64	アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版
今泉耕介	アイヌ犬コロとコロ 星になった少年と兄弟犬の物語	ハート出版	A5	140	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会)(編)	帯広叢書第51巻 吉田巖資料集 17	帯広市教育委員会	B5	302	1 アイヌ調査書4-2/2 日記3-16(昭和11年10月～12月)/3 調べ書き4-1(昭和9年北海道方面委員大会・旅中メモほか)/4 著作原稿8(「心の小道」を綴りて)/5 著作原稿9～12(講演草稿・宣誓詞ほか)/6 出現語彙一覧/7 注釈用参考文献一覧
朝比奈美知子	フランスから見た幕末維新:「イリュストラシオン」日本関係記事集から 続々カムチャッカ紀行:アイヌの習俗〔抜粋〕	東信堂	A5	447 80～81	下記のほか、地名・事項索引に「アイヌ」6箇所(30、76、80、81、125、135)あり。
魚井一由 平田角平	ウネウサラ:チセ・チブ 復元の記録 チセのケトゥンニ構造 空知アイヌの生活誌〔抜粋再録〕	たきかわチセ・ア・カウの会、国学院短期大学コミュニティカレッジセンター	A5	34～35 36～38	『北海道の文化』第44号掲載のものを抜粋再録。
中路正恒 工藤雅樹 工藤雅樹、菊池勇夫、中路正恒(ディスカッション、司会:赤坂憲雄、六車由美)	東北文化シンポジウム報告:北の狩猟文化 「マタギ」の狩猟 東北のマタギ言葉とアイヌ語地名について 東北の狩猟文化をめぐって	東北芸術工科大学東北文化研究センター	A5	78 30～38 50～62 63～78	東北文化の広場8(ブックレット)
STVラジオ(編)	ほっかいどう百年物語 第4集 弁開胤次郎:アイヌ民族と和人の架け橋になったコタン部落の村長 ジョン・パチェラー:「アイヌの父」と呼ばれたイギリス人宣教師	中西出版	B6	214～ 224 259～ 269	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構 収蔵資料目録 4 森資料	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	87	
アイヌ民族博物館(編)	アイヌと植物(樹木編) アイヌと自然 シリーズ第3集〔第2版増補版〕	アイヌ民族博物館	20× 21	31	1993年発行初版の増補版。
旭川市博物館(編)	旭川市博物館所蔵品目録XIV:民族資料 ノ生業関係	旭川市博物館	A4	54	
慶応義塾大学文学部民族学考古学研究室(編) 佐藤孝雄	時空をこえた対話:三田の考古学 “シカ送り”儀礼と二つの時間	六一書房	B5	375 325～ 330	
考古学研究会(編) 千田嘉博 藤沢敦	文化の多様性と比較考古学 チャンとバ 創出された境界 一倭人とエゾを分かつもの	考古学研究会(岡山市)	B5	471 241～ 250 261～ 268	考古学研究会50周年記念論文集。
佐々木亨(編)	ミュージアムのアイヌ文化展示における事前・ 形式的評価の実験的導入に関する研究 アイヌ文化に関する博物館展示の事前・事後評価	北海道大学大学院文学研究科佐々木研究室	A4	165 5～91	平成13～15年度科学研究費補助金研究成果報告書。
小谷凱宣 小谷凱宣 荻原真子 長谷部一弘 児玉マリ 藪中剛司 福土廣志 鈴木邦輝 内田祐一 大谷洋一	海外のアイヌ文化財:現状と歴史 (第17回「大学と科学」公開シンポジウム発表収録集) 海外アイヌ文化財調査:目的と経過、 収集の歴史、調査研究の成果 ロシアのアイヌ文化財調査について 生業関係資料 衣服関係資料 食関係資料 住関係資料 移動・運搬関係資料 儀礼:祭祀具・霊送り儀礼に関する資料について 儀礼:巫術やまじないに関する道具について	南山大学人類学研究所	B5	189 6～22 24～33 34～41 42～52 53～60 61～66 67～72 73～81 82～87	はじめに(小谷凱宣)/第1章 基調報告/第2章 ロシアのアイヌ文化財調査/第3章 欧米のアイヌ文化財:文化要素の比較と地理的特徴/第4章 今後のアイヌ研究の課題/執筆一覧/あとがき シンポジウム基調報告

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
ウラジミール・モイセー エヴィッチ・グルース マン (吉田睦訳)	ロシア民族学博物館における『島の 人々アイヌ』展			88～91	以上、第2章「ロシアのアイヌ文 化財調査」
J. クライナー	ヨーロッパ思想史とアイヌ観、アイヌ 研究、アイヌ・コレクションの形成			94～ 106	
小谷凱宣	北米のアイヌ文化財調査			107～ 117	
出利葉浩司	欧米のアイヌ・コレクションの構成 要素の比較			118～ 130	
池田透	海外資料から見たアイヌ民族の動物 利用			131～ 138	
佐々木利和、古原敏弘	海外のアイヌ絵			139～ 142	以上、第3章「欧米のアイヌ文化 財：文化要素の比較と地理的特徴」
中川裕	アイヌ語研究の課題 ー過去の遺産 の活性化：アイヌ語音声アーカイブ の必要性			144～ 148	
古原敏弘	物質文化研究の可能性			149～ 153	
青柳信克	国内アイヌ文化財の比較調査			154～ 161	
谷本晃久	アイヌ史の可能性			162～ 170	
佐々木史郎	より広い視野から見たアイヌ文化研究			171～ 185	
笹村二郎	アイヌ文化の将来			186～ 189	
小谷凱宣(編)	海外アイヌ資料にもとづくアイヌ文化の 地域差・時代差に関する研究	南山大学人類学研究所	B5	261	文部科学省科学研究費補助金研究 成果報告書
小谷凱宣	研究計画「海外アイヌ資料にもとづ くアイヌ文化の地域差、時代差の比 較研究」について			1～4	
小谷凱宣(編)	海外アイヌ資料関係既発表業績一覧			5～11	
小谷凱宣	明治時代のアイヌ・コレクション収 集史再考：国外アイヌ・コレクショ ンの調査結果から			13～27	『国立歴史民俗博物館研究報告』 107集(2003年)からの転載。
平野芳英、山崎幸治、 北原次郎太	島根県美保岡町の北方民族関係資料			29～37	『北海道立アイヌ民族文化研究セ ンター研究紀要』10号(2004年3月) からの転載。
谷本晃久、木田歩、山 崎幸治	「蝦夷志料」引用書目誌考			39～71	『史流』41号(2004年3月)からの 転載。
木田歩、山崎幸治、谷 本晃久、小谷凱宣	「蝦夷志料」総目録			73～ 261	
小谷凱宣、荻原眞子(編)	海外アイヌ・コレクション総目録	南山大学人類学研究所	B5	422	はじめに(付表 海外主要アイヌ 資料の分布)/第1章 海外のアイ ヌ資料所蔵博物館等/第2章 海外 のアイヌ資料一覧/第3章 アイヌ 資料に関する背景情報
杉浦茂	場所請負人 福嶋屋 杉浦嘉七 四代物 語	杉浦茂	B5	158	
青森県立郷土館	開館30周年記念特別展 蝦夷錦と北方交 易 改訂版	青森県立郷土館	A4	71	あいさつ/謝辞/凡例/論考〔内訳 下記〕/図版Ⅰ 山丹交易：蝦夷 錦の来た道/図版Ⅱ 北方の諸民 族：蝦夷錦を伝えた人々/図版Ⅲ 北海道に残る蝦夷錦/図版Ⅳ アイヌ絵の中の蝦夷錦/図版Ⅴ 青森県に残る蝦夷錦/出品資料一 覧/あとがき 備考)2003年9月26日発行の改訂版。 細谷良夫の論考を新たに加えると ともに、他の論考についても補充 があるほか、誤植の正誤などを行っ た(改訂版「あとがき」による)。
中村和之	蝦夷錦・青玉と北方交易			6～10	
五十嵐聡美	アイヌ絵の中の蝦夷錦			11～14	
細谷良夫	蝦夷錦研究をめぐる提言			15～17	
瀧本壽史	津軽海峡を渡った蝦夷錦			18～22	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
仙台市史編さん委員会（編） 榎森進	仙台市史 通史編5 近世3 蝦夷地の警備	仙台市	A5	641 432～ 456	
東京都教育庁指導部指導企画課（編）	人権教育プログラム（学校教育編） 人権課題「アイヌの人々」（中学校総合的な学習の時間）	東京都教育庁指導部指導企画課	A4	167  56～61	
部落解放・人権研究所（編） 竹内渉	人権年鑑2003 アイヌ民族	部落解放・人権研究所	A5	338 46～49	
平川新（監修）	ロシア史料にみる18～19世紀の日露関係第1集 東北アジア研究センター叢書第15号	東北大学東北アジア研究センター	B5	205	
別海町郷土資料館（編）	加賀家文書 現代語訳 第四巻	別海町郷土資料館	A5	271	
北海道大学文学部古河講堂「旧標本庫」人骨問題調査委員会	古河講堂「旧標本庫」人骨問題 報告書Ⅱ  『樺太日日新聞』掲載のサハリン先住民族に関する記事データベース	北海道大学大学院文学研究科・文学部	A4	390	はじめに/第Ⅰ部 サハリンへのウイラタ民族の遺骨の返還（第1章 これまでの経緯(1995年7月～2001年11月)/第2章 サハリンへの遺骨の返還に向けて（2001年12月～2003年3月）/第3章 サハリンへの遺骨の返還（2003年4月～2003年8月）/第Ⅱ部 『報告書Ⅰ』第Ⅴ章の再検討（はじめに/第1章 指摘された問題点/第2章 批判に対する委員会の見解/第3章 その他の問題点/関係文献）/第Ⅲ部 吉崎氏の証言の詳細（第1章 事情聴取の経過/第2章 吉崎証言の矛盾と残された課題）/資料編  記事目録(4318件)及びそこから選ばれた記事120件のコピーを掲載。
北村百年史編さん委員会（編） 太田幸雄 太田幸雄	北村百年史 北村のアイヌ語地名 アイヌ撫育で対立	北村	A5 A5	1512 27～42 57～59	
	〔北海道大学〕学位論文内容及び審査の要旨（課程博士） 高橋靖以 アイヌ語十勝方言の助詞 プガエワ・アンナ Grammar and Folklore Texts of the Chitose Dialect of Ainu (Idiolect of Ito Oda) [アイヌ語千歳方言の文法と口承文芸：小田イトの個人語]	北海道大学 北海道大学 北海道大学	B5 B5 B5	1625 40～43 48～51	
	人権教育指導事例集（中学校・高等学校編） 現代社会と私たちの生活（アイヌの人々） アイヌの文化を知る（アイヌの人々）	埼玉県教育局指導部人権教育課	A4	105 8～15 95～99	
	第7回アイヌ語弁論大会 イタカン ロー	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	88	
田中了 松木新 藤本英夫 中本ムツ子	知里幸恵生誕100年 幸恵の世界を訪ねて アイヌ神謡集のCDとムツちゃんの話 を聴くタベ  開会あいさつ 文芸評論家の目を通しての幸恵の生誕一〇〇年をどうみるか 研究者の目からみた生誕一〇〇年 うたってみて、聞いてみての『神謡集』	アイヌ問題を考える懇話会	A5	66  3～5 6～18 20～29 31～43	2003年7月4日に開催された集いの記録。挨拶、講演の記録のほか、巻末に史料編として関係する新聞・雑誌の記事などを付す。
	平成15年度 イオル再生等アイヌ文化伝承方策基礎調査報告書（アイヌ文化の地域的様相等編）	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	107	1 アイヌ文化の地域的様相/2 アイヌ文化の伝承者及びその活動状況調査について/参考資料
	平成15年度 普及啓発講演会報告集	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	66	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
[人権教育啓発推進センター]	主要人権関係条約資料集	人権教育啓発推進センター	A4	380	6月に改版出版。
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成15年度 普及啓発セミナー報告集	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	160	
相内俊一	アイヌ民族と国際人権法			5~11	
秋辺日出男	アイヌ文化と北海道観光			12~17	
浅倉有子	幕府の蝦夷地政策の展開とアイヌ観			18~24	
乾芳宏	日本海沿岸におけるアイヌ文化			25~28	
井上絢一	ピウスツキとアイヌ文化			29~36	
宇井眞紀子	アイヌときどき日本人			37~43	
内田祐一	アイヌ民族と自然とのかかわり			44~50	
岡田路明	アイヌ語伝承の現状			51~57	
貝澤和明	私の教わったアイヌの心			58~63	
貝澤珠美	デザインをとおしてアイヌ文化をみるとき			64~68	
萱野志朗	アイヌ語を普及するには			69~77	
葛野次雄	アイヌの精神文化			78~81	
工藤雅樹	古代蝦夷〔えみし〕から見たアイヌ社会			82~87	
佐藤孝雄	熊送りの考古学			88~95	
志賀雪湖	アイヌの口承文芸：語りの形式			96~102	
菅原勝吉	私とアイヌ語			103~109	
高木喜久恵	私とアイヌ文化（アイヌと自覚したときに）			110~116	
手島武雅	日米先住民族政策の比較：アイヌ民族共有財産裁判とインディアントラスト裁判			117~125	
麓慎一	近代日本とアイヌ：「旧土人保護法」をめぐって			126~133	
本田優子	アイヌの生活文化			134~141	
森岡健治	考古学からみたアイヌの生活			142~153	
藪中剛司	アイヌ文化と考古学			154~160	
佐藤知己	古文獻によるアイヌ語諸方言の比較研究	北海道大学大学院文学研究科	B5	323	科学研究費補助金成果報告書。
	酒田市光丘文庫所蔵「蝦夷記」のアイヌ語について			5~29	初出は『北海道大学文学研究科紀要』111号(2003年11月)。
	彰考館旧蔵アイヌ語テキスト「蝦夷チャランケ並浄瑠璃言」について			31~58	初出は『北海道大学文学研究科紀要』109号(2003年2月)。
	Phonological Status of the Epenthetic Glides in the Chitose Dialect of Ainu [アイヌ語千歳方言におけるわたり音の音韻的地位について]			59~83	初出は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』9号(2003年3月)。
	アイヌ語動詞の特色			85~86	初出は『月刊言語』31巻12号(2002年)。
	アイヌ語千歳方言における kane の用法			87~115	初出は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』8号(2002年3月)。
	A Basic Vocabulary of the Samani Dialect of Ainu [アイヌ語様似方言の基礎語彙]			117~153	初出は『北海道大学文学研究科紀要』106号(2002年2月)。
	アイヌ語千歳方言の「第三類の動詞」の構造と機能			156~176	初出は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』7号(2001年3月)。
	アイヌ語千歳方言における反復による有音休止			177~189	初出は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』6号(2000年3月)。
	天理大学附属天理図書館所蔵「松前ノ言」について(1)			191~215	初出は『北海道大学文学部紀要』93号(1998年3月)。
	天理大学附属天理図書館所蔵「松前ノ言」について(2)			217~253	初出は『北海道大学文学部紀要』97号(1999年3月)。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	アイヌ文学における一人称体の問題  知里幸恵『アイヌ神話集』は読めるか：難読箇所と特異な言語事例をめぐって  「蝦夷チャランケ並瑠瑠言」索引  「松前ノ言」アイヌ語索引			255～273  275～308  309～316 317～319	初出は北海道大学文学武教育勉強会報告資料（2001年9月）。 初出は第108回北大言語学談話会報告資料（2003年12月）。改稿のうへ『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第10号（2004年3月）に掲載。
小林孝人、高橋英樹（編） 小林孝人、高橋英樹	きのこの自然史 北大総合博物館植物標本庫蔵『蝦夷採葉草木図』に見る「きのこ」	北海道大学総合博物館	A4	58 43～45	
法務省・文部科学省（編）	人権教育及び人権啓発に関する施策についての年次報告（概要） 平成14年度 アイヌの人々	法務省、文部科学省	A4	38 25	
北海道開発協会（編） 吉嶺茂樹	北見河川事務所30年史 アイヌの人びとと和人の定着	北海道開発局網走開発建設部北見河川事務所	A4	331 44～47	
北海道教育庁生涯学習部文化課（編）	平成15年度 アイヌ民俗文化財調査報告書（アイヌ生活技術伝承実態調査Ⅴ）	北海道教育委員会	B5	160	はじめに/安東ウメ子さんの伝承/熊田ハツエさんの伝承/出現語彙一覧
北海道教育庁生涯学習部文化課（編） 織田ステノ（語り）、志賀雪湖（訳注） 安東ウメ子（語り）、藤村久和（訳注） 金成アシリロ（語り）、蓮池悦子（訳注） 金成アシリロ（語り）、蓮池悦子（訳注） 蓮池悦子（編） 小松哲郎	平成15年度 アイヌ無形民俗文化財記録刊行シリーズ17 トウイタリ（昔語り）5 兔の大将と海の神 息子を大きな行器に入れて救った母親の物語 柳と春楡の対話 十勝の悪行夫婦 語り手別アイヌ語索引 英文解題	北海道教育委員会	B5	207 11～49 51～65 67～125 127～176 177～198 199～205	
北海道教育庁生涯学習部文化課（編）	平成15年度 アイヌ無形民俗文化財調査報告書（ユーカラシリーズ26）海の妖精十二人の兄妹	北海道教育委員会	B5	220	
北海道教育庁生涯学習部文化課（編）	平成15年度 知里真志保フィールドノート（3）	北海道教育委員会	B5	107	知里真志保のプロフィール/凡例にかえて/知里真志保フィールドノート
北海道立文書館（編）	北海道立文書館所蔵公文書件名目録 19 札幌県治類典（8）	北海道立文書館	A4	116	土木課、衛生課、警察本署、庶務課などの文書の件名を収録。
民俗芸能学会 民俗芸能研究文献目録編集委員会（編）	民俗芸能研究文献目録 北海道・単行本 北海道・論文	岩田書院	A4	413 13～14 14～16	
<b>【2004年4月】</b>					
伊藤兼平	人間と稲：稲作の歴史は日本民族文化の基層 稲の開祖・中野軍助 稀に見るアイヌ民族への人間愛	伊藤兼平（長沼町）	A5	215 195～199	
稲田浩二（編集代表） 福島志 稲田浩二 稲田浩二	世界昔話ハンドブック フクロウ神の村めぐり 炉縁の化け 日本の昔話	三省堂	A5	303 33～34 34, 36 206～207	
小笠原信之 藤本英夫	アイヌ共有財産裁判：小石一つ自由にならず 〔解説〕 金田一京助という人	緑風出版 平凡社	A5 16×11	260 287～294	第一部 チャランケ/第二部「訴えの利益」の壁/第三部 扉をこじ開けた/あとがき

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
金田一京助(著)、藤本英夫(編)	ユーカラの人びと 金田一京助の世界1	平凡社	16×11	294	金田一京助のアイヌ語研究関係の論考を、全集(三省堂刊)収録作品を中心に一部未収録作品を加え編集。目次: I (片言をいうまで/アイヌの話:「心の小道」余話/安之助/樺太便り/思い出の樺太/イランカラブテ:アイヌをにっこりさせる一言)/II (太古の国の遍路から/盲詩人/人差し指の話/ペンを休めて)/III (葉がくれの花:マツさんとナミさん/近文の一夜/知里幸恵さんのこと/秋草の花/胸打つ哀愁!!:知里幸恵さんの日記とその追憶/知里君をしのぶ:人とその業績/アイヌ語ノート/『アイヌの話』序)ほか。
藤本英夫	〔解説〕金田一京助という人	平凡社	16×11	287~294	
久保寺逸彦(著)、佐々木利和(編)	久保寺逸彦著作集2 アイヌ民族の文学と生活	草風館	A5	311	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。アイヌ文化良書刊行会2月10日発行の増刷。
大阪府立弥生文化博物館(編)	弥生のころの北海道	大阪府立弥生文化博物館	A4	91	
吉村健 木谷秀次 石神恰	北海道の「名付け親」 恵みをもたらす「神の魚」サケ 続縄文の精神世界			14~15 22~24 38~43	
田中伸尚	ドキュメント 憲法を奪回する人びと 先住民族アイヌの生を取り戻す 北 川しま子さん	岩波書店	B6	297 75~98	
掛川源一郎	gen 掛川源一郎が見た戦後北海道	北海道新聞社	20×30	167	
山口昌男 掛川源一郎 掛川源一郎	掛川源一郎の写真を見る 戦後・私の目線:アイヌ民族にとっ て北海道とは 序にかえて 「戦後・私の目線」断章			130 132~ 133 134~ 143	
吉田ルイ子	写真解説 掛川さんの写真が私たちに語ること			144~ 149 150~ 152	
工藤正廣	イレスサポの贈り物			153~ 157	
大日方欣一	眼差しの来歴:掛川源一郎の写真を 巡るノート・序			158~ 163	
掛川源一郎出版委員会 (谷口雅春)	「北海道人」とは誰のことか:編集 後記にかえて			167	
宇井真希子(写真、文) みーちゃん	ASIR RERA : AINU SPIRITS 〔書評〕蝦夷地別件 船戸与一	新風舎	A4	134~ 138	写真集。ページ番号印刷なし。
bk1with熱い書評プロジェクト	熱い書評から親しむ感動の名著	すばる舎	B6	367	
人権擁護実務研究会(監修) 日本加除出版編集部(編)	人権擁護六法 平成16年版  アイヌ文化の振興並にアイヌの伝統 等に関する知識の普及及び啓発に関 する法律  アイヌ文化の振興並にアイヌの伝統 等に関する知識の普及及び啓発を図 るための基本方針	日本加除出版	A5	1099  498~ 500  501~ 503	
和野内崇弘理事長「名誉教授」称号授与記念論文集刊 行委員会(編)	北海道の地域開発と教育 一変革へのシ ナリオに挑み35年一  二風谷ダム周辺の観光レクリエーショ ン施策	札幌国際大学	A4	399  119~ 122	
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	平成16年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.1	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4		講師太田満
千葉章仁(文)、内山敏文 (編)	十勝人 心の旅 1 新得・上土幌・足 寄・陸別 アイヌの困窮	帯広信用金庫	A6	141  86~88	
<b>【2004年5月】</b>					
西川隆夫	夷王山 アイヌの窮状	文芸社	B6	96 86~88	他にも関係記事あり。
井上孝夫	世界中の言語を楽しむ学ぶ	新潮社	新書	190	新潮新書070



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
井上孝夫	アイヌ語			59	コラム「心にかかる言語たち」5
宮地裕、甲斐睦朗(監)、 荻野綱男、杉戸清樹、高木 展郎、近藤泰弘(編)	日本語あれこれ事典	明治書院	B6	348	
小野米一	北海道にはもともとアイヌ人が住ん でいたそうですが、方言はどうやっ てできたのですか？			294～ 295	
村崎恭子	アイヌ語は日本語の親戚なの？			295～ 298	
佐々木光雄、吉岡一男(編)	宮城県の不思議事典	新人物往来社	A5	232	
滝川ちかこ	蝦夷とは何か			17～18	
山下敏明(著)、室蘭民報編 集局(編)	本の話	室蘭民報社	A5	390	
	金田一と栗林五朔翁			137～ 139	
	知里真志保、幸恵姉弟			139～ 141	
	「知里ノート」のこと			169～ 170	
	アイヌ差別の関連本			180～ 181	
	パードの室蘭印象記			184～ 185	
	エゾ一周ひとり旅				
高橋富雄	高橋富雄東北学 地方からの日本学 第 1部東北論 東北学 第3集 奥ゆかし みちのくの世界	歴史春秋出版	A5	404	
				5～226	
	解放新聞 縮刷版 第36巻 2003(2101 号-2150号)	解放新聞社	A4	489	
	自分探して文化を学ぶ アイヌ文化 とのふれあい in 樺名			319	
	アイヌ女性の視点から			340	
	「かすうどん」と「ちゃんちゃん焼」 アイヌ民族と食文化の交流も			385	
菊池慶一	街にクジラがいた風景 オホーツクの捕 鯨文化と庶民のくらし	寿郎社		377	
	オホーツク人とアイヌ民族の捕鯨文 化			255～ 261	
赤坂憲雄、菊地和博(責任 編集)、京都造形芸術大学 (編)	東北学への招待	角川書店	A4	223	
工藤雅樹	古代蝦夷の世界			21～31	
斉藤利男	北の内海世界			163～ 170	
赤坂憲雄	東北学：いくつもの日本を抱いて			211～ 216	
<b>【2004年6月】</b>					
山下抄登	ものと人間の文化誌120-1 捕鯨 I	法政大学出版局	A5	292	
	アイヌが語る捕鯨			21～25	所収書第1章2「豊かな幸：神か らの贈り物」の一部。以下同じ。
	「鯨送り」儀礼は何を意味してい るのか			26～27	
知里森舎(編)	知里幸恵書誌	知里森舎	B5	150	序(知里むつみ)/はじめに/『知 里幸恵書誌』の構成・凡例/知 里幸恵略年譜/知里家金成家家系図/ I 知里幸恵著作目録(A刊行本 『アイヌ神謡集』関係著作目録/B 佐々木長左衛門編『アイヌの話』 所収関係著作目録/C知里幸恵遺稿 (ノート・日記、書簡・手稿)関 係著作目録)/II 知里幸恵関係 参考文献目録/III 知里幸恵『ア イヌ神謡集』等に関する資料/IV 解説・知里幸恵『アイヌ神謡集』 及びその関係文献について/編集 後記 あとがきにかえて/索引
知里森舎(編)	知里幸恵書誌	知里森舎	B5	125～ 139	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
金田一京助(著)、工藤雅樹(編)  工藤雅樹	古代蝦夷とアイヌ 金田一京助の世界2  〔解説〕 金田一京助の古代蝦夷研究	平凡社	16×11	316  307～316	金田一京助のアイヌ史・古代史・東北アイヌ語地名関係の論考を、全集(三省堂刊)収録作品を中心に一部未収録作品を加えて編集したもの。主要目次：I(奥州蝦夷種族考)/II(本州アイヌの歴史的發展/蝦夷とアイヌ：歴史的考察/蝦夷と日高見国/蝦夷名義考：カイ説の根拠について/アイヌの系統)/III(北奥地名考：奥羽の地名から見た本州エゾ語の研究/山間のアイヌ語)/IV(義経入夷伝説考/アイヌの叙事詩に就て)/解説 金田一京助の古代蝦夷研究(工藤雅樹) 備考)平凡社ライブラリー503
石井米雄、千野栄一(編)  奥田統己 奥田統己	世界のことば・出会いの表現辞典  奥田統己の アイヌ語 イカタイ!(アイヌ語)	三省堂	B6	482  10 352～353	下記のほか、「01 初めて出会ったときのことば」～「30 ことばに詰まったときのことば」について、59の言語の言い方が紹介されており、その中に「アイヌ語」がある。 「ことばのプロフィール」の中の一項目。
山村輝夫(絵図) 森川勇作	図譜コタン生物記：更科源蔵著に拠る山村輝夫の絵図集 図譜コタン生物記 解説	札幌弟子屈会		本体16枚 4	
須藤隆仙(編)	世界宗教用語大辞典 アイヌの宗教 イナウ オキクルミ 熊祭 コロボックル パチェラー ユーカラ	新人物往来社	A5	1135 14～15 79 159 386 808 1051 293	
武光誠	地名の由来から知る日本の歴史 北海道と沖縄に難読地名はなぜ多い	ダイヤモンド社	B6	230 45～53	『地名の由来を知る事典』(東京堂書店、1997年)を大幅に改稿して出版。
佐藤忠悦	南極に立った樺太アイヌ：白瀬南極探検隊秘話	東洋書店	A5	62	ユーラス・ブックレットNo.64
星新一	祖父・小金井良精の記(上) 北海道旅行 坪井正五郎	河出書房新社	A7	417 224～235 401～417	
星新一	祖父・小金井良精の記(下) 本邦先住民族の研究(要約) マンロー	河出書房新社	A7	383 76～80 159～170	
大庭みな子(編) 津島佑子	テーマで読み解く日本の文学(上) 歌謡の発生：アイヌの叙事詩	小学館 小学館	B6 B6	577 152～164	
北海道開拓記念館	2004移動博物館「刷って、伝える 印刷再発見」展示解説書	北海道開拓記念館	A4	14	展示資料中に『ウタリ乃光り』あり。
日本民話の会・外国民話研究会(編) 志賀雪湖 志賀雪湖 志賀雪湖 志賀雪湖	世界の鳥の民話 おなかの小鳥 草色の鳥になった男の子 コノハズクになった子ども トンビとヘビの結婚	三弥井書店	B6	286 224～225 13～15 15～17 53～55	虎尾ハル語りによる口承文芸 織田ステ語りによる口承文芸 織田ステ語りによる口承文芸 虎尾ハル語りによる口承文芸
合田一道+番組取材班 合田一道、竹内文乃 合田一道、江口ちひろ	人間登場 北の歴史を彩る 第3巻 三浦政治 アイヌ民族の教育に尽力 加賀伝蔵 アイヌの通訳として尽くす	北海道出版企画センター	B6	253 85～96 161～170	
松浦武四郎(著)、秋葉實(翻刻・編)	松浦武四郎選集 四	北海道出版企画センター	A5	403	
三吉笑吾(著)、山田一孝(解説)	雪泥餘痕：明治官吏の出張旅行記	おうふう	B5	700	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
河原俊昭、山本忠行（編）	多言語社会がやってきた 世界の言語政策Q&A	くろしお出版	A5	248	
中尾正史	参議院の本会議でアイヌ語で話した議員がいたと聞いたことがあります、そのことについて教えてください			86～87	
手塚順考	アイヌ語のような絶滅寸前の言語を保存し、活かしていくために、私たちがしていくべきことは何でしょうか			174～175	
松原好次	「国際先住民年」は、どのような問題を提起し、どのような成果を挙げたのですか？			178～179	
桑原康彰	北海道の動物記 観察記録編 ヒグマに出会った時の対処法	新生出版（発売：ディーディーエヌ）	B6	197	
				183～197	「先輩やアイヌ人の助言」の項あり。
西谷栄治、舟山直治（編）	出会い・発見・情報発信の拠点 北の博物館	北海道博物館協会学芸職員部会	A4	103	北海道博物館協会学芸職員部会25周年記念誌
福岡イト子	「アイヌ文化の学習」とミュージアム			30	
齋藤大朋	シベチャリチャシ跡からの眺望			39	
吉原秀喜	アイヌ文化をめぐるパラダイム転換の中で			47	
アイヌ文化振興・研究推進機構	財団のあらまし 平成16年度	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	31	
アイヌ文化振興・研究推進機構（編）	アイヌの人たちとともに：その歴史と文化	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	37	
<b>【2004年7月】</b>					
熊谷公男	古代の蝦夷と城柵	古川弘文館	B6	228	
北海道開拓記念館（編）	豆本40 北海道開拓記念館 第140回テーマ展 見誤った伝統？：アイヌの機織り技術	北海道開拓記念館	A7	27	
斎藤貴男	絶望禁止！	日本評論社	B6	256	
斎藤貴男	三田一良さん：アイヌ民族の尊厳を回復するために			229～241	初出は『法学セミナー』2004年5月号掲載。
森潤	私、セトナになります/蠶の群れ【創作】	日本文学館	B6	115	
森潤	私、セトナになります	日本文学館	B6	3～49	
アイヌ文化振興・研究推進機構（編）	樺太アイヌ民族誌：工芸に見る技と匠	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	140	八戸市博物館、帯広百年記念館、板橋区立郷土資料館にて開催されたアイヌ工芸品展の共通図録。
大塚和義	〔地図〕 樺太アイヌを中心とした先住民の分布：1940年以前			88	
大塚和義	樺太アイヌ民族誌：伝統と現代			90～99	
北原次郎太	樺太アイヌの歴史			100～109	
長谷部一弘	樺太アイヌの衣・食・住			110～113	
内田祐一	樺太アイヌの信仰と生活			114～117	
小西雅徳	東京人類学会と樺太調査行			118～123	
小西雅徳	八戸と石田収蔵			124～125	
	板橋区立郷土資料館「石田収蔵関係資料」（抄録）			126～129	野帳の一部などの図版を掲載。
故石本省三氏追悼論集編集実行委員会（編）	土・酒・海・山 故石本省三氏追悼論集	故石本省三氏追悼論集編集実行委員会	A4	89	発刊にあたり/北海道南部の続縄文文化/追悼研究論文/偲ぶ：思い出の記
	北海道南部の続縄文文化			15～32	
北海道文学館（編）	更科源蔵生誕一〇〇年 北の原野の物語	北海道立文学館	A5	31	
	アイヌ文化と郷土研究			16～18	
山浦清	北方狩猟・漁撈民の考古学	同成社	B5	334	はじめに/序章 民族誌にみる銜の構造と機能/第1部 日本列島をめぐる視点から/第2部 環オホーツク海地域という視点から/第3部 環極北地域という視点から/引用文献/初出一覧/あとがき
小川昭一郎（編著）	幕末オホーツク沿岸開墾畑作史料集	道都大学小川研究室	A5	214	
佐藤さとる（作）、村上勉（絵）	コロボックルふねにのる：コロボックル絵巻話2	講談社	20×21	32	
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園（編）	北大植物園資料目録 第5号 所蔵考古資料目録(1) 旧豊平川右岸丘陵地出土土器の見当：植物園所蔵名取武光・後藤寿一調査資料再報	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園	A4	67	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成16年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.2	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	41	講師太田満
<b>【2004年8月】</b>					
野村崇(編)	北海道の古代 3 擦文・アイヌ文化	北海道新聞社	A5		
片山龍峯	日本語とアイヌ語	すずさわ書店			
尾崎功	北海道 道の駅 地名めぐりの旅：新旧地形図が語る	北海道出版企画センター	B5	194	
米田綱路(編) 北原きよ子	抵抗者たち：証言・戦後史の現場から 差別でなく、区別を求めて	講談社	B6	289 186～ 215	
前田速夫	余多歩き 菊池山哉の人と学問 蝦夷とアイヌ	晶文社	B5	366 225～ 233	
佐藤重雄 佐藤利勝	東アジアと東北 十七世紀の「アイヌ民族独立戦争」 と「アイヌ神謡集」 北方政策と庄内藩：庄内藩の蝦夷地 経営	教育史料出版会	A5	74～81  98～ 105	
藤井貞和	物語理論講義 アイヌ語という物語の言語	東京大学出版会	A5	236 120～ 131	
北海道開拓記念館(編) 手塚薫	北海道の民俗芸能 舞う・唄す・競う アイヌ民族の芸能 ～移動する文化 境界～	北海道開拓記念館	A4	63 4～5、 26	
中津文彦 古川純一	[創作]天明の密偵 小説・菅江真澄 アイヌ語	文藝春秋	B6	21～ 122	
古川純一	日本超古代地名解：地名から解く日本語 の語源と古代日本の原像	彩流社	B6	503	
古川純一	日本超古代地名解 一地名から解く日本語 の語源と古代日本の原像 アイヌ語	彩流社	B5	503  21～ 122	
アレフ 生物多様性実行委員会 萱野茂(講演)	「共生の大地」 北海道&ニュージーラ ンド生物多様性シンポジウム [特別講演] 天の国から役目なしに 降ろされたものはひとつも無い	アレフ	A4	159	
北海道教職員組合、北海道 私立学校教職員組合(編)	北海道の教育 第38集：第53次合同教育 研究全道集會(日高) 報告 平和・人権教育	北海道教職員組合、北海 道私立学校教職員組合	A5	534 285～ 310	第14分科会報告。
<b>【2004年9月】</b>					
北海道新聞社(編)	北の匠… 息づく伝統技術 アツシ織り 遠山サキ	北海道新聞社	B5変 型	161 40～45	
菊池徹夫(編) 菊池徹夫	文字の考古学 II 北東アジア：文字から遠い世界	同成社	B6	283 119～ 137	
上村英明(監修) 阿部ユボ 長谷川由希 小林純子 上村英明	グローバル時代の先住民族：「先住民族 の10年」とは何だったのか アイヌ民族の復権運動 WGIPから見えてきたアイヌ民族の成 果と課題 NGO活動を通して先住民族の10年を振 り返る 「先住民族の国際10年」が生み出した希 望、現実、そして幻想：日本から次の10年 における権利回復運動の可能性をみる	法律文化社	A5	299 39～50 50～58 68～75 229～ 249	下記の論文のほか「資料」として 関係法律あり。
歴史教育者協議会(編) 篠塚明彦 平井敦子 平井敦子 平井敦子	東アジア世界と日本 オホーツクとアイヌ文化の成立 上方の米穀は蝦夷地でとれる？ 松 前藩とアイヌ民族 南下するロシア、北を向く幕府 近代日本と北海道	青木書店	A5	270 52～55 90～94 103～ 106 116～ 119	
谷川健一	心にひびく 小さき民のこぼ 序 「小さき者」に寄す 松浦武四郎：蝦夷探検家の告発 ウタリの叫び：知里幸恵とパチェラー 八重子	岩波書店	B6	257 V～ XV 140～ 146 147～ 159	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
安田敏朗   安田敏朗	日本語学は科学か：佐久間鼎とその時代   「日本帝国大学言語学」の射程：上田万年から金田一京助へ	三元社	B6	344 25～57	
津田太愚（著）、つだゆみ（マンガ）	〈義経〉のことがマンガで3時間でわかる本   「アイヌの武将になった」という伝説もある	明日香出版社	A5	236 222～223	
鈴木しおり（編）   木村雅信（作曲）	サハリン先住民族「ニブフ」の伝統芸能アンサンブル：『イフ・ニフ・ニブグン』ポルト公演に基づく報告書   [委嘱作品] 1 アイヌのモードによる舞曲第40番	北海道浅井学園大学北方圏学術情報センター	A4	87	作品解説もあり。
チュプチセコルさんを思う会   石原祐子   浅尾芳嗣   青木悦子   伊藤哲男   上谷正男   藤居優   大熊ワタル   小垣隆美   岡田孝治   okumuea aki   上出隆一   きむらりえ   ケメ   越水利江子   柴田道雄   藤居優   千松信也   長岡伸一   中川敬   仲間恵子   藤居優   富美蘭坊   松川貴彦   文公輝   きむらりえ   もと   安田剛志   吉川均   oripak Esaman	oya mosirta sine ainu siknu wa an katu ene an hi… はじめに 恐竜が星を持っている：チュプさんのマンガから チュプチセコルさんと同行した遠足〔無題〕 アイヌについて どう教える?! チュプチセコルさんと私 近畿地方にいた隼人：チュプさんの遠足から 月の輪を追いかけて 〔無題〕 「古代のアイヌモシリを尋ねて」の会の足跡 〔無題〕 〔無題〕 星がいっぱいの中を飛ぶ：チュプさんのマンガから コドモのきもち 〔無題〕 チュプさん 2003/2/10 チュプさんの思い出 月と桂：チュプさんの遠足から 〔無題〕 映画の都の満月は、和メディアの闇夜を照らす チュプチセコルさん・追悼文 空から見ているだけなんて 地上はホテルでいっぱいだ：チュプさんのマンガから し残したレポート チュプチセコルさん を偲んで チュプさんの怒った顔と笑った顔 チュプチセコルさんのこと 2004年1月24日に行われた「つどい」の報告 〔無題〕 チュプチセコルさんのこと チュプチセコルさんの事 〔無題〕	チュプチセコルさんを思う会	A4	79 5～10 11 13 12 14～16 17～19 20～21 22～23 24 25～27 28 29 30 31～33 34 35～37 38～39 40～43 44～45 46～47 48～49 50 51 52～59 60～61 62～63 64 65～67 68 69～72 73～75 77～79	
<b>【2004年10月】</b>					
北海道観光連盟アイヌ文化部会ワーキンググループ	アイヌ文化を理解するための手引き：新たな観光を目指して	北海道観光連盟	A4	24	1 アイヌという言葉/2 歴史について/3 人々の暮らし/4 文化について/5 言語について/6 工芸、民芸品について/7 写真等の活用に当たっての留意事項/8 使用上注意すべき主な用語について/9 よくある観光客からの質問/10 主なアイヌ関連団体・機関/11 アイヌ文化関連施設/12 アイヌの人たちに関わる歴史

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
高木浩明(著)、ブルボンクリエイション(編)	義経 新詳解事典 義経北行伝説2	学習研究社	B6	271 230～231	
宇田川洋(編)	ものが語る歴史 9 クマとフクロウのイオマンテ:アイヌの民族考古学	同成社	A5	236	はしがき/I 虹別シュワンという地名とその場所/II 1939年のイオマンテ/III 遺跡としてのシュワン/IV 発掘調査を通して/V 送られたもの/VI 送られた動物/VII ヒグマの“送り”儀礼 /VIII シマフクロウの送り儀礼/IX ハシバミ 孝太郎エカシのこと/X 聴き取り調査で得られた民族学的情報(1)/XI 聴き取り調査で得られた民族学的情報(2)/XII 聴き取り調査で得られた民族学的情報(3)/XIII シマフクロウの生態/XIV 名流「西別川」の今・昔/結びにかえて
豊原熙司	虹別シュワンという地名とその場所			3～27	
宇田川洋	1939年のイオマンテ			29～39	
宇田川洋	遺跡としてのシュワン			41～46	
宇田川洋、豊原熙司	発掘調査を通して			47～54	
宇田川洋、豊原熙司	送られたもの			55～71	
佐藤孝雄	送られた動物			73～89	
佐藤孝雄	ヒグマの“送り”儀礼:起源をめぐ る研究の現状と課題			91～110	
宇田川洋	シマフクロウの送り儀礼			111～131	
宇田川洋	ハシバミ 孝太郎エカシのこと			133～142	
宇田川洋(編)	聴き取り調査で得られた民族学的情報(1)			143～181	
豊原熙司(編)	聴き取り調査で得られた民族学的情報(2)			183～190	
豊原熙司(編)	聴き取り調査で得られた民族学的情報(3)			191～203	
鈴木喜三夫	北海道演劇 1945～2000 はじめに ーなぜ戦後史なのか 二十一世紀の北海道演劇 ーあとが きにかえて	北海道新聞社	A5	319 3～5 318～319	
野澤武司	アイヌ語を軸とした 北海道郵便局名の由来	野澤武司(帯広市)	B5	406	
アイヌ無形文化伝承保存会(編)	平成16年度 アイヌ民俗文化財専門職員等研修会 講義資料	北海道教育委員会	B5	17	
小林淳	伊福部昭:音楽と映像の交響 上 『シンフォニア・タブカーラ』と伊福部音楽の1954年 更科源蔵の詩を歌う伊福部歌曲	ワイズ出版	A5	351 247～323 223～229	同書には下記の他にも関係記述あり。巻末に人名、映画作品名、音楽作品名の索引あり。
上田正昭(編) 計良光範	ハンドブック 国際化のなかの人権問題 第4版 アイヌ	明石書店	A5	382 93～111	
竹内渉	野村義一と北海道ウタリ協会	竹内渉	B6	242	はじめに/私論・野村義一/座談会・野村義一を囲んで/北海道ウタリ協会略史/資料編(新聞記事「アイヌ民族として」(『苫小牧民報』)/対談「白老にて貝澤正さんと」/発言集)/あとがき/主な参考文献/野村義一関係年譜 竹内渉『野村義一研究報告書』に加筆集成し、参考資料の一部を削除、新たに「北海道ウタリ協会略史」を加える。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成。市販は草風館発行版による。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
富樫利一	風に折る	彩流社	B6	189	新聞・雑誌等に掲載してきたエッセイ23編、評論2編、授業案1編、創作1編をまとめたもの。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成。タイトル「風」のルビは「rera」。
帯広市図書館（帯広叢書編集委員会）（編）	帯広叢書第52巻 吉田蔵資料集 18	帯広市教育委員会	B5	239	1 日記3-17（昭和12年1月～3月） /2 調べ書き4-2（アイヌ文化に関する聞き書き、その他のメモ） /3 出現語彙一覧/4 注釈用参考文献一覧
坂倉聖宣	ミニ授業書 えぞ地の和人とアイヌ人：二つの民族の出会い	仮説社	A6	86	はしがき/第1部（「江戸時代と蝦夷地＝北海道」ほか）/第2部（「えぞ地に永住した人びと」ほか）/第3部（「アイヌの人たちの食料」ほか）/アイヌ人と和人の歴史年図/あとがき
北海道立アイヌ民族文化研究センター（編）	アイヌ語地名を歩く：山田秀三の地名研究から	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	61	第1章 山田秀三のプロフィール/ 第2章 アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から/第3章 山田秀三を語る/第4章 山田秀三とアイヌ語地名を知るために 2004年10月30日から11月28日まで北海道立文学館にて開催された同名の企画展の解説図録。市販版（草風館、11月1日発行）もあり。
城谷武男 菅野茂（談） 児島恭子 柏谷恵一、佐々木利和、須摩トヨ、萩中美枝（座談会）	『室蘭・登別のアイヌ語地名』のこと：山田秀三氏の懐の深さ 山田秀三さんと私 その先を見ていくために：山田秀三文庫資料の展覧会に寄せて 座談会 山田秀三を語る			16～17 19～22 28～31 39～47	
	アイヌ民族に関する教育の充実を求めて	白老町教育委員会	A4	7	
アイヌ文化振興・研究推進機構（編）	平成16年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.3	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	45	講師太田満
北海道開発局石狩川開発建設部（監修）、石狩川振興財団（編）	石狩川舟運史 丸木舟を利用したアイヌの人々 対雁の状況	石狩川振興財団	A4	113 4 17～18	
<b>【2004年11月】</b>					
	シンポジウム 蝦夷からアイヌへ	北海道大学総合博物館	A4	90	シンポジウムプログラム及び予稿集。
吉田金彦、糸井通浩（編） 吉田金彦 村崎恭子 梅村秀幸、綱本逸雄	日本地名学を学人のために 古代地名と語源研究 日本の中のアイヌ語地名 地名研究の基本文献・資料	世界思想社	B6	350 127～140 227～233 315～340	
山下力	被差別部落のわが半生 アイヌの人たちへの人権侵害	平凡社	新書	217 183～185	平凡社新書251
埴原和郎	人類の進化史 アイヌ白人論 アイヌの起源は北か南か	講談社	A6	334 264～268 268～271	講談社学術文庫1682。『人類の進化：試練と淘汰の道のり』（講談社、2000年10月）の文庫版。
池上二良	北方言語叢考 北方諸言語に寄せて 北アジア言語の動詞の構造と格支配：動作対象の表示に関して 北方言語の研究 北方少数民族の言語	北海道大学図書刊行会	A5	285 3～14 48～66 112～115 128～131	初出は『月刊言語』12巻11号、1983年11月。 初出は宮岡伯人編『北の言語：類型と歴史』1992年。 初出は『北海道新聞』1965年10月5日付 初出は『月刊言語』7巻9号、1978年9月。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	アイヌ語の輪郭  アイヌ語系統論  アイヌ語のイナウの語の由来に関する小考：ウイラタ語のillauの語源にふれて  アイヌ語の大陸的要素  十九世紀の樺太西部の住民について  北方言語と日本語の古層：日本語とツングース語の関係の探索  ことばの上からみた東北アジアと日本			195～199  200～203  204～220  221～231  232～235  244～258  259～285	初出はアイヌ文化保存対策協議会(編)『アイヌ民族誌』、1969年。  初出は『民族学研究』、38巻2号、1973年。  初出は『民族学研究』、44巻4号、1980年3月。  初出は北方言語研究者協議会編『アイヌ語の集い』、1994年。  初出は『北海道民族学会通信』、1996年3月。  初出は『月刊言語』16巻7号、1987年6月。  初出は北海道方言研究会『北海道方言研究』30号、1990年4月。
部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会(編)	全国のあいつぐ差別事件 2004年版  札幌市内寺院における差別落書き事件	解放出版社(発売)	A5	155  146	初出は『解放新聞 広島県版』
松本成美(編)  小野幸儀 山本俊一(遺族代表) 松本成美  計良光範	アイヌモシリ：山本多助エカシ生誕百年記念誌  記念誌発刊の辞 謝辞 〔講演記録〕山本多助エカシから学んだこと 〔講演記録〕『ヤイユウカラの森』と山本多助エカシ	北海道ウタリ協会釧路地区支部連合会、釧路アイヌ文化懇話会	A4	15  1 5 11～13  14～15	グラビア 山本多助エカシと少女/1 記念誌発刊の辞/2 祝辞/3 謝辞/4 山本多助エカシ年譜/5 講演
北海道埋蔵文化財センター(編)	遺跡が語る北海道の歴史：財団法人北海道埋蔵文化財センター25周年記念誌	北海道埋蔵文化財センター	A4	233	第1章 遺跡の調査/第2章 旧石器時代：北海道のあけぼの/第3章 キウスの縄文ムラ/第4章 縄文文化の地域性/第5章 続縄文文化、擦文文化/第6章 アイヌ文化の考古学(1) アイヌ文化の形成と発展/(2) 家 竪穴住居からチセへ/(3) チャン跡/(4) アイヌ文化の低湿地遺跡/(5) 和人勢力の展開)
北海道近代建築研究会(編)、角博幸(監修)  駒本定正	道南・道央の建築探訪  日本聖公会パチラー夫妻記念教会堂	北海道新聞社	A5	171  36～37	
黒川みどり	つくりかえられる徴：日本近代・被差別部落・マイノリティ  境界の導入：アイヌと沖縄の人びと人類館事件	部落解放・人権研究所(発売：解放出版社)	A5	230  46～51 51～52	「II 新たな徴の成立」⑤ 「II 新たな徴の成立」⑤」コラム
鈴木健一(編著) 鈴木健一	義経伝説 判官びいき集大成  義経はジンギスカンになったのか	小学館	B6	238 211～220	
知里真志保、山田秀三 知里真志保、山田秀三 山田秀三	(復刻版) 室蘭・登別のアイヌ語地名  (復刻版) 幌別町のアイヌ語地名 (復刻版) 室蘭市のアイヌ語地名 (復刻版) 登別・室蘭のアイヌ地名を尋ねて	知里真志保を語る会	A5		1979年に噴火湾社が発行した3冊本(一括箱入り)の復刻版。
三上務	北海道いい旅研究室 Remix2 Version II Collector's Edition  屈斜路湖畔の夜はふけて1 モシリの夜はふけて	海狗舎あざらし	A5	144  84～85	
金田一春彦	金田一春彦著作集 第12巻	玉川大学出版部	A5	718	
金田一春彦	父京助を語る			9～130	出典は『父京助を語る』補訂版(教育出版、1986年4月。同書初版は1977年11月)。
金田一春彦	わが青春の記			513～703	出典は『わが青春の記』東京新聞出版局、1994年11月(初出は同紙夕刊1994年3月7日付～7月9日付連載)。



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
富樫倫太郎	<創作>殺生石	光文社	新書判	509	
富樫倫太郎	<創作>殺生石	光文社	新書判		
鶴飼政志、蔵持重裕、杉本史子、宮瀧交二、若尾政希(編)	歴史をよむ	東京大学出版会	A5	253	
佐々木利和	最古の蝦夷 —描かれたイメージ			42～45	
早稲田大学文学部考古学研究室	アイヌ民族の美の世界：土佐林コレクションに見る	早稲田大学会津八一記念博物館	A4	33	2004年11月29日から12月18日まで早稲田大学会津八一記念博物館にて開催された「アイヌ民族の美の世界：土佐林コレクションに見る」の解説図録。
佐々木利和 児島恭子 田村すゞ子	アイヌ文化財のコレクション 土佐林コレクションの風景 「危機言語」アイヌ語			4～5 6～8 9～11	
夏井邦男	北海道方言の歴史的研究 秋田県立図書館『蝦夷拾遺附言・蝦夷言葉之部』	おうふう	A5	230 179～216	
山田一孝(解説)	北海道移住回顧録	静内郷土史研究会		83	
由良勇	上川郡内 石狩川本支流 アイヌ語地名解	マルヨシ印刷	B5	230	北海道出版企画センター発行版(12月20日)もあり。目次はそちらに記載。
	アイヌの人々と人権	法務省人権擁護局	A5	20	
吉川信一	アイヌ民族史への試み：一人のシサムとして	吉川信一	B6	251	はじめに/I アイヌ民族の現状と背景を概観する/II 松前藩政下のアイヌ民族/III 同化政策の強要と植民地支配/IV 民族復権運動とアイヌ文化振興法の成立/V 深まる国際組織との連携/資料編
三雲町教育委員会、松浦武四郎記念館	松浦武四郎関係歴史資料目録：松浦武四郎関係歴史資料調査報告書2	三雲町教育委員会、松浦武四郎記念館	A4	231	調査概要/解題/松浦武四郎関係歴史資料目録(書簡の部/書籍の部/絵画の部/書跡の部/工芸の部)/北海道立文書館所蔵松浦武四郎関係資料調査目録/国文学研究資料館「松浦家文書」調査目録及び同文書一覧/平成元年度版松浦武四郎関係歴史資料目録(改訂版)/松浦孫太・武彦集成松浦武四郎関係資料目録
東京都総務局人権部人権施策推進課	みんなの人権 民族としての誇りを理解していますか？ アイヌの人々の人権問題	東京都総務局人権部人権施策推進課		13～14	
<b>【2004年12月】</b>					
早稲田大学シルクロード調査研究所、早稲田大学比較考古学研究所、早稲田大学先史諸学研究所(編)	考古学からみた社会の複雑化 研究報告集 クマ送り儀礼に見る社会的威信と階層化社会：北太平洋北岸狩猟採集民社会の比較民族考古学	早稲田大学シルクロード調査研究所、早稲田大学比較考古学研究所、早稲田大学先史諸学研究所 早稲田大学シルクロード調査研究所、早稲田大学比較考古学研究所、早稲田大学先史諸学研究所	A4 A4	259 233～244	
下村五三夫	アイヌ発声口琴習俗の研究		A4	186	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。
小松和彦、田中雅一ほか(編)	文化人類学文献事典	弘文堂	A5	1040	関係項目あり。書名、主題、事項別の索引のほか、民族・語族・エスニックグループ名の索引あり。
北風史 北風史	北物語：“試される大地”への11通のラブレター 黒田清隆から高橋はるみまで：北海道の歴史1 コタンの口笛 北海道の歴史2	太田出版	B6	317 117～146 147～174	
由良勇	上川郡内 石狩川本支流 アイヌ語地名解	北海道出版企画センター	B5	230	はじめに/資料などについて/上川郡内石狩川本支流のアイヌ語地名解/索引/参考参考文献/あとがき

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
釧路アイヌ文化懇話会(編) 松本成美 奥田幸子 差間正樹 中村一枝 千葉誠治	久罫 第10集 八重清次郎小伝 伏古の伏根弘三  私の内なるアイヌ  永久保秀二郎の「アイヌ語雑録」の 天文・自然現象ほかの語彙検討 小・中の教科書記述から見えるアイ ヌ民族	釧路アイヌ文化懇話会	A5	29～37 210～ 224 308～ 310 126～ 156 312～ 318	
「人間の記録」編集部(編)	人間っておもしろい：シリーズ「人間の 記録」ガイド 金田一京助 萱野茂	大空社	A5	367  20～21	
『月刊みんぱく』編集部 (編) 大塚和義 大塚和義 大塚和義 大塚和義	世界民族モノ図鑑  クリールアイヌの鳥皮衣 クリールアイヌの腰帯 アイヌの首飾り アイヌの煙草入れとキセル差し	明石書店	A5	302  20 22～23 36～37 74～75	
佐々木馨	日蓮とその思想 北方認識と蝦夷観	平楽寺書店	A5	480 345～ 378	
STVラジオ(編) [STVラジオ] [STVラジオ]  [STVラジオ]	ほっかいどう百年物語 第5集 関場不二彦 山本多助  近藤重蔵	中西出版	B6	53～63 179～ 190 354～ 366	
中西裕(編)、深井人詩(監 修) 田川浩之	書誌年鑑2004  知里真志保 『知里真志保書誌』(知 里真志保書誌刊行会)	日外アソシエーツ(発売： 紀伊國屋書店)	A5	525  503	書誌解説。
山内景樹	鎌来たか：「蝦夷地」と「近世大阪」の 繁栄について 蠣崎慶広、秀吉と家康へ売り込む	かんぼうサービス(発売： かんぼう)	B6	210  69～99	第三章
	〔北海道大学〕学位論文内容及び審査の 要旨 コラー・スサンネ 日本の北辺と北 太平洋の歴史的研究：安永・天明年 間を中心に	北海道大学	B5	169  5～8	
	平成15年度 財団の活動	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	70	
法務省・文部科学省(編)	平成16年版 人権教育・啓発白書 アイヌの人々	国立印刷局	A4	219 72～74	
北海道女性団体連絡協議会 (編) 大島直行	第55回北海道女性大会集録  遙かなる縄文：日本文化、そしてア イヌ文化の源流をさぐる	北海道女性団体連絡協議 会	A4	39  9～28	大会記念講演記録。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2005年1月】</b>					
浪川健治	近世北奥社会と民衆	吉川弘文館	A5	310	
中橋孝博	日本人の起源：古人骨からルーツを探る アイヌと琉球人	講談社	B6	268 252～ 254	講談社選書メチエ318
平山裕人	ワークブック アイヌ・北方領土学習に チャレンジ	明石書店	A4	228	主要目次：第1章 カムイ・ユカラにチャレンジ/第2章 アイヌ語地名にチャレンジ/第3章 アイヌ史にチャレンジ/第4章 「北方領土」にチャレンジ
綾部磯雄（監修）、末成道男、曾士才（編） 長谷川由希	講座 世界の先住民民族：ファースト・ピー プルの現在 01 東アジア アイヌ 日本の先住民民族アイヌ	明石書店	A5	406 87～ 105	
池澤夏樹	世界文学を読みほどく：スタンダードから ピンチョンまで 池澤夏樹『静かな大地』	新潮社	B6	445 336～ 358	新潮選書。2003年9月に京都大学文学部にて行われた夏期特殊講義の講義録をもとにしたもの。
坂西友秀	近代日本における人種・民族ステレオタイプと偏見の形成過程	多賀出版	A5	350	第4章 「人種」・「民族」の心理学研究（「日本の植民地・アイヌに関する研究」などの項目あり）。備考）第4章初出は2003年発行の科研究費研究成果報告書。
本橋哲也 本橋哲也	ポストコロニアリズム （歴史）：新たな歴史の主体としてのアイヌ	岩波書店	新書	191～ 196	岩波新書新赤版928 岩波新書新赤版928
萱野茂	アイヌの里 二風谷に生きて	日本図書センター	B6	235	『人間の記録』シリーズ第165巻。単行本初版は北海道新聞社、1987年
日外アソシエーツ編集部 （編）	個人文庫事典 I 北海道・東北・関東編 阿部正己文庫 久保寺逸彦文庫 山田秀三文庫 祭魚洞文庫 清野文庫 服部文庫	日外アソシエーツ（発売： 紀伊國屋書店）	A5	516 54 16～17 17～19 127 296 25～26	鶴岡市立図書館所蔵 北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵 北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵 流通経済大学図書館。渋沢敬三関係資料。 東京大学東洋文化研究所図書室、清野謙次旧蔵図書。 北海道立北方民族博物館。服部健旧蔵資料。
三澤敏博	日本もののけ奇譚 コロボックル 北海道日高管内・十 勝管内等	白地社	A5	153 10～11	
三澤敏博 三澤敏博	日本もののけ事件簿 コロボックル	白地社	A5	153	
人権教材作成プロジェクト チーム	人権ワークショップ教材集 解き放ちの おもちゃ箱 「旧土人」って何のこと	滋賀県人権センター	A4	24 17	
アイヌ文化振興・研究推進 機構（編）	平成16年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.4	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	51	講師太田満
<b>【2005年2月】</b>					
北海道開拓記念館	豆本42 北海道開拓記念館第142回テ マ展 北海道神宮史料にみる北海道のあ ゆみ 白野夏雲とアイヌ民族資料	北海道開拓記念館	A7	29 10～21	
三省堂百科事典編集部（編） 赤堀又次郎	婦人家庭百科辞典 上 あーし アイヌ	筑摩書房	A6	976 29	ちくま学芸文庫。初版は『婦人家 庭百科事典』（三省堂、1937年）
小西四郎・岡秀行（構成） 小西四郎	百年前の日本 モース・コレクション 写真編 北海道と沖縄	小学館	A4	211 70	
道方しのぶ	日本人のルーツ 探索マップ アイヌへの道	平凡社	新書	223 98～ 101	平凡社新書223
海交史研究会考古学論集刊 行会（編） 松本健速 横山英介 瀬川拓郎	海と考古学 蝦夷と昆布 焼畑の考古学：北海道における焼畑 跡の考古学的分析 同化・変容・残存：住居にみるアイ ヌ文化の成立過程	六一書房	B5	423 167～ 178 179～ 206 207～ 219	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
石田肇 近藤修	古人骨からみた北海道の人々とその位置 頭蓋携帯からみた北海道アイヌの地域性とオホーツク文化人の影響			221～ 232 233～ 242	
相川公司(作)、鈴木隆一(絵)	〔創作〕カムイコタン祭りに	新風舎	A5	124	
中村和之(編責)	蝦夷錦・青玉の化学分析		A4	99	加速器質量分析法による蝦夷錦の14C年代測定(2～5)/北海道出土ガラス玉のEPMA分析(6～13) 備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構平成16年度研究助成報告書。
西田素康	鳴門再発見 鳥居龍蔵を知っていますか	「鳴門再発見」実行委員会	A5	290	
奈美千子(文)、小林敏也(画)	イオマンテ	パロル舎	B5	65	十勝場所と環境ラボラトリー・企画
	カムイ イピリカ レ 神が美しく作らせた 計良智子アイヌ手工芸作品集	ヤイニューカラの森	B5変型	47	巻末に三上マリ子「アイヌ文様に学び伝えることは…」収録(北海道ウタリ協会札幌支部機動訓練織布科訓練生の作品展「しおり」(1981年)掲載文の再掲)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成。
一柳廣孝、久米依子、内藤千珠子、吉田司雄 津島佑子	文化のなかのテキスト カルチュラル・リーディングへの招待 〔創作〕鳥の涙	双文社出版	A5	189 176～ 187	
貝澤美和子	イテセ(ゴザ編み)：シキナ活用の調査研究	貝澤美和子	A4	32	イテセ(ゴザ編み)についての調査研究/ニカプンベの作り方/オニカプンベチタラベの文様/北海道開拓記念館ニカプンベ 備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成成果報告。
帯広叢書編集委員会(編)	虻田第二尋常小学校同窓会資料 1	帯広叢書編集委員会	B5	272	口絵写真/1 文書綴り-3(虻田第二尋常小学校同窓会)/2 出現語彙一覧/あとがき/3 原資料/参考資料〔虻田第二尋常小学校同窓会『記念雑誌』1909年10月第3回記念会〕
日外アソシエーツ(編)	「外国語」の本全情報 2000-2004 アイヌ語(ウタリ語)	日外アソシエーツ(発行)、紀伊國屋書店(発売)	A5	730～ 734	
井筒勝信(編著)	平成16年度 アイヌ語ラジオ講座 テキスト単語表	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	50	平成16年度アイヌ語ラジオ講座所収の単語表に加筆・集成を加えた「愛和編」と、それを再編集した「和愛編」からなる。 備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。
小川早苗(監修)、木村剛(編集代表)	アイヌ民族もんよう：きり絵のせかいへ	エテケ・カンバの会	A4	72	アイヌ民族の歴史と文化に学ぶシリーズ1。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。
村上正直	人種差別撤廃条約と日本	日本評論社	A5	313	アイヌ民族の先住民族性 備考)第2部第5章2「条約の適用対象(第1条)(2)。
竹内渉(編)	結城庄太郎研究報告書	結城庄司研究会	A4	61	写真/はじめに/Ⅰ 結城庄太郎について/Ⅱ 庄太郎研究に同行して(結城幸司)/Ⅲ 資料 備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成事業報告書
中野巴絵	異文化伝承から学アイヌ文化伝承の方法	中野巴絵	A4	21	事業の目的/事業の内容/ハワイの状況(事前研究)/実地調査/結論/資料/引用・参考文献 備考)奥付の書名は『異文化研究から学ぶアイヌ文化伝承の方法』。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構奨励研究報告書。
苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所 伊藤勝久 石純姫 篠島栄紀	前近代アイヌ民族における交通路の研究(胆振・日高 I) アイヌ民族の空間認識研究のための一視点：先住民地図研究の位置付けを通して アイヌ集落への朝鮮人の定住化の形成過程について 松浦武四郎の旅からみた胆振東部・日高西部の古交通路	苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所	A4	96 1～9 11～30 31～38	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構研究助成事業報告書

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
若林和夫	アイヌ民族の「移動」に関する研究史的考察 聞き取り調査の記録			39～47 49～96	
能登千織	アイヌ文化伝承の未来を考える：ハワイ先住民族文化を訪ねて	能登千織	A4	29	事業目的/事業内容/報告書（はじめに「私にとってアイヌ語とは何か」/ハワイ語の現状の把握と認識/ネイティブ・ハワイアン先住民とハワイ語/ハワイ語イマージョン学校の視察/ハワイ大学ヒロ校「ハワイ語研究所」視察/展望とまとめ アイヌ語の喪失から回復への希望を抱いて）/参考文献/用語解説 備考）奥付の書名は『言語と文化と教育の関わり：教育の場でハワイ語イマージョン学校が問うもの』。財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構奨励研究報告書。
	にじいろばれっと 第3集【人権啓発資料】 アイヌの古都 平取	埼玉県教育委員会	A4	26 13～14	
	第8回アイヌ語弁論大会報告書 イタカン ロー アイヌ語で話しましょう！	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	113	刊行にあたって/大会日程表/出場者一覧/審査結果/審査委員名簿/発表内容/特別口演備考）発行年月日記載なし。「刊行にあたって」の記載による。
四宅智子（文）、鈴木隆一（絵）	かわうそのものがたり	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	28	平成16年度財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構「アイヌの伝統・文化を題材にした絵本」最優秀賞作品
八幡耕一	アイヌ関連ラジオ放送の認知度および意識変化に係る実態研究：メディア社会学的観点からの考察を踏まえ	八幡耕一	A4	80	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構平成16年度奨励研究助成事業研究報告書
北海道企画振興部計画室（編）	第3次北海道長期総合計画 第3回推進状況報告書 アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会の実現	北海道	A4	319 47～48	
<b>【2005年3月】</b>					
NHK放送文化研究所（編）	NHK21世紀に残したいふるさと日本のことば 1 北海道・東北地方 アイヌ語からとりいれられたことば	学習研究社	B4変型	79 11	
テカップ美恵子（編著）	森と大地の言い伝え	北海道新聞社	B6	338	はじめに（伯父・山本多助の思い出）/第1部 森に宿る言霊（山本多助）/第2部 故郷の記憶（伊賀ふで）/あとがきにかえて（テカップ美恵子）
川村正一（編）	アイヌ語の動植物採集	文泉堂	A5	268	松浦武四郎の著作や近年のアイヌ語辞典等の様々な文献の動植物名のアイヌ語を抜き出して作成。目次：凡例/動物編/植物編/アイヌ語索引/和名の異名索引
夏堀正元	週刊日本の伝説を旅する 3号 北海道 I 武田信広	世界文化社	A4変型	34 6～11	
芽室町教育委員会（編）	芽室町大成2遺跡2：芽室町埋蔵文化財調査報告第5輯	芽室町教育委員会	A4	22	
斎藤成也	DNAから見た日本人 日本列島に移り住んだ人々 骨の形から見た日本列島人 世界における日本語の位置	筑摩書房	新書	221 77～114 135～151 153～174	
大林太良、伊藤浩司、吉田敦彦、松村一男（編） 吉田敦彦	世界神話事典 アイヌの神話	角川書店 角川書店	B6	494 161～162	角川選書375。角川書店1994年1月発行を選書として刊行したものの。
池上彰（監修） 稲葉茂勝	平和・環境・歴史を考える国境の本2 日本の国境 日本の民族	岩崎書店	A4	47 40	
文部科学省	文部科学白書（平成15年） アイヌ文化の振興	国立印刷局	A4	483 342	
鈴木昶	日本の伝承薬：江戸売薬から家庭薬まで	薬事日報社	B6	445	『月刊・漢方療法』連載をもとにした単行本。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
鈴木 稔	熊胆：薬種では国家老とも			148～153	
厚真町教育委員会(編)	厚真町上幌内モイ遺跡	厚真町教育委員会	A4	30	
ジャン・ジャック・ナティエ(著)、添田里子(訳)	音楽・研究・人生：音楽と言語をめぐる仮想対話 ドビュッシー・イヌイト・アイヌ	春秋社	B6	300  116～140	
吉田 巖	北海道あいぬ方言語彙集成 復刻版	帯広叢書編集委員会	B5	278	単行本初版は小学館、1989年発行。初版のB6版を拡大した復刻版。
本多俊和、大村敬一、葛野浩昭(編)	放送大学大学院教材 文化人類学研究：先住民の世界	放送大学教育振興会	A5	300	
本多俊和(スチュアートヘンリ)	先住民とは何か			11～28	
本多俊和(スチュアートヘンリ)	先住民運動：過去・現在・未来			253～270	
常本照樹	先住民民族と憲法			271～297	
中川 裕	アイヌ語の現在と未来：危機言語の維持と復興			299～318	
	2004年度研究成果報告書	北海学園大学ハイテク・リサーチ・センター	A4	279	
桃内佳雄	アイヌ語日本語機械翻訳における場所表現の処理について			180～181	初出は『情報処理北海道シンポジウム2004論文集』(2004年5月)
桃内佳雄	アイヌ語名詞句の日本語への漸進的直訳翻訳について			182～189	初出は『情報処理学会研究報告』2004NL162(2004年7月)
桃内佳雄	動詞修飾によるアイヌ語名詞句の構成と直訳翻訳について			190	初出は『電気・情報学関係学会北海道支部連合大会後援論文集』(2004年10月)
桃内佳雄	アイヌ語と日本語の連体節修飾名詞句の基本的な構成とパターン			191～212	初出は『北海学園大学工学部研究報告』第32号(2005年2月)
越前谷博、荒木健治、桃内佳雄	アイヌ語-日本語対訳コーパスを対象とした局所着目型学習による対訳語の自動抽出			237～259	初出は『北海学園大学工学部研究報告』第32号(2005年2月)
富良野市教育委員会(編)	富良野市文化財調査報告 第21輯 鳥沼遺跡Ⅱ	厚真町教育委員会	A4	142	
魚井一由(編著)	日本語・アイヌ語辞典	國學院短期大学コミュニティカレッジセンター	B5	159	久保寺逸彦『アイヌ語・日本語辞典編』を基本に、同書及びジョン・パチラー『アイヌ・英・和辞典』から使用頻度の高いと推定されるアイヌ語を抽出して作成したもの(「凡例」による)。50音順に配列。
タチャーナ・ローン(著)、永山ゆかり、木村美希(訳)、津曲敏郎、加藤博文(監訳)	サハリンのウイルト：18～20世紀半ばの伝統的経済と物質文化に関する歴史・民族学的研究	北海道大学大学院文学研究科	A5	184	
ニコライ・ヴィシネフスキー(著)、小山内道子(訳)、菊池俊彦(解説)	オタス：サハリン北方少数民族の近代史	北海道大学大学院文学研究科	A5	166	
岸上伸啓(責任編集)	世界の食文化20 極北	農山漁村文化協会	A5	250	
手塚薫、木原仁美	北海道の先住民アイヌ	農山漁村文化協会	A5	79～119	アイヌの食と文化(手塚薫)/現代のアイヌの食文化(木原仁美)備考)口絵写真2ページ分もあり
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	ピリカ会関係資料の調査研究 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書1	北海道立アイヌ民族文化研究センター	B5	90	Iはじめに/II主要資料紹介(ピリカ会発行絵葉書/ピリカ会収集民具資料/ピリカ会の活動と弁開胤次郎の足跡に関する文献資料)/III資料・文献目録(村岡家・ピリカ会関係民具資料/ピリカ会・弁開胤次郎関係文献目録)/IV解説(ピリカ会と弁開胤次郎(小川正人)/村岡家旧蔵民具資料の内容と特徴(古原敏弘)/落部八幡宮境内碑のアイヌ語について(佐藤知己)/関係年表/関係地図
柳田国男	柳田国男全集 第33巻 明治三十九年樺大紀行	筑摩書房	A5	679  256～268	初出は『心』第11巻第7号、1958年7月。解題中にも言及箇所あり(653～654ページ)。
小笠原の年譜を作る会(編)	小笠原克：年譜でたどる軌跡	小笠原克の年譜を作る会	B5	134	小説『アイヌの学校』関連記述あり(120～127ページ)

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
澤井春美、田村すゞ子(編)	アイヌ語帯広方言の資料：田村すゞ子探 録広野ハルさんの基礎語彙調査資料	札幌学院大学	A4ヨ コ	486	科学研究費補助金（アイヌ語諸方言の調査・資料の保存・整理・公開版作成と資料アーカイブの構築準備）成果として刊行。田村すゞ子氏による帯広市在住広野ハル氏からの基礎語彙調査（1956年度実施）の記録ノート（全6冊）の翻刻。編者による注記を加えるとともに、巻末に約3,600語の索引を掲載。 目次：はじめに/本報告書の概要/語り手紹介/凡例/データベース作成/参考文献/本文/図表/アイヌ語索引/『基礎語彙調査表』との対応表
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	ロシア民族学博物館アイヌ資料展：ロシアが見た島国の人びと	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	163	2005年4月から8月にかけて、北海道開拓記念館及び川崎市市民ミュージアムにて開催された、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構による工芸品展の共通図録。  『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第10号(2004年3月)より転載。
V. V. ゴルバチョヴァ  V. N. ヴァシーリエフ(著)、荻原眞子(訳)  L. A. カラベトーフ	ロシア民族学博物館の至宝：V. N. ヴァシーリエフのアイヌ民具収集  V. N. ヴァシーリエフ「エゾおよびサハリン島アイヌ紀行」  「ロシア民族学博物館（REM）について」			130～ 131  132～ 147  148～ 149	
戸部千春（執筆・編集）、戸部喜己男	私の道産子文化と尾張の民俗、父は秋田衆	研究会いたやかえで	B5	60	
旭川市博物館(編)	旭川市博物館所蔵品目録X V 民族資料/植物採集関係	旭川市博物館	A4	68	砂澤ベラモンコロ氏による？葉資料199点、河野コレクション中の旧北海道新聞北方文化研究室収集資料と見なされる標本ビン入り植物標本29点ほかを収録。
岡内三眞、菊池徹夫(編)  佐藤宏之	社会考古学の試み  クマ送り儀礼に見る社会的威信と階層化社会：北太平洋北岸狩猟採集社会の比較民族考古学	同成社	B5	255  193～ 204	
貫気別郷土誌編集委員会(編)	郷土誌貫気別	貫気別自治会	A5	476	総説編（埋蔵文化財など）、教育編（学校沿革誌など）ほか関係記述あり。
札幌市教育委員会(編)	新札幌市史 第5巻 通史編5（下）	札幌市	A5	1053	第6章 社会状況の変化と新たな運動の展開/第7節 アイヌ民族の諸権利の回復を求めて（一 北海道ウタリ協会札幌支部結成から「民族の復権」へ/二 民族復権運動/三 「国際先住民年」から「アイヌ文化振興法」の制定へ）
青森県史編さん考古部会(編)  工藤雅樹  大野亨  宇部保則	青森県史 資料編 考古3 弥生～古代  古代の蝦夷社会  蝦夷の墓：青森県の終末期古墳  古代の交易と交流	青森県	A4	821  330～ 335  382～ 387  390～ 397	Ⅲ部「飛鳥～平安時代」第1章「時代概説」第3節 Ⅲ部「飛鳥～平安時代」第2章「各論」第4節「祭祀」第1項。 Ⅲ部「飛鳥～平安時代」第2章「各論」第4節「交流・交易」第1項。
青森県史編さん中世部会(編)  青森県史編さん中世部会(編)  小口雅史	青森県史 資料編 中世2  諏訪大明神画詞  『諏訪大明神画詞』解題	青森県	A4	765  294～ 297  465～ 466	Ⅱ部「安藤（安東）・秋田氏関係資料」二「寺社所蔵安藤（安東）秋田氏関係資料」中の掲載史料。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
青柳文吉(編)	サハリン北方先住民民族文庫集 文芸作品 篇 1905-45	北海道大学大学院文学研究科	A4	151	収録作品：樺太東海岸の土人(野口雨情)/樺太の土人(石田叔藏)/特別加俣の土地(本庄陸男)/敷香『フレップ・トリップ』より(北原白秋)/樺太の春(北原白秋)/白樺の本立にツングスの一族(筆者不詳)/オロッコの娘(深田久弥)/馴鹿王に会った時(山田武彦)/北辺紀行 夏を訪ねて(池田宗矩)/「オロッコ」人の生活(澤田峯州)/樺太土人の昨今(澤田雄二)/北遊紀(正宗白鳥)/オタスの杜のこのごろ(千葉恒雄)/オタスの杜・異聞(鈴木大二)/樺太の土人に就て(樺太庁地方課)/オタスの人々(木村捷司)/見世物『国境
煎本孝(編) 煎本孝	民族共生のメカニズムに関する文化人類学的研究 アイヌ文化における死の儀礼の復興： 紛争解決、共生、行為主体	北海道大学大学院文学研究科	A4	99 51～81	平成14～16年度科学研究費補助金(基盤研究(c)(2))研究成果報告書。
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会)(編)	帯広叢書第53巻 吉田巖資料集 19	帯広市図書館	B5	274	1 日記3-18(昭和12年4月～8月) 2 抜き書き2-1・2-2(言語学一班・日本文法)/出現語彙一覧/注釈用参考文献一覧/あとがき
弟子屈町史編さん委員会(編)	弟子屈町史	弟子屈町	B5	659	
東京都教育庁指導部指導企画課(編)	人権教育プログラム(学校教育編) 人権課題「アイヌの人々」(高等学校総合的な学習の時間)	東京都教育庁指導部指導企画課	A4	173 62～67	
東邦コンサルタント株式会社(編)	アメリカ伊能大図里帰りフロア展in釧路特別記念誌	伊能大図フロア展in釧路実行委員会	A4	133	
部落解放・人権研究所(編) 竹内渉	人権年鑑2004 アイヌ民族	部落解放・人権研究所	A5	385 33～36	
福本東希子 菱川善夫	歌集 鳥より碧き 解説	砂小屋書房	B6	165 151～161	
別海町郷土資料館(編)	加賀家文書 現代語訳 第五巻	別海町郷土資料館	A5	428	
法政大学国際日本学研究中心(編)	アイヌの歴史：周辺との交易・交流	法政大学国際日本学研究所	A4	178	文部科学省21世紀COEプログラム「日本発信の国際日本学の構築」国際シンポジウム報告書。2004年9月12日に開催されたシンポジウムの記録。
法政大学国際日本学研究中心(編) アンエリス・ルアレン トム・ボグダノヴィッチ(通訳：寺池五一) マーク・ウィンチェスター ジョージナ・ステイブンス マーク・ワトソン	現代のアイヌを考える：新しい認識の地平をめざして アイヌ民族の蘇生運動における「女性文化」 「ビデオ日記」によるアイヌ現代生活研究 「研究者」の位置・「研究者」という位置：アイヌ研究の再考を求めて アイヌ民族と法律：権利実現の可能性 都市に暮らす先住民の比較：関東圏アイヌの場合 ディスカッション 配付資料集	法政大学国際日本学研究所	A4	83 12～20 20～25 25～34 35～45 45～52 53～58 59～83	文部科学省21世紀COEプログラム「日本発信の国際日本学の構築」におけるシンポジウム報告書。在日本若手外国人アイヌ研究者によるシンポジウム。2004年5月30日開催。
北海道遺産選定専門委員(編)	「まち、ひと、北海道遺産」第2章 北海道遺産情報誌 No. 6 アイヌ口承文芸：人から人へ、途切れることなく語り伝え サケの文化：捨てるところのない「神の魚」 オホーツク沿岸の古代遺跡群：謎に包まれたオホーツク文化			72 10～11 14～15 18～19	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
北海道開拓記念館(編) 林昇太郎 水島未記、タチヤナ P. ローン、会田理人 山田伸一	18世紀以降の北海道とサハリン州・黒竜江省・アルバータ州における諸民族と文化：北方文化共同研究事業研究報告 史料紹介 小林豊章筆『唐太島東西浜園』について(2) サハリン先住民の植物利用(ウイльтаを中心に) 開拓使による対雁移住権太アイヌに対する「授産」	北海道開拓記念館	B5	364 91～116 125～186 187～202	
鈴江英一(編著) 谷本晃久 鈴江英一 百瀬響	開拓使文書の森へ：近代史料の発生、様式、機能 「函館奉行所文書」の可能性 鮭と馬鈴薯：大津川鮭繁殖場看視復命書から アイヌ研究と近代文書	北海道出版企画センター	A5	352 210～211 297～304 305～306	
	博士學位論文の内容の要旨及び審査の結果の要旨 長澤政之「近世蝦夷地・場所請負制下のアイヌ社会 東蝦夷地・子モロ場所の事例を通じて」	東北学院大学	A4	35 8～20	
青柳信克 秋辺今吉 石原誠 煎本孝 岩崎まさみ 宇梶シズエ 遠藤匡俊 太田カムソックイ満 沖野慎二 鈴木邦輝 スチュアートヘンリ 田口尚 田端宏 出利葉浩司 遠山サキ 富樫利一 中本ムツ子 萩中美枝 廣瀬健一郎 福岡イト子 増野光義 山本命	平成16年度 普及啓発セミナー報告集 上川地方のチセ エカシの語るアイヌ文化 アイヌ民族自身による著作について アイヌ文化を創る：まりも祭にみる伝統・創造・共生 先住民が参加する研究のあり方について アイヌを自覚するまで アイヌ社会における集団の流動性 アイヌ語復興に関わる諸問題：石狩川筋の場合 博物館資料が語るアイヌ文化 アイヌとチョウザメ漁 先住権と権原 低湿地遺跡が語るアイヌの生活 近世のアイヌ社会：イコトイー「豪強」、「悪党」そして「カムイ」 海外にあるアイヌ民族資料について：アメリカ・ロシア・ヨーロッパにあるコレクションの紹介と特徴 私の受け継いだアイヌ文化 知里幸恵の背景を探る：旧土人保護法成立以前のアイヌの人たち カムイユカラの伝承 英雄叙事詩の伝承 カナダにおける先住民族教育権の回復への取り組み アイヌ文化体験学習のみちのり アイヌの精神文化 アイヌ語と共に アイヌ民族を愛した松浦武四郎	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	160 6～11 12～17 18～25 26～30 31～35 36～40 41～47 48～55 56～61 62～68 69～75 76～84 85～89 90～100 101～106 107～116 117～126 127～129 130～137 138～147 148～153 154～160	末尾に「アイヌ民族自身の著作(伝承含む)目録(単行本の部)/1869～1945」掲載あり。
菊池勇夫	平成16年度 普及啓発講演会報告集 菅江真澄にみるアイヌの生活文化：道南・北東北の地域史像	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	83 1～29	

編者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
篠原昌彦 秋辺日出男 津島佑子	森竹竹市の文学世界：『若きアイヌの詩集・原始林』を中心に 地域観光の創造：受け継がれるアイヌ精神 アイヌの歌声が聞こえてくる			31～46 47～66 67～83	
the Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture	Paye =an ro : Let's Experience Ainu Culture!	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	44	『バイエアン ロ ふれてみよう アイヌの文化』の英語版。
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	バイエアン ロ ふれてみようアイヌの文化	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	44	アイヌ文化関連施設等分布マップ/アイヌ文化体験学習メニュー/体験学習メニューのある施設等/アイヌ文化関連資料を展示している施設等/アイヌ文化関連の行事・儀式・イベント/チャレンジ
研究者代表者・百々幸雄	北海道縄文人の系譜論的・生活論的研究 ー有珠モシリ遺跡出土人骨を中心にしてー	東北大学大学院医学系研究科人体構造学分野	A4	356	
大島直行 松村博文 瀧川渉 松村博文, Mark Hudson 松村博文 安達登、坂上和弘、百々幸雄、篠田謙一、梅津和夫、大島直行 松村博文、中村宅雄、乗安整而、Marc Oxenham 田中健太郎、澤田純明、坂上和弘、百々幸雄 鈴木敏彦、澤田純明、百々幸雄、小山卓臣 溝口優司	有珠モシリ遺跡の概要 有珠モシリ遺跡出土人骨を含む縄文時代人の歯の形態 縄文時代の四肢骨形態 ー有珠モシリ遺跡出土人骨を中心にしてー 北海道の(続)縄文時代人・オホーツク文化期人・アイヌにおける大腿骨計測値の違い 渡来系弥生人の拡散と縄文時代人 北海道伊達市有珠モシリ遺跡出土人骨のミトコンドリアDNA多型解析 北海道先史時代人にみられた脛骨ハリス線の出現率について 踵骨の距骨関節面の形態変異についてII ー日本列島諸集団を対象にした人類学的研究ー 下北半島浜尻屋貝塚出土中世人人骨の歯冠形質 有珠10遺跡を中心とする北海道噴火湾沿岸出土の縄文時代人永久歯の歯冠径			19～39 107～123 125～139 141～152 153～174 175～182 269～272 306～316 317～326 337～347	
高木亨(編集者)	伊福部昭先生：卒寿をお祝いしてのプロフィール	伊福部昭の会	A4	8	伊福部昭卒寿の祝賀会に合わせて作成されたもの。
静岡県教育委員会(編)	静岡県の人権・同和教育 平成17年度版 アイヌの人々をめぐる人権問題	静岡県教育委員会	A4	70 44	
長澤政之	近世蝦夷地、場所請負下のアイヌ社会	(長澤政之)	A4	100	東北学院大学博士課程学位論文。
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成16年度 アイヌ民俗文化財調査報告書(伝承聞き取り調査I)	北海道教育委員会	B5	129	はじめに/木村志津江さんの伝承/白川八重子さんの伝承/出現語彙一覧
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成16年度 アイヌ無形民俗文化財調査報告書(ユウカシシリーズ27) 隠された人食い刀/六代を生きたおじいさん 自ら育つ	北海道教育委員会	B5	218	
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成16年度 知里真志保フィールドノート(4)	北海道教育委員会	B5	163	知里真志保のプロフィール/「ウラシベツの人の物語」について/「知里ハツによる物語」について/分担と謝辞/第1章 ウラシベツの人の物語/第2章 知里ハツによる物語
北海道埋蔵文化財センター(編)	栄野1遺跡、新野上2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第213集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
北海道埋蔵文化財センター(編)	三次郎川左岸遺跡、石倉5遺跡2、石倉4遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第219集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
北海道埋蔵文化財センター(編)	上台1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第217集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
北海道埋蔵文化財センター(編)	上台2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第216集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
北海道埋蔵文化財センター(編)	森川4遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第218集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
北海道埋蔵文化財センター(編)	生測2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第214集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
北海道埋蔵文化財センター(編)	対雁2遺跡6 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第215集	北海道埋蔵文化財センター	A4		

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
北海道埋蔵文化財センター(編)	柏木川4遺跡、柏木川13遺跡2 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第211集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
北海道埋蔵文化財センター(編)	穂香川右岸遺跡 穂香川堅穴群 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第212集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
紋別百科事典編纂委員会(編)	紋別百科事典	紋別百科事典編纂委員会	B5	316	
<b>【2005年4月】</b>					
高澤光雄	『山の素描』の執筆者たち 村上啓司	高澤光雄	A5	50～51	
坂野徹	帝国日本と人類学者：1884-1952年	勁草書房	A5	547	第2章 日本人とは誰か：日本人種論の政治学/第3章 われらが内なる他者：人類学者のアイヌ認識 2005年6月20日2刷。
山口昌男	「挫折」の昭和史(下) モダニズムと地方都市：北海道と金沢	岩波書店	A6	441 333～ 375	岩波現代文庫G141。単行本初版は1995年岩波書店刊。初出は『へるめす』第32号(1991年7月)。
歴史学研究会、日本史研究会(編) 岩崎奈緒子	日本史講座 第7巻 近世の解体 蝦夷地・琉球の「近代」	東京大学出版会	B6	327 265～ 296	
梅原猛、山折哲雄(対談)	別冊太陽 梅原猛の世界 神と仏のものがたり 日本人の「あの世」観 怨霊鎮魂の呪師	平凡社	A4	160 34～47	「アイヌの発見 日向神話の真実」「再びアイヌ、そして沖繩」の項目あり。
日本民俗建築学会(編) 小林法道	写真でみる民家大事典 チセ 神と暮らすアイヌの建築	柏書房	B5	483 10	
五色町ふるさと振興公社(編)	高田屋嘉兵衛翁伝 アイヌモシリ	五色町ふるさと振興公社(兵庫県)	A4	103 30～33	
伊藤孝博	義経北行伝説の旅 渡海者たちの光と影：蝦夷地での義経伝説(I) 蝦夷島版「判官信仰」の“下絵”か：もう一人の判官・小山悪四郎の消息 岩内・日高・道東へ：蝦夷地での義経伝説(II) 積丹から宗谷まで：蝦夷地での義経伝説(III)	無明舎出版	A5	143 94～ 103 104～ 105 106～ 121 124～ 137	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 1	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	32	講師菅原勝吉
<b>【2005年5月】</b>					
稲田浩二(編)	アイヌの昔話	筑摩書房	文庫	376	ちくま学芸文庫I14-4。文庫版のための書き下ろし。物語69編を収録したほか、解説、文献(「主要な参考文献目録」「原典目録」)、あとがき、収録昔話の題名と原題索引を掲載。
演劇「人類館」上演を実現させたい会(編) 長谷川由希 平井正治、松田京子、長谷川由希、都裕史、諸見里芳美、仲間恵子 長谷川由希	人類館 封印された扉 アイヌ民族と植民地展示：1903～1913年の博覧会から シンポジウム 場所の記憶に耳をすませ 先住民族と博物館	アートワークス	A5	453 70～97 169～ 216 371～ 375	
日本方言研究会(編) 日本方言研究会(編)	20世紀方言研究の軌跡：文献総目録 北海道	国書刊行会	A5	981 538～ 547	他に青森(548～564ページ)にも関連記事若干あり。
日外アソシエーツ(編)	「日本研究」図書目録 1985～2004 - 世界の中の日本 - アイヌ民俗 アイヌ民俗	日外アソシエーツ(発行)、紀伊國屋書店(発売)	A5	682 422 428	
中坂和子	花と人と風 フンベサバ	私家版	B6	138 59～61	
やすいゆたか	評伝 梅原猛：哀しみのパトス 梅原猛の蝦夷文化論	ミネルヴァ書房	B6	352 173～ 220	人名索引、事項索引あり。
	解放新聞 縮刷版 第37巻 2004(2151号-2200号)	解放新聞社	A4	489	

編者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	日本の人権政策確立のために松岡とおる参院選挙競争勝利を アイヌ解放担う3人に要請 運動の最先頭に立つ 秋田春蔵さん 初の国会議員として 宮野茂さん 道内を歩きたいがと 野村義一さん 東京でイチャルバを レラの会がよびかけて供養			166  355	
川村湊	物語の娘：宗璞を探して	講談社	A5	318	山田秀三関係記述あり。
北海道新聞社(編)	北の大地に刻む：北海道新聞60年史	北海道新聞社	B5変型	495	
本間至能富	見出しに苦心したアイヌ新法			453	
国雄行	博覧会の時代：明治政府の博覧会政策	岩田書院	A5	290	
<b>【2005年6月】</b>					
戸川幸夫 井沢元彦	週刊日本の伝説を旅する 15号 北海道Ⅱ 英雄オタスツンクル アイヌの伝説	世界文化社	A4変型	34  6~11 32~33	
高木崇世芝	北海道の地名関係文献目録	サッポロ堂書店	B5	26	北海道・樺太・千島関係/全国・東北以南のアイヌ語地名関係/主なアイヌ語辞典など/「駅名の起源」一覧/未見文献一覧/著者名索引
歴史学会(編) 榎森進、佐藤有紹 佐藤有紹 前田潮 佐藤有紹 菊池勇夫 高見寛孝 内山幸子 佐藤有紹 内山幸子  菊池勇夫 寺島敏治  内山幸子 菊池勇夫 寺島敏治  内山幸子  島田潔	郷土史大辞典(上) アイヌ(1) アイヌ新法 アイヌ文化 アイヌ民芸品 商場知行制 イオマンテ(イヨマンテ) イナウ(けずりかけ) 運上屋 蝦夷 えぞ(えみし)  蝦夷交易 蝦夷地御用人足  送り儀礼 御救交易 介抱  キテ  キムンカムイ	朝倉書店	B5	1042 4~5 6 6 7 15~16 60~61 97~98 160 176~ 177 177 177 178 227 232 281~ 282 438~ 439 444	
内山幸子 佐藤有紹  佐藤有紹 内山幸子 榎森進  榎森進  内山幸子	郷土史大辞典(下) ちゃし 場所請負  場所請負人 ホカイ 北海道ウタリ協会  北海道旧土人保護法  マレック(マレク)	朝倉書店	B5	911 1131 1390~ 1391 1391 1561 1572~ 1573 1573~ 1574 1612~ 1613	
松本健一  司馬遼太郎  松崎水穂	週刊司馬遼太郎 街道をゆく 21 北海道の諸道 「街道」を読み解く21 北海道の諸道 「アイヌの住む異境」から「日本の新領土」へ 「鍛冶のいやらしさに、『和人』というものの象徴を見る」 中世「和人」世界 一その様相	朝日新聞社	A4変型	39  5  18~20 22~23	
知里幸恵(原著)、横山孝雄(絵)	知里幸恵のユカア絵本 キツネのハイクンテレケ	知里森舎	B5	40	『『きつねのハイクンテレケ』のふしぎワールド・解説』(横山孝雄、A5判、4ページ)添付。
池田雅之	共生と循環のコスモロジー：日本、アジア、ケルトの基層文化への旅	成文堂	B6	605	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
池田雅之(コーディネーター)、姫田忠義、比嘉政夫ほか(パネリスト)	封印された文明と未来文明の創造：アイヌ・沖縄・アメリカインディアン、ケルトをめぐって			544～590	
矢田俊文、工藤清泰(編) 中村和之 越田賢一郎	日本海域歴史大系 第三巻 中世編 大陸から見た中世日本の北方社会 中世の北海道をめぐる北東日本海交易	清文堂出版	A5	345 77～102 219～251	
永田秀郎(文)、北海道新聞社(編)	釧路 町並み今・昔 聖公会釧路教会と或る墓名碑 春湖翁頌徳碑とアイヌ教育	北海道新聞社	B5変型	127 76～77 86～87	
川村兼一(監修)、太田満(執筆、校閲)	旭川アイヌ語辞典	アイヌ語研究所	A4	259	アイヌ文化振興・研究推進機助成出版。
大出あや子	神々の言語学：アイヌ語残照	日本図書刊行会(発行)、近代文芸社(発売)	A5	160	
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	旭川地方に伝承される アイヌの座り歌・踊り歌についての調査研究 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書2	北海道立アイヌ民族文化研究センター	B5	82	I 概説/II 調査報告(歌の情報一覧/曲目別参考資料一覧/付録CD「旭川に伝わるアイヌ文化：座り歌・踊り歌」について)あり
フッチコラチの会(編)、岡田路明(監修)	フッチコラチ アイヌ文様イラスト集	小松博子(発行責任者)	A4	38	
旭川市工芸センター(編)	旭川木彫りの源流	旭川市		21	
北海道教職員組合(編)	北海道の教育 第39集 平和・人権教育	北海道教職員組合	A5	542 275～307	
北海道埋蔵文化財センター(編)	リヤムナイ3遺跡1 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第220集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
和田寛	河童伝承大事典 北海道	岩田書院	A4	771 1～9	
<b>【2005年7月】</b>					
佐々木利和、古原敏弘、児島恭子(編)	街道の日本史I アイヌの道	吉川弘文館	A5	260	I 蝦夷地とアイヌ/II アイヌの交通路(一 東蝦夷地の道を歩く/二 西蝦夷地のアイヌ道を歩く)/あとがき
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	アイヌ語地名を歩く：山田秀三の地名研究から 2005・旭川	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	62	『アイヌ語地名を歩く：山田秀三の地名研究から』(2004年10月)から、第2章5を「上川・道北を歩く」に差し替え、その他一部に補足・訂正や掲載写真の加除を行ったもの。草風館による増刷もあり。
高坂京子(再話、企画、編集)、本田広明(絵)	アイヌのイオンノッカ〔絵本〕	高坂京子(千歳市)	A5変型	18	
日本文化財科学会第22回大会実行委員会(編)	日本文化財科学会第22回大会研究発表要旨 中村和之、小田寛貴、本庄かや子 増田隆一、田村俊之、高橋理 蝦夷錦の14C年代測定 美笛岩陰ヒグマの古代DNA分析とクマ送り儀礼に関する考察	日本文化財科学会	A4	361 122～123 182～183	ポスターセッション発表要旨 ポスターセッション発表要旨
おもしろ地理学会(編)	世界で一番おもしろい地図帳 北海道に「別」「内」のつく地名が多いのはなぜ?	青春出版社	B6	253 166～168	
岩崎・グッドマン・まさみ 岩崎・グッドマン・まさみ	人間と環境と文化：クジラを軸にした一考察 アイヌ民族クジラ利用文化の足跡をたどる	清水弘文堂書房	A5	220 120～149	
佐々木毅、鶴見俊輔、富永健一ほか(編) 榎森進 藤本英夫	戦後史大事典：1945-2004 増補新版 アイヌ アイヌ文化振興法	小学館	B4変型	606 3 9	
北海道立北方民族博物館(編) 村木美幸 斎藤玲子	アイヌと北の植物民族学：たべる・のむ・うむ アイヌの植物利用 北の植物民族学	北海道立北方民族博物館	A4	59 25～29 5～9	北海道立北方民族博物館第20回特別展図録
	第57回小樽市博物館特別展図録 描かれた岸辺のアイヌ：旅の絵師が残したスケッチ	小樽市博物館	A4	24	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
五十嵐聡美	幕末のアイヌ風俗スケッチ：その伸びやかな視覚			19～22	
佐原真	佐原真の仕事 衣食住の考古学 北海道と沖縄	岩波書店	B6	379 128～ 187	
萱野茂（文）、清水武男（写真）	アイヌ・暮らしの民具	クレオ	A5	159	序章 イコロ・オ・ブとの出会い/ 第1章 衣/第2章 食/第3章 住 /第4章 祈/終章 ウウエベケレ 昔話の世界
佐古浩敏、谷口哲雄、山中正実、岡田秀明(編著) 大島真矢	世界遺産 知床の素顔：厳冬期の野生動物王国をいく 世界自然遺産への道	朝日新聞社	B6	212  153～ 165	朝日選書779。「アイヌ民族の視点」 162～164ページ。
瀬須美探訪隠士	ネズミの隠れ里探訪記—東遊記 西遊記 [絵納岬[エトモミサキ]]	新風舎	A5	486 17～18	
青森県立郷土館（編）	辺境からのまなざし 笹森儀助展：明治の青森が生んだ不屈の士魂 千島探検の記録	青森県立郷土館	A4	101  22～38	
池谷和信、長谷川政美（編） 池谷和信、長谷川政美 田島敦、宝来聡 手塚薫 池谷和信	日本の狩猟採集文化：野生生物とともに生きる 日本の狩猟採集文化の生態史 DNAからみた日本人の成り立ち 近世におけるアイヌの生活様式の多 様性 東北マタギの狩猟と儀礼	世界思想社	B6	235  1～18 20～44 100～ 149 150～ 173	
板倉聖宣	えぞ地の和人とアイヌ：二つの民族の出会い（改訂版）	仮説社	A6	102	2004年10月30日初版の改訂版。
北海道むかし話研究会、北海道学校図書館協会（編著） 鈴木文夫(再話) 永田元久(再話) 永田元久(再話) 蒲田順一(再話) 嘉戸和彦(再話) 嘉戸和彦(再話) 永田元久(再話) 永田元久(再話) 石川茂 佐藤広也(再話) 永田元久(再話) 大西泰久(再話) 蒲田順一(再話)	読みがたり 北海道のむかし話  オタストゥン ニシバの物語 ひとり歩きの子グマ  クマとちえくらべ  バナンベ・バナンベ話 川下の男、川上の男 川上の長者の息子と、川上の長者の娘の話 ふしぎな力で村を救った娘の話  カエルのうた ー トーロロ ハンロク ハンロクー カワウソの物語 ーハリビツ ハリビツ  悪魔をかくした雌阿寒岳  大アメマスを退治したアイヌラックル の話 気のいいカッパ ー ニントチカム イの金のたばこ入れ 気のいいカッパ 二 ニントチカム イの小さな袋 米と魚	日本標準	A5変 型	256  69～72 113～ 115 116～ 122 123～ 134 135～ 139 140～ 146 147～ 149 150～ 151 152～ 157 158～ 163 164～ 168 168～ 173 174～ 176	
アイヌ文化振興・研究推進機構（編）	平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.2	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	34	講師菅原勝吉
北海道埋蔵文化財センター（編）	森川3遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第222集	北海道埋蔵文化財センター	A4		
<b>【2005年8月】</b>					
貝沢耕一（編集責任） 西島達夫 貝澤耕一 長野環 貝澤正 萱野茂 新井幹子	平取町・二風谷フォーラム2005  今後に向けたアイヌ民族の人権 サウ（沙流川） 〔分科会3「伝統文化の継承と教育」〕 訪中記〔再録〕 アイヌです、よろしく《吉田市から万人坑へ》〔再録〕 27年間の私の日中交流	平取町・二風谷フォーラム2005実行委員会	A4	129  18～20 28～30 40～43 52～56 57～61 62～64	分科会1「先住民族の人権」 分科会2「先住民族と環境問題」

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
川奈野栄子 川奈野只彦	平成7年度国外視察研修報告について 平成9年度国外視察交流研修報告について			65～66 66～67	
宇南山久三	平成11年度国外視察研修報告について			67～68	
川奈野一信	平成14年度ウタリ協会平取支部国外視察交流研修報告について			68～69	
貝澤亜里沙	カナダでの日々			70～73	
高野知美	それぞれの文化			74～75	
藤川望	十七歳、カナダに触れた日々			75～77	
尾崎有香	カナダへ行って			77～78	
貝澤留美子	フィリピンへ行って			79～81	
米田優子	1993年平取アイヌ文化保存会子供部会カナダ研修旅行報告文集あとがきより			81～82	
萱野志朗	1997年平取アイヌ文化保存会子供部会カナダ研修旅行報告文集あとがきより			82～84	
萱野知子	2001年平取アイヌ文化保存会子どもの部ハワイオアフ島研修旅行報告文集あとがきより この百年 平取町と外国人 二風谷ダム裁判判決記録 アイヌ民族に関する法律（案）／アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律／アイヌ民族関係 略年表			84～85 87～92 101～105 106～127	
法務省・文部科学省（編）	平成17年版 人権教育・啓発白書 アイヌの人々	国立印刷局	A4	213 74～76	
歴史学研究会（編）	歴史研究の現在と教科書：「つくる会」教科書を問う 岩崎奈緒子 アイヌ民族問題と「つくる会」教科書	青木書店	A5	245 182～192	
釧路アイヌ文化懇話会（編）	久摺 第11集 古谷達也 伊藤せいち 大場英保 高木喜久恵 増野光教 前山尚子 秋辺日出男 小林攻一 中村一枝 磯部恵津子 福浦寛 浅野恵子 松本成美	釧路アイヌ文化懇話会	A5	177 6～16 17～31 39～43 44～66 67～71 72～74 75～91 92～93 94～116 117～118 119～126 127～150 151～155 159～174	平成15年度北海道ウタリ協会青年・女性の集い基調講演講義録。 故人の足跡（松本成美）／浦田広胖略年譜／金成太郎とペテロス（盤木良武太）の復権をめざした浦田先生（中村一枝）／故 浦田広胖（ペンネーム遊）さんを偲んで（加藤費）／浦田先生、ありがとう（豊岡イスズ）／浦田先生ありがとう（前山尚子）／浦田先生追悼（山本悦也）／『のちのかたみに』に想う（桶作高子）／浦田先生をしのんで（畠山歌子）／浦田遊氏への追悼（斎藤忍）／浦田さんのこと（鈴木史朗）／浦田先生安らかに眠りください（福浦寛）／花の中でゆっくり眠って下さい（浅野恵子）

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
崎谷満	DNAが解き明かす「日本人」の系譜	勉誠出版	A5	194	
東洋音楽学会第56回大会実行委員会 (編)	東洋音楽学会第56回大会プログラム	東洋音楽学会	B5	43	関係項目：[公開講演会] 口琴の音を解剖する (阿部和厚) / [公開演奏会] 北の楽器 トンコリ・ムックリ・ホムス / [研究発表] 『アイヌ伝統音楽』のその後：旭川の座り歌・踊り歌に関する調査報告 (甲地利恵) / 北の先住民は甲板で何を観 (職) せたか (谷本一之)
ヘルベルト・ブルチョウ	江戸の旅日記 古川古松軒の批判的精神 日本民俗学の父と言われる男・菅江真澄 松浦武四郎の蝦夷探検	集英社	新書	238 69～105 107～124 201～212	集英社新書0304F
橋本潔	チョコレートはアイヌ語!	新風舎	A5	254	
池田末則 (編) 菱沼右一 ジョン・パチェラー	近代地名研究資料集 第5巻 アイヌ語よりみた日本地名新研究 アイヌ語よりみたる日本地名研究 (改訂版)	クレス出版	A5	524 4、8、322 Ⅷ、202	
福岡イト子 (文)、海藤久仁子 (絵)、小樽教育地図研究会 (編)	アイヌの口承文芸		A4	48	初出は『しらかば』(市立小樽図書館) No. 201～212 (2004年4月～2005年3月)
留萌市海のふるさと館 (編)	海峡を越えてきた武器：中世の蝦夷地 留萌市海のふるさと館第17回特別展図録	留萌市海のふるさと館	A4	38	古代末から中世の蝦夷地/和人の渡海による武器の渡海/アイヌの人たちと和人の交易による渡海/日本の甲冑の移り変わり/北海道内出土の兜鉢/刀剣の移り変わり/留萌市コタン浜出土の渡来銭/余市町の遺跡/展示資料写真図版/留萌市コタン浜出土の渡来銭及模倣銭一覧
<b>【2005年9月】</b>					
いしかり砂丘の風資料館 (編) 石橋孝夫 石橋孝夫	サケの考古学 紅葉山49号遺跡と北の鮭漁の歴史 アイヌのサケ漁 近世のサケ漁遺跡 魚たたき棒について	いしかり砂丘の風資料館	A4	26 11 21～23 26	
加来耕三	真説 日露戦争 アイヌの勇士と乃木大将	出版芸術社	A5	252～255	
宮島利光ほか (著)、信州夏期宣教講座 (編)	日本宣教の光と影：アイヌ伝道等をめぐって	いのちのこば社			関係目次：アイヌ民族と宣教/アイヌ民族について
足寄町史編さん委員会事務局	井上図書目録	足寄町	A4	412	郷土史研究者であり足寄町史編さん専門員でもある井上寿氏が2003年11月に足寄町に寄贈した図書の日録。
北方領土文化日口共同学術交流実行委員会	北方領土の神社：千島・北方領土社 教会日口共同調査報告書	北海道神社庁	B5	296	
北野信彦	近世出土漆器の研究 アイヌ関連遺跡の近世出土漆器	吉川弘文館	A5	404 304～331	緒言/一 文献史料の調査/二 北海道蝦夷地におけるアイヌ漆器の出土状況/三 出土漆器の調査/四 考察/結論 備考) 同書第四章。全体の序論、結論、口絵写真等にも関連記述、資料あり。
北海道合同教研事務局 (編) 清水裕二	北海道の教育 2005年版 国際連帯運動の基本の具体化から学ぶ	合同教育研究全道集会実行委員会	A5	303 256～258	
『21世紀後半の言語』シンポジウム企画班 (編) 崎山理、中川裕、鶴飼哲、池田巧 (パネリスト)、乾秀行 (司会)	21世紀後半の世界の言語はどうなるのか 情報化・国際化のなかの言語 20世紀末の世界の言語の現状	明石書店	B6	260 16～63	明石ライブラリー79。公開シンポジウム『21世紀後半の言語 情報化・国際化の中で』の記録。



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
松本健一 司馬遼太郎 宇田川洋	週刊司馬遼太郎 街道をゆく 33 オホーツク街道 「街道」を読み解く33 オホーツク街道 “オホーツク人”とアイヌ文化 「ウイльтаもアイヌも私どもも、おなじ仲間なのである」 オホーツク人はどこから来たか	朝日新聞社	A4変型	39 5 14～17 28～29	
中園英助	鳥居龍蔵伝 「コロボックル」の謎を追って	岩波書店	A6	507 63～91	岩波現代文庫社会119。初版は岩波書店、1995年。初出は『世界』連載1993～94年。
長谷川成一、千田嘉博(編) 佐々木史郎	日本海域歴史大系 第四巻 近世編 I 山丹交易と蝦夷地・日本海域	清文堂出版	A5	477	
<b>【2005年10月】</b>					
江川善則	日本砂浜紀行3 伝説と風景 ピリカメノコ伝説〔北海道えりも町百人浜〕	江川善則	B5	105 7～10	
浅井建爾	日本の地名雑学事典	日本実業出版社	B6	244	北海道の地名はアイヌ語だらけ/北海道の地名に「内」や「別」が多いのはなぜ?/主なアイヌ語地名/北海道の14支庁の地名の由来
田中無格	蝦夷地に生きた近江商人 マシケ場所とアイヌ	田中無格		86～87	
木立大忍、木立真理、福田茂夫	善光寺資料総目録	善光寺	B5	112	善光寺資料総目録刊行によせて/善光寺資料総目録/有珠善光寺の沿革と時代背景/善光寺歴代住職と事蹟/有珠地区関連の編年表
朝倉利光 朝倉利光 岩崎まさみ	第4回 日露国際シンポジウム B. ビウスツキーとサハリンアイヌ民族 光学的方法による音声文化遺産探査・復元: B. ビウスツキーとサハリンアイヌ民族 北方地域における環境・文化と先住民族: カナダと北海道の事例	北海学園大学	A4	74 1～4 5～10 57～59	10月3～6日に開催されたシンポジウムの報告資料。
善光寺200年記念フォーラム実行委員会	重要文化財蝦夷三官寺善光寺関係資料図録	善光寺200年記念フォーラム実行委員会	A4	10	
東北中世考古学会(編) 中村和之	海と城の中世 十五世紀のサハリン・北海道の交易	高志出版	A5	276 227～246	
藤岡信勝 白川隆信	教科書が教えない歴史3〔普及版〕 ユーカラを広めたアイヌの少女	産経新聞社(発売:扶桑社)	B6	275 41～43	初版1997年。初出は『産経新聞』朝刊連載(1996年11月12日付～1997年3月22日付のうち)
工藤雅樹 入間田宣夫	古代蝦夷の英雄時代 解説 『古代蝦夷の英雄時代』に学ぶ	平凡社	16.5×11	294 288～294	第1章 蝦夷アイヌ説と蝦夷日本人説をめぐって/第2章 「エミシ」から「エソ」へ/第3章 北日本の古代文化/第4章 蝦夷の社会構造/第5章 蝦夷の後裔/平凡社ライブラリー判あとがき/解説 『古代蝦夷の英雄時代』に学ぶ(備考)平凡社ライブラリー。2000年11月新日本新書として刊行されたものを一部改訂。
北海道中小企業家同友会 釧路支部厚岸地区(編) 熊崎農夫博	真実のかたりべ 厚岸歴史講座 厚岸のあけぼの ～先史時代からアイヌ文化～	北海道中小企業家同友会 釧路支部厚岸地区	A4	63 1～5	
北構保男(編) シュテルンベルグ(著)、北構保男(訳)	アイヌ民族・オホーツク文化関連研究論文翻訳集 アイヌ人におけるイナウ崇拜	北地文化研究会	B5	137 1～20	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
J.M. ディクソン(著)、北構保男(訳) A.H. サベージ・ランドーア(著)、北構保男(訳) B. フィッツフュー、V.O. ショーピン、手塚薫ほか(著)、北構保男(訳) 別府春海、C.S. チャード(著)、北構保男(訳)	対雁アイヌ人 ひとり蝦夷地を行く：釧路・根室・千島・北見の部 千島列島の考古学：人類古生物地理学と北太平洋先史学の進展 オホーツク海の史前海洋文化	北地文化研究会	B5	21～32 33～91 92～127 128～157	初出は『日本アジア協会雑誌』第11巻 初出は『北海道考古学』第6輯(1970年)
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第1巻 坪井正五郎、F.S. モールスほか	クレス出版	A5		
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第2巻 小金井良精	クレス出版	A5	606	
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第3巻 八木装三郎、足立文太郎	クレス出版	A5	679	
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第4巻 鳥居龍藏、濱田耕作、松村瞭(一)	クレス出版	A5	622	
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第6巻 長谷部言人(一)	クレス出版	A5	584	
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第7巻 長谷部言人(二)、清野謙次	クレス出版	A5	584	
山口敏(編)	日本の人類学文献選集 近代篇 第8巻 昭和前期の研究者	クレス出版	A5	554	
真田信治、庄司博史(編) 中川裕	事典 日本の多言語社会 アイヌ・アイヌ語	岩波書店	B6	397 162～164	
内藤千珠子 内藤千珠子	帝国と暗殺：ジェンダーから見る近代日本のメディア編成 植民地	新曜社	B6	412 119～158	同書第4章。構成：1北海道/2 アイヌ・病・女/3 滅亡とあわれみ/4 混血
山本芳美	企画展 西平ウメとトンコリ 展示案内 イレズミの世界 アイヌにも及んだ規制	アイヌ民族博物館 河出書房新社	B6	12 383 259～261	
日韓「女性」共同歴史教材編纂委員会(編) 大越愛子	ジェンダーの視点からみる日韓近現代史 先住民の声	梨の木舎	A5	356 86	
中川裕 佐々木利和 榎森進 奥田統己 本田優子 本田優子 本田優子 奥田統己 奥田統己	シンポジウム&公開講座報告集 アイヌ文化研究の今① アイヌの歴史と物語世界 アイヌ文学の基礎知識 歴史資料としての口承文芸の可能性 ユウカラの歴史性を考える アイヌ文学から歴史をどう読みとるか アイヌの歴史と物語世界 9・19シンポジウムの紹介と解説 アイヌ口承文芸について 英雄叙事詩と散文説話 歴史研究とアイヌ口承文芸(1) 歴史研究とアイヌ口承文芸(2)	札幌大学ペリフェリア・文化研究所	B5変型	162 7～18 19～28 29～39 40～51 80～81 82～99 100～122 123～136 137～152	I シンポジウム/討論/II 公開講座/資料(シンポジウム予稿集)備考)以下のシンポジウム、講座の各報告には、それぞれ討論、質疑応答もあり。
	北方関係を主にした 弘南堂古書目第46号	弘南堂書店	B5	194	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 2	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	32	講師菅原勝吉
<b>【2005年11月】</b>					
国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部二風谷ダム管理所(監修)	にぶたに湖周辺のいきものたち	国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部二風谷ダム管理所	17×11	154	発行年月日記載なし。発行年月は発行時送り状の日付による。
吉良平治郎研究会(編)	アイヌ送文人 吉良平治郎研究資料集成	釧路アイヌ文化懇話会	A4	201	
人文社編集部(企画)	江戸諸国百物語 東日本編 蝦夷地	人文社	B5	152 148～151	「ものしりシリーズ 諸国怪談奇談集成」の一部。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
北海道立文学館、北海道文学館	ガイド 北海道の文学 アイヌ民族の文学	北海道立文学館、北海道文学館	A4	40 10～11	北海道の小説・評論/アイヌ民族の文学/北海道の詩/北海道の短歌/北海道の俳句/北海道の川柳/北海道の児童文学/北海道文学史略年表/フォトガイド 北海道の文学/データベース 北海道の文学碑
知里むつみ					
片山了介	片山躰が歩いた道 夢を北海道マシュポ ポイ原野に 先住のアイヌ民族	私家版	B6	179 155～ 159	
STVラジオ	ほっかいどう百年物語 第6集 田上義也：北方建築の基礎を創った 情熱の建築家 永久保秀二郎：アイヌ教育に生涯を 捧げた教育者	中西出版	B6	442 31～43 235～ 246	
	第9回アイヌ語弁論大会プログラム イ タカン ロー アイヌ語で話しましょう	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	153	発行年月日記載なし。ここでは開 催日11月12日)による。
谷口一弘(編)	『北海道教育新聞』『北海道教育評論』総 目次・索引	北海道出版企画センター	A5	441	
帯広叢書編集委員会(編)	虻田第二尋常小学校同窓会資料 2	帯広叢書編集委員会	B5	250	口絵写真/1 文書綴1-4(虻田第 二尋常小学校同窓会)/2 出現語 彙一覧/あとがき/3 原資料/
土井全二郎	義経伝説をつくった男 アイヌ教育に九年	光人社	B6	269 128～ 167	小谷部全一郎評伝。
圓尾公佑(編) 魚住昭 多原香里(編集部・取 材)	100%ムネオマガジン ムネオ新党の可能性 アイヌ民族の立場から	イースト・プレス	A5	175 98～ 104 160～ 167	
<b>【2005年12月】</b>					
萱野茂	イヨマンテの花矢 続・アイヌの碑	朝日新聞社	B6	221	イヨマンテの花矢/二風谷小学校を 残す/木彫りとの出会い/民具ととも に五十年/ユカラとウエベケレ/アイ ヌ研究と学者たち/船下ろし祭り と違法ダム/だった二人の反乱/二つに なったアイヌ資料館/葬式はアイヌ ブリで/思いもかけなかった立候補/ 当選前夜のカムイイタクテ/アイヌ語 が国会に響く/議員生活雑録/わた しの旅と先住民族/あとがき
小畑弘己(編)	極東先史時代の穀物 北海道の遺跡から出土した栽培植物	熊本大学埋蔵文化財調査 室	A4	138 49～68	日本学術振興会平成16年度科学研 究費補助金(基盤研究B-2)「雑穀 資料からみた極東地域における農 耕受容と拡散過程の実証的研究」 中間研究発表会論文集
山田悟郎					
城正明	イッシュ・モシリ：豊かな大地 イチャルパ：アイヌの儀式	海悠出版(発行)、主婦 と生活社(発売)	A5	189 164～ 167	
	ビジュアル・ワイド 明治時代館 樺太・千島交換条約と北海道の開拓 南樺太の領有	小学館	B4変 型	606 140～ 141 508～ 509	「アイヌ困窮を招いた政策」との 項目のほか関係写真など掲載。
塩出浩之 塩出浩之					
北海道環境ジャーナリス トの会	つながるいのち 生物多様性からのメッ セージ 萱野茂 アイヌの「心」が教えて くれるもの	山と溪谷社	B6	247 17～ 186	
田中泰義					
中野栄夫 宇梶良子(編)、中野 栄夫(補訂)	日本の中の異文化 1 「日本の中の異文化」研究への道： 『日本の中の異文化』刊行の辞に代え て 伊賀トシの「私なるアイヌ」	日本異文化研究会	A5	94 1～4( ヨコ組 みページ) 21～32 (ヨコ組 みページ)	語り：伊賀トシ、聞き手：宇梶良 子、協力：宇梶静江。1999年3月 発行『あるアイヌの女性史』の一 部を補訂し再掲したもの。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
弟子シギ子  中野栄夫	先祖 祖父母に感謝  『昔話研究』第2巻第1号に高橋盛孝「ギリヤクの民譚」としてつぎのような話が載っていましたのでご紹介しておきます」			33～38 (ヨコ組 みページ)  43 (タテ 組みペー ジ)	関東ウタリ会創立25周年記念講演会(2004年12月12日)での講演資料を再掲。
山田幸一 山田幸一 山田幸一	北海道の重大事件史 北方領土海域での日ソ合弁事業：ウタリ共同事件 民族の共有財産のゆくえ：アイヌ民族共有財産訴訟	寿郎社	A5	290 215～ 216 97～98	
川元祥一	和人文化論 その基軸の発見 アイヌ・沖縄・和人の世界：列島文化	御茶の水書房	B6	316 292～ 305	初出は「農山・漁村ルネッサンス：視点を変えたら面白いぞ日本！」『ゆいまーる』(コミュニティネットワーク協会) Vol.12～16 (2002～2003)。本書収録にあたり加筆修正を行う。
宇田川洋	増補改訂 アイヌ伝承と砦	北海道出版企画センター	新書	273	北方新書007。同社から1981年に発行した単行本の増補改訂版。本文の増補改訂のほか、「増補版に当たって」を加える。
新谷尚紀、関沢まゆみ(編) 藤村久和 藤村久和 藤村久和	民俗小辞典 死と葬送 カソマンテ チシナオッ シンヌラッパ	吉川弘文館	B6	423 136～ 137 137 310～ 311	
辛淑王(監)、人材育成技術研究所(編)	クイズウルトラ人権100問 問題① 日本は単一民族である。 問題⑤ ウコチャランケとはアイヌ語で「戦う」ということである。	解放出版社	B5	225 16～17 42～43	
川村湊(編) 梅澤亜由美	津島佑子 『「私」』：口承文芸と現代小説との融合	鼎書房	A5	157 132～ 135	現代女性作家読本3 『私』は1995年新潮社刊。
前田菜穂子	ヒグマが育てる森	岩波書店	B6	213	はじめに/第1章 山の神：キムンカムイと萱野茂さん/第2章 クマ絶滅の近代史/第3章 私たちの挑戦(「アイヌの伝統猟師たち」などの項あり)/第4章 ベアバーソン：野生との共生に向けて/第5章 ヒグマが育てる森/おわりに/資料(「ヒグマの関係機関」など)
清水恵	函館・ロシア その交流の軌跡 覚書・モイセイ馬場楯の生涯：北方民族研究に捧げた人生	函館日ロ交流史研究会	B6	43～64	初出は『地域史研究はこたて』31号(2000年)
直川礼緒	口琴のひびく世界 口琴ルネッサンス 日本にも到来	日本口琴協会	A5	188 144～ 153	
蕨沢光治	アイヌモシリを巡る鳥見旅 シマチドリとの出会い	ブイツーソリューション(発行)、星雲社(発売)	A6	213 181～ 210	
清水町史編さん委員会(編) 相神達夫 相神達夫	清水町百年史 「トカチ」の登場と先人たち 拓殖への息吹きとアイヌ民族	清水町	A4	1341 81～98 99～ 118	
奈良文化財研究所(編) 藤本強	日本の考古学 下巻 北と南の考古学：北海道と琉球諸島	学生社	B5	666～ 673	ページは上巻からの通し番号。
中西裕(編)、深井人詩(監修)	書誌年鑑 2005 アイヌ史『アイヌ史新聞年表 「小樽新聞」(明治)編』(河野本道) 國學院大学コミュニティカレッジセンター	日外アソシエーツ	A5		
読売新聞社大阪本社(編) 小林健	モノ語り日本史 続・歴史のかたち 蝦夷の族長・アテルイ 悪路王の首像をみる	淡交社	A5	214 164～ 168	初出は『読売新聞』夕刊連載

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
宮本常一	辺境を歩いた人々 近藤重蔵 松浦武四郎	河出書房新社	B6	226 11～55 57～90	底本は『さえら伝記ライブラリー14』（さえら書房、1966年）
富川盛道 日野俊也	ダトーガ民族誌：東アフリカ牧畜社会の地域人類学的研究 富川盛道の『ダトーガ民族誌』について	弘文堂	A5	429 397～414	「富川盛道博士の生涯」の項あり。
	サッポロ堂古書目30 北海道文献目録2005	サッポロ堂書店	B5	246	
	中名寄百年郷土誌 先住民族を供養 アイヌ民族一同の碑	中名寄開拓百年記念事業実行委員会	A4	206 91	
北海道埋蔵文化財センター(編)	オルイカ2遺跡2 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第221集 平成16年度 財団の活動	北海道埋蔵文化財センター	A4		財団設立の経緯/財団の目的・組織等/1年間の歩み/理事会・評議会及び各委員会の開催状況/事業実施体系/平成16年度財団事業の実施状況
帯広二建会創立50周年編集委員会(編)	帯広二建会創立50周年記念出版 トカブチ：十勝アイヌ語地名	帯広二建会創立50周年編集委員会	A4	20	1 北海道の地名/2 アイヌ語の地名/3 十勝のアイヌ語地名/添付地図1枚
國田修司	北に、生きる心むすんで：民族歌舞団こぶし座40年の歩みと作品 小学生のための作品 マリモ伝説『マリモになった娘』台本 アイヌ・ネノ・アン・アイヌ	民族歌舞団こぶし座	A5	435 331～337 363～425	
瀬川拓郎	アイヌ・エコシステムの考古学：異文化交流と自然利用からみたアイヌ社会成立史	北海道出版企画センター	A5		
本田貢	アイヌ語地名ファンブック	彩流社			

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2006年1月】</b>					
萱野茂、前田菜穂子(著)、 稗田一俊(写真) 萱野茂、前田菜穂子 (対談)	よいくまわるいクマ 見分け方から付き 合い方まで アイヌ民族の知恵編 アイヌ民族のヒグマ観	北海道新聞社	A5	259 85～ 103 195～ 196	
星野紘	芸能の古層 ユーラシア アイヌの英雄叙事詩と神霊(日本)	勉誠出版		376～ 383	
文化庁文化財部(監)	文化財保護関連法令集<第2次改定版> アイヌ文化振興法関係	ぎょうせい	A5	672 505～ 514	
はたさみつる(作)、川瀬 聖香(絵)	〔創作〕ペカンペと森のカムイたち	新風舎	A5	111	「解説」チカップ美恵子(108～1 11ページ)
河川環境管理財団(企画・ 監修)	川の民話集 カムイコタン物語 北海道 石狩川 ミンツチのむこ入り 北海道 石狩川	河川環境管理財団	A4	136 10～13 14～17	
北海みちお〔きたみみちお〕	北海道を盗み取った男〔創作〕	文芸社	B6	254	武田信広を主人公とした創作
伊藤せいち	アイヌ語地名 II 紋別	北海道出版企画センター	A5	341	雄武町から現遠軽町(遠軽町、生 田原町、丸瀬布町、白滝村)まで を取り上げる。
菊池俊彦(編)	サハリン北方先住民族文獻集 人類学・ 民族学編 1905-45	北海道大学大学院文学研 究科	A4	215	2005年3月刊行の『サハリン北方 先住民族文獻集 文芸作品篇 19 05-1945』に続く文獻集。サハリ ン北方先住民族に関する人類学・ 民族学の日本語文獻から、既存の 著作集等に含まれていないもの を中心に26編を選ぶ(「序」より)。 以下に掲載した論考の他にも関係 記述を散見できる。ただし、ウイ ルタ、ニブフなどを主な対象とし ているため、アイヌ関係の記述部 分が掲載にあたって割愛されてい る場合もある。
石田収蔵	権太紀行(上・中・下)			3～14	初出は『東京人類学会雑誌』第23 巻第265、266、267号。1908年4、 5、6月。
石田収蔵	南部権太における土人			15～20	初出は『東京人類学会雑誌』第23 巻第270号、1908年8月。
石田収蔵	オロッコとアイヌの戦物語			30	初出は『東京人類学会雑誌』第25 巻第294号、1910年9月。
中目覚	土人教化論〔後編〕			31～42	初出は岩波書店1918年10月発行の 単行本。その中から後編「権太北 部民族の教化」を掲載。
高橋盛孝	ギリヤク族の民譚			69～79	初出は『昔話研究』第2巻第1、2 号、1936年5、6月。収録された伝 承の中に「アイヌのシャマン」な どあり。
関口龍嗣	オロッコ曾我物語(多来加アイヌと オロッコの闘争)			112～ 116	初出は『権太時報』第38号、1940 年6月。
横尾安夫	権太の原始民族			156～ 164	初出は『東亜の民族』理想社、19 42年10月。
菊池俊彦	解説 サハリン北方先住民に関する人類学・ 民族学の文獻目録(1905-45)			197～ 205 215～ 208	
上田正昭(監修)	日本古代史大辞典	大和書房	B5	926	索引に「アイヌ」「アイヌ人種説」 「アイヌ文化」などの項目あり。 それによれば下記以外のページに もこれらの語の出現あり。
大塚和義 大塚和義 上田正昭 上田正昭	アイヌ人種説 アイヌ文化 蝦夷〔えみし〕 金田一京助			2 2～3 88 195～ 196	
長沼孝 上田正昭	チャシ ユーカラ			430 636	
武蔵大学社会学部(編)	変わりゆく人権 先住民の権利とは何か	お茶の水書房	A5	226 93～ 111	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成17年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.4	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	38	講師：菅原勝吉（静内アイヌ語教室講師）
小林須佐男	邪馬台国は意宇出雲国	大成／こばやし出版	A5	484	発行年月日記載なし。発行月は「あとがき」の日付による。
坂垣昭一	小説 北海道開拓の雄 松本十郎 北辰軸	鶴岡書店	B6	295	
<b>【2006年2月】</b>					
細井計〔ほそい かずゆ〕(編)   工藤雅樹   樋口和志	東北史を読み直す   古代蝦夷の諸段階   『諸家系図纂』所収の安藤系図について：奥六郡安部氏の祖先系譜に関する一考察		A5	312     A5   2～42   43～78	
林吉夫	樺太人   樺太の先住民族	叢文社	B6	217   13～15	
花崎翠平	ビーブルの思想を紡ぐ   現代アイヌ史の素描   知里幸恵とアイヌ民族の詩人たち   『上西晴治短編集 ポロヌイ峠』を読む	七つ森書館	B6	193   131～   170   171～   179   181～   188	初出『知里幸恵「アイヌ神謡集」への道』(2003年) 初出『図書新聞』2678号(2004年5月22日付)
海保嶺夫	エゾの歴史：北の人びとと「日本」	講談社	B6	315	講談社学術文庫1750。初版は1996年2月講談社発行（講談社選書メチエ）、新たに「学術文庫版あとがき」を付す。
宮岡伯人(編)   田村すゞ子   田村すゞ子、奥田統己(司会)、坂本比奈子(コメンテーター)、笹倉いづる美、角田太作、田村すゞ子(パネリスト)	今、世界のことが危ない！：グローバル化と少数者の言語   アイヌ語の記録・保存について   討議	クバプロ	B5	206     131～   143   144～   149	
上田正昭	歴史に学ぶ：古代から現代へ   北天の英雄 アテルイ	学生社	B6	284   55～62	初出は『部落解放研究』第155号(2003年)
中里哲夫	釣り師の本棚   アイヌの人々は「オビラメ」と「イトウ」を区別した／『コタン生物記Ⅰ～Ⅲ』更科源蔵・更科光著	寿郎社	B6	123～   125	初出は『北海道のつり』
加藤郁也	坐職の読むや   ビッキ展に寄す	みすず書房	B6	398   371～   372	
空知地方史研究協議会	明治大正昭和の空知写真集   考古・アイヌ民族	空知地方史研究協議会	A4	135   122～   125	このほか121ページに高畑利宣に関するコラムあり。
井上勝生   井上高聡	岩波講座 帝国日本の学知 第1巻「帝国」：編成の系譜   札幌農学校と植民学の誕生：佐藤昌介を中心に   〔文献解題〕北大学派植民学	岩波書店	A5	360     11～41     26～31   (巻末横組ページ)	「付録 文献解題」のⅢ「植民政策学文献解題」のうちの一部分
佐々木高明	山の神と日本人：山の神信仰から探る日本の基層文化   山の神信仰の地域性と東北日本   東北日本の畑神信仰の基層になるもの：アラキ型焼畑の謎と北方系畑作農耕	洋泉社	B6	251     154～   175   176～   212	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
知里真志保を語る会 (編)	室蘭・登別沿岸のアイヌ語地名研究 インカラアンロ	知里真志保を語る会	A4	58	序 (小坂博宣) / 推薦の辞 (切替英雄) / アイヌ語地名の意味と由来 (小坂博宣写真構成、解説。切替英雄・久末進一調査協力) / アイヌ語地名と神話・伝説 (小坂博宣編著。久末進一記「謎の「イタンキ」考、同「チヌエピラ (銀屏風) 伝説考」のほか、「アフルパロ (あの世の入口) とは何か」(切替英雄採録を含む) などあり) / 参考引用文献/あとがき 備考) 写真CD (地図及び撮影写真、カムイニューカラを収録) を添付。
榊原正文	アイヌ語地名釣歩記 北海道のエコ・ツーリズムを考える	北海道出版企画センター	A5	195	『北海道のつり』連載の「ほいど「浜野」のアイヌ語紀行」(2003年9月号から2005年9月号掲載分まで) に加筆・修正及び写真の増補を行ったもの。新たに「はじめに」を付す。平成17年度財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成事業の成果品。
池内敏	大君外交と「武威」: 近世日本の国際秩序と朝鮮観  アイヌと朝鮮人との交流	名古屋大学出版会	A5	466  227~233	第2部「「武威」の国」補論3。初出は「慰撫文化情報源としての漂流記」『日本海学の新世紀 二』(角川書店、2002年)
小熊秀雄   小熊秀雄   小熊秀雄	小熊秀雄童話集  親不孝なインクツキ [創作] マナイタの化けた話 [創作]	清流出版	A5	168 95~97 99~105	
堀川真 (文・絵)	北海道わくわく地図えほん  アイヌ民族	北海道新聞社	B5変型	48  36~37	
アイヌ民族博物館 (編)	トンコリを中心とした西平ウメの伝承及びトンコリの総合的研究報告書	アイヌ民族博物館	A4	95	CD、DVD各1枚付き。アイヌ文化振興・研究推進機構平成17年度研究助成成果報告書。
アイヌ無形文化伝承保存会 (編)	神々の物語 再版	アイヌ無形文化伝承保存会	B5	207	『神々の物語』再版にあたって / 【写真】アイヌの生活とまつり / 神々の物語 1 ウサギが自らのことを物語る (八重九郎) / 2 カムイニューカラ エゾオオカミの大神の自叙伝 (上野ムイテケン) / 3 火の纏神の自叙伝 (四宅ヤエ) / 4 集落を見守る (シマフクロウ) 神の自叙伝 I (四宅ヤエ) / 5 集落を見守る (シマフクロウ) 神の自叙伝 II (四宅ヤエ) / 6 集落を見守る (シマフクロウ) 神の自叙伝 III (四宅ヤエ) / 7 カククサボのカムイニューカル (織田ステノ) ほか。 初版は1981年3月発行。
結城庄司研究会 (編)	北海道アイヌ (ウタリ) 協会史 研究1 報告書	結城庄司研究会	A4	116	写真/はじめに / 1 研究報告 北海道アイヌ (ウタリ) 協会史研究 1 / II 関連資料 (1 「北海道アイヌ協会」創立総会案内状 / 2 昭和21年度第1回定期総会開催通知 / 3 社団法人北海道アイヌ協会定款 (1946年3月26日登記) / 4 社団法人北海道あいぬ協会定款 (第2次) / 5 北章明著『アイヌ沿革誌』序 (貝澤正) / 6 全道アイヌ青年大会関係新聞記事 / 7 全道ウタリ一諸氏に告ぐ / 8 アイヌ協会存立の趣旨と使命 / 9 関連新聞記事 / 10 『アイヌ新聞』各号ほか。 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構平成17年度研究助成成果報告書。



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
今石みぎわ	「花とイナウ」をよむ：アイヌと和人の 削りかけ、比較研究への覚書	今石みぎわ	A4	85	はじめに/序章 本州以南の削り かけと、イナウ/第1章 ロ承文芸 に語られるイナウとアイヌ世界/ 第2章 菅江真澄のみた近世蝦夷 地と東北/第3章 断想、削りかけ からイナウを考える/おわりに/資 料編（I ロ承文芸に語られるイ ナウとアイヌ世界/II 菅江真澄 イナウ・削りかけ関係資料） 備考）財団法人アイヌ文化振興・ 研究推進機構平成17年度奨励研究 助成の成果報告書。
石狩市郷土研究会、石狩の 碑調査編集委員会（編） 高瀬たみ、田中實（担 当） 榎木新一（担当）	石狩の碑 第三集：石碑等みる石狩市 の歩み 豊川アンノラン墓碑 権太アイヌの碑	石狩市郷土研究会	A5	240  105～ 107 185～ 186	
帯広市図書館（帯広叢書編 集委員会）（編）	帯広叢書第55巻 吉田巖資料集 21	帯広市教育委員会	B5	270	1 アイヌ調査書 5（第5編 容 儀及び礼式）/2 日記3-19（昭和 12年9月～12月）/3 著作原稿13 （北海道先住民族について）/4 出現語彙一覧/5 注釈用参考文献 一覧
日高町100年記念史編さん 委員会（編）	日高町100年記念史 地名 日高のアイヌの人たちの生活	日高町役場	B5	332  59～61 76	
服部英二、鶴見和子	「対話」の文化：言語・宗教・文明 日本の歴史から消されたアイヌ 民族の根幹を奪う政策	藤原書店	B6	219 177～ 180 180～ 182	
北海道ウタリ協会様似支部 （編）	様似の歴史とアイヌ民族：北海道アイヌ 協会設立60周年を迎えて	北海道ウタリ協会様似支 部	A4	126	はじめに/写真編/聞き書き編（菊 池玉枝さん/佐藤富三郎さん・キ ンさん/山崎照正さん/繁田ミツ さん/小田正三郎さん・ユキエさん） /研究編（北海道アイヌ協会と様 似支部/去間弁次郎さん/岡田尋常 小学校/様似におけるアイヌ民族 の諸団体/様似の歴史とアイヌ文 化）/資料編/特別寄稿「協会60年 に想う」（菊池実） 備考）財団法人アイヌ文化振興・ 研究推進機構研究助成成果報告書
山地肇治	占冠村百年史 アイヌ語地名と自然	占冠村 占冠村	A5 A5	859 7～11	
	第9回 アイヌ語弁論大会報告書 イタ カン ロー アイヌ語で話しましょう！	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	160	発行年月日記載なし。発行年月は 「刊行にあたって」の記述による。
<b>【2006年3月】</b>					
釧路市総務部地域史料室 （編）	釧路捕鯨史 勇敢なアイヌ民族の捕鯨	釧路市役所	A5	379  82～84	釧路叢書別冊
北海道北方民族博物館（編） 齋藤玲子	文化の十字路 ー北太平洋沿岸の文化ー カナダ北西海岸先住民と北海道アイ ヌの事例にみる博物館展示の変遷	北方文化振興協会	A4	90 77～82	
谷本晃久、谷口幹也（編著）	砂澤ビッキ作品から何を学ぶか？	北海道教育大学岩見沢校 日本史教室	A4	145	科学研究費補助金研究成果報告書 （平成14年度～16年度、基礎研究C 1、研究課題「地域ならびに歴史 的視点からみた作家研究方法の開 発：彫刻家砂澤ビッキを手掛かり に」）
塩原朝子、児玉茂昭（編）	表記の習慣のない言語の表記 アイヌ人によるアイヌ語表記への取 り組み		A5	335  1～44	COE研究拠点「アジア書字コー パスに基づく文字情報学の創成」の サブプロジェクト「固有の文字を もたない言語の表記に関する諸問 題の解決を支援するオンライン・ リソースの構築」の活動の一環と して開催された研究会（2005年3 月4日開催）における発表に基づ くもの。下記の他にも「ニヴフ語 の表記」（丹菊逸治）などあり。
桑原康彰	北海道の野性動物：開拓秘話・哀話編	ソーゴー印刷情報出版セ ンター（帯広市）	B6	177	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	アイヌの国			11～58	
大友宏之、甲斐敬章(文)、甲斐敬章(写真)、矢崎勝美(表紙デザイン、編集)	藤戸竹喜の世界	藤戸竹喜	A4	138	阿寒と藤戸竹喜(五十嵐広三)/作品/作品リスト/年譜/阿寒に生きる
文部科学省(編)	文部科学白書(平成17年度) アイヌ文化の振興	国立印刷局	A4	512 365～ 366	
北海道埋蔵文化財センター(編)	恵庭市西島松5遺跡(4) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第224集	北海道埋蔵文化財センター	A4	224	
北海道埋蔵文化財センター(編)	白滝遺跡群IV 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第223集	北海道埋蔵文化財センター	A4	3分冊	
厚真町教育委員会(編)	厚真町鯉沼3遺跡(2)	厚真町教育委員会	A4	50	
河野本道(編)	アイヌ史新聞年表『小樽新聞』(大正期1) 編	國學院短期大学コミュニティカレッジセンター	B5	206	
福田アジオ、新谷尚紀ほか(編)	精選 日本民俗辞典	吉川弘文館	A5	701	初出は『日本民俗大辞典』
藤村久和 藤村久和 藤村久和 藤村久和 藤村久和  大島稔  萩中美枝	アイヌ イオマンテ イナウ ウタリ カムイ  チセ  ユーカー			2～6 28～29 42～43 72 146～ 147 353～ 354 585～ 586	
雄武町史編纂委員会(編) 因幡勝雄 因幡勝雄  伊藤静致  秋葉實	雄武町百年史 アイヌ文化の形成 アイヌ文化  雄武町のアイヌ語地名  ラム村の夜明けとアイヌ民族	雄武町	A5	1516 81～83 83～ 106 107～ 130 147～ 183	第二章「アイヌ文化」の第一節 第二章「アイヌ文化」の第二節 第二章「アイヌ文化」の第三節 第三章「古代～近世の蝦夷島」の第三節
厚真町教育委員会(編)	上幌内モイ遺跡(1)	厚真町教育委員会	A4	234	
田口正夫(編)、佐々木亨(監修)	『北海タイムス』掲載のサハリン及び北海道先住民族に関する記事データベース(1926.12.25-1935.12.31)	北海道大学大学院文学研究科	A4	145	
余市町(編)	大川遺跡発掘調査報告書(2005年度)余市郡都市計画道路事業(3・4・13河口港線)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	余市町	A4		
早来町教育委員会(編)	早来町富岡3遺跡・新栄2遺跡	早来町教育委員会	A4	30	
北海道埋蔵文化財センター(編)	森町三次郎川右岸遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第233集	北海道埋蔵文化財センター	A4	395	
北海道埋蔵文化財センター(編)	早来町大町2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第228集	北海道埋蔵文化財センター	A4	634	
北海道埋蔵文化財センター(編)	共和町リヤムナイ遺跡・リヤムナイ3遺跡(2)遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第227集	北海道埋蔵文化財センター	A4	280	
北海道埋蔵文化財センター(編)	江別市対雁2遺跡(7) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第226集	北海道埋蔵文化財センター	A4	228	
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市チブニー2遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第225集	北海道埋蔵文化財センター	A4	69	
旭川市史編集会議(編)	新旭川市史 第3巻 通史3	旭川市	A5	1500	主に1902年の旭川町一級町制施行から旭川区制下の1922年頃までを対象時期とする。
谷本晃久	近文アイヌと「旧土人保護地」移転問題			705～ 866	
佐々木高明 貝澤文俊、加藤忠、川上哲、笹村二朗、川奈野惣七、大川勝、秋辺得平(討論参加者)	2005イオルフォーラム報告書  各会場プログラム 基調講演要旨 討論会要旨  資料編	北海道ウタリ協会	A4	32  2～4 5～16 17～24  25～31	2005年7月9日(札幌市)、8月28日(帯広市)、10月8日(旭川市)で開催されたフォーラムの記録 2005年7月9日札幌市での講演記録。 2005年7月9日札幌市での討論会の記録。司会阿部一司。 佐々木高明氏レジメ/アイヌの伝統的生活空間の再生に関する基本構想/「ウタリ対策のあり方に関する有識者懇談会報告書」より抜粋
池田貴夫	環オホーツク No. 13 クマ祭りの文化情報学	北の文化シンポジウム実行委員会	B5	90 29～46	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
飯田桂	アイヌ民族の散文説話にみる他界間交流			65～74	
	平成17年度世代間交流事業報告集	北海道ウタリ協会	A4	144	平成17年度世代間交流事業講演内容(登別会場/八雲会場/帯広会場/様似会場/釧路会場/白糠会場/千歳会場)/世代間交流事業報告書資料編
旭川市博物館(編)	旭川市博物館所蔵品目録XVI 民族資料／儀礼関係：捧酒箸	旭川市博物館	A4	63	
芽室町教育委員会(編)	芽室町大成遺跡2 芽室町埋蔵文化財調査報告 第6輯	芽室町教育委員会	A4	20	
芽室町教育委員会(編)	芽室町大成遺跡3 芽室町埋蔵文化財調査報告 第7輯	芽室町教育委員会	A4	79	
国立民族学博物館(編) 大塚和義	国立民族学博物館三十年史 東アジア(アイヌの文化)展示	国立民族学博物館	B5	497 214～ 215	
新增毛町史編さん委員会(編) 小野卓也 高橋明雄	新增毛町史 アイヌ語地名 史料 マシク場所にみるアイヌ民族	増毛町	A5	1337 786～ 801 921～ 1091 1109～ 1117	
青森県史編さん近世部会(編)	青森県史 資料編 近世3 津軽2 後期津軽領 北方問題の展開と藩政	青森県	A4	740 109～ 334	「付図」として「天保陸奥国津軽領絵図」「南部・津軽・松前浜通絵図」を付す。 第1節「北方問題の発生と藩政改革」/第2節「蝦夷地直轄と弘前藩」
鶴居村教育委員会(編)	下幌呂15遺跡発掘調査報告書	鶴居村教育委員会	A4	238	
部落解放・人権研究所(編) 竹内渉	人権年鑑 2005～2006 (2004. 4～2005. 3) アイヌ民族	部落解放・人権研究所(発売：解放研究所)	A5	377	
平井昭午	近代日本の開発と移民の送出構造 おわりに 領土化とアイヌ政策	札幌大学経済学部附属地域経済研究所	A5	50 42～45	札幌大学経済学部附属地域経済研究所 ブックレットNo. 6
北海道ウタリ協会(編)	平成17年度 世代間交流事業報告集	北海道ウタリ協会	A4	144	
	平成17年度 普及啓発セミナー報告集	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	140	
磯部恵津子	アイヌ民族に生まれて			6～9	
井筒勝信	アイヌ語旭川方言の昨日・今日・明日：研究から実践へ			10～19	
宇佐照代	アイヌ文化伝承活動について			20～21	
小野有五	知里幸恵のメッセージを聴く			22～30	
貝澤美和子	イオルとアイヌ語地名			31～36	
片山弘子	フチから学んだアイヌ文化			37～40	
門崎允昭	アイヌとトリカブト			41～48	
門崎允昭	アイヌとヒグマ			49～54	
熊谷カネ	父と母にみたアイヌの心			55～60	
佐々木馨	アイヌ史における二次改宗騒動			61～68	
瀬川拓郎	アイヌ・エコシステムと縄文エコシステム：自然利用からみたアイヌ社会のなりたち			69～73	
高木崇世芝	近世蝦夷地の地名			74～80	
高橋理	アイヌ民族における送り儀礼			81～86	
中村和之	アイヌ民族と北方の交易			87～93	
鍋澤保	サルウンクルとして			94～98	
平澤隆二	個人から親たアイヌ親・アイヌ民族としての私個人			99～ 102	
平野正美	アイヌ文化を子どもたちと学び続けて20年：市立和光小学校での実践			103～ 111	

編者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
平山裕人 富士廣志 鮎田晃男 松村博文 山本融定	アイヌ史の学習にチャレンジ 留萌地域のアイヌ文化：少ない情報から探る地域のアイヌ文化 北海道アイヌとして生まれて：昔と今 歯が語るアイヌの先住性 アイヌ民族の歴史：アイヌの詩人・森竹竹市を中心に			112～116 117～123 124～126 127～134 135～140	
加藤忠 百々幸雄 馬場悠男 大島直行	アイヌ民族の歴史と文化：共生への道 アイヌと縄文人：日本列島の礎を築いた人びと 日本列島住民の形成 アイヌ文化は誰がつくったのでしょうか：考古学や人類学からわかったこと	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	54 1～10 11～20 21～40 41～54	2005年7月30日、岡山コンベンションセンターにおける講演の記録。 2005年8月20日、秋田市文化会館における講演の記録。 2005年10月15日、東京国際フォーラムにおける講演の記録。 2005年11月18日、とかちプラザ(帯広市)における講演の記録。
井筒勝信(編)	I/YAY-PAKASNU：アイヌ語の学習と教育のために	北海道教育大学教育学部旭川校	A5		
	北海道遺産とまちづくり Prat II アイヌ口承文芸 アイヌ口承文芸	北海道遺産構想推進協議会	A4	143 98～103 98～103	白老町 アイヌ文化を担うという誇りを大きなうねりに(白老町環境生活課)/平取町 口承文芸を学び、伝える(川上将史)/アイヌ無形文化伝承保存会 アイヌ口承に文芸への理解を深めるためのきっかけづくり(アイヌ無形文化伝承保存会) 備考)他にも「サケの文化」などに若干の関係記述あり。 他にも「サケの文化」などに若干の関係記述あり。
林忠行 中村睦男 リリカラ・カメエレイ ヒロ リチャード・モネット 佐藤知己 加藤忠	はじめに 開会の辞 ハワイ大学・ハワイ研究センターの歴史と活動 アメリカの先住民とロースクール 北海道大学におけるアイヌ語研究の過去・現在・未来 アイヌ民族が北大に望むこと	[北海道大学]	A4	39 iii～iv 1～5 7～12 13～21 23～31 33～37	2005年12月11日に同シンポジウム準備委員会の主催(北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター共催)で開催されたシンポジウムの報告書。
the Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture	Paye =an ro: Let's Experience Ainu Culture!	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	44	『バイエアン ロ ふれてみようアイヌの文化』の英語版。2005年3月発行の増刷。
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	バイエアン ロ ふれてみようアイヌの文化	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	44	2005年3月発行の増刷。
さかい ちひろ(作、絵)	やなぎのはのさかな [絵本]	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	28	アイヌの伝統・文化を題材にした絵本(平成17年度最優秀賞作品)
榎森進(研究代表者)	13～19世紀における列島北方地域史とアムール川流域文化の相互関連に関する研究	東北学院大学文学部	A4	233	
埼玉県教育局生涯学習部人権教育課	まなざし 人権教育資料(家庭教育編) アイヌの人々	埼玉県教育委員会	A4	68 63	
静内町(編)	静内 まちの記憶：閉町記念写真集 縄文時代～寛文9年/元禄13年～文久2年/明治11年～明治20年	静内町 静内町	A4 A4	79 12～13 14～15 18～19	「儀式用の服装をしたアイヌの人たち」などの写真あり。
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成17年度 アイヌ民俗文化財調査報告書(伝承聞き取り調査Ⅱ)	北海道教育委員会	B5	101	はじめに/大坂ナオさんの伝承/出現語彙一覧
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成17年度 アイヌ無形民俗文化財調査報告書(ユーカシリース28) 私を助ける為に神が大鯨を頼んだ/自分を振って回り歩く	北海道教育委員会	B5	205	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
北海道教育庁生涯学習部文化課(編)	平成17年度 知里真志保フィールドノート(5)	北海道教育委員会	B5	194	知里真志保のプロフィール(萩中美枝)/[解題]金成マツによるテキスト(切替英雄)/[解題]「知里ハツによる物語」のテキスト(佐藤知己)/「菊池クラによる物語」のテキスト(高橋靖以)/分担と謝辞(切替英雄)/第1章 金成マツによる物語/第2章 知里ハツによる物語/第3章 菊池クラによる物語/付録A チリ マシホ テクスイエカンピ232/付録B チリ マシホ テクスイエカンピ233/付録C チリ マシホ テクスイエカンピ234/付録D チリ マシホ テクスイエカンピ235/付録E チリ マシホ テクスイエカン
北海道食生活改善推進員団体連絡協議会、北海道保健福祉部地域保険課(編)	北海道伝承食文化：伝え残したい我が家の料理	北海道上川保険福祉事務所	A4	75	
アイヌ文化環境保全対策調査委員会(編)	アイヌ文化環境保全対策調査総括報告書	平取町	A4		
氏家等	アイヌ文化と北海道の中世社会	北海道出版企画センター	A5		
<b>【2006年4月】</b>					
平野敦史	危機と文化 札幌大学文化学会紀要 アイヌの世界観 ～沙流川アイヌの儀礼から見る霊の循環について～	札幌大学 札幌大学	A5 A5	278 74～ 106	
萱野茂(監修)、須藤功(著)	日本各地の伝統的なくらし7 北国・アイヌの伝統的なくらし	小峰書店	A4	55	はじめに 自然とともに生きたアイヌ民族/第1章 アイヌ民族の衣食住(アイヌの村/住まい/食事/衣服)/第2章 アイヌ民族の仕事(狩り/採集/物づくり/交易)/第3章 アイヌ民族の行事(儀式/結婚式/葬式)/第4章 アイヌの遊びと文化(遊び/文化)/アイヌの将来(アイヌの文化を次の時代へ)/指導の手引き(本書を活用される指導者・保護者の皆さんへ)/全巻索引
町田和彦(監修)、稲葉茂勝(著)	世界のなかの日本語 ② 日本の文字の誕生 アイヌと彼らの言葉	小峰書店	A4	47  18～19	「レッスン3 大昔の日本人と日本語」
小杉康(編) 深澤百合子	心と形の考古学：認知考古学の冒険 ポストプロセス考古学からの提言	同成社	A5	287 23～31	
赤羽正春	ものと人間の文化史 133-1 鮭・鱒 I 民族学・アイヌ研究との接触	法政大学出版局	A5	270	この他にも関係記述あり
赤羽正春	ものと人間の文化史 133-2 鮭・鱒 II アイヌの鮭「送り」儀礼 アイヌの鮭料理	法政大学出版局	A5	327	以上の他にも関係記述あり
本多勝一	『日本百名山』と日本人 一 貧困なる精神 ト集 フォスコ=マライーニさん、ありがとう 神成利男の偉業『金枝篇』全訳の刊行 自然と共に生きる知恵と精神を伝えるアイヌ語の入門書 中本ムツ子/語り『アイヌの知恵ウバシクマ』第1巻 片山龍峯/編・解説 西山史真子・絵(片山言語文化研究所 発行・新日本教育図書 発売) アイヌ民族・川上勇治氏の死 空しさと侘しさ 一片山龍峯氏の死に想う	金曜日	B6	187  95～96 100～ 103 104～ 108  109～ 112 113～ 119	
金倉義慧	旭川・アイヌ民族の近現代史	高文研	B6	561	
立松和平	立松和平 日本を歩く 第1巻 北日本を歩く 屈斜路湖の御神渡り 野鳥の聖地 ウトナイ湖 水没した聖地 アイヌの里にて 義経神社とアイヌの里 日高山脈	勉誠出版	A5	372  63～65 65～71 71～75 77～79 79～83	
佐々木潤之介	民衆史を学ぶということ アイヌ新法について	吉川弘文館	B6	258 239～ 244	初出は『季刊 科学と思想』80号、1991年4月。
米田綱路(編) 米田綱路、小笠原信之(対談)	はじめはいつも本：書評的な話 歴史の「清算」を許さず アイヌ近現代史を凝縮する「アイヌ共同権財産裁判」を問う：小笠原信之さんと	バロル舎	B6	541 308～ 327	初出は『図書新聞』2004年6月26日付。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
平山裕人	アイヌ語古語辞典	平山裕人	B5	280	巻末に索引あり。発行年月日確認できず。ここでは「おわりに」の日付による。
日外アソシエーツ (編)	日本文物文献索引 文学 1991-2005 パチエラー八重子	日外アソシエーツ	B5	1298 873	
	くしろ地名考	釧路地方の地名を考える会	A4	10	
礫川全次	異端の民俗学：差別と境界をめぐって 喜田貞吉と「賤民」の歴史民俗学	河出書房新社	B6	210 50~77	
	広島県人権教育・啓発指針 (広島県人権啓発推進プラン・広島県人権教育推進プラン) アイヌの人々	広島県	A4	96 13	
アイヌ文化振興・研究推進機構 (編)	平成18年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.1	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	36	講師：熊谷カネ (様似アイヌ語教室講師)
千葉章仁	十勝人 心の旅 3 [川]池田・幕別・本別・帯広 宮崎潤卓	帯広信用金庫	A6	149 116~ 122	
<b>【2006年5月】</b>					
那須耕介、鶴見俊介	那須耕介 ある女性の生き方：茅辺かのをめぐって 虚構のコタンで	編集グループ〈SURE〉	A5	79 50~53	他にも関係記述あり。
加藤幹郎 (編) 板倉史明	映画学的想像力：シネマ・スタディーズの冒険 アイヌ表象と時代劇映画：ナショナリズムとレイシズム	人文書院	A5	232 132~ 149	
三木理人	国境の植民地・樺太	塙書房	B6	173	主要目次 プロローグ 国境と植民地/I 豊原出現/II 北海道に做って/III 紙の王国/IV 越境する人々/V 森林から石炭へ/エピローグ 鉄のカーテンの彼方へ
多原香里	先住民族アイヌ	にんげん出版	B6	261	
伊藤重道	東北民衆の歴史 古代蝦夷と律令国家の展開 蝦夷論の到達点 アイヌ社会論や未来社会論、性道德	無明舎出版	B6	477 21~23 23~28 134~ 139	第3章「封建の世への根源的批判者 安藤昌益」の一部。
東村岳史	戦後期アイヌ民族-和人関係史序説：1940年代後半から1960年代後半まで	三元社	B6	356	序章 問題の所在/第1章 『現代のアイヌ』における「現代」の位相/第2章 「熊祭り」の政治学/第3章 観光という磁場の力学/第4章 「名作」の誕生と受容：『コタンの口笛』の児童文学性/第5章 「名作」の誕生と受容：『森と湖のまつり』の素材と主題/第6章 千島アイヌと「領土返還」運動/第7章 和人が語るアイヌ民族の「誇り」/第8章 ユートピアを志向する「開拓精神」とフロンティア/第9章 「道民」は「人間のルツボ」か/第10章 農地改革、北海道不良環境地区対策、そして北海道旧土人保護法存廃論争/終章「
日本考古学協会 (編) 加藤博文、内山幸子ほか	日本考古学協会第72回総会 研究発表要旨 知床半島チャンコツ岬下B遺跡で確認したオホーツク文化終末期のヒグマ祭祀遺構について	日本考古学協会	B5	351 166~ 169	
柳田国男	柳田国男全集 第23巻 アイヌの家の形	筑摩書房	A5	830 709~ 710	初出は『東京人類学会雑誌』第26巻第269号 (1910年11月20日)。巻末解題でもこの論文への言及あり (827~828頁)
村井章介	境界をまたぐ人びと エミシからエゾへ：北辺の統治世界と民族境界	山川出版社	A5	5~25	日本史リブレット28
谷川健一	谷川健一全集 1 白鳥伝説	富山房インターナショナル	A5	548	初出は『すばる』1982年9月号~1985年3月号、単行本は集英社から1986年1月発行、その後1997年4月小学館ライブラリーとして発行。
日外アソシエーツ (編)	辞書・事典全情報 1998-2005	日外アソシエーツ (発行)、紀伊國屋書店 (発売)	A5	830	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	アイヌ語			509	
<b>【2006年4月】</b>					
出村文理	ニール・ゴードン・マンロー博士書誌： 帰化英国人医師・人類学研究者	出村文理	B5	303	I ニール・ゴードン・マンロー博士小伝/II ニール・ゴードン・マンロー博士著作目録/III ニール・ゴードン・マンロー博士参考文獻目録/IV ニール・ゴードン・マンロー博士関係文獻(解説)/V 酪農学園大学譜族図書館マンロー文庫(ニール・ゴードン・マンロー博士旧蔵書)目録等/VIニール・ゴードン・マンロー博士・谷万吉(喜治郎)氏往復書簡/ニール・ゴードン・マンロー博士関係資料所蔵機関一覧/あとがき/集録文獻索引
高槻成紀	シカの生態誌 私たちの忘れもの	東京大学出版会	A5	489 431～ 435	第9章「シカと私たち」7「シカの未来を考える(1)」。「ミソサザイの神が語った話」(抄：山本多助『カムイニューカラ』平凡社、1993年)を紹介。
	ほっかいどうFan 原野を開いた梅村庄次郎とアイヌ音吉	北海道新聞社	A4	126 76	
山本正	近世蝦夷地農作物誌 アイヌとアワ・ヒエ	北海道大学出版会	A5	321 51～72	
鶴見俊輔(監)「平和人物大事典」刊行会(編)	平和人物大事典 パチェラー八重子	日本図書センター	B5	686 442～ 443	
井筒勝信・手塚順孝(編) 学習院大学史料館(編)	基礎アイヌ語 写真集 明治の記憶：学習院大学所蔵写真	サッポロ堂書店 吉川弘文館	A5 A4	159 230	明治14年明治天皇北海道・出羽巡幸写真(「千歳村土人」「勇払郡植苗村」「アイヌ三人像」「アイヌ舎」「アイヌ熊祭り」「アイヌ男女」「アイヌ室内」「アイヌ」あり) 明治26・29年郡司成忠海軍大尉・報効義会写真(「シヤコタン村長ヤロブ」「色丹島土人風俗」などあり) 明治44年東北帝国大学農科大学博物館写真帳(「古器物」「アイヌ家具及び宝物」「アイヌ家具」「アイヌ工芸品」「アイヌ漁具」「アイヌ熊送り」などあり)
北海道埋蔵文化財センター(編)	釧路町東陽1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第230集	北海道埋蔵文化財センター	A4	120	
北海道埋蔵文化財センター(編)	恵庭市柏木川4遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第229集	北海道埋蔵文化財センター	A4	154	
北海道埋蔵文化財センター(編)	北斗市矢不來6遺跡、矢不來11遺跡、館野4遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第235集	北海道埋蔵文化財センター	A4	161	
由良勇	チカブニコタンのウラッチセ	マルヨシ印刷	B5	127	
石田肇	骨から探るオホーツク人の生活とルーツ—形質人類学・遺伝学による研究— オホーツク文化人骨群に地域性は存在するか。	北海道大学総合博物館	A4	46～50	
天野哲也(研究代表者)  斉藤成也 増田隆一、佐藤丈寛 石田肇	国際シンポジウム「骨から探るオホーツク人の生活とルーツ」予稿集  諸民族の遺伝学的関係確定のためのDNA分析研究の現状 オホーツク文化人の遺伝的特徴 オホーツク文化人骨群に地域性は存在するか。	北海道大学総合博物館	A4	64  1～7 36～39 46～50	科学研究費補助金(特定領域研究(2))「中世考古学の総合的研究：学融合を目指した新領域創生」のうち新領域創生部門A-01「中世日本列島北部からサハリンにおける民族の形成過程の解明：市場経済圏拡大の視点から」によるシンポジウム
国土交通省北海道局(監修)	北海道の開発 2006 アイヌ関連施策	北海道開発協会	A4	86 68～69	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2006年7月】</b>					
農山漁村文化協会(編) 萩中美枝 杉村京子	伝承写真館 日本の食文化 1 北海道・東北 すべてのものに神宿る：清廉なアイヌの食文化 自然に生かされ育まれて	農山漁村文化協会	A5	170 40～42 59～60	農山漁村文化協会発行『日本の食生活全集』の聞き書き部分を除いて再構成したもの。「アイヌ」の項は39～60ページ。
月尾嘉男	未来フロンティア紀行：北海道二十一世紀 アイヌの言葉に由来する地名は財産	北海道建設新聞社	B5	228 162～164	初出は『北海道建設新聞』2006年1月27日付け掲載。
日本児童文学者協会北海道支部(編) 上伊澤ひろし	北の童話 23のものがたり 〔創作〕鉄輪の馬車		A5	286 138～150	
部落解放・人権研究所(編)	部落解放・人権法令資料集 第3版 アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓蒙に関する法律 北海道旧土人保護法	部落解放・人権研究所(発行)、解放出版社(発売)	A5	323 167～170 320～321	
星野絃、芳賀日出男(監修) 谷本一之 秋野茂樹 秋野茂樹 秋野茂樹	日本の祭り文化事典 アイヌ古式舞踊 アイヌの建築技術及び儀礼 アイヌのユーカラ イオマンテ	東京書籍	B5	987 49～50 50～51 51～52 52～53	
山内昌之	歴史と政治の間 弟子をねたむ師、師をそねむ弟子？ —金田一京助と知里真志保の場合	岩波書店	A6	391 266～273	
田中光二	〔創作〕北の黄金	徳間書店	A7	284	徳間文庫。シャクシャインの戦いを題材とする。
函館市北方民族資料館(編) 児玉マリ	華麗なアイヌ衣装の世界：児玉コレクション 衣服に施される文様	函館市文化・スポーツ振興財団	B5	34 5～6	
天野哲也、臼杵勲、菊池俊彦(編) 佐々木史郎 中村和之 天野哲也 長谷巖 吉嶺茂樹	北方世界の交流と変容：中世の北東アジアと日本列島 サンタンとスメレンクル：19世紀の北方交易民の実像 金・元・明朝の北東アジア政策と日本列島 アイヌ文化形成の諸問題：歴史教育におけるアイヌ文化の意味 日本史教育と北東アジア・北海道：日本史教育の立場から 「歴史教育者」教育・世界史教育からのコメント	山川出版社	B6	216 12～55 100～121 122～133 158～168 169～184	
井上寿	アイヌと虫の生活誌	釧路アイヌ文化懇話会	A5	176	発刊のご挨拶(松本成美)/昆虫のアイヌ名総覧/文献目録/調査、研究の経緯/あとがき、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成出版。
菊池俊彦、鈴木靖民、 巖島栄紀 巖島栄紀	列島の古代史 ひと・もの・ころ 1 古代史の舞台 北海道 アイヌ文化の源流と擦文文化・オホーツク文化	岩波書店	A5	438 11～62 45～47	
渋谷長伯(著)、山崎栄作(編)	東遊奇勝 弗路編 渋江長伯シリーズ 下 財団のあらし	山崎栄作	A5	418	アツケシから青森までの行程を記す。
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成18年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 2	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	25	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成18年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol. 2	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	36	講師：熊谷カネ(様似アイヌ語教室講師)
帯広叢書編集委員会(編)	帯広叢書第56巻 吉田巖資料集 22 虻田第二尋常小学校同窓会資料 2	帯広市教育委員会	B5	250	口絵写真/1 文書綴り1-4(虻田第二尋常小学校同窓会)/2 出現語彙一覧/あとがき/3 原資料/備考)2005年11月に刊行した同内容の資料集を帯広叢書として再刊したもの。
豊田寛大	山名が語ること：豊かな発想で見つめる	〔私家版〕	B5	250	コピー製本。発行年月日記載なし。ここでは「はじめに」の日付(7月20日)より7月発行と判断した。



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	日本語とアイヌ語は近い			99～203	
北海道教職員組合(編)	北海道の教育 第40集 平和・人権教育	北海道大学出版会	A5	564 309～339	第55次合同教育研究全道集会(稚内市)報告 第14分科会
<b>【2006年8月】</b>					
	nid [ニド] 「暮らしの道具は、すべて自然からいただくものが原料。いつも感謝して、大切に使っています」アイヌ工芸作家/弓野恵子さん	エフジー武蔵	A4変型	98 43	
松本建速	蝦夷の考古学	同成社	B5	239	序章 本研究の目的と方法/第1部 物質文化から見た蝦夷社会の成立/第2部 物質文化から見た蝦夷社会における人の動き/第3部 蝦夷とは誰か
尾崎功	北海道海岸線 地名めぐりの旅 新旧地形図が語る100選	北海道出版企画センター	B5	257	
武田修	日本の遺跡13 常呂遺跡群 アイヌ文化の遺跡	同成社	B6	178 143～160	
高橋弘章(著)、高橋康弘(編)	明治34年4月6日：開拓時代の北海道の林業に生涯を捧げた男の一生 宗谷線のこと アイヌ人とアイヌ語	考古堂書店	B6	401 123～134 135～152	1979年刊の改版。
文化庁(編) 伏島信治	わたしの旅 100選 北の大地への感謝と祈り：縄文文化とアイヌ文化への旅	文化庁	B5	44～45	
向井豊昭 向井豊昭	怪道をゆく〔創作〕 怪道をゆく〔創作〕	BARABARA書房	A5	174 1～60	初出は『早稲田文学』2001年3月号
余市水産博物館	第32回余市水産博物館特別展図録 海に生きるアイヌ民族 平成18年度 アイヌ工芸作品展	余市水産博物館 北海道ウタリ協会伊達支部	A4 A4	20 16	
宮地正人、佐藤正ほか(編) 谷本晃久	新体系日本史1 国家史 「国家」史的視点からみた近世アイヌ社会	山川出版社		354～363	(コラム) 欄
丹羽基二 阿部ユゴ、澤井アク	苗字と地名の由来事典 北海道 2006国際先住民の日事業報告書 国連報告要旨	新人物往来社 北海道ウタリ協会	A5 A4	262 166～167 53	第三章「山名・川名みな苗字 都道府県別地名の由来事典」の一部 2006年8月6日に静内で開催された記念事業の記録。 質疑応答要旨もあり
松木新	アイヌを描いた文学	文友社	A5	41	文友社ブックレットNo. 1
杉山四郎	増補改正 武二郎碑に刻まれたアイヌ民族 民族の復権をめざして	杉山四郎	B6	276	
道民カレッジ「大学放送講座」実行委員会(編) 本田優子 谷本晃久	道民カレッジ ほっかいどう学 平成18年度版 大学放送講座テキスト アイヌ文化を学ぶ 衣服に見るアイヌの歴史 古文書にみる江戸時代の北海道「蝦夷地」の19世紀	道民カレッジ事務局	A4	82 27～33 67～73	
<b>【2006年9月】</b>					
北海道立アイヌ民族文化研究センター(編)	アイヌ語地名を歩く：山田秀三の地名研究から 2006・釧路/十勝	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	62	第1章 山田秀三のプロフィール/第2章 アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から/第3章 山田秀三を語る/第4章 山田秀三とアイヌ語地名を知るために 備考)北海道立アイヌ民族文化研究センターによる企画展「アイヌ語地名を歩く 山田秀三の地名研究から 2006・釧路/十勝」の展示解説図録。同名の『2005・旭川』をもとに、一部新規原稿を補充し、第2章4を「釧路・十勝を歩く」と改めたもの。 9月2日付けで草風館版(増刷・一般販売用)発行。
	北海道遺産 アイヌ口承文芸/アイヌ文様/アイヌ語地名	北海道遺産構想推進協議会	A5	126	他に「上ノ国と中世の館」「内浦湾沿岸の縄文遺跡群」などあり。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
奥村彪生(文)、めぐろみよ(絵)	おくむらあやお ふるさとの伝承料理[8] 春夏秋冬 季節のおかず アイヌの食 —自然と共生する狩猟・採集型の暮らし	農山漁村文化協会	B5変型	32 24~25	
三浦清宏	海洞 アフナルパロの物語【創作】	文芸春秋	B6	604	第3部「海洞の契り」第7章「アイヌ青年同盟」あり。 備考) 初出は「海洞の街」『室蘭民報』2002年4月20日~2005年8月21日付連載(2003年10月11日付から2004年7月4日付まで休載期間あり)。
松岡未紗	衣風土記 I アイヌのきもの アイヌ・愛と祈りの女文様 女の身を守り飾るもの アイヌの昔話	法政大学出版局	B6	245 3~13 13~25 25~32 33~37	『きものと経営』連載「きもの風土記」(1980~87年)が初出か
北海道立近代美術館、アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	アイヌ文様の美:線のいのち、息づくかたち 津田命子 佐藤友哉 浅川泰 日比野利信 松井和幸	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	207 10~13 14~16 145~153 154~157 158~159	2006年9月から2007年1月にかけて、北九州市立いのちのたび博物館及び北海道立近代美術館にて開催された、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構による工芸品展の共通図録。
多に安代	日本語教育と近代日本 北海道のアイヌたち	岩田書院	A5	281 88~96	
丹野郁【たんの かおる】(監修)	世界の民族衣装の事典 アイヌ	東京堂出版	B5	407 16~19	
鈴木宗男、佐藤優	北方領土「特命交渉」 先住民の権利に見る外務省の無能	講談社	B6	302 159~164	
宇梶静江(古布絵制作、再話)	シマフクロウとサケ	福音館書店	25.5×31	31	白沢ナベによるカムイユカラをもとにした再話。巻末に「このも絵本を読んで下さった皆様へ」の文あり。
梅原猛	神殺しの日本 反時代的密語 なぜ、縄文文化か 天台本覚論とアイヌ思想 金田一理論の光と影 縄文研究 人類の根源的世界観求める	朝日新聞社	B6	212 96~99 100~103 104~107 100~103	I 「神殺しの日本 反時代的密語」の一部。Iは『朝日新聞』2004年4月20付朝刊から3月21日付朝刊までの連載をもとにしたもの。 II 「大いなる知に導かれて」の一部。IIは『日本経済新聞』2001年5月1日付から31日付連載「私の履歴書」に加筆したもの。
	第25回 アシリチェックノミ	札幌アイヌ文化協会	B5	28	9月18日札幌市(豊平側河川敷)にて開催。来場者用パンフレット。
<b>【2006年10月】</b>					
河野民雄	士別屯田史話 和人の足跡	士別郷土史研究会	A5	128 97~105	
反差別国際運動日本委員会(編) 加藤忠	「周縁化」「不可視化」を乗り越えて:人種主義・人種差別等に関する国連特別報告者の日本公式訪問報告書を受けて アイヌ民族に対する人種差別撤廃に向けて:国際人権基準活用の観点から	反差別国際運動日本委員会(発行)、解放出版社(発売)	A5	256 44~60	
杉下龍一郎	ポケット図解 文化人類学がよくわかる本 少数民族の定義(日本の少数民族)	秀和システム	B6	88~89	
中村博男	松浦武四郎と江戸の百名山	平凡社	新書	198	平凡社新書344

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	北海道の山			123～156	
鈴木宗男(編著)	鈴木宗男の国会質問主意書 全255本  「アイヌ民族の先住権について」「アイヌ民族の先住権について(再質問)」「先住民捕鯨について」「民族の定義について」「民族の定義について(再質問)」「原住民の定義について」「原住民の定義について(再質問)」「色丹島におけるアイヌ民族の人々の墓地について」	にげん出版	A5	561	質問主意書と政府の答弁書を掲載。冒頭の第一部「鈴木宗男の質問主意書をどう読むか」にも関係記述あり。
高崎市染料博物館	アイヌ女性の手仕事：織・編・績	高崎市染料博物館		1枚、29.6×14、折畳み。	2006年10月19日から11月26日まで高崎市染料博物館にて開催された企画展のパンフレット。
藤野豊	忘れられた地域史を歩く：近現代日本における差別の諸相  「滅び行くアイヌ」像の復活	大月書店	B6	245  103～118	初出は『飛磯』連載(2003年1月から2004年10月まで計8回)。単行本集録に当たって大幅加筆あり。
天野哲也、間野勉、増田隆一(編著) 竹中健 谷本一之 天野哲也	ヒグマ学入門 ー自然史・文化・現代社会ー  ヒグマとシマフクロウ  クマと人間の儀礼的關係 ー動物の魂送り クマはなぜ敬愛・畏敬の念を抱かれるか	北海道大学出版社	A5	282  86～101 137～147 148～160	
谷口貢、松崎恵三(編) 舟山直治、塩月亮子	民俗学講義：生活文化へのアプローチ 北海道民俗・沖縄民俗の特徴	八千代出版	B6	262 241～246	
北海道開拓記念館	第62回特別展 北の縄文 美の世界	北海道開拓記念館	A4	66	解説(右代啓視)/第1章 造形と美/第2章 装飾と美/第3章 祈りと心/第4章 展示資料解説(平川善祥、鈴木琢也、右代啓視)
北海道埋蔵文化財センター(編)	森町森川3遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第234集	北海道埋蔵文化財センター	A4	466	
北海道埋蔵文化財センター(編)	北斗市矢不來7遺跡、矢不來8遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第232集	北海道埋蔵文化財センター	A4	350	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成18年度アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.3	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	38	講師：熊谷カネ(様似アイヌ語教室講師)
法務省人権擁護局(編)	人権の擁護 平成18年度版 アイヌの人々	法務省人権擁護局	A5	48 14	
<b>【2006年11月】</b>					
菊池勇夫、真栄平房昭 高倉浩樹 秋野茂樹 瀧本壽史 菊池勇夫	近世地域史フォーラム1 列島史の南と北 18～19世紀の北太平洋世界における樺太先住民交易とアイヌ アイヌの霊送り儀礼と場所請負制  海峡を越える地域間交流  「蝦夷征伐」と地域史認識：津軽地方の田村麻呂伝説を中心に	吉川弘文館	B6	264 164～189 190～215 216～240 241～264	
新川寛【にいかわ ゆたか】	梨の花Ⅲ 評論と随筆 知里幸恵編著『アイヌ神話集』の世界について	新川寛【札幌市】	A5	256 7～25	
山本博文	ビジュアルNIPPON 江戸時代 「北」と「南」をつなぐ昆布	小学館	A4	297 157	
松本克己	世界言語への視座：歴史言語学と言語類型論	三省堂	A5	478	特に章節や項目はないが、言語名索引によれば「アイヌ語」約30ページ分あり。
八幡和郎	47都道府県地名うんちく大全 北海道	平凡社	新書	358 23～24	平凡社新書347
亀井孝、大藤時彦、山田俊雄(編集委員)	日本語の歴史1 民族のことばの誕生  形質と文化の複合性  日本語系統論はどう展開したか	平凡社		485  127～159 162～187	平凡社ライブラリー595。底本は『日本語の歴史』第1巻(1976年5月)
	部落解放・人権図書目録2007年版	部落解放・人権図書目録刊行会	A5	125	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	アイヌ問題			85～87	
井上勝生	シリーズ日本近現代史1 幕末・維新 アイヌ民族と北海道	岩波書店	新書	258 232～ 234	岩波新書赤版1042 他のページにも関係記述・図版若干あり
梶光一、宮木雅美、宇野裕之(編著) 梶光一	エゾシカの保全と管理 アイヌとエゾシカ 1868年以前	北海道大学出版会	B5	252 5～6	
秋葉實(編)	松浦武四郎 知床紀行	北海道出版企画センター	B6	196	松浦武四郎の知床半島への3回調査紀行を現代文にし、図・絵を収録し、地図・写真などを加える。
帯広叢書編集委員会(編)	虻田第二尋常小学校同窓会資料 3	帯広市教育委員会	B5	286	文書綴1-5 虻田第二尋常小学校同窓会/出現語彙一覧/原資料備考)平成18年度財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成事業成果品。
	第19回 アイヌ民族文化祭	北海道ウタリ協会	A4	21	
<b>【2006年12月】</b>					
佐藤矩康(編著) 越田賢一郎	北の出土物を科学する：最新科学と考古学よりみた刀剣文化史への道程 北海道における刀剣類副葬の意味を考える	佐藤矩康	A4	364 187～ 217	
武井時紀	北海道のなかの山梨 一移住二世が語る山梨県団体移住史一 入植許可までなんと一年四カ月……(鷹栖町) 札幌神社宮司でアイヌ民族文化研究者……(白野夏雲)	私家版	B6	248 97～ 100 167～ 169	
北海道埋蔵文化財センター(編)	江別市対鷹2遺跡(8) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第231集	北海道埋蔵文化財センター	A4	3分冊	
歴史研究会(編)	日本史資料[3]近世 松前氏と「蝦夷」〔北海道開拓記念館所蔵文書〕慶長九年(1604)正月二十七日徳川家康制札 「蝦夷地」の位置とシャクシャインの戦い〔北方探検記〕1620年カルワリユの旅行記〔津軽一統志〕寛文九年(1669)九月一日津軽政信注進書、〔津軽一統志〕寛文十年(1670)六月阿部喜兵衛万間書控	岩波書店	A5	478 127 148～ 151	
佐藤梅子、坂井悦子(編) 〔小笠原克〕 〔小笠原克〕 〔小笠原克〕 〔小笠原克〕	小笠原克・北方文芸編集長の仕事 編集後記〔1970年10月号〕 編集後記〔1972年2月号〕 編集後記〔1972年11月号〕 編集後記〔1974年3月号〕	坂井悦子	A5	249 43 59 68 84	同号はアイヌ問題特集号 同号はアイヌ問題特集号
北海道高等学校日本史教育研究会(編)	歴史散歩1 北海道の歴史散歩	山川出版社	新書	342	道内各地の歴史や史跡、文化財などを紹介。「上ノ国勝山館跡」「權太アイヌ慰霊碑」「川村カ子ト記念館」「知里幸恵文学碑」「パチェラー夫妻記念堂」「二風谷アイヌ文化博物館」「新ひだか町アイヌ民俗博物館」などの項目あり。
谷本一之	北方民族 歌の旅	北海道新聞社	B6	284	
関秀志、桑原真人ほか 関秀志 桑原真人 大場幸生 大場幸生 高橋昭夫	新版 北海道の歴史 下 近代・現代編 アイヌ民族と領土画定 アイヌ民族と「北海道旧土人保護法」 社会運動の広がりやアイヌ民族自由の動き アイヌ民族の主張と政策 アイヌ民族復権への道	北海道新聞社	A5	437 77～86 170～ 178 205～ 209 254～ 256 352～ 353	
武井時紀	北海道のなかの山梨：移住二世が語る山梨県団体移住史 札幌神社宮司でアイヌ文化研究者 入植許可までなんと一年四ヶ月	武井時紀〔私家版〕	B6	248 167～ 169 97～ 100	下記以外にも関係記述あり(143ページに吉田巖関係記述) 白野夏雲関係記述。 鷹栖町入植関係記述。アイヌ居留喚願運動に言及。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
大場幸生 高橋昭夫	アイヌ民族の主張と政策 アイヌ民族復権への道			254～ 256 352～ 353	
武井時記	北海道のなかの山梨：移住二世が語る山梨県団体移住史 札幌神社宮司でアイヌ文化研究者 入植許可までなんと一年四ヶ月	武井時記〔私家版〕	B6	248  167～ 169 97～ 100	下記以外にも関係記述あり（143ページに吉田巖関係記述） 白野夏雲関係記述。 鷹栖町入植関係記述。アイヌ居留喫願運動に言及。
吉田邦彦	多文化時代と所有・居住福祉・補償問題 先住民族（アイヌ民族）問題と所有権・知的所有権	有斐閣	A5	675 304～ 394	初出は『ジュリスト』1163、1165、1302、1303号（1999年、2005年）
大野晋、金関恕 馬場悠男（大野晋、金関恕との座談） 中川裕（大野晋、金関恕との座談）	日本語はどこから来たか：考古学・人類学・言語学との対話 形質人類学との対話：馬場悠男先生をお迎えして アイヌ語学との対話：中川裕先生をお迎えして	岩波書店	B6	248  47～ 106 151～ 206	65～69「アイヌと縄文人」あり。
高城高〔こうじょう こう〕 高城高	X橋付近 高橋高ハードボイルド傑作選 雪原を突っ走れ〔創作〕	荒蝦夷（仙台市）	A5	372 219～ 238	初出は『面白倶楽部』1959年4月号
森越智子（作）、木村知実（絵）	〔創作〕 いくつかカッコウのように	新風舎	B6	125	
森孝	北海道地名紀行	森孝（私家版）	B6	207	
舟川舞	平成18年度 第26回全国中学生人権作文コンテスト 札幌地方大会入賞作品集 「民族」と「差別」と「人権」	札幌法務局、札幌人権擁護委員連合会、北海道	A5	87  34～36	
サッポロ堂書店（編）	北海道文献目録2006〔北海道・シベリア文献目録2006〕	サッポロ道書店	B5	229	
弘南堂書店（編）	北方関係を主にした 弘南堂古書目 第47号	弘南堂書店	A4	270	
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2007 [1] あ～さ	日外アソシエーツ	A4	993	掲載人名に、「秋辺福太郎」「天川恵三郎」「荒井源次郎」「荒井シャスレ」「新谷幸吉」「安東ウメ子」「伊賀久幸」「伊賀ふで」「磯島恵美子」「遠星北斗」「上西晴治」「上原熊次郎」「江賀寅三」「江口カナメ」「太田紋助」「小川佐助」「奥田統己」「長見義三」「小田イト」「貝沢正」「海馬沢博」「金谷フサ」「カニクシアイノ」「萱野茂」「川上勇治」「川村カ子ト」「金成マツ」「北風磯吉」「吉良平治郎」「葛野辰次郎」「葛野守市」「久保寺逸彦」「コエルエル」「コシャマイン」「児玉作左衛門」「コボアヌ」「酒井衛」「サケノツクル」などあり。
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2007 [2] し～わ	日外アソシエーツ	A4		掲載人名に、「四宅ヤエ」「シャクシャイン」「ショヤ・コウジ」「白沢ナベ」「杉村キナラブック」「杉村京子」「杉村満」「砂沢クラ」「砂沢ビッキ」「タナイヌ」「谷本一之」「タリコナ」「チカップ美恵子」「知里高央」「知里ナミ」「知里真志保」「知里幸恵」「ツキノエ」「富樫利一」「戸塚美和子」「豊岡喜一郎」「中村要吉」「鍋沢ワカルバ」「西村ハツエ」「二谷一太郎」「貫塩喜藏」「能登屋円吉」「野村義一」「ハウカセ」「パチェラーハ重子」「平村ベンリウク」「藤村久和」「弁開帆次郎」「マンロー・ニール・ゴードン」「三上マリ子」など。
	サッポロピリカコタンに行こう!!	サッポロピリカコタン	A5		小学生向け学習ノート
	平成17年度 財団の活動	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	71	財団設立の経緯/財団の目的・組織等/1年間の歩み/理事会・評議会及び各委員会の開催状況/事業実施体系/平成17年度財団事業の実施状況
安田雄児	謎の手宮古代文字について 西田教授とアイヌ青年遠星との大論争	〔私家版〕	B5	93 50～53	他にも「古代文字論争」などの関係項目あり。
法務省・文部科学省（編）	平成18年版 人権教育・啓発白書 アイヌの人々	国立印刷局	A4	225 79～81	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2007年1月】</b>					
花村萬月	〔創作〕私の庭 蝦夷地篇	光文社	B6	762	小説宝石』2004年1月～2005年6月号、同8月～2006年6月号まで29回連載に加筆・訂正。
北海道開拓記念館（編）	豆本45 北の手仕事 テケカッペ スカッワ エンコレ ヤン（作ったものを見てください）	北海道開拓記念館	A7	27	この展示会について：開催にあたって（出利葉浩司）/今日のアイヌの人びとの活動を展示すること（出利葉浩司）/カリッ設立のきっかけ（津田命子）/おもな活動の歴史（津田命子）/カリッ作品集：カリッメンバーが自らの作品を語る/おわりに：カリッが伝えたいこと 北海道開拓記念館 第145回テーマ展。
上田伝明	アイヌ民族を考える	法律文化社	B6	124	第一章 アメリカ原住民とアイヌ政策 二つの強制移住をとおして /第二章 アイヌ民族と明治政府 /第三章 アイヌ民 備考) 椋山女学園大学研究叢書28
谷川健一	谷川健一全集 14 日本の地名、続日本の地名 他 日本の地名 続 日本の地名：動物地名をたずねて	富山房インターナショナル	A5	568 1～175 177～333	「アイヌ語の地名」などの項あり。初版は1997年4月、岩波書店（岩波新書）。 「イトウ」「ネズミ」「トド」など多数の項目に関係記述あり。初版は1998年5月、岩波書店（岩波新書）。
熊田亮介、八木光則（編） 熊谷公男 武廣亮平	九世紀の蝦夷社会 奥羽史研究叢書9 蝦夷移配策の変質とその意義 北方地域との交流とその展開	高志書院	A5	298 7～47 187～215	
煎本孝、山田孝子（編） 煎本孝 煎本孝	北の民の人類学：強国に生きる民族性と帰属性 アイヌ文化における死の儀礼の復興をめぐる葛藤と帰属性 未来の民族性と帰属性	京都大学学術出版会	A5	345 9～36 317～329	
北海道新聞社（編） アト°イ	9条やめるんですか？ 北の国から憲法を考える イタッカシカムイ＝言霊＝の銃弾の議論を！	北海道新聞社	A5	112 38～48	
鳴海英之	日本語とアイヌ語の起源	鳴海英之	A5	192	平成18年度アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成による。
安斉育郎（文・監修）	ビジュアルブック 語り伝える沖縄 第2巻 沖縄戦はなぜおきた？ 見世物にされた琉球人：勲業博覧会の「人類館」 「琉球人がアイヌを軽蔑する」	新日本出版社	B5	32 10～11	
宮本久雄、金泰昌 藤井貞和	シリーズ物語論Ⅰ 他者との出会い 『あいぬ』物語の躍動	東京大学出版会	A5	388 127～143	「発題Ⅴ」として収録。この後に続けて「発題Ⅴを受けての討論」あり。
福田浩、中島敏之	縄文時代のコトバ 縄文語と古語（一） アイヌ語と日本語	上毛新聞社出版局（制作・発売）	B6	101 27～31	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
マイノリティ女性(アイヌ女性)に対する複合差別問題プロジェクトチーム(編)	アイヌ女性のエンパワーメント ウコパラルイ	北海道ウタリ協会札幌支部	A4	107	I マイノリティ女性(アイヌ女性)の複合差別とエンパワーメント/II マイノリティ女性プロジェクトの座談会/III マイノリティ女性プロジェクトの活動/IV 実態調査の分析/V 実態調査で生まれたこと(アイヌ女性差別アンケートの自由記入欄のコメント/調査を実施したメンバーの感想文)/VI マイノリティ女性のエンパワーメント(アイヌ女性と民主主義(高本喜久恵)/マイノリティ会議を終えて(徳田昭子)/IMADR-JCマイノリティ女性に対する複合差別プロジェクト セミナー報告 アイヌ女性にとっての差別(島崎直美)備考)財団法人アイヌ文化振興研究推進機構助成出版
阿部昌生、森田克己、鈴木沙綾香ほか3名(編) 鈴木正實	札幌大谷学園開校百周年社会美術展 おおたにの100年 パリ体験から二つの思考 ー開校百周年記念美術展に寄せて	札幌大谷学園開校百周年社会美術展実行委員会・札幌大谷短期大学	B5	10～■	
斜里町立知床博物館(編)	知床博物館第28回特別展図録 来運1遺跡	斜里町立知床博物館	21×20cm	21	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成18年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.4	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	40	講師：熊谷カネ(様似)
<b>【2007年2月】</b>					
宮崎正勝	黄金の島 ジパング伝説 アイヌの蜂起 アイヌとの遭遇	吉川弘文館	B6	228 138～ 141 173～ 175	歴史文化ライブラリー-226
千葉伸彦	小泉文夫録音、西平ウメ演奏・解説によるトンコリ演奏法	千葉伸彦	A4	183	アイヌ文化振興・研究推進機構平成18年度研究助成成果報告書
綾部恒雄(監修・編) 石森秀三	講座世界の先住民族 10 失われる文化・失われるアイデンティティ 観光開発と先住民	明石書店	A5	403 306～ 319	「アイヌと観光」などの項あり。
棚瀬久雄	海の道、日本海を辿る：日本海交易繁栄の跡を訪ねて	近代文芸社	B6	529	第4章「北海道西海岸に沿って」(441～515ページ)などあり。
東京アイヌ史研究会(編)	《東京・イチャルバ》への道：明治初期における開拓使のアイヌ教育をめぐる	東京アイヌ史研究会	A5	167	口絵写真／はじめに／第一部 シンリッモシリ・コイチャルバへの道(長谷川紀修)／開拓使による東京でのアイヌ教育(狩野雄一、広瀬健一郎)／資料編／関連年表／あとがき
伊藤せいち	アイヌ語地名 Ⅲ 北見	北海道出版企画センター	A5	251	
因幡勝雄	アイヌ伝承ばなし集成 日本海・オホーツク沿岸	北海道出版企画センター	A5	370	
森岡まさ子	森岡ママは今日も笑顔で丘の上：97歳の青春を生きる マライニ先生とマッカーサー元帥	講談社	B6	238 51～76	
前川要(編) 宇田川洋 千田嘉博 小口雅史 熊木俊明 小野裕子 天野哲也、小野裕子 澤井玄 小嶋芳孝 越田賢一郎 澤井玄、熊木俊明、臼杵勲	北東アジア交流史研究：古代と中世 北海道のチャムの様相 道南十二館 北の交易拠点としての道南十二館：千田報告へのコメントとして サハリン出土オホーツク土器の編年：伊東(信雄氏)編年の再検討を中心に 「サハリンの様相」熊木俊明報告に対するコメント 擦文文化の時間軸の検討：道央、北部日本海沿岸と東北北部の関係 北海道内における擦文土器の終末時機について：天野・小野報告へのコメント 環日本海交流史の様相 東日本・北海道と北方地域の鉄鍋・土鍋 北東日本海城の古代・中世土器編年	塙書房	A5	540 81～ 105 115～ 124 125～ 133 173～ 199 201～ 209 241～ 268 269～ 281 351～ 377 379～ 401 511～ 540	
荻原真子、古原敏弘ほか(編)	ロシア民族学博物館所蔵アイヌ資料目録	草風館	A4	408	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
荻原真子、古原敏弘 V.V. ゴルバチョーフ、 L.A. カラベトヴァ 長谷部一弘 児玉マリ 藪中剛司 富士廣志、出利葉浩司 鈴木邦輝、出利歯浩司 内田祐一 北原次郎太	ロシアのアイヌコレクションについて ロシア民族学博物館のアイヌコレクション 生業に関わる資料 衣服と服飾品 食に関わる資料 住居に関する資料 移動・運搬具、履物 儀礼・信仰に関わる資料 A バスイ・イクニと送り儀礼に関する資料 儀礼・信仰に関わる資料 B イナウ			23～29 57～67 90～92 99～103 107～108 112～113 118～119 124～125 131～134	日本語文、語文、英文あり (以下同じ)。
北海道埋蔵文化財センター(編)	北斗市 館野遺跡(1) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第237集	北海道埋蔵文化財センター	A4		3分冊
北広島市誌編さん委員会(編) 遠藤龍敏 遠藤龍敏 田端宏 田端宏	北広島市史 上巻 北広島市の地名 擦文化期とアイヌ文化期 アイヌ文化とアイヌ社会の様子 松前藩と蝦夷地	北広島市	B5	630 35～63 78～80 106～116 117～132	
名寄市北国博物館(編)	名寄市北国博物館所蔵資料目録2 矢口観六氏、小国喜八氏、杉村満氏、杉村フサ氏、神山元氏、他寄贈資料	名寄市北国博物館	A4	55	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	第10回アイヌ語弁論大会報告書 イタカン ロー アイヌ語で話しましょう!	アイヌ文化振興研究推進機構	A4	151	発行年月日記載なし。ここでは大会開催の日付による。
くるせひさこ(作・絵)	くまのしっぽがみじかくなったわけ	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	28	アイヌの伝統・文化を題材にした絵本(平成18年度最優秀作品)
北海道企画振興部地域振興計画局計画室(編)	第3次北海道長期総合計画 第4回推進状況報告書 アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会の実現	北海道	A4	296 48～49	
鍋沢元蔵(著)	アイヌ祈道全集	海山応援団	B5		
<b>【2007年3月】</b>					
榎森進	アイヌ民族の歴史	草風館	A5	676	主要目次：プロローグ/第1章 古代社会とアイヌ民族/第2章 「夷島」とアイヌ民族/第3章 アイヌ民族と大陸・日本/第4章 分断されたアイヌモシリ/第5章 シヤクシャインの戦い/第6章 クナシリ・メナシの戦い/第7章 ロシア・清朝・日本の狭間で/第8章 近代日本とアイヌ民族/第9章 「北海道旧土人保護法」とアイヌ解放運動/第10章 立ち上がるアイヌ 戦後編/エピソード いくつかの課題/参考文献/あとがき/略年表/索引 備考)『アイヌの歴史』(三省堂、1987年)に大幅に加筆したもの。
アプロ女性実態調査プロジェクト、部落解放同盟中央女性対策部、北海道ウタリ協会札幌支部、反差別国際運動日本委員会(編)	アイヌ女性・部落女性・在日朝鮮人女性によるアンケート調査報告書	アプロ女性実態調査プロジェクト、部落解放同盟中央女性対策部、北海道ウタリ協会札幌支部、反差別国際運動日本委員会	A4	105	
斎藤善之(編) 谷本晃久	身分的周縁と近世社会 2 海と川に生きる 蝦夷地「場所」三役：支配を請け負う商人手代	吉川弘文館	B6	235 163～199	
山道アシリ・レラ(語り)、小林真美(絵)	くまのおやこ イヨマンテ	さんだる文庫		31	
煎本孝、山岸俊男(編著) 加藤忠 中村睦男 佐藤知己	現代文化人類学の課題：北方研究からみる 研究倫理と先住民族アイヌの人権 北海道大学におけるアイヌ・北方文化研究とアイヌ新法の制定 アイヌ語研究の課題と展望	世界思想社	B6	236 44～73 74～98 186～202	2005年5月12日に開催されたシンポジウム「北方研究からみえる人類学の今日的課題」の発表を論文化したもの。
	たずねてみよう エゾが島の中世 史跡・勝山館跡 コシヤミンの戦い	上ノ国町教育委員会	A4	22 5	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	勝山館とアイヌ			17～18	
北海道埋蔵文化財センター(編)	白滝遺跡群Ⅶ 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 236集	北海道埋蔵文化財センター	A4		3分冊
アイヌ文化環境保全対策室、平取町教育委員会(編)	アイヌ文化環境保全対策事業調査報告書 沙流川総合開発事業の内 平取ダム地域文化評価業務	平取町	A4		
小野正敏、佐藤信、館野和己、田辺征夫(編)	歴史考古学大辞典	吉川弘文館	B5	1356	
工藤雅樹	アイヌ			1～2	
工藤雅樹	蝦夷(えぞ)			132～133	
工藤雅樹	蝦夷地			133～134	
熊谷公男	蝦夷(えみし)			160～161	
畑宏明	オタフンベチャシ跡			208	
畑宏明	柱ヶ岡砦跡			257	
宇田川洋	シベチャリチャシ			563	
松崎水穂	瀬田内チャシ			673	
越田賢一郎	チャシ			765	
越田賢一郎	鶴ヶ岳チャランケ砦跡			792	
越田賢一郎	根室半島チャシ跡群			905～906	
越田賢一郎	美々8遺跡			981	
宇田川洋	モシリヤチャシ			1146	
畑宏明	エクエビラチャシ			1188～1189	
人類文化研究のための非文字資料の体系化 第3版(編)	手段としての写真：「洪澤写真」の追跡調査を中心に	神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議	A4	120	「「洪澤写真」リスト」中に「アイヌ民俗」(久保寺逸彦氏撮影寄贈 10点)、「白老アイヌ写真集」(木下写真館 21点)他あり。(116ページ備考)神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料4
斉藤道子	心は常に今にある：祖母斉藤ハクの歴史 アイヌ民族の思い出	斉藤道子(自費出版)	A5	130 24～25	
天野哲也、小野裕子(編)	古代蝦夷からアイヌへ 渡嶋エミシの朝貢とその展開 八世紀における蝦夷呼称の変化の問題：天平の陸奥国三金をとおして 渡嶋蝦夷と津軽蝦夷	吉川弘文館	A5	420 2～26 27～47	
八木光則	渡嶋蝦夷と津軽蝦夷			139～166	
塚本浩司	石狩低地帯における擦文文化の成立過程について			167～189	
天野哲也	古代東北北部地域・北海道における鉄鋼製品の生産と流通			308～323	
澤井玄	土器と堅穴の分布から読み取る擦文文化の動態			324～351	
鈴木信	アイヌ文化の成立過程：物資交換と文化変容の相関を視点として			352～390	
小野裕子	擦文文化後半期に関する年代諸説の検討			391～428	
北海道埋蔵文化財センター(編)	占冠村 占冠原野I遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 239集	北海道埋蔵文化財センター	A4	68	
北海道立北方民族博物館	第21回北方民族文化シンポジウム報告 北太平洋の文化：北方地域の博物館と民族文化	北方文化振興協会	A4		
長谷部一弘	地方博物館の先駆け『市立函館博物館』：収蔵資料の来歴と今後の活用			19～24	
内田祐一	地域住民との架け橋としての博物館の役割：帯広百年記念館アイヌ民族文化情報センター『リウカ』の活動について			35～40	
野本正博	海外におけるアイヌ文化の展示と交流			51～56	
文部科学省	文部科学白書(平成18年) アイヌ文化の振興	国立印刷局	A4	491 352～353	
河西英通	続・東北 異境と原境のあいだ 地域主義の形成とゆくえ	吉川弘文館	新書	261	中公新書1889 「辺境認識とアイヌ認識」「内なるアイヌ史」「地方主義者における辺境とアイヌ」「アイヌなき地方主義」「日本」への追慕」などの項あり。「はじめに」にも関係記述あり。
魚井一由(編著)	アイヌ語の文法Ⅱ アイヌ語数詞詳解	国学院短期大学コミュニティカレッジセンター	B5	186	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
山田悟郎	東アジアのなかの日本文化に関する総合的な研究 平成14年度～平成18年度私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター整備事業」研究成果報告書Ⅰ 北方の農耕：考古学的見地から	東北芸術工科大学東北文化研究センター	A4	435  167～179	「プロジェクト1 東アジアの民俗文化にかかわる調査・研究とデータベース化」の一部。
	東アジアのなかの日本文化に関する総合的な研究 平成14年度～平成18年度私立大学学術研究高度化推進事業「オープン・リサーチ・センター整備事業」研究成果報告書Ⅲ アイヌ文化のタブ	東北芸術工科大学東北文化研究センター	A4	192  24～25	「プロジェクト2 東アジアの民俗芸能公演を仲立ちとする、水上能楽堂を活用しての芸術・文化交流の実践と研究」の一部。初出の『舞台評論』Vol.1(2004年5月)掲載のものを抜粋。
吉成直樹(編)  吉成直樹 坂田美奈子	琉球弧・重なりあう歴史認識  関係性の中の琉球、琉球の中の関係性 多元的歴史認識とその行方：アイヌ研究からの沖縄研究の眺め	森話社	A5	315  A5 55～100 A5 291～315	法政大学21世紀COEプログラムの沖縄セクションにおける報告書『いくつもの琉球弧・沖縄像』に訂正を加え刊行したものの。「結びにかえて 対立の回避のために」に関係記述あり。
久保井規夫	図説 食肉・狩猟の文化史：殺生禁断から生かす文化へ アイヌ 狩猟の古民俗	栢書房新社	A5	302  64～69	
厚真町教育委員会(編)	上幌内モイ遺跡	厚真町教育委員会	A4	466	
北海道埋蔵文化財センター(編)	下川町 前サンル1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 243集	北海道埋蔵文化財センター	A4	33	
北海道埋蔵文化財センター(編)	江別市 対雁2遺跡(9) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 240集	北海道埋蔵文化財センター	A4	224	
北海道埋蔵文化財センター(編)	赤井川村 板小屋沢遺跡・日の出2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 242集	北海道埋蔵文化財センター	A4	46	
北海道埋蔵文化財センター(編)	千歳市 祝梅川上田遺跡・梅川2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 238集	北海道埋蔵文化財センター	A4	218	
北海道埋蔵文化財センター(編)	白糠町 上茶路遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 245集	北海道埋蔵文化財センター	A4	92	
北海道埋蔵文化財センター(編)	白老町 虎杖浜2遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 241集	北海道埋蔵文化財センター	A4	66	
北海道埋蔵文化財センター(編)	北斗市 矢不来8遺跡(2)、矢不来10遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 244集	北海道埋蔵文化財センター	A4	68	
山本命(語り手)、井上孝榮(編)	北海道の名付け親 松浦武四郎 アイヌ民族と交流した伊勢人の生涯	十楽(発行)、伊勢の国・十楽(発売)	A5	76	
標津町教育委員会(編)	史跡標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 平成18年度史跡標津遺跡群・天然記念物標津湿原史跡等登録記念物保存修理事業発掘調査報告書	標津町教育委員会	A4	97	
上ノ国町教育委員会(編)	史跡上ノ国勝山館跡整備事業報告書Ⅱ	上ノ国町教育委員会	A4	211	
帯広市図書館(帯広叢書編集委員会)(編)	帯広叢書第57巻 吉田巖資料集23	帯広市教育委員会	B5	270	1 アイヌ調査書6(第6編 作業)/2 日記〔吉田巖日記〕3-20(昭和13年1月～6月)/3 著作原稿14 アイヌの珍名奇名/4 出現言葉一覧/5 注釈用参考文献一覧
北海道観光連盟アイヌ文化部会ワーキンググループ(編)	ガイド教本・アイヌ民族編	北海道観光連盟		17.5×12	132
陸別町教育委員会(編)	陸別町文化財調査報告 第2集 史跡ユクエビラチャシ跡	陸別町教育委員会	A4	269	
	イオル 2006イオルフォーラム報告書	北海道ウタリ協会	A4	52	伊達会場基調講演要旨(「イオルを考える」辻井達一)/討論会要旨/釧路会場 討論会要旨/網走会場 基調講演要旨(佐々木利和)/討論会要旨
因幡勝雄 坂田美奈子 上尾貞一	環オホーツク No. 14  日本海及びオホーツク海沿岸のアイヌ伝承語について アイヌのウエベケレにおける対人関係表象について：漁場をめぐる関係を例に 恵庭市カリンバ遺跡の墓と副葬品	北の文化シンポジウム実行委員会	B5	86  B5 23～40 B5 51～59 B5 71～79	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構収蔵資料目録 5 2003.4～2007.3	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	79	
井筒勝信(編)	アイヌ語学研究総覧		A4	648	科学研究費補助金「アイヌ語基礎文法の認知方法学的研究」の第一年度の成果報告。
共和町史編さん委員会(編) 伊藤せいち	新共和町史 共和町のアイヌ語地名	共和町	B5	1223 95～106	
恵山町史編纂室(編)	恵山町史	函館市恵山支庁	B5	1483	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
近堂俊行	江戸時代の郷土			359～394	
支笏湖の人と自然編集委員会(編) 中本ムツ子 江本匡 中本ムツ子	支笏湖の人と自然 アイヌと山菜 歴史時代(アイヌの時代) アイヌの知恵：薬用植物	支笏湖の水とチップの会	B5	595 206 207～209 210	
上ノ国町教育委員会(編)	町内遺跡発掘調査等事業報告書X	上ノ国町教育委員会	A4	49	
西村真琴(著)、釧路市教育委員会、阿寒湖パークボランティアの会(編) 阿寒アイヌ工芸協同組合	緑王国 まり藻を探る 西琴手記 アイヌ熊五郎 アイヌ語とアイヌ文化に関する解説	釧路市教育委員会	新書	81 43～50 78～81	初出は1939年8月。他にも関係ページあり。
大津・十勝川学会(編) 秋山秀敏	十勝の歴史と文化 若林三郎の著作と研究 アイヌ語地名研究の視点 アイヌ語地名研究 アイヌのシシャモ伝説 佐藤直太郎先生「釧路アイヌとシシャモ」との見解の相違点 北海道の生活誌 伝説・逸話・笑い話 若林三郎アイヌ語地名カードの概要について 若林三郎年譜	豊頃町教育委員会	B5	427 7～25 26～239 350～351 353～366 367～385 386～416 403～416 417～425	
東京都教育庁指導部指導企画課(編)	人権教育プログラム(学校教育編)	東京都教育庁指導部指導企画課	A4	171	
函館市教育委員会生涯学習部文化財課(編)	函館市 豊崎C遺跡	函館市教育委員会生涯学習部文化財課	A4	5	
部落解放・人権研究所(編) 竹内渉	人権年鑑 2007(2005.4～2006.3) アイヌ民族	部落解放・人権研究所(発行)、解放出版社(発売)	A5	397 35～38	
法政大学沖縄文化研究所(編) 吉成直樹 坂田美奈子	いくつもの琉球・沖縄像 関係性の中の琉球、琉球の中の関係性 多元的歴史認識とその行方：アイヌ研究からの沖縄研究の眺め	法政大学国際日本学研究中心	A5	315 55～100 291～315	訂正を加えて『琉球弧・重なりあう歴史認識』として同時期に森話社から出版。 「結びにかえて 対立の回避のために」に関係記述あり。
法政大学国際日本学研究所(編) ヨーゼフ・クライナー	国際日本学 ことばとことばを越えるもの 工芸技術や民具コレクションの役割：日本研究と日本観との相互関係についての一考察	法政大学国際日本学研究中心	A5	216 95～108	21世紀COE国際日本学研究成果叢書 7
北海道大学大学院文学研究科「北方研究の構築と展開」プロジェクト(編) 川口曉弘 吉開将人 佐々木亨 佐藤知己 菊池俊彦 谷本一之 布施和洋	北大文学研究科公開シンポジウム 「北方的—北方研究の構築と展開」報告書 日本史研究と「北方」 北方と南方：鳥居龍藏・北海道帝国大学と「南支那」 アイヌ展示における「対話・共同作業」の現状に関する予備的考察 アイヌ語の「北方」度 北大北方文化研究室・北方文化研究施設の北方研究 環極北・音の文化圏 北海道島における陶磁器の流通と消費 12世紀～16世紀の北海道島の諸相	北海道大学大学院文学研究科・文学部	A4	117 16～18 19～22 23～28 29～34 57～68 69～71 105～113	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
津曲敏郎	北方研究の構築と展開 文学研究科公開シンポジウム概要報告			114～117	
木村英明、本田優子(編)	ものが語る歴史シリーズ13 アイヌのクマ送りの世界	同成社	A5	235	
佐々木史郎	北方諸民族におけるクマ送り儀礼			2～32	
児島恭子	口承文芸・文献資料にみられる送り儀礼			33～43	
村木美幸	クマ送り儀礼の継承と課題			44～73	
宇田川洋	考古学から探るクマ送りの起源			90～111	
天野哲也	なぜクマ送りなのか			112～132	
高橋理	クマを追う人々			133～145	
増田隆一	ヒグマの遺伝多様性とクマ送り			146～156	
池田貴夫	クマ送り研究の現状と課題			168～186	
池田貴夫、本田優子(対談)	さらに問題点を探って			187～197	
木村英明	付編・アオシマナイ遺跡(貝塚・チャシ)と「エゾシカ送り」			199～234	
紋別市史編さん委員会(編)	新修紋別市史	紋別市	A5	1154	
富川伸、砂田明・裕	ウタリ協会の活動			25～28	
佐藤和利	紋別の先住の人々 アイヌ時代			29～74	
小川昭一郎	蝦夷地と幕末の紋別			88～89	
小川昭一郎	オムシヤの廃止				
澤登寛聡、小口雅史(編)	アイヌ文化の成立と変容：交易と交流を中心として	法政大学国際日本学研究所	A5	947	前編 エミシ・エゾ・アイヌ(第一部 エミシ・エゾ・捺文をめぐって/第二部 オホーツク文化の世界/第三部 アイヌ文化の成立 北海道の中世)/後編 北東アジアの中のアイヌ(第一部 蝦夷地アイヌと交易/第二部 本州アイヌをめぐって)/付論 法政大学所蔵蝦夷地関係資料をめぐって。法政大学国際日本学研究所「日本の総合的研究」研究プロジェクト テーマプロジェクト5「日本の中の異文化」研究成果報告書
榎森進	総論 いまなぜアイヌ史か			19～32	
天野哲也	考古学からみたアイヌ民族史			37～52	
伊藤博幸	東北北部におけるエミシからエゾへの考古学的検討：「考古学からみたアイヌ民族史」へのコメント(1)			53～64	
小口雅史	文献史料からみた「エゾ」の成立：「考古学からみたアイヌ民族史」へのコメント(2)			65～74	
八木光則	渡嶋蝦夷と津軽蝦夷			75～87	
小野裕子	捺文文化の週末年代をどう考えるか			89～106	
永田一	夷俘と俘囚			107～142	
遠藤祐太郎	延久蝦夷合戦と藤原真衡・貞衡			143～168	
小野裕子、天野哲也	オホーツク文化の形成と展開に関わる集団の文化的系統について：異系統文化の交流が生み出した海洋漁撈文化			171～210	
大西秀之	北海道東部における「中世アイヌ」社会形成前夜の動向：列島史のなかのトビニタイ文化の位置			211～234	
涌坂周一	アイヌ文化の前史としてのオホーツク文化：松法川北岸遺跡を事例として			235～240	
澤井玄	十一から十二世紀の捺文人は何をめぐらしたか：捺文文化の分布域拡大の要因について			241～269	
竹内孝、中村和之	EPMA分析画像の解析によるオホーツク海沿岸出土の土器研究：土器に含まれる砂粒の成分分析と産地同定			271～299	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
手塚薫	先史時代から接触期までの千島列島への人の移住：千島列島生物多様性プロジェクトの成果から			301～326	
小口雅史	「日の本」世界の誕生と「日の本將軍」			329～347	
松崎水穂	「和人地」上之国勝山館跡とアイヌ			349～367	
越田賢一郎	北海道南部における中世墓			369～397	
石井淳平	北海道における中世陶磁器の出土状況とその変遷			399～426	
上野秀一	札幌市K39遺跡大木地点の中世遺跡			427～437	
新藤透	『新羅之記録』の形成過程に関する一試論			439～473	
宇田川洋	考古学から見たチャンの年代観			475～492	
澤登寛聡	「蝦夷地之制札」設置方針に関する若干の考察			497～505	
坂田美奈子	ウイマムと御目見：アイヌと和人、ふたつの認識論			507～530	
渡辺賢	「ツクナイ」と「起請文」			531～564	
長澤政之	場所請負制下のアイヌ社会：場所における生産と労働			565～585	
佐々木利和	平沢屏山「オムシヤ図」の世界			587～600	
市毛幹幸	日本近世の蝦夷地シコツ・イシカリ・サルの地域的特質			601～631	
塩屋朋子	秋田土崎湊と松前蝦夷地との商品流通の実態：近世後期の事例を素材として			633～651	
関根達人	タマサイ・ガラス玉に関する形式学的検討			653～678	
山田志乃布	蝦夷地、和人地、内地をめぐる流通システムとその再編			679～698	
高橋亜弓	近世前期における弘前藩のアイヌ支配と藩意識：「御目見」「差上」―「被下」事例の分析から			727～770	
浪川健治	幕府巡見使と本州アイヌ：享保二年巡見使にみる「狄」の「差異」化と応接体制			771～795	
関根達人	本州アイヌの考古学的痕跡			797～823	
中村和之、小田寛貴	蝦夷錦と北のシルクロード			827～843	
佐々木史郎	東アジアの歴史世界におけるアイヌの役割			845～869	
瀧本壽史	青森県内所在の蝦夷錦について			871～887	
北原次郎太	樺太アイヌの木製品における刻印・人面の信仰的意義：事例と考察			889～913	
佐々木利和	法政大学本『蝦夷島奇観』の一について			917～923	
山田志乃布	松浦武四郎の地誌・地図作製とアイヌ民族：法政大学国際日本学研究所蔵『天塩日誌』を素材として			925～945	
	上江別物語 地域の歴史物語	江別市上江別小学校	A4	156	発行年月日記載なし。ここでは「あとがき」の日付が「平成19年3月31日」とあることから推察。
	江別市のアイヌ語地名			18	
	世代間交流事業報告書 2006	北海道ウタリ協会	A4	83	2006年度の事業報告。幕別、旭川、標津、平取、浦川、恵庭、むかわで実施。
	道民カレッジ「ほっかいどう学」大学放送講座 受講レポート集 平成18年度版	道民カレッジ事務局	A4	46	
佐々尾雅志、鈴木久美、今岡武蔵、斎藤和男、大森教二、櫻井暁、千葉裕太	「アイヌ文化に学ぶ」衣服に見るアイヌの歴史			17～20	
	平成18年度 普及啓発セミナー報告集	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	111	
上武和臣	アイヌ語と文化伝承			6～9	
浦川真喜子	アイヌ民族を意識してからの私。そしてこれからの私…			10～15	
金倉義慈	旭川・アイヌ民族の近現代史			16～21	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
川奈野一信 弓野恵子 小坂博宣 齋藤玲子 平良智子 多原良子 富樫利一 豊原照司 野本久栄 長谷川充 長谷部一弘 平石清隆 本間愛之 松崎水穂 松本成美	サルウングル (沙流アイヌ) として イフンケ 母サキのイフンケに守られて [心の子守歌] を次の世代に伝えたい 室蘭アイヌ語地名とカムイユーカー (アイヌ神話) アイヌは北方民族でしょうか 私とアイヌ文化 マイノリティ女性の複合差別 アイ ヌ女性の実態調査を実施して 知里幸恵の日記から 北海道東部のチャシ アイヌの祈りと言葉 シマフクロウとアイヌ民族 函館とアイヌ資料コレクション 大坂で続けたアイヌ語 ウェベケレ とチコナイ・アイヌ語学習 上川アイヌの研究 40年間の軌跡 アイヌの人々と生徒の心の交流 「和人地」にみるアイヌ文化 上之 国館跡・勝山館跡周辺の出土品 アイヌ通送人吉良平次郎と山本多助			22~26 27~31 32~37 38~46 47~50 51~56 57~63 64~68 69~73 74~80 81~86 87~93 94~99 100~ 106 107~ 111	
萱野志朗 佐々木高明 中川裕 内田祐一	平成18年度 普及啓発講演会報告集 アイヌ語を復興させるためには 南からの文化、北からの文化 アイ ヌ文化を考える視点 アイヌ語教室の未来 「アイヌ文化 振興法」制定から10年。これから何 をなすべきか アイヌの人たちと自然	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	57 1~14 15~32 33~46 47~57	
「人権教育指導者用手引書」 作成委員会(編)	「あわ」人権ハンドブック アイヌの人々	徳島県教育委員会	A4	194 92~ 101	
足寄町史編さん委員会(編)	足寄百年史 上巻 アイヌ民族 松前藩の蝦夷地支配	足寄町		61~85 91~99	
中世墓資料集成研究会(編)	中世墓資料集 北海道編	中世墓資料集成研究会 (奈良市)	A4	85	文部省科学研究費補助金(特定領 域研究「中世考古学の総合的研 究」学融合を目指した新領域創生 墳墓遺跡及び埋葬墓制の観点から みた中世」報告書。
北海道環境生活部アイヌ施 策推進グループ	平成18年 北海道アイヌ生活実態調査報 告書	北海道環境生活部アイヌ 施策推進グループ	A4	47	
北海道教育庁生涯学習部生 涯学習推進局文化・スポー ツ課(編)	平成18年度 アイヌ民俗文化財調査報告 書(伝承聞き取り調査Ⅲ)	北海道教育委員会	B5	221	はじめに/白川照次さんの伝承/大 坂ナオさんの伝承/出現語彙一覧
北海道教育庁生涯学習部生 涯学習推進局文化・スポー ツ課(編)	平成18年度 アイヌ民俗文化財調査報告 書(ユーカーシリーズ) 29 白い幣棚に 黒い幣棚が打ち重なる物語	北海道教育委員会	B5	215	
北海道教育庁生涯学習部生 涯学習推進局文化・スポー ツ課(編)	平成18年度 知里真志保フィールドノ ート(6)	北海道教育委員会	B5	192	知里真志保ノート整理番号「41」 「43」「44」の3冊分を取録。
北海道総務部人事局人事課 (編) 辻井義昭 大島稔	北海道功労賞 受賞に輝く人々(平成十 八年) 北海道から発する文化の広がりど学 術の成果を求めて 昔のフィールドワーカーとしての谷 本先生	北海道 北海道 北海道	A5 A5 A5	143 35~45 49~51	
<b>【2007年3月】</b>					
千葉昇	北海道 大沼公園昔語り 熊祭りの話	千葉昇[私家版]	A5	73~74	
宮田登	宮田登 日本を語る 15 民俗学を支え た人びと 菅江真澄のマスクの陰には何があ ったか 民俗資料としての真澄の図絵	吉川弘文館	A5	248 2~10 11~30	「アイヌ民俗の視点」の項あり。 初出は『国文学 解釈と教材の研 究』第27巻第8号、1982年6月。 「蝦夷地の旅」の項あり。初出は 『菅江真澄民俗図絵 下巻』(岩崎 美術社、1989年2月)。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
佐伯修	偽史と奇書の日本史 講釈本『蝦夷一揆興廃記』に見るシャクシャイン像のヒロイズム	現代書館	B6	284 148～ 150	初出は『再現日本史』（講談社）連載コラム。
御手洗昭治	サムライ異文化交流史 北太平洋と山丹交易の諸民族交流史	ゆまに書房	A5	270 41～54	
菅田正昭	日本の祭り 知れば知るほど イヨマンテ	実業之日本社	B6	151	
早川禎治	アイヌモシリ紀行	中西出版	B6	276	
弘前学院大学地域総合文化研究所（編） 野村純一	地域学 第5巻 説話「ハナシ」の来た道：北方民族と「鼠の嫁入り」	弘前学院大学（発行）、 北方新社（発売）	A5	324 45～74	2006年7月22日の講演記録。
音楽之友社（編） 甲地利恵	日本音楽基本用語辞典 アイヌ音楽	音楽之友社	A5	189 159～ 168	
加藤博文、高倉純（編）	北方圏の考古学 I	北海道大学大学院文学研究科	A4	79	Middle to Early Upper Paleolithic in Southern Siberia/ザバイカルにおける中期旧石器から後期旧石器への移行期石器群/日本旧石器研究における「北海道」の両義性/石刃剥離技術の理解をめぐる一試論/渤海土器の編年と地域差について/ロシア沿海州における中世の哺乳類利用について/「ラブレット」をめぐる諸問題
NPO自然法人ねおす（編）	風土を歩く 寿都ー黒松内 田舎旅の手引き 朱太川をとりまく遺跡とアイヌの登場 鯨の豪華 アイヌ語地名	黒松内ぶなの森自然学校	A4	79 40～41 42～43 58～61 78～79	
アイヌ文化振興・研究推進機構（編）	平成19年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.1	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	32	講師：萱野志朗（平取）
ブレット・ウォーカー（著）、 秋月俊幸（訳）	蝦夷地の征服	北海道大学出版会	A5		序章/第1章 近世日本国家の北方への拡大/第2章 シャクシャインの戦い/第3章 アイヌの自治と従属の生態学/第4章 交易におけるシンボリズムと環境/第5章 サハリン交易ー外交と生態系のバランス/第6章 千島交易ーロシアおよび境界問題/第7章 蝦夷地の伝染病・医療と変わりゆく生態系/第8章 征服における儀礼の役割/終章
平凡社（編）	『世界大百科事典』アイヌ関連項目集	平凡社	A4	11	読者の皆さまへ/アイヌ（起源/歴史/世界観/伝統的生活/生活文化財/文学/音楽・舞踊/観光/アイヌの現在）/アイヌ語/アイヌ語地名/アイヌ文化振興法/北海道旧土人保護法/北海道ウタリ協会備考）『世界大百科事典』のアイヌ関連項目の全面改訂・追加原稿をまとめたもの。事典本体の改訂版は2007年9月発行であったが、アイヌ関連項目をまとめたこの冊子のみ先行して作成・発行された。
<b>【2007年5月】</b>					
高橋明雄	留萌地方文学史考：出身作家の活躍、沿岸取材作の周辺 幕末にみる庄内藩天領代官・原半右衛門の暮らし：日記から読みとる往時の天塩	高橋明雄	A5	130 119～ 129	初出は『留萌文学』
中川裕、中本ムツ子 村井紀 ユ・ヒョジョン	カムイユカラでアイヌ語を学ぶ 近代日本文学とアイヌ民族 ー純血幻想をこえてー 「オロチョン・ラーメン」はなぜ辛い？ ー日露にまたがる、ある「少数民族」のなまえをめぐる社会史ー	白水社	A5	235 237～ 258 317～ 353	CD添付。
岩間暁子、ユ・ヒョジョン（編著） 岩間暁子 村井紀 ユ・ヒョジョン	マイノリティとは何か：概念と政策の比較社会学 日本におけるマイノリティ 近代日本文学とアイヌ民族：純血幻想をこえて 「オロチョン・ラーメン」はなぜ辛い？：日露にまたがる、ある「少数民族」のなまえをめぐる社会史	ミネルヴァ書房	A5	451 25～63 237～ 258 317～ 353	
小泉武夫	小泉教授が選ぶ「食の世界遺産」日本編 オントゥレバカム	講談社	A6	269 105～ 106	講談社文庫
小畑清剛	近代日本とマイノリティの（生一政治学）：シュミット・フーコー・アガンベンを中心に読む アイヌ・沖縄人と不殺生戒	ナカニシヤ出版	B6	320 112～ 130	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	牧人としての金田一京助			187～191	
東北大学大学院文学研究科考古学研究室 須藤隆先生 退任記念論文集刊行会(編) 高橋理	考古学談義 北方狩猟民の儀礼：その起源と変容	六一書房	B5	860 813～827	
	解放新聞 縮刷版 第39巻 2006(2251号-2300号)	解放新聞社	A4	491	
	人権宣言の具体化へ 憲法の改悪許すな ユーカラ劇 天駆ける英雄の物語 復元そして伝承を アイヌと西軍の文化交流 北海道ウタリ協会と交流 被差別の現状など学が 奈良・青年部			67 59 305	
西谷正(編) 中田裕香 野村崇 工藤雅樹 長沼孝	東アジア考古学辞典 アイヌ文化 ウバトマナイチャン 蝦夷 チャン	東京堂出版	B5	594 1 42 52 365～366	
大倉尚美	せたな町ふるさと絵本 北海道創作民話 龍の神とうぐい沼 カナカムイとチエフト	せたな町・せたな町教育委員会	A4横	16	
中村生雄、三浦佑之、赤坂憲雄(編著) 赤坂憲雄 佐藤宏之	狩猟と備儀の文化誌 アイヌの狩猟文化：菅江真澄の日記を手がかりとして 送り儀礼の民俗考古学	森話社	B6	362 123～138 273～298	叢書・文化学の越境 14
北海道埋蔵文化財センター(編)	森町 石倉1遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 247集	北海道埋蔵文化財センター	A4	104	
国土交通省北海道局(監修)	北海道の開発 2007 アイヌ関連施策	北海道開発協会	A4	86 68～69	
<b>【2007年6月】</b>					
	古地図にみる西蝦夷地とイシカリ川筋 イシカリ川筋のアイヌ語地名から	たきかわ歴史地図研究会	A4	116 40～102	他にも関係記述あり。
アイヌ文化振興・研究推進機構(編) 齋藤玲子 文公輝 佐藤理夫	アイヌからのメッセージ2007 現在から未来へ アイヌ工芸品の過去と現在 200年のメッセージ 大阪人権博物館と「アイヌからのメッセージ2007」 函館とアイヌ	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	103 90～95 96～97 98～99	平成19年度アイヌ工芸品展の解説図録。
関野吉晴 関野吉晴、萱野茂(対談)	関野吉晴対談集：グレートジャーニー1993～2007 北から見る日本列島	東海教育研究所(発行)、東海大学出版会(発売)	A5	270 83～100	
田端久夫	鳥居龍蔵のみた日本	古今書院	B6	353	
小磯修二、山崎幹根(編著)	戦後北海道開発の軌跡：対談と年表でふりかえる開発政策	北海道開発協会	A5	218	
小磯修二	[対談]戦後北海道開発政策を振り返って 北海道開発とアイヌ新法			8～86 186～187	「アイヌ新法と北方領土隣接地域安定振興政策」あり。 「北海道開発政策史年表」コラムの一つ。
北海道新聞社(編) アト°イ 小野有五	9条やめるんですか？：北の国から憲法を考える イタッカシカムイ＝言霊の銃弾の議論を！ イマジン・第9条	北海道新聞社	A5	112 38～48 49～58	
吉成直樹(編) 坂田美奈子 藤井貞和 佐々木利和、谷本晃久 吉成直樹 下野敏見 橋尾直和	声とかたちのアイヌ・琉球史 アイヌ口承文学における生存のユニット：ウウエベケレが提起するアイヌ・和人関係 物語人称と神話叙述：聖伝にみる『紙本著色箱館湾シベン図屏風』 アイヌ社会と三つ巴紋 アイヌ・ヤマト・琉球民俗の比較： 押み手と火の神をめぐる 東アジアにおける琉球語・アイヌ語・日本語諸方言の比較研究	森話社	B6	435 10～40 41～85 87～127 129～186 187～244 245～292	
三隅治雄	全国年中行事辞典	東京堂出版	A5	546	



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2007年7月】</b>					
田端久夫	鳥居龍蔵のみた日本 ー日本民族・文化の源流を求めてー 信濃におけるフィールドサーヴェイ 北千島におけるフィールドサーヴェイ	古今書院	B6	353 29～96 179～222	
函館市北方民族資料館(編)	タマサイの美: 函館コレクション	函館市文化・スポーツ振興財団	A5	34	タマサイの美/首飾りとタマサイの歴史/ガラス玉の移動: 交易/「タマサイ」と「シトキ」/タマのいろいろ/タマサイ/伝統的な自製のシトキ/和人の作った和製のシトキ/バラエティに富んだ転用のシトキ/舶来品を使ったシトキ/動物文様のシトキ/珍しいタマサイ/熊送りのタマサイ/樺太のタマサイ その他コラム数カ所あり。
丸山靖成	参勤交代 蝦夷地のウイマム儀礼	吉川弘文館	B6	284 102～107	日本歴史叢書新装版。第二「参勤交代制の構造」三「特殊な参勤交代」4。
松藤和人(編) 鈴木信	考古学に学ぶ(Ⅲ) 森浩一先生傘寿記念献呈論集 「仔熊飼育型熊送り」の成立とその背景	同志社大学考古学シリーズ刊行会	A5	838 651～661	同志社大学考古学シリーズIX
法務省・文部科学省(編)	平成19年版 人権教育・啓発白書 アイヌの人々	国立印刷局	A4	227 81～84	
渡辺隆	江戸明治の百名山を行く: 登山の先駆者 松浦武四郎	北海道出版企画センター	新書	278	
和田稜三	日韓における堅果食文化 アイヌ民族のドングリ食	第一書房	B6	368 104	下記を含め索引では「アイヌ民族」8ヶ所あり。
浜靖史	〔創作〕アイヌ墓地をあばいたイギリス人たち ー八六五年箱館	文芸社	B6	156	
佐古浩敏、谷口哲雄、山中正実、岡田秀明(編著) 大脇真矢	世界遺産 知床の素顔 厳冬期の野生動物王国をいく アイヌ民族の視点	朝日新聞社	B6	212 163～164	
篠田謙一	日本人になった祖先たち DNAから解明するその多角的構造 日本人ミトコンドリアDNAの地域差: 北海道先住民、沖縄人、そして本土日本人	日本放送出版協会	B6	219 131～148	
平山雄一(著)、新保博久、山前謙(監)	江戸川乱歩小説キーワード辞典 アイヌ		A5	877 10	
松園万亀雄(監修)、「世界を集めるー研究者の選んだみんぱくコレクション」実行委員会(編) 佐々木利和	世界を集める: 研究者の選んだみんぱくコレクション 日本列島の北の文化、南の文化: 千島アイヌの仮面、カイダー板札、藻算	国立民族学博物館	B5	151 26～27	
日本文化財科学会第17回大会実行委員会(編) 朽津信明、下山進 佐々木利和、斎藤亜三子、中井泉、早川泰弘、平尾良光	日本文化財科学会第17回大会研究発表要旨集 非破壊・非接触によるアイヌ絵の顔料調査 アイヌ玉の化学組成と産地	日本文化財科学会	B5	254 142～143 162～163	
小川昭一郎(編著)	安政年間モンヘツ御用所史料集成(二)	道都大学小川研究室			初出は『道都大学紀要 社会福祉学部』及び同『共通教育部』
音威子府村史編纂委員会(編) 鈴木邦輝 鈴木邦輝 鈴木邦輝 仲尾光康 仲尾光康	音威子府村史 上巻 本編 音威子府地方の地名 続縄文・擦文・アイヌ時代 先住のアイヌの人たち アイヌと物満内 砂澤ピッキと物満内	音威子府村	A5	978 26～54 67～71 72～110 957 963～964	
北海道埋蔵文化財センター(編)	森町 濁川左岸遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 246集	北海道埋蔵文化財センター	A4	232	
	財団のあらし 平成18年度	アイヌ文化振興・研究推進機構	A5	25	
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	平成19年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.2	アイヌ文化振興・研究推進機構	A4	34	講師: 萱野志朗(平取)
<b>【2007年8月】</b>					
金光仁三郎(監修)	知っておきたい 伝説の英雄とモンスター	西東社	B6	255	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	コロポックル 心優しき日本の小人族	西東社	B6	68～69	
西成彦、崎山正毅	異郷の死：知里幸恵、そのまわり	人文書院	B6	296	
丸山隆司	知里幸恵の詩／死			13～45	
西成彦	バイリンガルな白昼夢			47～81	
坪井秀人	みずからの声を翻訳する：『アイヌ神謡集』の声と文字			83～117	
佐藤ロスベアグ・ナナ	知里幸恵と知里真志保のアイヌ神謡 訳：オノマトベと踊る謡			119～147	
津島佑子	越境の女性作家として			149～158	
安田敏朗	知里幸恵と帝国日本語学			159～190	
崎山正毅	口承から表記へ、表記から「文学」へ：知里幸恵と知里真志保の「日本語テクスト」とその周辺			191～215	
太田昌国	知里幸恵との、遅すぎた出合いをめぐって			217～226	
秋枝美保	宮沢賢治とアイヌ文学			227～251	
細見和之	好奇心とオリエンタリズム：北原白秋のアイヌ民族へのまなざしを考える			253～287	
北海道立アイヌ民族文化研究センター（編）	アイヌ語地名を歩く：山田秀三の地名研究から	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	54	
北海道立アイヌ民族文化研究センター（編）	企画展図録別冊 アイヌ語地名を歩く：山田秀三の地名研究から 2007・胆振／日高	北海道立アイヌ民族文化研究センター	A4	16	
	北海道の教育 第41集	北海道教職員組合、北海道私立学校教職員組合協議会（編）	A5	556	
	平和・人権教育			301～332	
<b>【2007年9月】</b>					
朝日新聞論説委員室（編）、国際編集部（訳）	英文対照 天声人語 2006夏 萱野茂さんとアイヌの文化	原書房	A5	248	
				99～1011	初出は『朝日新聞』2006年5月9日付。
宇田川洋	アイヌ送葬墓集成図	北海道出版企画センター	B5	420	
星野紘	世界遺産時代の村の踊り：無形の文化財を伝え遺す アイヌの「ユウカラ」とユーラシアの英雄叙事詩の比較（日本・中央アジア・ロシア）	雄山閣	A5	305	
				130～147	2006年1月13日に中部大学にて開催された共同研究会「アジアにおける文化クラスター 叙事詩の系譜」（藤井知昭主宰）における研究発表及び質疑応答をまとめたもの。
中世墓資料集成研究会（編）	中世の墓を探る 中世墓資料集成研究報告会資料集 北海道の様相	中世墓資料集成研究会（奈良市）	A4	104	
鈴木信				1～10	文部省科学研究費補助金（特定領域研究「墳墓遺跡及び埋葬墓制研究からみた中世」報告の一部。
由良勇（編）	松浦武四郎 蝦夷地六航と蝦夷 国号撰定 松浦武四郎と蝦夷語	由良勇	B5	76	
				30～31	
河野本道	ベカムベ日誌 ヒシの実 水辺に浮かぶ妖精の研究記録 プロローグ ベカムベ それは水辺の妖精？	北海道出版企画センター	A5	155	
				3～7	他にも関係記述あり。
松浦武四郎（著）、秋葉實（翻刻・編）	松浦武四郎選集 五 午手控（一）	北海道出版企画センター	A5	488	
朝日新聞論説委員室（編）	天声人語 2006年1月～6月 萱野茂さん	朝日新聞社	B6	286	
				193～194	初出は『朝日新聞』2006年5月9日付。
	白老町アイヌ施策基本方針	白老町	A4	17	
デビッド・ハルエル（著）、河西英通、河西富美子（訳）	ニシンの近代史 北海道漁業と日本資本主義	岩田書院	A5	266	第2章 不完全な資本主義：場所請負制の盛衰／第5章 資本主義と窮乏化 などあり。
沢田猛（原作）、田中寛次（台本）、藤村記一郎（作曲）	合唱劇「カネト」	合唱劇「カネト」をうたう合唱団	A4	147	2000年11月12日 合唱劇「カネト」制作上演実行委員会発行の改定版

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
板垣昭一	続 小説 松本十郎 北のはざま：札幌 大判官時代の苦闘	鶴岡書店	B6	310	前作『小説 松本十郎 北辰軸』 （根室判官時代を扱う）に続く作 品。 目次：本庁建築進捗/敗残の怨念 /同郷の移住民/十郎批判/父よ母 よ/朋友酒井調良/不信の萌芽/米 ができるぞ!/溝/桑園開墾隊/宗 谷移住の樺太アイヌたち/石狩川 水源探索/決断
<b>【2007年10月】</b>					
菊池勇夫	菅真澄 松前・蝦夷地の旅	吉川弘文館	B6	330 92～ 136	
北海道ウタリ協会札幌支部、 部落解放同盟中央女性対策 部、アプロ女性実態調査プ ロジェクト、反差別国際運 動日本委員会(編)	立ち上がりつながらるマイノリティ女性 - アイヌ女性・部落女性・在日朝鮮人女性 による	反差別国際運動日本委員 会(発行)、解放出版社 (発売)	A5	285	
北海道ウタリ協会札幌 支部	アイヌ女性		A5	10～31	
北海道ウタリ協会札幌 支部	アイヌ女性		A5	96～ 108	
多原良子	アイヌ女性のエンパワメント		A5	149～ 158	
高橋英子	実態調査にかかわって思ったこと		A5	160	
藤岡良子	複合差別問題に参加して -私が思 うこと		A5	161～ 162	
梁愛舜	アイヌ女性、部落女性、在日朝鮮人 女性が出会った -私たちの出自宣 言を考える		A5	192～ 198	
北海道ウタリ協会札幌 支部	アイヌ女性によるアイヌ女性のため の実態調査		A5	226～ 241	
佐々木馨	北方伝説の誕生：歴史と民俗の接点	吉川弘文館	B6	226	
新野直吉	田村麻呂と阿豆流為：古代国家と東北	吉川弘文館	B6	221	1994年吉川弘文館より刊行の単行 本の復刊。新たに『田村麻呂と 阿豆流為』の周辺を加える。
渋谷謙次郎、小嶋勇(編著)	言語権の理論と実践 アイヌ民族裁判	三元社	A5	215	第2部第1章5「言語に関する権利 等が争われた、あるいは、主張さ れた裁判例等」の中の一項目。
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	平成19年度「アイヌ語ラジオ講座」テキ スト Vol.3	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	32	講師：萱野志朗(平取)
法務省人権擁護局(編)	人権の擁護 平成19年度版 アイヌの人々	法務省人権擁護局	A5	48 14	文章は平成18年度版と同じ。紹介 する内閣府の世論調査は平成15年 2月調査から19年6月調査に改める。
<b>【2007年11月】</b>					
小熊秀雄(著)、小熊秀雄賞 市民実行委員会 詩集編集 委員会(編)	小熊秀雄詩撰 星の光りのように 〔詩〕 飛ぶ種 -アイヌ民族の為め に-	小熊秀雄賞市民実行委員 会	A4変 型	166 50～77	
萩中美枝	アイヌ文化への招待：女性と口承文芸	三弥井書店	A5	331	I アイヌの叙事詩/II アイ ヌの女性たち/III アイヌの伝承文 化/IV 知里真志保と知里幸恵/初 出一覧/萩中美枝書誌/この本のお わりに(萩中美枝)
小島清孝	書店員の小出版社巡礼記 草風館	出版メディアバル	B6	418 130～ 137	
ず・ぼん編集委員会(編) 梅澤至平	ず・ぼん 岡田健蔵は終わらない	ポット出版	B5	200 16～25	特集記事「岡田健蔵の函館図書館」 の一部。他に写真による紹介ペー ジ、「収集と保存にかけた夢 函 館図書館本館で考えたこと」「新・ 函館市中央図書館」の記事あり。

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
瀬川拓郎	アイヌの歴史：海と宝のノマド	講談社	B6	278	
函館市文化・スポーツ振興財団(編)	アイヌ文化と自然環境の変遷 ベカンベ(ヒシの実)に学ぶ	函館市文化・スポーツ振興財団	A4	9	函館市北方民族資料館ミュージアム・トーク(講師：河野本道)
白糠アイヌ文化保存会(編)	貫塩喜蔵著「サコロベ」の研究	白糠アイヌ文化保存会	A5	199	主要目次：序/発刊に寄せて/グラフィック/研究の概要/「貫塩喜蔵 サコロベ」解題/著者・貫塩喜蔵氏の系譜/サコロベ「狐の妖怪」本文/註記/「サコロベ」に出てくる言葉/おわりに 備考)財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構出版助成。CD添付。
関口由彦	首都圏に生きるアイヌ民族：「対話」の地平から	草風館	B6	250	
秀嶋ゆかり 秀嶋ゆかり	人権新聞縮刷版 3 アイヌ民族差別に関する裁判：アイヌ史資料集裁判(上) アイヌ民族差別に関する裁判：アイヌ史資料集裁判(下) アイヌ人格権訴訟	自由人権協会	A4	300	初出は『人権新聞』第337号(2002年7月26日付)。 初出は『人権新聞』第338号(2002年9月26日付)。 初出は『人権新聞』第353号(2005年5月25日付)。
北原白秋	フレップ・トリップ	岩波書店	A6	421	「多蘭泊」155～170ページ。 備考)岩波文庫。底本は1985年6月『白秋全集』19。
藤井貞和	言葉と戦争 教科書・戦争・表現	大月書店	B6	337 122～ 146	
北海道埋蔵文化財センター(編)	恵庭市 柏木4遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 249集	北海道埋蔵文化財センター	A4	245	
北海道埋蔵文化財センター(編)	白滝遺跡群Ⅷ 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 250集	北海道埋蔵文化財センター	A4	339	
	第20回アイヌ民族文化祭	北海道ウタリ協会	A4	21	2007年11月17日、白糠町社会福祉センターにて開催。
アイヌ文化振興・研究推進機構(編)	第11回アイヌ語弁論大会報告書 プログラム イタカン ロー	アイヌ文化振興研究推進機構	A4	130	発行年月日記載なし。ここでは大会開催の日付による。
<b>【2007年12月】</b>					
和田秀穂	文化四年 働哭の斜里場所：斜里(ウライシベツ)のアイヌと津軽藩士の斜里警備	サンケイブプリント社	A5	279	第一部 アイヌ文化と斜里(20～66ページ)/第二部 働哭の斜里場所(67～150ページ)ほか関係箇所あり。
小野有五	自然のメッセージを聴く：静かな大地からの伝言 アイヌモシリに生きる	北海道新聞社	B6	311 79～ 186	
松本克己	世界言語のなかの日本語：日本語系統論の新たな地平	三省堂	A5	350	
歴史の謎研究会(編)	世界で一番おもしろい地名の謎 砂川 日本語のようで実はアイヌ語が起源の地名	青春出版社	A5	235 179～ 180	
高田紀子	伝説は生きている 写真で見る北海道の口承文芸 赤岩の大蛇とシトナイ(小樽市) 積丹岬の女郎子岩(シララ姫岩)〈積丹町〉 イタンキ浜の鯨岩(室蘭市) 紅スズラン(厚真町) 柳の葉の魚(シシャモ)〈むかわ町〉 襟裳岬 十一面観音と白鼠 恋の栞の木さま(函館市) コロポックル(上土幌町) たんちょう鶴(釧路市) 阿寒湖のマリモ(釧路市阿寒町) 島になったお婆さん 摩周湖ものがたり(弟子屈町) 材木岩(羅臼町) 抜海の子背負岩(稚内市)	(私家版)	A4変型	155 43～44 61～62 76～77 82 83～86 87～88 90～92 116～ 117 118～ 119 120～ 121 122～ 124 125～ 126 150～ 151	
日外アソシエーツ(編)	郷土史家人名事典：地方史をほりおこした人々	日外アソシエーツ	A5	554	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	萱野茂  小助川濱雄 児玉作左衛門 白井柳治郎 高倉新一郎 知里真志保  村上久吉 米村喜男衛			140～ 142 184 190 241 250 290～ 291  446 492～ 493	
仲村優一、一番ヶ瀬康子、 右田紀久恵(監)、岡本民夫、 田端光美ほか3名(編)  田中英樹	エンサイクロペディア社会福祉学  ソーシャルインクルージョンのコミュニ ニティ	中央法規出版	B5	1312         1134～ 1137	
長谷川成一、瀧本壽史、関 根達人(編)  渡辺育子 工藤大輔 瀧本壽史  室野秀文  関根達人  北野信彦	北方社会史の視座 歴史・文化・生活 第1巻  古代国家の中の北日本 アイヌ民族の戦いと「北の武士団」 蝦夷錦をめぐる社会史：青森県内所 在の蝦夷錦を通して  中世道南の領主と城館：城館から見 た蠣崎氏の松前進出  本州アイヌの生業・習俗と北奥社会  海峡を渡った漆器：和人地～北海道 ～樺太～アムール川下流まで広がっ た和製漆器の道	清文堂	A5	306   3～28 29～51 89～ 108  179～ 203 219～ 251  279～ 306	
徳丸吉彦ほか(編)  オキ	事典 世界音楽の本  先住民族あるいは原住民の音楽	岩波書店	A5	548 352～ 356	
鈴木宗男、佐藤優	北方領土・特命交渉  先住民の権利に見る外務省の無能	講談社		410     187～ 190	講談社α文庫。講談社から2006年 9月発行の単行本に加筆・再編集 したもの。
中西裕(編)  田川浩之	書誌年鑑 2007  『北海タイムス』掲載のサハリン及 び北海道先住民に関する記事デー タベース1926. 12. 25～1935. 12. 31 (田口正夫) 2006. 3	日外アソシエーツ(発行)、 紀伊國屋書店(発売)	A5	498   471	
田中宏(著)、北海道大学 大学院法学研究科附属高等 法政教育研究センター(編)	二風谷ダム判決とその後	北海道大学大学院法学研 究科附属高等法政教育研 究センター	A5	62	ACADEMIA JURIS BOOKLET No. 25。 第一部 講演「二風谷ダム判決と その後 : 訴訟の舞台裏とこの 十年の動き」/第二部 質疑応答 /あとがき その後の動きを見て
日本口承文芸学会(編)  阿部敏夫	シリーズことばの世界 第3巻 はなす  義経伝説	三弥井書店	A5	246 45～55	
鈴木紀美代	父からの伝言	鈴木紀美代	19. 5 ×20	47	CD添付
伊藤亜人	文化人類学で読む 日本の民俗社会  アイヌ	有斐閣	B6	327 7～11	
	大阪府人権施策の状況 平成19年度版  アイヌ人々の人権問題	大阪府	A4	58 17	
	アイヌ民族の概要：北海道ウタリ協会活 動を含め	北海道ウタリ協会	A4	14	
アイヌ文化振興・研究推進 機構(編)	平成18年度 財団の活動	アイヌ文化振興・研究推 進機構	A4	63	
松浦武四郎(著)、村岡勉 (訳)	石狩日誌	村岡勉	A5	143	
北海道ウタリ協会札幌支部 (編)	アイヌ女性実態調査報告書	北海道ウタリ協会札幌支 部	A4	63	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2008年1月】</b>					
社会福祉の動向編集委員会 (編)	社会福祉の動向2008 北海道ウタリ、旧産炭地、漁村スラム等地区対策	中央法規出版	B5	334 275	
上村英明	知っていますか? アイヌ民族一問一答 (新版)	解放出版社	A5		
<b>【2008年2月】</b>					
安藤元雄、大岡信、中村稔 (監修)、大塚常樹、藤原晴希、國生雅子ほか (編) 内藤寿子	現代詩大事典 アイヌの詩	三省堂	A5	829 4~5	
宮武紳一	郷土史探訪・郷土史点描 富浦の遺跡「アフルンパロ」 知里真志保を訪ねて ジョン・パチェラーと登別 その1~4 オペラカンのチャシを訪ねて ジョン・パチェラーの生活のあと「青葉町」 ジョン・パチェラーも湯治した温泉場「登別温泉」 ト・ウム・ケシの伝説を訪ねて「富岸町」 銀のしずく降り降れまわりに フンベサバの伝説「登別港町」 ヌブルヘベツの鯨祭り 富浦町を訪ねて「ハシナウシの丘」 「津波と兎」の伝説 知里真志保を訪ねて 知里真志保の顕彰碑を訪ねて	登別郷土文化研究会	A5	214 3~4 35~42 42~50 55~58 84~85 97~98 127~130 134~135 149~151 13~14 48~49 53~54 96~105 135~137	初出『広報のぼりべつ』1977年3月1日。 初出『広報のぼりべつ』1977年7月1日、10月1日、11月1日。 初出『広報のぼりべつ』1978年12月1日~1979年3月1日。 初出『広報のぼりべつ』1979年7月15日、8月1日。 初出『広報のぼりべつ』1980年11月1日。 初出『広報のぼりべつ』1981年8月1日。 初出『広報のぼりべつ』1983年2月1日、3月1日。 初出『広報のぼりべつ』1983年5月15日。 初出『広報のぼりべつ』1984年4月1日。 初出『広報のぼりべつ』1991年1月1日。 初出『広報のぼりべつ』1992年12月1日。 初出『広報のぼりべつ』1993年3月1日。 初出『広報のぼりべつ』1995年2月1日~6月1日。 初出『広報のぼりべつ』1996年11月1日。
鐘江宏之	全集 日本の歴史 第3巻 律令国家と万葉びと 蝦夷の地と「日本」	小学館	A5	366 144~153	第三章「「日本」の内と外」。
鈴木靖民 鈴木靖民	古代日本の異文化交流 古代北海道の無文字社会と文字・記号そして信仰 一擦紋文化と異文化間交流一	勉誠出版	B5	667 349~374	
萱野れい子	写真で綴る萱野茂の生涯	農山漁村文化協会	B5		
グループ“シサムをめざして” (編)	「北方領土の日」に反対し、「先住民族の権利に関する国連宣言」にふまえ、日口交渉にアイヌ民族の参加を! 「先住民族サミット2008」を支援し、G8に環境・人権のオルタナティブを!	グループ“シサムをめざして”	B5		
<b>【2008年3月】</b>					
トンデモ神様追跡班 (編)	トンデモ神様事典 クマのカムイ: アイヌとともに生きる	彩図社	A6	191 68~71	
岩手県立博物館 (編)	北の黒船 クナシリ・メナシの蜂起 蝦夷地へのまなざし	岩手県立文化振興事業団	A4	158 12~13 98~103	
芹沢長介先生追悼論文集刊行会 (編) 深澤百合子 高橋理 濱田淑子	芹沢長介先生追悼 考古・民族・歴史学論叢 織維革命: 北海道アイヌ文化成立のオリジナリティー 儀礼と歴史・自然的要因の相互作用 芹沢長介先生と〈蝦夷の風俗〉	六一書房	B5	731 631~650 651~654 683~705	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
文部科学省	文部科学白書(平成19年) アイヌ文化の振興	国立印刷局	A4	512 365～ 366	
北海道北方民族博物館(編)	北太平洋の文化 ―北方地域の博物館と 民俗文化 一②	北方文化振興協会	A4	62	
出利葉浩司 萱野志朗 文公輝 佐々木博司 山崎幸治 田口洋美 内田順子、貝澤耕一 齋藤玲子(文責)	民俗資料を体験学習に活かす ―そ の現状と課題― 萱野茂の功績と資料館の役割 大阪人権博物館の総合展示とアイヌ民族 学社共同による学校教材・カリキュ ラム等の開発と活用 博物館と先住民研究 ―アイヌ・先 住民研究センターが模索する可能性 絵はがき・古写真・ビジュアル資料 の映像民俗学的利用と展開 <マンロー関係資料デジタル化プロ ジェクト>記録を活かすために 質疑応答および討論について			1～6 7～11 19～24 35～40 41～46 47～52 53～58 59～63	
帯広市図書館(帯広叢書編 集委員会編)	帯広叢書第59巻 吉田巖資料集 25	帯広市教育委員会	B5	256	1 アイヌ調査書7(第7編 教育) /2 日記〔吉田巖日記〕3-21(昭 和13年7月～9月)/3 出現語彙一 覧/4 注釈用参考文献一覧
久留島浩、小島道裕(編)	国立歴史民俗博物館研究報告 第140集 歴史 展示における「異文化」表像の基礎的研究 研究の経緯と成果・課題 アイヌの御目見(ウイマム)儀礼 小 玉貞良『松前屏風』を導入として	国立歴史民俗博物館	A4	239	1～19 23～41
西あい、小泉雅弘(記録・ 編集)	「ニサツタ グス チャランケ ～明日 のための話し合い～」 報告書	さっぽろ自由学校「遊」	B5	23	
青森県史編さん古代部会 (編) 青森県史編さん古代部 会(編)	青森県史 資料編 古代2 出土文字資 料 北海道出土の墨書・刻書土器	青森県	A4	806 92～97	第II部 「古代北方地域出土文字資 料(一)」―「墨書・刻書土器」1。
北海道開拓記念館(編)	北方の資源をめぐる 先住者と移住者の 近現代史：2005-07年度調査報告 アイヌ文化期～近現代の北方資源と 小氷期とのかかわり I 日露戦争前後における樺太アイヌと 漁業の可能性 国後島の遺跡：古釜布郷土博物館所 蔵資料調査より 近世日本社会におけるトナカイ：史 料紹介を中心に 北蝦夷地全島一周をめざして：付、 栗山太平洋の北蝦夷地調査記録	北海道開拓記念館	B5	260	7～16 91～ 107 161～ 182 207～ 226 260～ 235
	〔北海道大学〕学位論文内容及び審査の 要旨(課程博士) 松本あづさ 近世後期の蝦夷地と松 前藩	北海道大学	B5	1573 45～47	
	人権に関する県民意識調査報告書<平成 19年7月調査> アイヌの人々の人権についての意識 アイヌの人々の人権について	岐阜県環境生活部人権施 策推進課	A4	128 13 61～64	
	人権教育の指導方法の在り方について 第三次とりまとめ 実践編：個別的な人 権課題に関する取組 アイヌの人々	人権教育の指導方法等に 関する調査研究会議	A4	82 61～62	
小野哲也 瀬川拓郎 右代啓視 藤井誠二 越田健一郎 小野裕子	中世日本列島北部 ～サハリンにおける 民族の形成過程の解明 ―市場経済圏拡 大の観点から― 厚真町上幌内モイ遺跡の調査で解っ てきたこと アイヌの宝器・鉄形の成立と変遷 要害遺跡の研究 擦紋文化～アイヌ文化の木製品につ いて 鍋と玉 ―山丹貿易の様相― 東北北部におけるアイヌ文化を考える	北海道大学総合博物館	A4	59 24～26 27～31 32～36 37～46 47～51 52～59	
札幌市教育委員会指導室 (編)	アイヌ民族の歴史・文化等に関する指導 資料 第5集	札幌市教育委員会			
北海道教育庁生涯学習部生 涯学習推進局文化・スポー ツ課(編)	アイヌ民俗文化財ユーカラシリーズ30 (平成19年度)わたしのおぼが草小舟にわ たしを乗せて流す	北海道教育委員会	B5		
北道邦彦	アイヌ語地名で旅する北海道	朝日新聞社	新書		

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
福岡イト子 (編)	上川アイヌの研究 I	旭川竜谷高等学校郷土部			
福岡イト子 (編)	上川アイヌの研究 II	旭川竜谷高等学校郷土部			
<b>【2008年4月】</b>					
中俣満(編・訳)、松永靖夫(監修)	現代語訳 北夷談	新潟日報事業社	A5	213	
佐藤知己	アイヌ語文法の基礎	大学書林	A5		
崎谷満	DNA・考古・言語の学際研究が示す新・北海道史	勉誠出版			
<b>【2008年5月】</b>					
加藤忠  秋辺得平 橋本要(文・写真)	解放新聞 縮刷版 第40巻 2007(2301号-2350号)	解放新聞社	A4	489	
	アイヌ民族の歴史と文化 奈良・水平社博物館で			81	
	複合差別の調査報告 アイヌ、部落、在日の女性			104	
	メッセージ 「アイヌ民族基本法」制定めざす力強い動きが ノッカマップ・イチャルパとアシリチェップカムイミに参加し			399 412~413	
	国連「先住民族の権利宣言」の意義と課題			436~437	
	世界先住民族サミット開催に奔走する浦川治道さん(69)			440	
海野弘	伝説の風景を旅して 北海道と義経伝説	グラフ社	B6	203 72~80	
今西一  井上勝生	世界システムと東アジア：小経営・国内植民地・「植民地近代」 帝国日本と国内植民地・北海道 アイヌ民族共有財産裁判「歴史研究者の意見書」	日本経済評論社	A5	268  132~148 149~178	
ましこ・ひでのり	幻想としての人種／民族／国民 「日本人という自画像」の知的水準	三元社	B6	158	
津島佑子(文)、宇梶静江(刺繍)、杉浦康平(構成)	アイヌの神話 トーキナ・ト ふくろうのかみの いもうとのおはなし	福音館書店	B5変型	40	
<b>【2008年6月】</b>					
伊藤真実子	明治日本と万国博覧会 第五回内国勲業博覧会	吉川弘文館	A5	229 94~126	第三章。三「人類館」(113~119ページ)あり。初出「第五回内国勲業博覧会と万博開催への模索」：台湾館と人類館(『日本歴史』第686号、2005年)に加筆・修正。
佐々木馨(監) 佐々木馨 中村和之  石井淳平  松崎水穂、森廣樹  高橋豊彦  松崎水穂  中村和之	図説 函館・渡島・松山の歴史 エミシから蝦夷へ 中世アイヌの誕生 北東アジアの中世世界 アイヌの北方交易の証 北方交易の変化と北の争乱 コシヤマインの戦いと道南十二館 利別川河口の十六世紀前後 セタナのアイヌ勢力を探る 夷島における知内の地理的役割 南條季継からチコモタインへ 混住する「アイヌ」と「和人」 境界の地・「和人地」の人びと 北方ブランド 蝦夷錦 アイヌ民族にもたらされた絹織物	郷土出版社	A4	230 48~49 50~51  58~59  70~71  72~73  78  106~107	
片倉穰	朝鮮とベトナム 日本とアジア ひと・もの・情報の接触・交流と対外観 為朝鮮行伝説と義経北行伝説 一人の英雄と沖繩・アイヌ	福村出版	A5	284  164~184	
蘭信三(編) 田村将人	日本帝国をめぐる人口移動の国際社会学 権太アイヌの(引き揚げ)	不二出版	A5	896 463~502	
法務省・文部科学省(編)	平成20年版 人権教育・啓発白書 アイヌの人々	佐伯印刷	A4	173 96~99	
植木哲也(編)	学問の暴力 : アイヌ墓地はなぜあばかれたか	春風社			



編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2008年7月】</b>					
考古学と中世史研究会（編） 関根達人	第6回考古学と中世史シンポジウム：動物と中世社会 捕獲・加工・消費 資料集 本州アイヌの狩猟と漁撈	考古学と中世史研究会	A4	133 77～89	
久保田展弘	火と水と樹木：アイヌの伝承が語るもの	NTT出版	B6	286 142～ 147	第五章「縄文の森と地母神」：東国という精神風土」3。
仙台市富沢遺跡保存会（編）	陸奥国大戦争時代：蝦夷と移民	仙台市教育委員会	A4	48	平成20年度地底の森ミュージアム特別企画展図録。
本田伸	シリーズ藩物語 弘前藩 寛文蝦夷蜂起と「北狄の押さえ」：蝦夷地出兵命令 津軽領のアイヌ集落 アイヌとの混住：記録に見る「狄村」 蝦夷錦が来た道：山丹交易と松前・津軽 クナシリ・メナシの乱：津軽家にも緊張走る	現代書館	A5	206 35～38 105 138～ 141 147～ 149 168～ 170	第一章「弘前藩の誕生」3「名君信政と中期藩政」。 第四章「津軽に生きる人々」3「民衆の移動と交流」。 第四章「津軽に生きる人々」3「民衆の移動と交流」。 第五章「後期藩政と北方警備」2「家格上昇と黒石藩の成立」。
川村湊	文芸時評 1993～2007 病的な“心の世界” ー関心高く、流行しているが 「小説」は自由自在な形式 ー過去との対話、講演筆記…… 虚構と遊戯、現実の緊張 戦争の何を描くか ー痛みを透視する若い世代	水声社	A5	632 118～ 120 146～ 148 300～ 302 430～ 432	
仙北富士和	北辺の野に祈る：北海道開拓とキリスト者たち アイヌの父：ジョン・パチラーの足跡	ストーク（発売：星雲社）	B6	163 135～ 142	
伊藤孝博	北海道「海」の国人記 武川久兵衛（飛騨屋）ー非・近江系勢力進行の先駆けとなった豪商 歴史の狭間で劇的な隆盛と没落～岐阜県出身 武田信広と松前氏ー蝦夷島支配に乗り出した和人豪族たちー伝・福井県出身 シャクシャイン戦争と和人たち 「夷酋列像」と蠣崎波響 「アイヌ勘定」とは何だったのか 江戸時代後期のアイヌ虐待 猛威をふるった蝦夷地での痘瘡（天然痘） コタンピルの肖像ー江戸中期の有力なアイヌ首長伝承に、往時の交易模様をしのぶー 梨本弥五郎ー「神威岬のタブー」を打破。積丹半島以北の和人定住促進に道を開いた幕吏ー（東京都出身） 松本十郎ー初期北海道開拓時代に鮮やかな航跡を残した硬骨の士ー（山形県出身） 厚司（アットシ） 堺清兵衛ー出羽角館から日高へ 近代「浦河」開拓の祖とされる商人ー（秋田県出身） 平沢屏山	無明舎出版	B6	576 56～68 12～27 41～48 68～70 76 99～ 100 101～ 102 131～ 138 201～ 213 338～ 346 346 367～ 375 375～ 376	
法務省人権擁護局（編）	人権の擁護 平成20年度版 アイヌの人々	法務省人権擁護局	A5	52 16	文章、世論調査データともに平成19年度版と同じ。
<b>【2008年8月】</b>					
関根達人	あおり歴史モノ語り	無明舎出版	B6	232	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
	本州にもいたアイヌ民族  アイヌの刀  本州アイヌと怪獣(前編)(後編)  本州アイヌの毒矢と熊  本州アイヌと戦国領主のビミョーナ 関係(前編)(後編)  蝦夷錦と北前船			99～ 101 102～ 105 108～ 111、 112～ 115 115～ 118 119～ 122、 122～ 125 155～ 158	
佐々木昌雄	幻視する〈アイヌ〉	草風館	B6		
安田敏朗	金田一京助と日本語の近代  問題のありか:「イノセント」であること アイヌ語との出会い:日本帝国大学 言語学の射程	平凡社	新書 判	284  15～45  47～88	
小野淳信	碧落の賦<創作>	津軽書房	B6	245	
第48回社会教育研究全国実 行委員会(編)	日本の社会教育実践 2008 第48回 社会教育研究全国集會資料集  多民族ニッポンと社会教育 アイヌ 文化をめぐる研究・実践の現状 多文化共生・人権尊重をめざす学習	社会教育推進全国協議会	B5	232  41～48  90～96	
計良光範	北の彩時記	コモンズ	B6		
<b>【2008年9月】</b>					
百瀬馨	文明開化 失われた風俗 北海道における風俗統制とアイヌ	吉川弘文館	B6	217 143～ 194	
津曲敏郎(編)	サハリンの言語世界 予稿集  アイヌ語の条件表現について アイヌ語サハリン方言の証拠性表現 アイヌ語の接頭辞度 権太アイヌ語の敬詞について	北海道大学大学院文学研 究科	B5	61  22～27 28～29 30～34 35～39	
倉田芳郎先生追悼論文集編 集委員会(編)	生産の考古学 II  クマの描かれたトゥッキ(杯):アイ ヌ民具資料の漆器から	同成社	A5	648  487～ 505	
佐々木利和、本多俊和(ス チュアート・ヘンリ)、湯 山堅一(編著)	新訂 博物館資料論  博物館資料の調査  民俗資料論 ー博物館における民族 表象ー	放送大学教育振興会(発 行)、日本放送協会(発売)	A5	235  194～ 206 224～ 235	
北海道立アイヌ民族文化研 究センター(編)	企画展図録別冊 アイヌ語地名を歩く: 山田秀三の地名研究から 2008・渡島/ 檜山/津軽海峡	北海道立アイヌ民族文化 研究センター	A4	20	
宮武公夫(研究者代表)	アジアにおける博覧会の研究 ーヒトの 展示を通して  アジアにおける博覧会の研究 ー190 4年セントルイス博覧会におけるアイ ヌ展示と非文字史料ー アメリカ自然史博物館石膏彫像関係 資料 フレデリック・スターの東アジア研 究について ー1936年の蔵書オーク シヨウカタログを通して	北海道大学大学院文学研 究科	A4	130  1～58  59～64  65～79	
<b>【2008年10月】</b>					
あきやまみみこ(撮影)	著名人のお墓を歩く ー谷中、染井、雑 司ヶ谷編ー   金田一京助	風塵社	A5		[2p]
野村崇(編)	樺太考古学のパイオニア 木村信六伝	北海道北方博物館交流協 会	A5変 型	165	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
明治大学文学部考古学研究室 (編) 齋藤淳 青野知哉	地域と文化の考古学 北奥「蝦夷」社会の展開 北海道における貝塚文化の消長：縄文時代～近代の生業と祭祀	六一書房	B5	675 55～71 309～325	
	社団法人北海道ウタリ協会種別支部解散特別記念誌	種別支部解散特別記念誌 事業記念誌編集委員会	A4	頁なし	
<b>【2008年11月】</b>					
高橋大輔	間宮林蔵・探検家一代：海峡発見と北方民族	中央公論新社	新書判	268	サハリンアイヌの暮らしぶり (65～68ページ) / 大陸に移住したアイヌ (167～172ページ) / 血族 (229～257ページ)
小樽市総合博物館 (監) 乾芳宏 乾芳宏 平山裕人 石川直章 平山裕人 白浜和彦 白浜和彦 平山裕人 石川直章 石川直章	図説 小樽・後志の歴史 蝦夷地の武具 栄町1・大浜中遺跡 副葬品からみた中世 火葬墓と土葬墓 コシャマインの戦いと後志 後期「渡党」とヨイチ 倭人集落とアイヌ文化 「和夷雑居」「和夷戦争」 シャクシャインの戦いと後志 交易の主導権を取り戻せ 西蝦夷地と松前藩 急がれた蝦夷圏の作成 商場制と場所請負制 アイヌとの交易から大漁業経営へ ニシン場所とアイヌ ニシン漁とアイヌの人口 発掘された近世のアイヌ文化 小樽・余市の遺跡を中心に スケッチに残されたアイヌ風俗 笑顔のアイヌ風俗画	郷土出版社	A4	230 56～57 58～59 60～61 62～63 66～67 70～71 82～83 90～91	
帯広市図書館 (帯広叢書編集委員会編)	帯広叢書第60巻 吉田巖資料集 26	帯広市教育委員会	B5	256	1 日記 [吉田巖日記] 3-22 (昭和13年10月～14年3月) / 2 抜き書き 3 / 3 通信簿1-1・2-1/4 出現語彙一覧 / 5 注釈用参考文献一覧
手塚薫	境界領域の北方狩猟採集文化	手塚薫	A4	200	主要関係目次：第3章 アイヌの生活様式の多様性：アイヌ研究のあらたな展開 (35～70ページ) / 第4章 石狩低地帯におけるアイヌ交易の展開と本州製品の流通 (71～107) / 第5章 千島列島における先住民交易：ネットワークの形成と変容 (109～129) / 第6章 千島列島への移住と適応：島嶼生物地理学という視点 (131～147ページ) / 第7章 結論 (149～170ページ)
北尾克三郎	空海とアイヌの世界	プロスパー企画			
<b>【2008年12月】</b>					
高原紫音	第28回全国中学生人権作品コンテスト 東北北海道大会作品集 真の民族の共生の実現を願って			61 13～15	
石井正己	民俗学と現代：批評の宝石たち 萩中美枝『アイヌ文化への招待』発刊に因って 〔書評〕萩中美枝・奥田統己・八重九太郎 (編)『八重苦勞の伝承(5)』	三弥井書店	B6	240 137～138 224	初出は同書 (2007年11月発行) の販売用チラシ。 初出は『口承文芸研究』第21号 (1998年3月)。
久保田裕道	「日本の神さま」おもしろ小事典 氏神、道祖神から狛犬、ナマハゲまで 熊 北海道のイオマンテ	PHPエディターズ・グループ (発行)、PHP研究所 (発売)	B6	335 220～222	
部落解放・人権研究所 貝澤耕一	世界人権宣言の実現にむけて 日本の人権問題から 当事者優先の施策を	部落解放・人権研究所 (発行)、解放出版社 (発売)	A5	170 83～88	
鈴木拓也	戦争の日本史 3 蝦夷と東北戦争	吉川弘文館	B6	306	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
こどもくらぶ(編)	ふしぎがいっぱい! ニッポン文化 ① 北海道・東北地方のふしぎ文化 Q 北海道にはいつから人がいた?	旺文社	A4	55 20~21	各地のニッポン文化Q&A 北海道アイヌ民族
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2009 [1] あ~さ	日外アソシエーツ	A4	971	掲載人名に、「相川公司」「秋辺福太郎」「天川恵三郎」「荒井源次郎」「荒井シャヌレ」「新谷幸吉」「安東ウメ子」「伊賀久幸」「伊賀ふで」「磯島恵美子」「遠星北斗」「上西晴治」「上野サダ」「上原熊次郎」「江賀寅三」「江口カナメ」「太田紋助」「小川佐助」「奥田統己」「長見義三」「小田イト」「織田ステノ」「貝沢正」「海馬沢博」「金谷フサ」「カニクシアイノ」「萱野茂」「萱野志朗」「川上勇治」「川村カ子ト」「金成マツ」「吉良平治郎」「切替英雄」「葛野辰次郎」「葛野守市」「久保寺逸彦」などあり。
日外アソシエーツ	北海道人物・人材情報リスト 2009 [2] し~わ	日外アソシエーツ	A4	1098	掲載人名に、「四宅ヤエ」「シャクシャイン」「シヨヤ・コウジ」「白井柳治郎」「白沢ナベ」「杉村キナラブック」「杉村京子」「杉村満」「砂沢クラ」「砂沢ビッキ」「タナイス」「谷本一之」「多原香里」「タリコナ」「チカッフ美恵子」「知里高央」「知里ナミ」「知里真志保」「知里幸恵」「ツキノエ」「富樫利一」「戸塚美和子」「中村要吉」「鍋沢ワカルバ」「二谷一太郎」「貫塩喜蔵」「能登屋門吉」「野村義一」「ハウカセ」「バチェラー八重子」「日川善次郎」「平村ベソリウク」「藤村久和」「藤山ハル」「弁開風次郎」「間見谷喜昭」などあり。
高原紫音	第28回全国中学生人権作品コンテスト 東北北海道大会作品集 真の民族の共生の実現を願って	釧路地方事務局、釧路人権擁護委員連合会	A5	61 13~15	発行年月日記載なし。「はしがき」は2008年12月。 優秀賞。

編者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
<b>【2009年1月】</b>					
塩見鮮一郎	異形にされた人たち 別所と東光寺の魅力：エミシの俘囚の配流他	河出書房新社	A6	257	河出文庫。底本は三一書房、1997年9月。初出は『別所と俘囚』（菊池山哉著、1996年）の「解説」。
<b>【2009年2月】</b>					
旭川大雪観光文化検定編集委員会（編）	旭川魅力発信伝 旭川大雪観光文化検定ハンドブック 昔の人たちとアイヌ文化 〈先史～江戸後期〉	旭川大雪観光文化検定運営協議会	B5	253 26～28	
海保洋子	新編 日本のフェミニズム10 女性史・ジェンダー史 「帰俗」政策のなかのアイヌ女性	岩波書店	B6	341 153～160	「近世蝦夷地の女性の存在形態」（海保『近代北方史：アイヌ民族と女性と』（三一書房、1992年）からの抄録。
知里むつみ	日本の先住民民族 アイヌをしよう！ ① アイヌ民族の歴史といま	汐文社	B5	63	
厚岸町海事記念館（編）	海岸線のアイヌ語地名	厚岸町海事記念館			
	沖縄とアイヌの真実：小林よしのり 参上！日本民族とは何か？	オークラ出版	A5		
大西秀之	トピニタイ文化からのアイヌ文化	同成社	A5		
<b>【2009年3月】</b>					
北俊夫（監修） 田山修三	新道府県クイズ ① 北海道・東北 Q6 北海道にあるむずかしい地名、 読めるかな？	国土社	B5	75 14	
古田史学の会（編） 佐々木広堂	古代に真実を求めて 第十二集 真実の「アイヌ人・アイヌ語」：東北地方にアイヌ語は存在しなかった	明石書店	A5	255 78～98	
全国同和教育研究協議会（編） 長谷川修	であい 第47巻 〈資料〉「アイヌ民族を先住民とすることを決める決議」ほか 先住民アイヌ	オフィスプロシード	A4	■ [2p] [2p]	
北海道北方民族博物館（編） 出利葉浩司 高橋規 山崎幸治 北原次郎太 齋藤玲子（文責）	北太平洋の文化 —北方地域の博物館と民族文化— ③ 現代の民族資料を収集すること —北海道開拓記念館のアイヌ民族資料の収集を例に— 今日的「アイヌ文化」の記録とその活用 現代における物質文化資料の収集について 「アイヌの人々を理解する」とは —学芸員講話の事例から— 質疑応答および討論会について	北方文化振興協会	A4	62 29～34 35～40 41～44 45～50 57～62	
塩見鮮一郎	蘇る巨人：喜田貞吉と部落問題 エミシから「民族と歴史」へ	河出書房新社	B6	202 116～123	『喜田貞吉 喜田貞吉と部落問題』（三一書房、1999年）の増補改訂版。
帯広市図書館（帯広叢書編集委員会編）	帯広叢書第61巻 吉田巖資料集 27	帯広市教育委員会	B5	210	1 アイヌ調査書8(第8編 衛生) / 2 日記〔吉田巖日記〕3-23 (昭和14年4月～7月) / 3 抜き書き4 / 4 通信簿2-2 / 5 出現語彙一覧 / 6 注釈用参考文献一覧
アイヌ文化環境保全対策調査室（編）	アイヌ文化環境保全対策事業 調査報告書 2008～2009 —沙流川総合開発事業の内 平成20年度平取ダム地域文化評価事業—	平取町	A3		
東京都教育庁指導部指導企画課（編）	人権教育プログラム（学校教育編） 人権課題「アイヌの人々」中学校 総合的な学習の時間	東京都教育庁指導部指導企画課	A4	143 57～60	
	〔北海道大学〕学位論文内容及び審査の要旨（課程博士） 滝澤正 明治初年開拓使漁業政策とアイヌ民族	北海道大学	B5	1385 44～47	
北海道教育委員会（編）	アイヌ民俗文化財ユーカラシリーズ31 (平成20年度)アトウイヤの女(レポペット ントキモツペント)	北海道教育委員会			
北海道教育委員会（編）	アイヌ民俗文化財ユーカラシリーズ32 (平成20年度)金の草靴の六人の兄(カニ シトウケレイワンア・ユビ)	北海道教育委員会			
北海道教育委員会（編）	アイヌ民俗文化財ユーカラシリーズ33 (平成20年度)夜も昼も気が狂って我が兄 泣く	北海道教育委員会			

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
横山孝雄	コミックアイヌの歴史 2 イシカリ神 うねる河	汐文社			
国立日高青少年自然の家 (編)	地域の特色を活かしたプログラムの開発	国立日高青少年自然の家			
ザヨイツ・マウゴジャータ	千島アイヌの軌跡	草風館			
かいせみほ (文・絵)	トヌベカラン	財団法人アイヌ文化振興・ 研究推進機構			
北海道立アイヌ民族文化研究 センター(編)	鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽につ いての調査研究 北海道立アイヌ民族文 化研究センター調査研究報告書5	北海道立アイヌ民族文化 研究センター	B5	CD付き	
<b>【2009年4月】</b>					
山下昌也	北海道の商人大名 お殿さまは「経営者」 松前藩の江戸時代	グラフ社	B6	278	
梶茂樹、中島由美、林徹(編)   中川裕	事典世界のことば141   アイヌ語	大修館書店	B6	608 4~7	
国立民族学博物館(編・監修)   佐々木利和	旅 いろいろ地球人 魚衣皮の人びと	淡交社	B6	191 173	初出は『毎日新聞』大阪本社版水 曜夕刊連載「異文化を学ぶ」(2005 年4月6日~2008年3月26日)のうち。
佐々木利和	魚皮製衣服(複製)			176	
石毛忠、今泉淑夫ほか3名 (代表編者)	日本思想史辞典   アイヌ同化政策	山川出版社	A5	1160 2~3	
知里むつみ	日本の先住民族 アイヌをしろう! ② アイヌ民族のことばと文化	汐文社	B5	63	
大場四千男	北海道アイヌの人類経営学序説	北海道出版企画センター	A5		
<b>【2009年5月】</b>					
早稲田大学會津八一記念博 物館(編)   三浦恵、小泉なな	早稲田考古学: その足跡と展望   アイヌ民族資料: 土佐林コレクション	早稲田大学會津八一記念 博物館	A4	48 35~37	
金子利喜男   金子利喜男	世界の領土・国際紛争と国際裁判【第2版】: 世界国家の割拠から世界連邦へ向かって   アイヌ民族の動き	明石書店	A5	334 53~54	初版は2001年5月31日発行。初版 から一部追加・変更等あり。
北海道立アイヌ民族文化研究 センター、北海道立文学 館、財団法人北海道文学館 (編)  萩中美枝  佐藤知己 北原次郎太 高橋靖以  佐々木利和 中川裕 本田優子 青柳文吉 北海道立アイヌ民族文 化研究センター	語り、継ぐ: アイヌ口承文芸の世界  夫・知里真志保と、私に行く道を示 してくださった方々 近世のアイヌ口承文芸の記録について 樺太アイヌの語りの世界 ピウスツギが記録したアイヌ口承文 芸資料について あるノートから アイヌ口承文芸研究史上の知里真志保 大学でアイヌ口承文芸を教えるということ 知里真志保旧蔵ノートについて 久保寺逸彦文庫について	財団法人北海道文学館	B5	85  45~48 49~51 51~53 54~55  56~59 60~61 62~63 64~66 66~67	I 語る: アイヌ口承文芸のあらまし / II 継ぐ: 記録と伝承の歩み / III アイヌ口承文芸への招待/ IV アイヌ口承文芸を学ぶために 2009年5月30日~7月29日 北海道立 文学館にて開催された企画展の展示 解説図録。
<b>【2009年6月】</b>					
渡辺茂己(編著) 苑原俊明	国際人権法 先住民族の権利	国際書院	A5	286 163~ 186	
橋本要(文・写真)  加藤忠	解放新聞 縮刷版 第41巻 2008(2351 号-2400号)  アイヌとアボリジニが文化交流 千 葉県君津市のカムイミンタラで 国会が先住民族決議 アイヌ民族認 め全会一致で アイヌの権利回復へ 鮭を迎える儀 式 27回目 栃木県連も参加し交流 アイヌ先住民族国会決議の意義と課題	解放新聞社	A4	491  184 226 360 449	
法務省・文部科学省(編)	人権教育・啓発白書(平成21年版) アイヌの人々	日経印刷	A4	57 26~27	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
荒俣宏(監) 武田元秀 武田元秀	アラマタ人物伝 シャクシャイン 幕府と決戦！ アイヌの英雄 金田一京助 貧乏にめげずにつらぬいたアイヌ語研究	講談社	A5	271 79 229	
斜里町立知床博物館(編) 宇田川洋 松葉功 宇田川洋 佐藤孝雄	知床の考古 アイヌ文化 アイヌ文化期の代表的な遺跡 知床のチャシ 知床のヒグマに関わる文化財	北海道新聞社	A5	238 216～ 223 224～ 228 228～ 231 204～ 209	
新藤透	松前景広『新羅之記録』の史料的研究	思文閣出版	A5	515	第三編第一章「コシヤマインの戦いに関する『新羅之記録』の史料的検討(初出は『図書館情報メディア研究』第2巻第1号、2004年11月)／第二章『新羅之記録』の中の中世アイヌ蜂起関係記事の検討」(初出は『社会文化史学』第47号、2005年3月)などあり。
児島恭子	エミシ・エゾからアイヌへ	吉川弘文館	B6		
中村尚弘	現代のアイヌ文化とは : 二風谷アイヌ文化博物館の取り組み	東京図書出版会	B6		
<b>【2009年7月】</b>					
宮崎嘉夫	日本人と日本語のルーツを掘り起す 考古学からDNAまで 北海道と琉球	文芸社	A5	224 187～ 204	
小野正敏、五味文彦、萩原三雄(編) 関根達人	考古学と中世史研究 6 動物と中世獲る・使う・食らう 本州アイヌの狩猟と漁撈	高志書院	A5	298 155～ 186	
文部科学省	文部科学省白書 平成20年度アイヌ文化の振興	佐伯印刷	A4	384 281～ 282	
広岩邦彦	アイヌのマキリ：名匠は何を彫ったか	広岩邦彦	A4	18	
後藤秀彦(監) 大鳥居仁 後藤秀彦 大鳥居仁 内田祐一 内田祐一 秋山秀敏 内田祐一 内田祐一 内田祐一 小助川勝義	図説 帯広・十勝の歴史 トカチの中世の痕跡 南北朝時代の筋兜 砂鯨伝承のある優美なチャシ 史跡オタクンベチャシ跡 カネランの居城か 白いチャシ 史跡ユクエピラチャシ跡 シャクシャインの蜂起と十勝 蝦夷地の民族闘争 場所請負制と十勝の産物 場所請負制の発達と産物の変化 松浦武四郎の出会った古老たち コタンを率いた長老たち 十勝のアイヌを描いた平沢屏山 アイヌ絵の頂点 アイヌ児童への教育とアイヌ学校の開設 十勝に開設された教育所とアイヌ学校 十勝アイヌ旭明社の誕生 十勝におけるアイヌ民族の自立 アイヌ民族の生活向上と文化伝承 吉田菊太郎と蝦夷文化考古館	郷土出版社	A4	232 64～65 66～67 68～69 74～75 76～77 86～87 88～89 176～ 177 178～ 179 206～ 207	
法務省人権擁護局(編)	人権の擁護 平成21年度版 アイヌの人々	法務省人権擁護局	A5	56 18	平成20年度版の文章に一部追加あり(平成20年国会決議関連)。
末広小のアイヌ文化学習を支援する会(編)	さあアイヌ文化を学ぼう！	明石書店	A5		
「アイヌ民族共有財産裁判の記録」編集委員会(編)	百年のチャランケ : アイヌ民族共有財産裁判の記録	緑風出版	A5		
<b>【2009年9月】</b>					
反差別国際運動日本委員会(編) 竹内渉	先住民族アイヌの権利確立に向けて アイヌ民族の歴史と文化：近代日本による植民地化を中心に	反差別国際運動日本委員会(発売：解放出版社)	A5	217 7～25	

編著者名	書名・論文名・記事タイトル	発行者	判型	ページ	目次及び備考
島崎直美 阿部ニボ 上村英明	アイヌ女性の尊厳の回復をめざして 国連「先住民族権利宣言」とアイヌ民族 アイヌ民族政策の進展に関する課題 と展望：「アイヌ政策のあり方に関 する有識者懇談会報告書」を読む 資料編			27～36 37～53 55～78  79～ 217	
ピーター・K・オースティン (編) 澤田治美(日本語版監) リノール・グレノーブル	ビジュアル版 世界言語百科 ー現用・ 危機・絶滅言語1000ー 東アジア、東南アジア	終風舎	B5変 型	288  228～ 229	
山崎義郎	北海道の山獺・川漁 山の人(熊)に学ん だあれこれ  アイヌ民族  アイヌ民族の猟と工芸の序	街と暮らし社	B6	207  133～ 150 151～ 172	
佐々木喜善(著)、石井正己(編)	遠野奇談 家屋の怪物	河出書房新社	B6	222 173～ 180	「アイヌのカイセイ」に言及。初 出は『日本勸業銀行月報』第187 ～188号(1910年9～10月)、出典 は『佐々木喜善全集(Ⅱ)』
宇井真紀子	アイヌときどき日本人 (増補改訂版)	社会評論社	A5		
<b>【2009年10月】</b>					
日本民話の会、外国民話研 究会(編訳) 志賀雪湖	世界の犬の民話  アイヌの犬の話	三弥井書店	B6	252  50～51	
川村湊	あのころ読んだ小説 一川村湊書評集 池澤夏樹『静かな大地』(朝日新聞社) 津島佑子『「私」』(新潮社)  津島佑子『アニの夢 私のイノチ』 (講談社) 久間十義『オニビシ』(講談社)  中原清一郎『未だ王化に染はず』(福 武書店)	勉誠出版	B6	464 29 181～ 184  184～ 187 228～ 231 205～ 208	
乃南あさ	【創作】ニサッタ、ニサッタ	講談社	B6	513	
三谷博、並木頼寿、月脚達彦(編) 千葉功	大人のための近現代史 19世紀編 日本の近代的両土確定	東京大学出版会	A5	331 185～ 192	
<b>【2009年11月】</b>					
竹内渉	北の風南の風	解放出版社	B6		
帯広市図書館(帯広叢書編 集委員会編)	帯広叢書第62巻 吉田巖資料集 28	帯広市教育委員会	B5	252	1 日記〔吉田巖日記〕3-24(昭 和14年8月～12月)/2 抜き書き 5/3 通信簿1-2/4 通信簿2-3/ 5 出現語彙一覧/6 注釈用参 考文献一覧
滝口鉄夫	北海道の伝説 義経浪漫紀行(上)	太陽	A6	128	
滝口鉄夫	北海道の伝説 義経浪漫紀行(下)	太陽	A6	126	
的場光昭	「アイヌ先住民族」その真実	展転社			
<b>【2009年12月】</b>					
湯川洋司、古家信平、安室 知(編) 常光徹、鬼頭秀一、池 谷和信(問題提起：安 室知、司会：古家信平) 山崎幸治	日本の民俗13 民俗と民俗学  自然・環境・暮らしと民俗学  古代世界の靈魂観 アイヌの靈魂観	吉川弘文館  勉誠出版	B6  A5	57～ 101  194 124～ 135	I 「討論「日本の民俗」2。
阿部周一 天野哲也	サケ学入門：自然史・水産・文化 サケ類とアイヌ民族の関わり	北海道大学出版会	A5	262 195～ 202	
村上正直(編)	入門・人種差別撤廃条約  アイヌ民族	部落解放・人権研究所 (発売：解放出版社)	A5	102  24	
荒井知佳	平成21年度 第29回全国中学生人権作文 コンテスト 札幌地方大会入賞作品集 差別とは？	札幌法務局、札幌人権擁 護委員連合会、北海道	A5	88  49～51	